

## IP-KVM エクステンダー

(KE6900/KE6900A/KE6900AiT/KE6900ST/KE6910/KE6912/KE6920/KE6922/  
KE6940/KE6940A/KE6940AiT/KE8900S/KE8950/KE8952/KE9900ST/  
KE9950/KE9952)

## 有償版ソフトウェア(CCKM) 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、KE6900/KE6900A/KE6900AiT/KE6900ST/KE6910/KE6912/KE6920/KE6922/KE6940/KE6940A/KE6940AiT/KE8900S/KE8950/KE8952/KE9900ST/KE9950/KE9952 および有償版ソフトウェア(CCKM)取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2020 年 8 月 13 日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではありません。

キーボード、マウス、モニター、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

# ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

## 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

### 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

|                            |            |             |
|----------------------------|------------|-------------|
| ①通常製品                      | 製品納品日～30 日 | 初期不良、新品交換※1 |
|                            | 31 日～3 年間  | 無償修理        |
|                            | 3 年以上      | 有償修理※2      |
| ②型番 CL から始まる<br>LCD 搭載製品のみ | 製品納品日～30 日 | 初期不良、新品交換※1 |
|                            | 31 日～2 年間  | 無償修理        |
|                            | 3 年目以降     | 有償修理※2      |

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL（生産終了）が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

### 【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それでも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。



## 【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<https://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

|            |                                                                      |
|------------|----------------------------------------------------------------------|
| 購入前のお問い合わせ | ATEN ジャパン株式会社 営業部<br>TEL:03-5615-5810<br>MAIL:sales@atenjapan.jp     |
| 購入後のお問い合わせ | ATEN ジャパン株式会社 技術部<br>TEL :03-5615-5811<br>MAIL :support@atenjapan.jp |

# 目次

---

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ユーザーの皆様へ .....          | i  |
| ATEN ジャパン製品保証規定 .....   | ii |
| 製品についてのお問い合わせ .....     | v  |
| EMC 情報 .....            | 10 |
| RoHS.....               | 10 |
| 安全にお使い頂くために.....        | 11 |
| 全般 .....                | 11 |
| ラックマウント .....           | 13 |
| 本マニュアルについて.....         | 14 |
| 同梱品.....                | 17 |
| KE6900/KE6940 .....     | 17 |
| KE6900A/KE6940A.....    | 17 |
| KE6900AiT .....         | 18 |
| KE6940AiT .....         | 18 |
| KE6900ST.....           | 18 |
| KE6910/KE6912 .....     | 19 |
| KE6920/KE6922 .....     | 19 |
| KE8900S.....            | 19 |
| KE8950/KE8952 .....     | 20 |
| KE9900ST.....           | 20 |
| KE9950/KE9952 .....     | 21 |
| マニュアル表記について.....        | 22 |
| 第1章 はじめに.....           | 23 |
| 概要.....                 | 23 |
| 特長.....                 | 27 |
| 対応ビデオ解像度.....           | 29 |
| システム要件 .....            | 31 |
| コンソール.....              | 31 |
| コンピューター .....           | 31 |
| ケーブル .....              | 31 |
| 最小ハードウェア/ソフトウェア要件 ..... | 31 |
| 製品各部名称 .....            | 33 |

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| KE6900T(トランスミッター)フロントパネル.....         | 33 |
| KE6900T(トランスミッター)リアパネル.....           | 34 |
| KE6900R(レシーバー)フロントパネル.....            | 36 |
| KE6900R(レシーバー)リアパネル.....              | 38 |
| KE6900AT(トランスミッター)フロントパネル.....        | 40 |
| KE6900AT(トランスミッター)リアパネル.....          | 41 |
| KE6900AR(レシーバー)フロントパネル.....           | 43 |
| KE6900AR(レシーバー)リアパネル.....             | 45 |
| KE6900AiT(トランスミッター)フロントパネル.....       | 47 |
| KE6900AiT(トランスミッター)リアパネル.....         | 48 |
| KE6910T/KE6912T(トランスミッター)フロントパネル..... | 50 |
| KE6910T/KE6912T(トランスミッター)リアパネル.....   | 51 |
| KE6910R/KE6912R(レシーバー)フロントパネル.....    | 53 |
| KE6910R/KE6912R(レシーバー)リアパネル.....      | 55 |
| KE6920T/KE6922T(トランスミッター)フロントパネル..... | 57 |
| KE6920T/KE6922T(トランスミッター)リアパネル.....   | 58 |
| KE6920R/KE6922R(レシーバー)フロントパネル.....    | 60 |
| KE6920R/KE6922R(レシーバー)リアパネル.....      | 62 |
| KE6940T(トランスミッター)フロントパネル.....         | 64 |
| KE6940T(トランスミッター)リアパネル.....           | 65 |
| KE6940R(レシーバー)フロントパネル.....            | 67 |
| KE6940R(レシーバー)リアパネル.....              | 69 |
| KE6940AT(トランスミッター)フロントパネル.....        | 71 |
| KE6940AT(トランスミッター)リアパネル.....          | 72 |
| KE6940AR(レシーバー)フロントパネル.....           | 74 |
| KE6940AR(レシーバー)リアパネル.....             | 76 |
| KE6940AiT(トランスミッター)フロントパネル.....       | 78 |
| KE6940AiT(トランスミッター)リアパネル.....         | 79 |
| KE6900ST(トランスミッター)フロント/リア/トップパネル..... | 81 |
| KE8950T/KE8952T(トランスミッター)フロントパネル..... | 83 |
| KE8950T/KE8952T(トランスミッター)リアパネル.....   | 84 |
| KE8950R/KE8952R(レシーバー)フロントパネル.....    | 86 |
| KE8950R/KE8952R(レシーバー)リアパネル.....      | 88 |
| KE8900ST(トランスミッター)フロント/リア/トップパネル..... | 90 |
| KE8900SR(レシーバー)フロント/リア/トップパネル.....    | 92 |
| KE9900ST(トランスミッター)フロント/リア/トップパネル..... | 94 |

|                                                           |            |
|-----------------------------------------------------------|------------|
| KE9950T/KE9952T(トランスミッター)フロントパネル .....                    | 96         |
| KE9950T/KE9952T(トランスミッター)リアパネル .....                      | 97         |
| KE9950R/KE9952R(レシーバー)フロントパネル .....                       | 99         |
| KE9950R/KE9952R(レシーバー)リアパネル .....                         | 101        |
| PoE による冗長電源 .....                                         | 103        |
| <b>第2章 ハードウェアセットアップ .....</b>                             | <b>104</b> |
| マウント方法.....                                               | 104        |
| ブラケットの取付.....                                             | 105        |
| ラックマウント .....                                             | 108        |
| ウォールマウント.....                                             | 110        |
| オプションのラックマウント方法 .....                                     | 112        |
| デュアルラックマウントキットを使ったセットアップ方法 .....                          | 113        |
| シングルラックマウントを使ったセットアップ方法.....                              | 117        |
| <b>1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE6900/KE6940) .....</b>       | <b>120</b> |
| KE6900/KE6940 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (1/2) .....             | 122        |
| KE6900/KE6940 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2) .....             | 123        |
| <b>1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE6900A/KE6940A) .....</b>     | <b>124</b> |
| KE6900A/KE6940A を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (1/2) .....           | 126        |
| KE6900A/KE6940A を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2) .....           | 127        |
| <b>1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE6900AiT/KE6940AiT) .....</b> | <b>128</b> |
| KE6940AiT を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (1/2) .....                 | 130        |
| KE6940AiT を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2) .....                 | 131        |
| <b>1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE6910/KE6912) .....</b>       | <b>132</b> |
| KE6910/KE6912 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (1/2) .....             | 134        |
| KE6910/KE6912 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2) .....             | 135        |
| <b>1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE6920/KE6922) .....</b>       | <b>136</b> |
| KE6920/KE6922 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (1/2) .....             | 138        |
| KE6920/KE6922 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2) .....             | 139        |
| <b>1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE8950/KE8952) .....</b>       | <b>140</b> |
| KE8950/KE8952 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (1/2) .....             | 142        |
| KE8950/KE8952 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2) .....             | 143        |
| <b>1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE6900ST) .....</b>            | <b>144</b> |
| <b>1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE8900S) .....</b>             | <b>147</b> |
| <b>1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE9900ST) .....</b>            | <b>149</b> |
| <b>1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE9950/KE9952) .....</b>       | <b>151</b> |
| KE9950/KE9952 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (1/2) .....             | 153        |

|                                                             |            |
|-------------------------------------------------------------|------------|
| KE9950/KE9952 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2) .....               | 154        |
| <b>イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法 (KE6900/KE6940) .....</b>       | <b>155</b> |
| KE6900/KE6940 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (1/2) .....              | 158        |
| KE6900/KE6940 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2) .....              | 159        |
| <b>イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法 (KE6900A/KE6940A) .....</b>     | <b>160</b> |
| KE6900A/KE6940A をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (1/2) .....            | 161        |
| KE6900A/KE6940A をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2) .....            | 162        |
| <b>イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法 (KE6900AiT/KE6940AiT) .....</b> | <b>163</b> |
| KE6900AiT/KE6940AiT をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (1/2) .....        | 165        |
| KE6900AiT/KE6940AiT をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2) .....        | 166        |
| <b>イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法 (KE6910/KE6912) .....</b>       | <b>167</b> |
| KE6910/KE6912 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (1/2) .....              | 168        |
| KE6910/KE6912 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2) .....              | 169        |
| <b>イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法 (KE6920/KE6922) .....</b>       | <b>170</b> |
| KE6920/KE6922 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (1/2) .....              | 172        |
| KE6920/KE6922 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2) .....              | 173        |
| <b>イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法 (KE8950/KE8952) .....</b>       | <b>174</b> |
| KE8950/KE8952 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (1/2) .....              | 177        |
| KE8950/KE8952 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2) .....              | 178        |
| <b>イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法 (KE9950/KE9952) .....</b>       | <b>179</b> |
| KE9950/KE9952 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (1/2) .....              | 180        |
| KE9950/KE9952 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2) .....              | 181        |
| <b>ネットワークの設定 .....</b>                                      | <b>182</b> |
| 操作を終了する .....                                               | 183        |
| <b>デフォルト IP アドレス .....</b>                                  | <b>183</b> |
| <b>本製品における I/O ポート .....</b>                                | <b>184</b> |
| <b>LED 表示 .....</b>                                         | <b>185</b> |
| <b>認証ロック (KE6910/KE6912 のみ) .....</b>                       | <b>185</b> |
| <b>第 3 章 OSD 操作 .....</b>                                   | <b>186</b> |
| 概要 .....                                                    | 186        |
| OSD の起動 .....                                               | 186        |
| タッチパネルのキャリブレーション .....                                      | 187        |
| OSD ホットキー .....                                             | 188        |
| マイク用ホットキー .....                                             | 188        |
| OSD インターフェース .....                                          | 189        |
| 初めてログインするには .....                                           | 191        |

|                              |     |
|------------------------------|-----|
| レシーバーの設定 .....               | 192 |
| ネットワーク .....                 | 193 |
| プロパティ .....                  | 194 |
| システム .....                   | 200 |
| トランスミッターの設定 .....            | 201 |
| ネットワーク .....                 | 202 |
| プロパティ .....                  | 203 |
| システム .....                   | 207 |
| インターネットポート (Ait モデル限定) ..... | 208 |
| ユーザー設定 .....                 | 212 |
| OSD マトリックスモード .....          | 214 |
| 接続画面 .....                   | 215 |
| プロフィール画面 .....               | 220 |
| コンテンツのプッシュ .....             | 222 |
| コンテンツのプル .....               | 224 |
| 第 4 章 ソフトウェアのインストール .....    | 226 |
| 概要 .....                     | 226 |
| マトリックスマネジャーのインストール .....     | 226 |
| Linux へのインストール .....         | 230 |
| 第 5 章 ブラウザ/Telnet 操作 .....   | 234 |
| 概要 .....                     | 234 |
| ログイン .....                   | 234 |
| マトリックスマネジャー メイン画面 .....      | 236 |
| 各部名称 .....                   | 236 |
| 相互表示パネル .....                | 237 |
| インストールウィザード .....            | 238 |
| 簡易リンク .....                  | 241 |
| RS-232/Telnet .....          | 243 |
| Telnet .....                 | 243 |
| RS-232 .....                 | 244 |
| 設定メニュー .....                 | 245 |
| 第 6 章 システムの状態 .....          | 248 |
| 概要 .....                     | 248 |
| システムの状態 .....                | 249 |
| トランスミッター .....               | 252 |
| トランスミッターの設定 .....            | 255 |

|                                 |            |
|---------------------------------|------------|
| 仮想トランスミッター .....                | 269        |
| トランスミッターグループ .....              | 272        |
| トランスミッターの操作権限.....              | 274        |
| <b>レシーバー .....</b>              | <b>276</b> |
| レシーバーの設定 .....                  | 279        |
| レシーバーグループ .....                 | 285        |
| ビデオウォール .....                   | 287        |
| レシーバーの操作権限 .....                | 291        |
| <b>ユーザーアカウント .....</b>          | <b>293</b> |
| ユーザー .....                      | 294        |
| ユーザーの追加.....                    | 294        |
| ユーザーの編集.....                    | 297        |
| ユーザーの削除.....                    | 297        |
| ユーザーグループ .....                  | 298        |
| グループの作成.....                    | 298        |
| グループの編集.....                    | 299        |
| グループの削除.....                    | 299        |
| <b>操作権限.....</b>                | <b>300</b> |
| デバイス操作権限の割り当て.....              | 300        |
| <b>プロファイル .....</b>             | <b>303</b> |
| プロファイルの追加.....                  | 305        |
| スケジュールの追加.....                  | 308        |
| <b>ログ .....</b>                 | <b>310</b> |
| <b>第7章 システム設定 .....</b>         | <b>312</b> |
| 概要.....                         | 312        |
| 全般.....                         | 312        |
| 接続の二重化 (KE6910/KE6912 のみ) ..... | 317        |
| ログインアクセスの優先順位 (AiT モデル限定) ..... | 320        |
| <b>ANMS.....</b>                | <b>321</b> |
| イベント送り先.....                    | 321        |
| 認証 .....                        | 323        |
| <b>ファームウェアアップグレード.....</b>      | <b>327</b> |
| ファームウェアアップグレードリカバリー .....       | 329        |
| <b>二重化.....</b>                 | <b>330</b> |
| <b>バックアップ/リストア.....</b>         | <b>333</b> |
| バックアップ .....                    | 334        |



|                                           |     |
|-------------------------------------------|-----|
| リストア .....                                | 334 |
| 証明書.....                                  | 335 |
| プライベート証明書.....                            | 335 |
| 証明書署名要求 .....                             | 336 |
| セッション .....                               | 339 |
| 第 8 章 接続.....                             | 340 |
| 概要.....                                   | 340 |
| 接続.....                                   | 341 |
| 第 9 章 スケジューリングされたプロファイル.....              | 343 |
| 概要.....                                   | 343 |
| 第 10 章 セッション.....                         | 345 |
| 概要.....                                   | 345 |
| 第 11 章 リモートビューワー (AiT モデル限定).....         | 346 |
| はじめに.....                                 | 346 |
| Windows/Java クライアントビューワー (Web アクセス) ..... | 347 |
| Windows/Java クライアント AP .....              | 349 |
| ダウンロード .....                              | 349 |
| 起動 .....                                  | 350 |
| コントロールパネル .....                           | 353 |
| コントロールパネルの機能.....                         | 354 |
| マクロ.....                                  | 356 |
| ビデオ設定 .....                               | 359 |
| バーチャルメディア .....                           | 363 |
| ズーム.....                                  | 367 |
| オンスクリーンキーボード .....                        | 368 |
| マウスポインターの種類.....                          | 369 |
| マウスダイナシンクモード .....                        | 370 |
| コントロールパネルの設定.....                         | 371 |
| 第 12 章 ファームウェアのアップグレード .....              | 374 |
| 作業を始める前に .....                            | 374 |
| アップグレードの開始.....                           | 375 |
| アップグレードの成功.....                           | 378 |
| ファームウェアアップグレードリカバリー.....                  | 379 |
| 第 13 章 CLI コマンド.....                      | 380 |
| シリアル操作プロトコルコマンド .....                     | 380 |
| シリアルポートの設定 .....                          | 380 |

|                              |            |
|------------------------------|------------|
| デバイス/プロファイル コマンド .....       | 381        |
| Telnet .....                 | 381        |
| 入力確認 .....                   | 382        |
| ポート切替コマンド .....              | 383        |
| ミュートコマンド .....               | 389        |
| プロファイルコマンド .....             | 391        |
| EDID モードコマンド .....           | 393        |
| リセットコマンド .....               | 395        |
| RS-232 コマンド .....            | 397        |
| OSD コマンド .....               | 401        |
| リストコマンド .....                | 402        |
| 読込コマンド .....                 | 405        |
| 設定コマンド .....                 | 409        |
| <b>付録 .....</b>              | <b>422</b> |
| <b>製品仕様 .....</b>            | <b>422</b> |
| KE6900 .....                 | 422        |
| KE6940 .....                 | 425        |
| KE6900A .....                | 427        |
| KE6940A .....                | 429        |
| KE6900AiT .....              | 431        |
| KE6940AiT .....              | 433        |
| KE6900ST .....               | 435        |
| KE6910 .....                 | 437        |
| KE6912 .....                 | 439        |
| KE6920 .....                 | 441        |
| KE6922 .....                 | 443        |
| KE8900S .....                | 445        |
| KE8950 .....                 | 447        |
| KE8952 .....                 | 450        |
| KE9900ST .....               | 453        |
| KE9950 .....                 | 454        |
| KE9952 .....                 | 456        |
| <b>IP インストーラー .....</b>      | <b>458</b> |
| <b>信頼された証明書 .....</b>        | <b>460</b> |
| 概要 .....                     | 460        |
| <b>自己署名(プライベート)証明書 .....</b> | <b>461</b> |

|                                                   |            |
|---------------------------------------------------|------------|
| 例.....                                            | 461        |
| ファイルのインポート .....                                  | 462        |
| <b>全情報のリセット.....</b>                              | <b>463</b> |
| DEFAULT PASSWORD ピン .....                         | 464        |
| <b>RS-232 ピンアサイン .....</b>                        | <b>470</b> |
| トランスミッターのフロント RS-232 ポート.....                     | 470        |
| <b>マルチキャスト IP アドレス.....</b>                       | <b>471</b> |
| KE マルチキャストのルール .....                              | 471        |
| マルチキャスト IP の公式.....                               | 471        |
| <b>ネットワークパフォーマンス改善の秘訣.....</b>                    | <b>473</b> |
| ネットワーク接続図の作成 .....                                | 473        |
| 高性能スイッチの選択.....                                   | 475        |
| 検討事項.....                                         | 475        |
| スイッチと KE デバイスの設定 .....                            | 477        |
| 推奨ネットワークスイッチ .....                                | 478        |
| <b>その他のマウス同期方法.....</b>                           | <b>479</b> |
| Windows .....                                     | 479        |
| Sun/Linux.....                                    | 481        |
| <b>対応バーチャルメディア.....</b>                           | <b>482</b> |
| Windows クライアント Active X ビューワー/Win クライアント AP ..... | 482        |
| Java アプレットビューワー/Java クライアント AP.....               | 482        |
| <b>Windows における CCKM サーバーの IP アドレスの設定.....</b>    | <b>483</b> |

## EMC 情報

---

### FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 のデジタル装置 Class A の規定に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉が発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉をすべて受け入れる。

**FCC による注意:**本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

**警告:**本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。

## RoHS

---

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会および理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



## 安全にお使い頂くために

---

### 全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電気回路が過負荷状態に陥らないようにしてください。電気機器を回路に接続する前に、電源の上限を把握しておき、これを超えないように注意してください。回路の電気仕様を常に見直して、危険な条件を生じさせていないかどうか、また、すでに危険な条件がそろっていないかどうかを確認してください。電気回路の過負荷は火災や機器破損の原因となります。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なり、製品付属の電源アダプターを接続できない場合には電気業者に問い合わせる適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア

数は 15 アンペアを超えないようにしてください。

- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取扱ってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 電源コードが破損した。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。
- ◆ 本製品をスタッキングする場合、ラックにロックする場合、フレームにネジ止めする場合やその他類似の方法で設置を行う場合には、製品を確実に固定するための安全装置が追加で必要になることがあります。
- ◆ 本製品は固定させて使用するよう設計されているため、通常の動作中には動かさないようにしてください。
- ◆ Cat 5e/6 ケーブルは、電気ケーブル、変圧器、照明器具といった電波障害の発生源となりうる物から、できるだけ遠ざけて配線するようにしてください。また、これらのケーブルは、電線用導管に接続したり、電灯設備の上に置いたりしないようにしてください。

## ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

## 本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、KE6900/KE6900A/KE6900AiT/KE6900ST/KE6910/KE6912/KE6920/KE6922/KE6940/KE6940A/KE6940AiT/KE8900S/KE8950/KE8952/KE9900ST/KE9950/KE9952 および有償版ソフトウェア(CCKM)に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアルは下記のとおり構成されています。

本マニュアルで説明する IP-KVM エクステンダーの型番は下表のとおりです。

| 型番        | 製品名                                                                        |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------|
| KE6900    | USB DVI-I シングルディスプレイ IP-KVM エクステンダー (トランスミッター & レシーバー)                     |
| KE6900A   | DVI-I シングルディスプレイ IP-KVM エクステンダー (トランスミッター & レシーバー)                         |
| KE6900AiT | DVI-I シングルディスプレイ IP-KVM トランスミッター (インターネットアクセス、デュアル電源 / LAN 対応)             |
| KE6900ST  | スリムタイプ USB DVI-D シングルディスプレイ IP-KVM トランスミッター                                |
| KE6910    | デュアルリンク DVI-D IP-KVM エクステンダー (2K 対応) (トランスミッター & レシーバー)                    |
| KE6912    | デュアルリンク DVI-D IP-KVM エクステンダー (2K、PoE 対応)<br>(トランスミッター & レシーバー)             |
| KE6920    | デュアルリンク DVI-D IP-KVM エクステンダー (2K 対応、デュアル SFP 搭載)<br>(トランスミッター & レシーバー)     |
| KE6922    | デュアルリンク DVI-D IP-KVM エクステンダー (2K&PoE 対応、デュアル SFP 搭載)<br>(トランスミッター & レシーバー) |
| KE6940    | USB DVI-I デュアルディスプレイ IP-KVM エクステンダー (トランスミッター & レシーバー)                     |
| KE6940A   | DVI-I デュアルディスプレイ IP-KVM エクステンダー (デュアル電源 / LAN 対応)<br>(トランスミッター & レシーバー)    |
| KE6940AiT | DVI-I デュアルディスプレイ IP-KVM トランスミッター (インターネットアクセス、デュアル電源 / LAN 対応)             |
| KE8900S   | スリムタイプ HDMI IP-KVM エクステンダー (トランスミッター & レシーバー)                              |
| KE8950    | HDMI シングルディスプレイ IP-KVM エクステンダー (4K 対応)<br>(トランスミッター & レシーバー)               |
| KE8952    | HDMI シングルディスプレイ IP-KVM エクステンダー (4K、PoE 対応)<br>(トランスミッター & レシーバー)           |

(表は次のページに続きます)



| 型番       | 製品名                                                                     |
|----------|-------------------------------------------------------------------------|
| KE9900ST | スリムタイプ DisplayPort IP-KVM エクステンダー (トランスミッター)                            |
| KE9950   | DisplayPort シングルディスプレイ IP-KVM エクステンダー (4K 対応)<br>(トランスミッター & レシーバー)     |
| KE9952   | DisplayPort シングルディスプレイ IP-KVM エクステンダー (4K、PoE 対応)<br>(トランスミッター & レシーバー) |

**第1章 はじめに:** KE シリーズの IP-KVM エクステンダーシステムを紹介します。特長、機能概要および製品各部名称について説明します。

**第2章 ハードウェアセットアップ:** 基本的なハードウェアセットアップの手順と操作方法について説明します。

**第3章 OSD 操作:** KE シリーズの IP-KVM エクステンダーのシステム操作方法に関する基本概念と OSD (オンスクリーンディスプレイ) の詳細内容および操作方法について説明します。

**第4章 ソフトウェアのインストール:** マトリックスマネジャーソフトウェアのダウンロードおよび Windows や Linux を搭載したコンピューターへインストールするのに必要な手順について説明します。

**第5章 ブラウザ/Telnet 操作:** Web ブラウザからマトリックスマネジャーにログインする方法やその特長、機能、およびブラウザのメインインターフェースについて説明します。

**第6章 システムの状態:** マトリックスマネジャーのシステム状態パネルを使って、トランスミッター、レシーバー、ユーザー、プロファイル、およびログを管理する方法について説明します。

**第7章 システム設定:** マトリックスマネジャーのシステム設定について説明します。この章では、全般、ANMS、LDAP/AD、RADIUS、TACACS+を使った認証、ファームウェアアップグレード、二重化、バックアップ/リストア、証明書、およびセッションの各タブについて説明しています。

**第8章 接続:** マトリックスマネジャーの接続パネルを使ってトランスミッターとレシーバーの接続を参照したり、この接続を切断したりする方法について説明します。

- 第9章 スケジューリングされたプロファイル:**マトリックスマネジャーのスケジューリングされたプロファイルパネルを使って、アクティブなプロファイルスケジュールを確認する方法について説明します。
- 第10章 セッション:**マトリックスマネジャーのセッションパネルを使ってユーザーセッションを参照したり、このセッションを切断したりする方法について説明します。
- 第11章 リモートビューワー (AiT モデル限定):**リモートビューワーを使って、AiT モデルのトランスミッターに接続されたビデオソースを参照したり操作したりする方法について説明します。
- 第12章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:**お使いの KE シリーズ IP-KVM エクステンダーのファームウェアをダウンロードして最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。
- 第13章 CLI コマンド:**RS-232 シリアルポートまたはネットワーク接続を使って KE デバイスを設定する際に実行可能なシリアルプロトコルおよび TCP/IP コマンドの一覧を提供します。
- 付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

## 同梱品

---

KE シリーズの IP-KVM エクステンダーの製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

### KE6900/KE6940

トランスミッター (KE6900T/KE6940T) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ トランスミッター ×1
- ◆ USB DVI-D KVM ケーブル (1.8m、型番:2L-7D02U) ×1
- ◆ DVI-D ケーブル (2m、KE6940T のみ付属) ×1
- ◆ フットパッドセット ×1
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ ラックマウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

レシーバー (KE6900R/KE6940R) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ レシーバー ×1
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

### KE6900A/KE6940A

トランスミッター (KE6900AT/KE6940AT) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ トランスミッター ×1
- ◆ KVM ケーブル (DVI-D、USB、オーディオ:1.8m) ×1
- ◆ DVI-D ケーブル (1.8m、KE6940AT のみ付属) ×1
- ◆ 電源アダプター、電源コード ×1
- ◆ フットパッドセット (4pcs) ×1
- ◆ マウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

レシーバー (KE6900AR/KE6940AR) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ レシーバー ×1
- ◆ 電源アダプター、電源コード ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

## KE6900AiT

KE6900AiT の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ トランスミッター ×1
- ◆ 電源アダプター、電源コード ×1
- ◆ KVM ケーブル(デュアルリンク DVI-D、USB、オーディオ:1.8m) ×1
- ◆ フットパッドセット(4pcs) ×1
- ◆ マウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

## KE6940AiT

KE6940AiT の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ トランスミッター ×1
- ◆ 電源アダプター、電源コード ×1
- ◆ KVM ケーブル(デュアルリンク DVI-D、USB、オーディオ:1.8m) ×1
- ◆ DVI-D ケーブル(1.8m) ×1
- ◆ フットパッドセット(4pcs) ×1
- ◆ マウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

## KE6900ST

KE6900ST の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ トランスミッター ×1
- ◆ USB DVI-D KVM ケーブル(1.8m、型番:2L-7D02U) ×1
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ フットパッド(4pcs) ×1
- ◆ ウォールマウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

## KE6910/KE6912

トランスミッター (KE6910T/KE6912T) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ トランスミッター ×1
- ◆ USB DVI-D KVM ケーブル ×1
- ◆ 電源アダプター、電源ケーブル (KE6910T のみ付属) ×1
- ◆ フットパット (4pcs) ×1
- ◆ マウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

レシーバー (KE6910R/KE6912R) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ レシーバー ×1
- ◆ 電源アダプター、電源コード ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

## KE6920/KE6922

トランスミッター (KE6920T/KE6922T) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ トランスミッター ×1
- ◆ 電源アダプター & 電源ケーブル ×1
- ◆ KVM ケーブル (デュアルリンク DVI-D、USB、オーディオ、1.8m) ×1
- ◆ フットパッド (4pcs) ×1
- ◆ マウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

レシーバー (KE6920R/KE6922R) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ レシーバー ×1
- ◆ 電源アダプター & 電源ケーブル ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

## KE8900S

トランスミッター (KE8900ST) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ トランスミッター ×1
- ◆ USB HDMI KVM ケーブル (HDMI、USB、オーディオ) ×1 (1.8m)
- ◆ フットパット (4pcs) ×1

- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ マウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

レシーバー (KE8900SR) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ レシーバー ×1
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ マウントキット ×1
- ◆ HDMI ケーブル抜け防止ホルダー (型番:2X-EA12) ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

## KE8950/KE8952

トランスミッター (KE8950T/KE8952T) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ トランスミッター ×1
- ◆ KVM(HDMI、USB、オーディオ)ケーブル×1 (1.8m)
- ◆ フットパッドセット ×1
- ◆ 電源アダプター (KE8950T のみ付属) ×1
- ◆ KE8950T 用マウントキット ×1
- ◆ HDMI ケーブル抜け防止ホルダー (型番:2X-EA12) ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

レシーバー (KE8950R/KE8952R) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ レシーバー ×1
- ◆ 電源アダプター (KE8950R のみ付属) ×1
- ◆ HDMI ケーブル抜け防止ホルダー (型番:2X-EA12) ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

## KE9900ST

KE9900ST の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ トランスミッター ×1
- ◆ DisplayPort ケーブル ×1 (2m)
- ◆ USB2.0 Type-A→Type-B ケーブル×1 (1.8m)
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ マウントキット ×1

- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

## KE9950/KE9952

トランスミッター (KE9950T/KE9952T) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ トランスミッター ×1
- ◆ DisplayPort ケーブル ×1
- ◆ USB 2.0 Type-A→Type-B ケーブル ×1
- ◆ フットパッドセット(4pcs) ×1
- ◆ 電源アダプター (KE9950T のみ付属) ×1
- ◆ 電源コード (KE9950T のみ付属) ×1
- ◆ マウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

レシーバー (KE9950R/KE9952R) の製品パッケージにおける同梱品は次のとおりです。

- ◆ レシーバー ×1
- ◆ 電源アダプター (KE9950R のみ付属) ×1
- ◆ 電源コード (KE9950R のみ付属) ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド\* ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

---

\* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

---

## マニュアル表記について

---

[     ]                      入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。

1.                              番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。



◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。



矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。



# 第1章 はじめに

## 概要

---

IP-KVM エクステンダー KE6900/KE6900A/KE6900AiT/KE6900ST/KE6910/KE6912/KE6920/KE6922/KE6940/KE6940A/KE6940AiT/KE8900S/KE8950/KE8952/KE9900ST/KE9950/KE9952 は、KE 管理ソフトウェア (CCKM) と併用して、コンピューターのコンソール (USB キーボード・USB マウス・DVI モニター) を、イーサネット経由で延長できる製品です。本製品を組み込んだシステムによって、ネットワーク経由で複数のコンピューターにアクセスできる KVM コンソールをマトリックス状に形成し、個々の接続を自由に制御したり設定したりすることができます。

高性能な IP ベースの KE エクステンダーシリーズは、トランスミッターとレシーバーから構成されます。トランスミッターはコンピューターに接続し、コンピューターのデータをレシーバーへと送信することで、遠隔地あるいは別の場所からコンソールに対して集約的なアクセスを実現します。コンピューターには、標準的な TCP/IP ネットワーク経由またはイーサネットケーブルを直接接続してアクセスすることができます。したがって、コンソール (キーボード・マウス・モニター) は PC の設置が難しい場所に設置し、コンピューターはコンソールとは別のセキュアな場所に設置したい場合に、本製品は最適です。

本エクステンダーは、遅延を最小限に抑えながら、ロスが極めて少ないビデオ圧縮品質で伝送します。一部の機種は航空管制などで広く用いられている 2K×2K のビデオ解像度 (2048×2048@60Hz) を含む、最大 2560×2048 @50Hz の解像度に対応しています。各製品でサポートされるビデオ解像度については、p.29「対応ビデオ解像度」を参照してください。

一部のエクステンダーは電源を冗長化できるようデュアル電源に対応しています。また、本シリーズのラインナップからは、デュアル電源対応モデルで PoE (Power over Ethernet) 対応の LAN ポートを搭載しているモデルだけでなく、シングル電源モデルで PoE 対応 LAN ポートを搭載した機種も選びいただけます。

また、本シリーズには、1Gbps SFP ファイバーモジュール※に対応し、最大 1Gbps の速度でネットワークスイッチに接続できるモデルもあります。これらのエクステンダーは、ギガビットイーサネットまたは SFP ポート経由の TCP/IP ネットワーク上において 1 対 1 で接続することができます。いずれの方法においても、ネットワークフェイルオーバーが可能です。

スリムタイプ以外の IP-KVM エクステンダーには、レシーバー側から両方のユニットの設定や操作が簡単に行える、ローカルのオンスクリーンディスプレイ(OSD)が搭載されています。また、トランスミッターとレシーバーの両方に RS-232 ポートを搭載しているため、設定用のシリアルターミナル、またはタッチパネルやバーコードリーダーなどのシリアルデバイスに接続可能です。

本シリーズの IP-KVM エクステンダーにはスリムタイプも提供されており、型番は KE6900ST、KE8900S、KE9900ST です。これらのモデルは、ローカルコンソールやオーディオ伝送は不要でも、高度な KE モデルの接続機能は利用したいといったユーザー向けに開発された、低コストなスリムタイプのエクステンダーです。KE6900ST は、DVI 入力に対応したスリムタイプ IP-KVM トランスミッターです。KE8900S は、スリムタイプの IP-KVM トランスミッター(KE8900ST)と IP-KVM レシーバー(KE8900SR)から構成されており、コンピューターから入力された HDMI ビデオ信号を HDMI ディスプレイ 1 台に出力します。KE9900ST は、DisplayPort 入力に対応したスリムタイプの IP-KVM トランスミッターです。トランスミッター KE8900ST および KE9900ST には、いずれも、DC 電源ジャックに加えて DC ターミナルブロックが 1 箇所ありますので、セットアップにお使いいただけます。

IP-KVM エクステンダーは、対応するビデオインターフェース(DVI、HDMI、DisplayPort など)、ビデオ解像度、また、冗長電源やネットワークフェイルオーバーの機能が、機種によって異なるため、アドミニストレーター/ユーザーは現在の環境に合わせて、あるいは想定内や想定外の拡張に備えて、最適なモデルを選択したり、カスタマイズしたりすることを検討するかもしれません。

各モデルのインターフェースや機能および特長は下表を参照してください。

| 型番        | DVI | HDMI | DisplayPort | PoE 経由の<br>冗長電源* | セカンド電源<br>ジャックから<br>の冗長電源 | ネットワークフェイ<br>ルオーバー –<br>SFP |
|-----------|-----|------|-------------|------------------|---------------------------|-----------------------------|
| KE6900    | 1   | –    | –           | –                | –                         | –                           |
| KE6900A   | 1   | –    | –           | –                | 1                         | 1                           |
| KE6900AiT | 1   | –    | –           | –                | 1                         | 1                           |
| KE6900ST  | 1   | –    | –           | –                | –                         | –                           |
| KE6910    | 1   | –    | –           | –                | 1                         | 1                           |
| KE6912    | 1   | –    | –           | 1                | –                         | 1                           |
| KE6920    | 1   | –    | –           | –                | 1                         | 2                           |
| KE6922    | 1   | –    | –           | 1                | 1                         | 2                           |
| KE6940    | 2   | –    | –           | –                | –                         | –                           |
| KE6940A   | 2   | –    | –           | –                | 1                         | 1                           |
| KE6940AiT | 2   | –    | –           | –                | 1                         | 1                           |
| KE8900S   | –   | 1    | –           | –                | –                         | –                           |
| KE8950    | –   | 1    | –           | –                | –                         | 1                           |
| KE8952    | –   | 1    | –           | 1                | –                         | 1                           |
| KE9900ST  | –   | –    | 1           | –                | –                         | –                           |
| KE9950    | –   | –    | 1           | –                | 1                         | 1                           |
| KE9952    | –   | –    | 1           | 1                | –                         | 1                           |

\* PoE 経由の冗長電源には、バージョン B01G 以降の電源ボードが必要です(詳細は p.103 「PoE による冗長電源」を参照してください)。

本シリーズの製品の各ユニットには、固有の IP アドレスが割り当てられるので、1 対 1(エクステンダーモード)、1 対多(分配器モード)、多対 1(スイッチモード)、および多対多(マトリックスモード)での通信ができます。

マトリックスマネージャーソフトウェア(CCKM)を使用すると、上記のようなマトリックス接続を定義したり、各種機能(同一 LAN セグメント上にあるデバイスの自動検知、ユーザー名とパスワードによる認証、接続の切替や共有、スケジューリング、権限設定など)を使って KE エクステンダーを管理したりすることができます。コンピューターのコンソールを延長する目的が、システム監視、ブロードキャスト、編集、ワークステーションのセットアップのいずれであるにせよ、本シリーズの DVI 対応 IP-KVM エクステンダーは、1 台から数百台のコンピューターを延長した接続を自由に

操作して管理します。

---

**注意:** SFP モジュールは別売品です。対応 SFP モジュール型番 - SM(10km):2A-136G、MM(550m):2A-137G。詳細については、弊社 Web サイトにアクセスするか、販売店までお問い合わせの上、ご確認ください。

---

## 特長

---

- ◆ コンピューターのコンソール(USB キーボード・USB マウス・DVI モニター)をイーサネット経由で延長できる IP-KVM エクステンダー
- ◆ デュアルコンソール操作 - トランスミッター/レシーバーに接続された USB キーボード、USB マウス、モニターからコンピューターの操作が可能
- ◆ RS-232 シリアルポート搭載<sup>※1</sup> - タッチスクリーン、バーコードリーダー等のシリアル機器が接続可能
- ◆ 解像度<sup>※2</sup> - 最大 1920×1200@60Hz、24 ビット色深度 (KE69 シリーズ)。最大 3840×2160@30Hz(4:4:4)、36 ビット色深度(KE89/KE99 シリーズ)
- ◆ 解像度 (640×480～1920×1200@60Hz)に対応 (KE69 シリーズ)。解像度 (640×480～3840×2160@30Hz(4:4:4))に対応 (KE89/KE99 シリーズ)
- ◆ 2K×2K のビデオ解像度に対応 (2048×2048@60Hz) (KE6910/KE6912/KE6920/KE6922)
- ◆ レシーバーに搭載された OSD (オンスクリーンディスプレイ) で、トランスミッターとレシーバーの両方の設定が可能
- ◆ マトリックスマネージャーWeb GUI による管理<sup>※3</sup>
- ◆ PoE (Power over Ethernet) 対応 - IEEE 802.3at および IEEE802.3af 準拠 (KE6912/KE6922/KE8952/KE9952)
- ◆ マルチスクリーンコントロール - マウスカーソルを画面の端に移動させるだけで、他のレシーバーへ簡単切替
- ◆ インテリジェントデュアルビデオ出力管理 - デュアルディスプレイ対応のトランスミッター1 台からビデオソースを 2 系統に分割し、それぞれを別々のレシーバーに接続 (KE6940/KE6940A)
- ◆ ギガビットイーサネットポート接続対応
- ◆ リモートログインセキュリティ
- ◆ DVI デジタル/アナログモニター対応 (KE6900/KE6900A/KE6900AiT/KE6900ST/KE6910/KE6912/KE6920/KE6922/KE6940/KE6940A/KE6940AiT)
- ◆ HDMI モニター対応 (KE8900S/KE8950/KE8952)
- ◆ DisplayPort モニター対応 (KE9900ST/KE9950/KE9952)
- ◆ 8KV/15KV ESD 保護および 2KV サージ保護
- ◆ 2ch アナログ (KE69 シリーズ) および 7.1ch サラウンドサウンド (KE89/KE99 シリーズ) ステレオスピーカーおよびマイクロフォンに対応
- ◆ Auto-MDIX 対応 - LAN ケーブルの種類 (ストレート/クロス) を自動判別
- ◆ ワイド画面対応

- ◆ 高画質ビデオストリーミング対応 - ATEN の高度なグラフィックプロセッサ搭載で、延長距離に関わらずクリアでシャープな画像を出力可能
- ◆ バーチャルメディア対応
- ◆ ホットプラグ対応
- ◆ ウォールマウント対応
- ◆ ファームウェアアップグレード対応
- ◆ HDMI オーディオ対応 (KE8900S/KE8950/KE8952/KE9900ST/KE9950/KE9952)
- ◆ 適応力に優れた高速切替機能 - トランスミッターの異なるビデオ解像度をレシーバー側のディスプレイにおいて 0.3 秒以内で高速切替 (KE6910/KE6912)
- ◆ 認証ロック - システムの電源が投入された際に電源 OFF 前の状態に自動ログイン (KE6910/KE6912)
- ◆ 冗長接続 - トランスミッターとの接続が切断された場合は、別のトランスミッターへと自動接続することで、サーバーへの継続的なアクセスを確保 (KE6900A/KE6900AiT/KE6910/KE6912/KE6920/KE6922/KE6940A/KE6940AiT)
- ◆ 切断警告 - 警告メッセージをポップアップ表示しビープ音を連続して鳴らすことで、ユーザーに切断状況を通知 (KE6910/KE6912)
- ◆ インスタントリンク - レシーバー (Rx) 側のディスプレイでトランスミッター (Tx) を直感的かつ効率的に切替
- ◆ 「プッシュ」&「プル」 - クリック 1 つで 1 台の Rx またはビデオウォールに対してコンテンツを簡単に共有
- ◆ ビデオウォール - 各レイアウトにおいて最大 8×8 (最大 64 台のディスプレイ) で複数のビデオウォールを作成
- ◆ 複数同時アクセス用に 4 つの選択可能なアクセスモード (排他/占有/共有/表示のみモード)
- ◆ Windows/Java クライアントを使ってインターネット経由でリモートアクセス可能
- ◆ レシーバーのアクセス制御 - ユーザーはトランスミッター側のローカルコンソールから制御ボタンを押すだけで、レシーバーのアクセスを有効/無効に切替可能<sup>\*4</sup>

- 
- 注意:**
1. RS-232 ポートは、Tx/Rx/CTS/RTS/DTR/DSR 信号のみに対応しています。
  2. 詳細については、次の「対応ビデオ解像度」のセクションを参照してください。
  3. マトリックス マネージャー のソフトウェアは、弊社 Web サイト (<https://www.aten.com/jp/ja/>) における esupport のユーザー登録後、個人アカウントからダウンロードすることができます。無償版では最大 8 台の KE デバイスに対応しています。このソフトウェアの完全版ライセンスをお求めの場合は、販売店までお問い合わせください。
  4. 制御ボタン (2XRT-0015G) は製品パッケージに同梱されていません。お求めの際は弊社販売代理店までお問い合わせください。
-

## 対応ビデオ解像度

| 解像度                                      | KE6900<br>KE6940<br>KE6900A<br>KE6940A<br>KE6900AiT<br>KE6940AiT | KE6910<br>KE6912<br>KE6920<br>KE6922 | KE8950<br>KE8952<br>KE9950<br>KE9952 | KE6900ST<br>KE8900S<br>KE9900ST |
|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
| 3840×2160 @ 24/25/30 Hz                  |                                                                  |                                      | ●                                    |                                 |
| 3440×1440 @ 50 Hz                        |                                                                  |                                      | ●                                    |                                 |
| 2560×2048 @ 50 Hz                        |                                                                  | ●                                    |                                      |                                 |
| 2560×1600 @ 60 Hz                        |                                                                  | ●                                    | ●                                    |                                 |
| 2560×1440 @ 60 Hz                        |                                                                  | ●                                    | ●                                    |                                 |
| 2560×1080<br>@ 24/25/30/50/60/100/120 Hz |                                                                  |                                      | ●                                    |                                 |
| 2048×2048 @ 30/60 Hz                     |                                                                  | ●                                    |                                      |                                 |
| 2048×1536 @ 60 Hz                        |                                                                  | ●                                    | ●                                    |                                 |
| 2048×1536 @ 30 Hz                        |                                                                  | ●                                    |                                      |                                 |
| 2048×1152 @ 60 Hz                        |                                                                  | ●                                    |                                      |                                 |
| 1600×1600 @ 60 Hz                        |                                                                  | ●                                    |                                      |                                 |
| 1920×2160 @ 60 Hz                        |                                                                  | ●                                    |                                      |                                 |
| 1920×2160 @ 30 Hz                        |                                                                  | ●                                    | ●                                    |                                 |
| 1920×1440 @ 60 Hz                        |                                                                  | ●                                    | ●                                    |                                 |
| 1920×1200 @ 60 Hz                        | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 1920×1080 @ 60 Hz                        | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 1600×1200 @ 60 Hz                        | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 1680×1050 @ 60 Hz                        | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 1400×1050 @ 60 Hz                        | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 1280×1024 @ 60/75 Hz                     | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 1280×960 @ 60 Hz                         | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 1280×800 @ 60 Hz                         |                                                                  | ●                                    |                                      |                                 |
| 1600×900 @ 60 Hz                         | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |

(表は次のページに続きます)

| 解像度                        | KE6900<br>KE6940<br>KE6900A<br>KE6940A<br>KE6900AiT<br>KE6940AiT | KE6910<br>KE6912<br>KE6920<br>KE6922 | KE8950<br>KE8952<br>KE9950<br>KE9952 | KE6900ST<br>KE8900S<br>KE9900ST |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
| 1440×900 @ 60 Hz           | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 1152×864 @ 75 Hz           | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 1366×768 @ 60 Hz           | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 1280×720 @ 60 Hz           | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 1024×768 @ 60/70/75/85 Hz  | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 848×480 @ 60 Hz            |                                                                  | ●                                    |                                      |                                 |
| 800×600 @ 56/60/72/75/85Hz | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 720×400 @ 70/85 Hz         | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |
| 640×480 @ 60/72/75/85 Hz   | ●                                                                | ●                                    | ●                                    | ●                               |



## システム要件

---

### コンソール

- ◆ (KE6900/KE6900A/KE6900AiT/KE6900ST/KE6910/KE6912/KE6920/KE6922 の場合)接続する機器の解像度に対応した DVI モニター×1
- ◆ (KE6940/KE6940A/KE6940AiT の場合)接続する機器の解像度に対応した DVI モニター×2
- ◆ (KE8900S/KE8950/KE8952 の場合)接続する機器の解像度に対応した HDMI モニター×1
- ◆ (KE9900ST/KE9950/KE9952 の場合)接続する機器の解像度に対応した DisplayPort モニター×1
- ◆ USB マウス×1
- ◆ USB キーボード×1
- ◆ マイクロフォンおよびスピーカー×1

### コンピューター

本製品に接続するコンピューターには、以下のハードウェア環境が必要です。

- ◆ (KE6900/KE6900A/KE6900AiT/KE6900ST/KE6910/KE6912/KE6920/KE6922 の場合) DVI ポート×1
- ◆ (KE6940/KE6940A/KE6940AiT の場合) DVI ポート×2
- ◆ (KE8900S/KE8950/KE8952 の場合) HDMI ポート×1
- ◆ (KE9900ST/KE9950/KE9952 の場合) DisplayPort ポート×1
- ◆ USB Type-A ポート
- ◆ オーディオポート

### ケーブル

- ◆ システムのレイアウトを簡素化し、理想的な状態でデータ転送を行うには、本製品に同梱されている USB KVM ケーブルの使用を推奨します。

### 最小ハードウェア/ソフトウェア要件

マトリックスマネージャーソフトウェアを動作させるコンピューターには以下のハードウェア環境およびソフトウェアが必要です。

- ◆ プロセッサー - Pentium 4、2.60GHz 以上
- ◆ メモリ - 1GB 以上
- ◆ HDD - 500MB 以上
- ◆ Web ブラウザ - Internet Explorer 10(以降)、Chrome 70(以降)、Firefox 62(以降)
- ◆ OS 要件:
  - Windows 7、8.1、10、Server 2008、Server 2012、Server 2016
  - Linux Ubuntu 16.04、CentOS 7

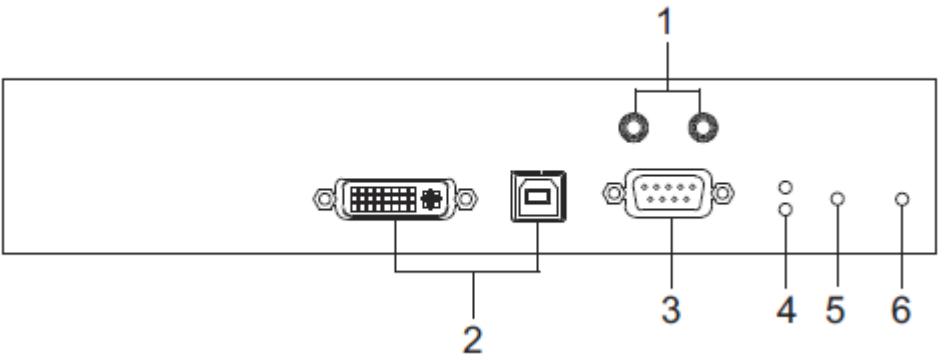
---

**注意:** 上記の OS において Java Runtime Environment (JRE) 8 以降のインストールが必要です。

---

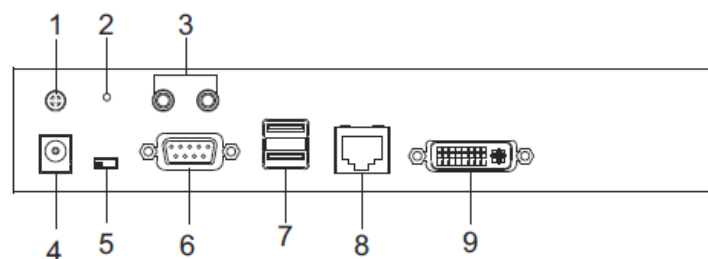
# 製品各部名称

## KE6900T(トランスミッター)フロントパネル



| No. | 名称                            | 説明                                                                                                                                                                                   |
|-----|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | オーディオ入力ポート                    | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                  |
| 2   | KVM ポートセクション                  | 製品同梱の USB タイプの KVM ケーブルをこれらのポートに接続して、トランスミッターをコンピューターと接続します。                                                                                                                         |
| 3   | RS-232シリアルポート<br>(DB-9 ピン メス) | レシーバー側でシリアル機器を使用する場合は、ストレートケーブル(オス - メス)でコンピューターと接続してください。                                                                                                                           |
| 4   | リモート/ローカル<br>LED(グリーン)        | コンピューターの KVM 操作がローカル側またはリモート側のどちらにあるかを点灯状態で表します。                                                                                                                                     |
| 5   | LAN LED                       | ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。<br>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。<br>➤ オレンジ: 10Mbps<br>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps<br>➤ グリーン:1000Mbps<br>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。 |
| 6   | 電源 LED                        | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                  |

## KE6900T(トランスミッター)リアパネル

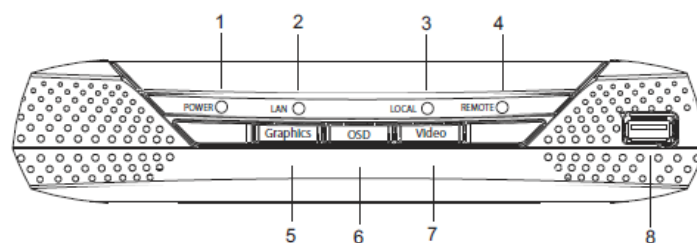


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | 電源ジャック     | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Auto</b> (オート/初期位置) - ローカル (トランスミッター) 側とリモート (レシーバー) 側とで、コンピューターの KVM 操作権を共有します (両側から同時アクセス可能)*。</li> <li>◆ <b>RS-232 Configure</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。IP-KVM アクセスコントロールボックス (2XRT-0015G) を接続すると、接続レシーバーの操作権限を有効/無効にすることができます。</li> <li>◆ <b>Local</b> (ローカル) - 操作権はトランスミッター側にのみ与えられ、レシーバー側は閲覧のみとなります。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「Auto」(オート)モードの場合、RS-232 およびオーディオの各機能はレシーバー側では動作しますが、トランスミッター側では動作しないので、ご注意ください。</p> |
| 6   | RS-232 ポート  | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 7   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 8   | LAN ポート     | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 9   | DVI-I 出力    | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

## KE6900R(レシーバー)フロントパネル

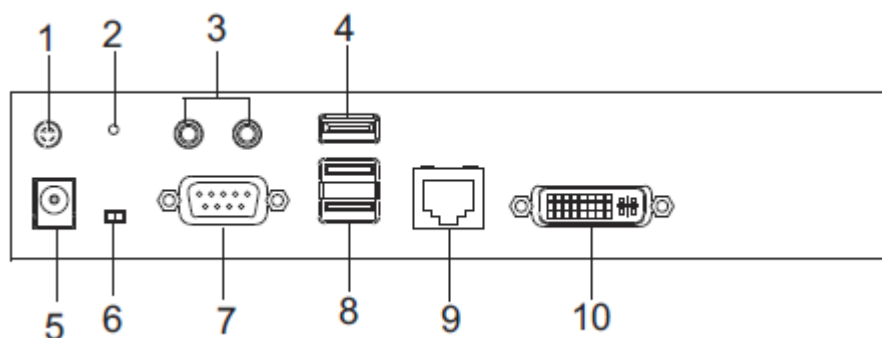


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 電源 LED     | 電源が入っている場合、ブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2   | LAN LED    | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <p>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> <p>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</p> |
| 3   | ローカル LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がトランスミッター側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                |
| 4   | リモート LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がレシーバー側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                   |
| 5   | グラフィックスボタン | <p>表示画質を可能な限り最高のレベルまで引き上げ、画質を最適化します。このトグルボタンは、ビデオボタンのオプションを OFF にします。</p> <p>デフォルトではグラフィックスモードが選択されています。</p>                                                                                                                                                    |
| 6   | OSD ボタン    | このボタンを押すと、OSD を起動します。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 7   | ビデオボタン     | 表示画質を映像再生に最適なレベルに設定します。このトグルボタンはグラフィックスボタンのオプションを OFF にします。                                                                                                                                                                                                     |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8   | USB ポート | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>2. この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |

## KE6900R(レシーバー)リアパネル



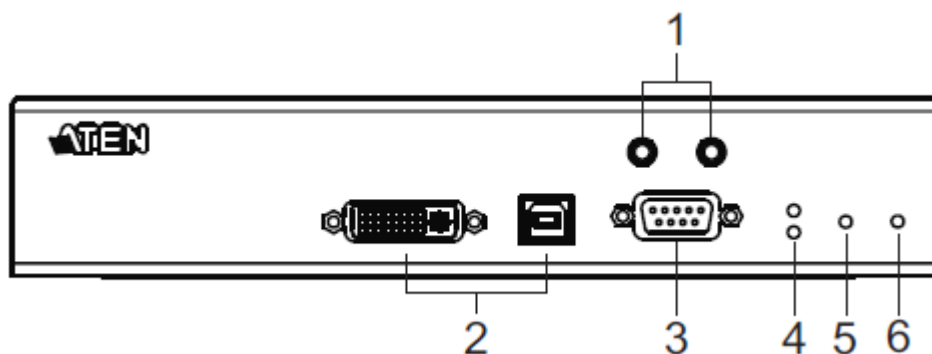
| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | USB ポート    | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b> このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.196「USB Mode(USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 5   | 電源ジャック     | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

(表は次のページに続きます)



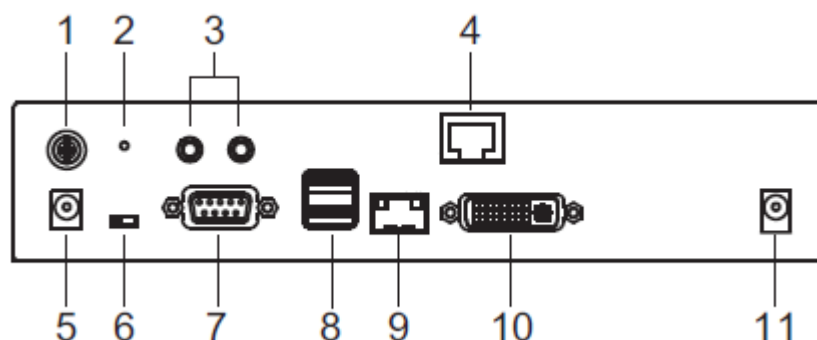
| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                        |
|-----|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <p>◆ <b>Extension</b> (拡張/初期位置) - 通常の TX/RX 拡張モードが使用可能な状態にします。</p> <p>◆ <b>RS-232 Config</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。</p> |
| 7   | RS-232 ポート  | シリアルターミナル接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                           |
| 8   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。キーボードやマウスの特殊機能を使用する場合は、4 の USB ポートへ接続し、p.196 「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。                                                                                   |
| 9   | LAN ポート     | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                           |
| 10  | DVI-I 出力    | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                           |

## KE6900AT (トランスミッター) フロントパネル



| No. | 名称            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | オーディオポート      | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2   | KVM ポート       | 製品パッケージに同梱されている USB KVM ケーブルを使って、トランスミッターとコンピューターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 3   | RS-232 ポート    | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 4   | リモート/ローカル LED | コンピューターの KVM 操作がローカル側またはリモート側のどちらにあるかを点灯状態で表します。                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 5   | LAN LED       | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> </li> <li>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</li> </ul> |
| 6   | 電源 LED        | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## KE6900AT(トランスミッター)リアパネル

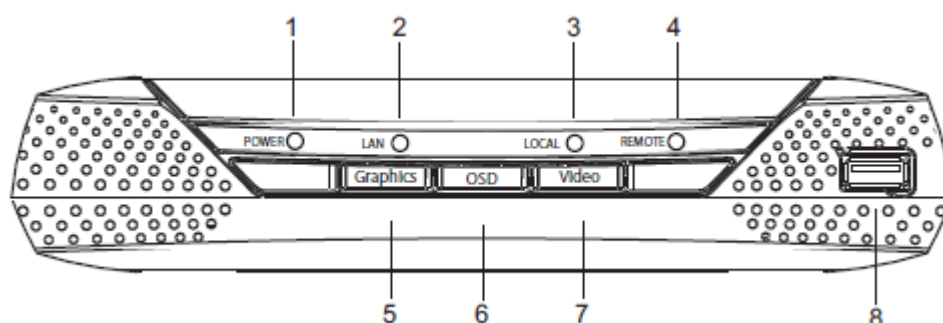


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオポート   | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | LAN ポート    | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 5   | 電源ジャック     | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Auto</b> (オート/初期位置) - ローカル (トランスミッター) 側とリモート (レシーバー) 側とで、コンピューターの KVM 操作権を共有します (両側から同時アクセス可能)*。</li> <li>◆ <b>RS-232 Configure</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。IP-KVM アクセスコントロールボックス (2XRT-0015G) を接続すると、接続レシーバーの操作権限を有効/無効にすることができます。</li> <li>◆ <b>Local</b> (ローカル) - 操作権はトランスミッター側にのみ与えられ、レシーバー側は閲覧のみとなります。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「Auto」(オート)モードの場合、RS-232 およびオーディオの各機能はレシーバー側では動作しますが、トランスミッター側では動作しないので、ご注意ください。</p> |
| 7   | RS-232 ポート  | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 8   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 9   | SFP スロット    | ギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで、この部分から LAN に接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 10  | DVI-I 出力    | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 11  | 電源ジャック      | 冗長電源用にサブ電源を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

## KE6900AR(レシーバー)フロントパネル

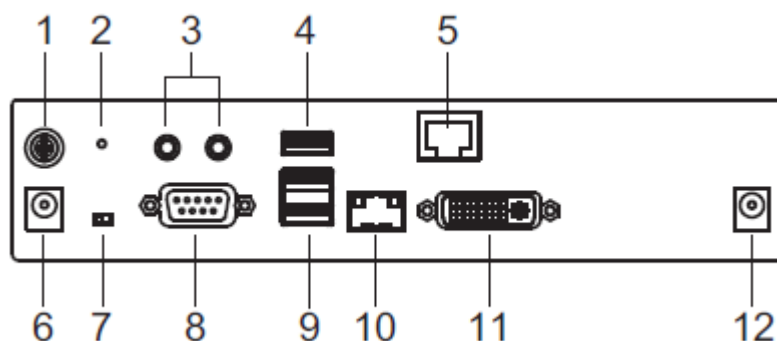


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 電源 LED     | 電源が入っている場合、ブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2   | LAN LED    | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <p>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> <p>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</p> |
| 3   | ローカル LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がトランスミッター側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                |
| 4   | リモート LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がレシーバー側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                   |
| 5   | グラフィックスボタン | <p>表示画質を可能な限り最高のレベルまで引き上げ、画質を最適化します。このトグルボタンは、ビデオボタンのオプションを OFF にします。</p> <p>デフォルトではグラフィックスモードが選択されています。</p>                                                                                                                                                    |
| 6   | OSD ボタン    | このボタンを押すと、OSD を起動します。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 7   | ビデオボタン     | 表示画質を映像再生に最適なレベルに設定します。このトグルボタンはグラフィックスボタンのオプションを OFF にします。                                                                                                                                                                                                     |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8   | USB ポート | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>2. この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |

## KE6900AR(レシーバー)リアパネル



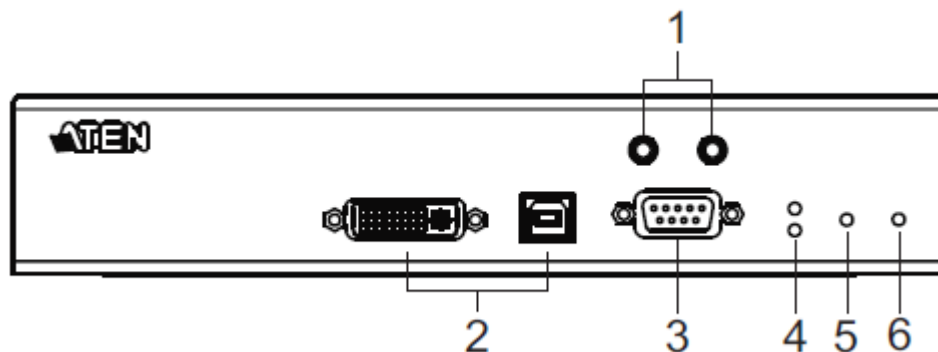
| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b>工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4   | USB ポート     | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <p>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.196「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</p> <p>◆ この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</p> |
| 5   | SFP スロット    | ギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで、この部分から LAN に接続します。                                                                                                                                                                                                                               |
| 6   | 電源ジャック      | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 7   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <p>◆ <b>Extension</b> (拡張/初期位置) - 通常の TX/RX 拡張モードが使用可能な状態にします。</p> <p>◆ <b>RS-232 Config</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。</p>                                                                                      |
| 8   | RS-232 ポート  | シリアルターミナル接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                |
| 9   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。キーボードやマウスの特殊機能を使用する場合は、4 の USB ポートへ接続し、p.196「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。                                                                                                                                                                         |
| 10  | LAN ポート     | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 11  | DVI-I 出力    | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 12  | 電源ジャック      | 冗長電源用にサブ電源を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                              |

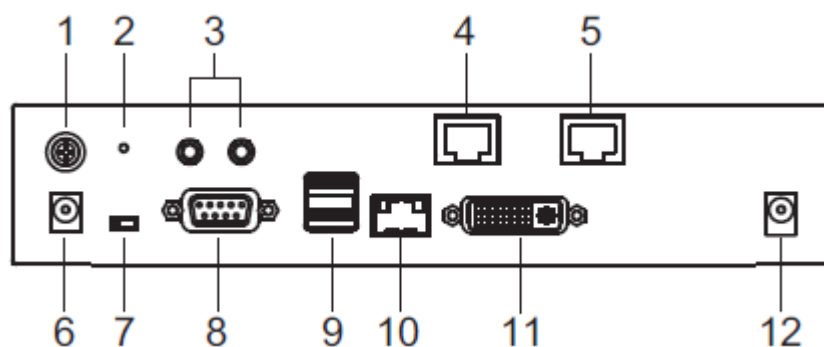


## KE6900AiT (トランスミッター) フロントパネル



| No. | 名称            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | オーディオポート      | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2   | KVM ポート       | 製品パッケージに同梱されている USB KVM ケーブルを使って、トランスミッターとコンピューターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 3   | RS-232 ポート    | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 4   | リモート/ローカル LED | コンピューターの KVM 操作がローカル側またはリモート側のどちらにあるかを点灯状態で表します。                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 5   | LAN LED       | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> </li> <li>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</li> </ul> |
| 6   | 電源 LED        | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## KE6900AiT (トランスミッター) リアパネル

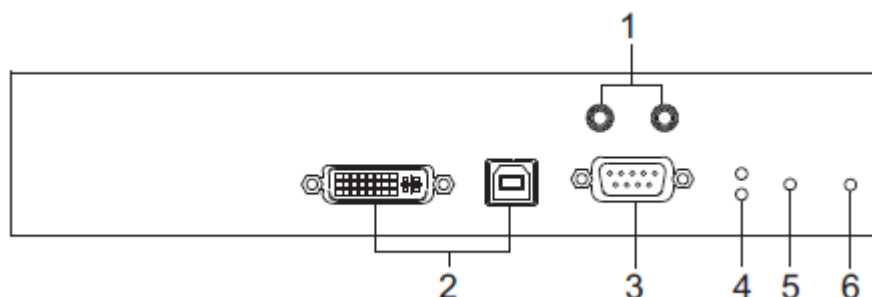


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報 (ユーザーネーム/パスワード) を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオポート   | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクはにマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 4   | LAN ポート    | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 5   | インターネットポート | インターネットにつながっているイーサネットケーブルを接続すると、Web インターフェースへのアクセスが可能になります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 6   | 電源ジャック     | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

(表は次のページに続きます)

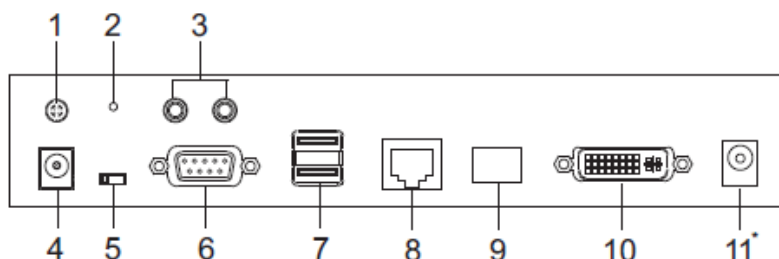
| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Auto</b> (オート/初期位置) - ローカル (トランスミッター) 側とリモート (レシーバー) 側とで、コンピューターの KVM 操作権を共有します (両側から同時アクセス可能)*。</li> <li>◆ <b>RS-232 Configure</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。IP-KVM アクセスコントロールボックス (2XRT-0015G) を接続すると、接続レシーバーの操作権限を有効/無効にすることができます。</li> <li>◆ <b>Local</b> (ローカル) - 操作権はトランスミッター側にのみ与えられ、レシーバー側は閲覧のみとなります。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「Auto」(オート)モードの場合、RS-232 およびオーディオの各機能はレシーバー側では動作しますが、トランスミッター側では動作しないので、ご注意ください。</p> |
| 8   | RS-232 ポート  | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 9   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 10  | SFP スロット    | ギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで、この部分から LAN に接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 11  | DVI-I 出力    | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 12  | 電源ジャック      | 冗長電源用にサブ電源を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

## KE6910T/KE6912T(トランスミッター)フロントパネル



| No. | 名称                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | オーディオ入力ポート                    | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2   | KVM ポートセクション                  | 製品同梱の USB タイプの KVM ケーブルをこれらのポートに接続して、トランスミッターをコンピューターと接続します。                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 3   | RS-232シリアルポート<br>(DB-9 ピン メス) | レシーバー側でシリアル機器を使用する場合は、ストレートケーブル(オス - メス)でコンピューターと接続してください。                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 4   | リモート/ローカル<br>LED(グリーン)        | コンピューターの KVM 操作がローカル側またはリモート側のどちらにあるかを点灯状態で表します。                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 5   | LAN LED                       | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> </li> <li>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</li> </ul> |
| 6   | 電源 LED                        | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## KE6910T/KE6912T (トランスミッター) リアパネル

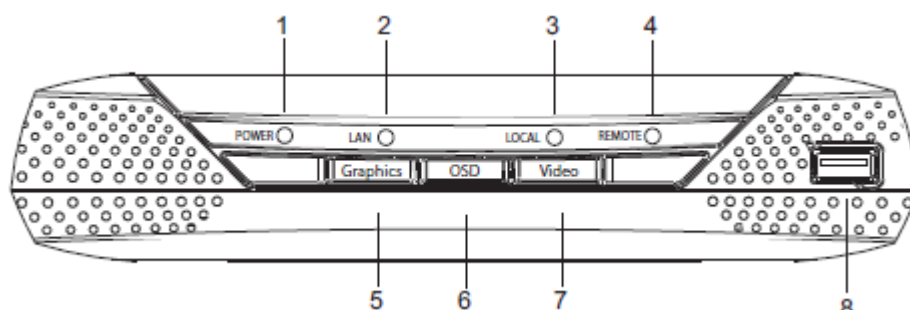


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報 (ユーザーネーム/パスワード) を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 4   | 電源ジャック     | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称                     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5   | ファンクションスイッチ            | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Auto</b> (オート/初期位置) - ローカル (トランスミッター) 側とリモート (レシーバー) 側とで、コンピューターの KVM 操作権を共有します (両側から同時アクセス可能)*。</li> <li>◆ <b>RS-232 Configure</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。IP-KVM アクセスコントロールボックス (2XRT-0015G) を接続すると、接続レシーバーの操作権限を有効/無効にすることができます。</li> <li>◆ <b>Local</b> (ローカル) - 操作権はトランスミッター側にのみ与えられ、レシーバー側は閲覧のみとなります。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「Auto」(オート) モードの場合、RS-232 およびオーディオの各機能はレシーバー側では動作しますが、トランスミッター側では動作しないので、ご注意ください。</p> |
| 6   | RS-232 ポート             | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 7   | コンソールポート               | USB キーボード・マウスを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 8   | LAN ポート                | <p>LAN ケーブルを接続します。</p> <p>このポートは PoE 対応*のため、冗長電源やケーブル管理を行うことができます。</p> <p><b>注意:</b>PoE 経由の冗長電源には、バージョン B01G 以降の電源ボードが必要です (詳細は p.103「PoE による冗長電源」を参照してください)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 9   | SFP スロット               | ギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで、この部分から LAN に接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 10  | DVI-D 出力               | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 11  | 電源ジャック<br>(KE6910T のみ) | 冗長電源用にサブ電源を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

## KE6910R/KE6912R(レシーバー)フロントパネル



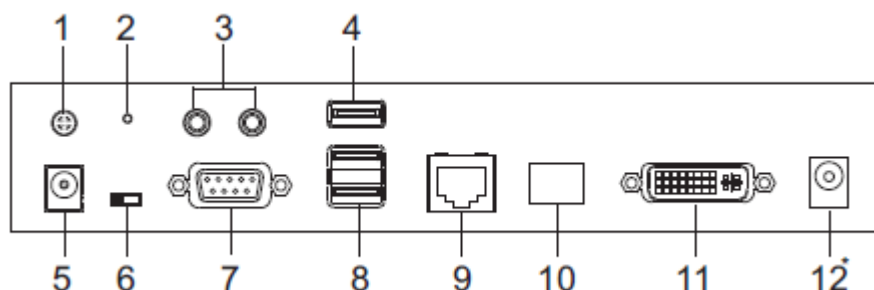
| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 電源 LED     | 電源が入っている場合、ブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2   | LAN LED    | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <p>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> <p>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</p> |
| 3   | ローカル LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がトランスミッター側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                |
| 4   | リモート LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がレシーバー側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                   |
| 5   | グラフィックスボタン | <p>表示画質を可能な限り最高のレベルまで引き上げ、画質を最適化します。このトグルボタンは、ビデオボタンのオプションを OFF にします。</p> <p>デフォルトではグラフィックスモードが選択されています。</p>                                                                                                                                                    |
| 6   | OSD ボタン    | このボタンを押すと、OSD を起動します。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 7   | ビデオボタン     | 表示画質を映像再生に最適なレベルに設定します。このトグルボタンはグラフィックスボタンのオプションを OFF にします。                                                                                                                                                                                                     |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8   | USB ポート | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>2. この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |



## KE6910R/KE6912R(レシーバー)リアパネル

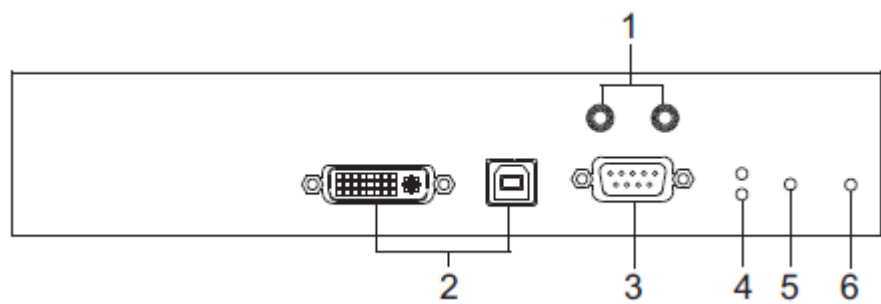


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

(表は次のページに続きます)

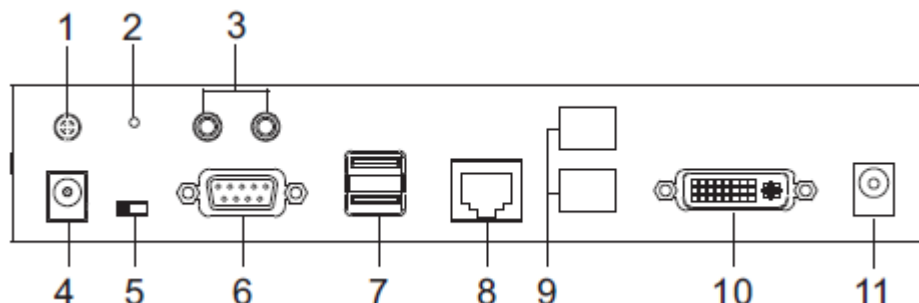
| No. | 名称                     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4   | USB ポート                | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.196「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>2. この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |
| 5   | 電源ジャック                 | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 6   | ファンクションスイッチ            | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Extension</b> (拡張/初期位置) - 通常の TX/RX 拡張モードが使用可能な状態にします。</li> <li>◆ <b>RS-232 Config</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。</li> </ul>                                                                                       |
| 7   | RS-232 ポート             | シリアルターミナル接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 8   | コンソール<br>ポート           | USB キーボード・マウスを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 9   | LAN ポート                | <p>LAN ケーブルを接続します。</p> <p>このポートは PoE 対応*のため、冗長電源やケーブル管理を行うことができます。</p> <p><b>注意:</b> PoE 経由の冗長電源には、バージョン B01G 以降の電源ボードが必要です (詳細は p.103「PoE による冗長電源」を参照してください)。</p>                                                                                                                                                           |
| 10  | SFP スロット               | ギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで、この部分から LAN に接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 11  | DVI-D 出力               | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 12  | 電源ジャック<br>(KE6910R のみ) | 冗長電源用にサブ電源を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

KE6920T/KE6922T (トランスミッター) フロントパネル



| No. | 名称            | 説明                                                                                                                                                                                    |
|-----|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | オーディオポート      | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                   |
| 2   | KVM ポート       | 製品パッケージに同梱されている USB KVM ケーブルを使って、トランスミッターとコンピューターを接続します。                                                                                                                              |
| 3   | RS-232 ポート    | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                          |
| 4   | リモート/ローカル LED | コンピューターの KVM 操作がローカル側またはリモート側のどちらにあるかを点灯状態で表します。                                                                                                                                      |
| 5   | LAN LED       | ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。<br>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。<br>➤ オレンジ: 10Mbps<br>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps<br>➤ グリーン: 1000Mbps<br>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。 |
| 6   | 電源 LED        | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                   |

## KE6920T/KE6922T (トランスミッター) リアパネル

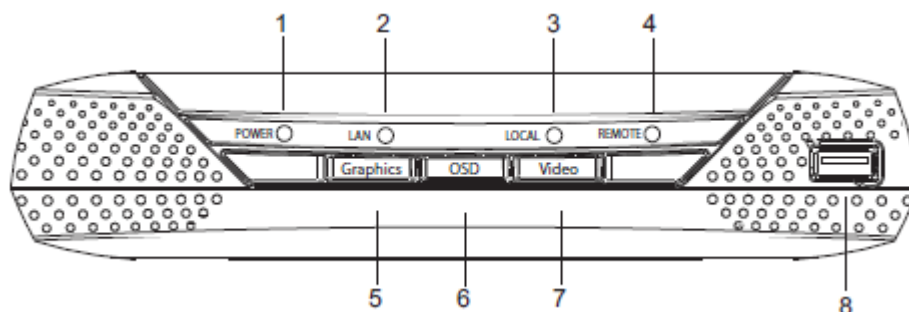


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報 (ユーザーネーム/パスワード) を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオポート   | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクrophonを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | 電源ジャック     | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Auto</b> (オート/初期位置) - ローカル (トランスミッター) 側とリモート (レシーバー) 側とで、コンピューターの KVM 操作権を共有します (両側から同時アクセス可能)*。</li> <li>◆ <b>RS-232 Configure</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。IP-KVM アクセスコントロールボックス (2XRT-0015G) を接続すると、接続レシーバーの操作権限を有効/無効にすることができます。</li> <li>◆ <b>Local</b> (ローカル) - 操作権はトランスミッター側にのみ与えられ、レシーバー側は閲覧のみとなります。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「Auto」(オート) モードの場合、RS-232 およびオーディオの各機能はレシーバー側では動作しますが、トランスミッター側では動作しないので、ご注意ください。</p> |
| 6   | RS-232 ポート  | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 7   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 8   | LAN ポート     | <p>LAN ケーブルを接続します。</p> <p>このポートは PoE 対応*のため、冗長電源やケーブル管理を行うことができます。</p> <p><b>注意:</b>PoE 経由の冗長電源には、バージョン B01G 以降の電源ボードが必要です (詳細は p.103「PoE による冗長電源」を参照してください)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 9   | SFP スロット    | ギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで、この部分から LAN に接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 10  | DVI-D 出力    | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 11  | 電源ジャック      | 冗長電源用にサブ電源を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

## KE6920R/KE6922R(レシーバー)フロントパネル

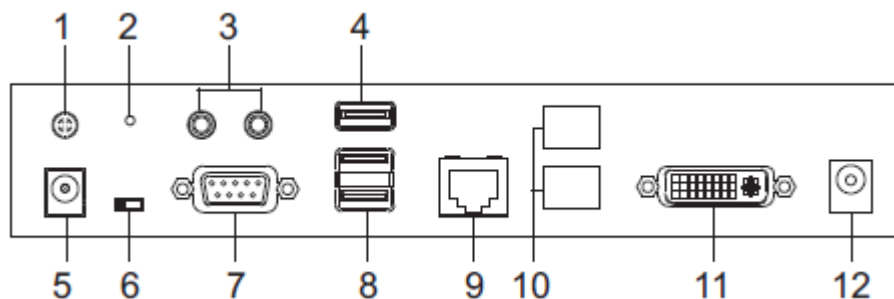


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 電源 LED     | 電源が入っている場合、ブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2   | LAN LED    | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <p>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> <p>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</p> |
| 3   | ローカル LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がトランスミッター側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                |
| 4   | リモート LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がレシーバー側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                   |
| 5   | グラフィックスボタン | <p>表示画質を可能な限り最高のレベルまで引き上げ、画質を最適化します。このトグルボタンは、ビデオボタンのオプションを OFF にします。</p> <p>デフォルトではグラフィックスモードが選択されています。</p>                                                                                                                                                    |
| 6   | OSD ボタン    | このボタンを押すと、OSD を起動します。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 7   | ビデオボタン     | 表示画質を映像再生に最適なレベルに設定します。このトグルボタンはグラフィックスボタンのオプションを OFF にします。                                                                                                                                                                                                     |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8   | USB ポート | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>2. この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |

## KE6920R/KE6922R(レシーバー)リアパネル



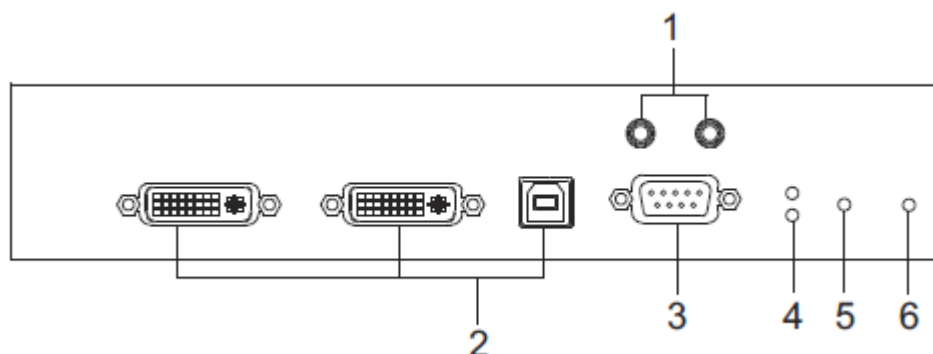
| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | USB ポート    | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.196「USB Mode(USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>2. この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol>                                                                      |

(表は次のページに続きます)



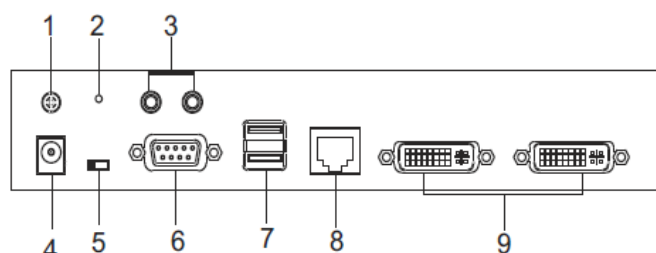
| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                        |
|-----|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5   | 電源ジャック      | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                     |
| 6   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <p>◆ <b>Extension</b> (拡張/初期位置) - 通常の TX/RX 拡張モードが使用可能な状態にします。</p> <p>◆ <b>RS-232 Config</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。</p> |
| 7   | RS-232 ポート  | シリアルターミナル接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                           |
| 8   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。キーボードやマウスの特殊機能を使用する場合は、4 の USB ポートへ接続し、p.196「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。                                                                                    |
| 9   | LAN ポート     | <p>LAN ケーブルを接続します。</p> <p>このポートは PoE 対応*のため、冗長電源やケーブル管理を行うことができます。</p> <p><b>注意:</b> PoE 経由の冗長電源には、バージョン B01G 以降の電源ボードが必要です (詳細は p.103「PoE による冗長電源」を参照してください)。</p>                        |
| 10  | SFP スロット    | ギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで、この部分から LAN に接続します。                                                                                                                                          |
| 11  | DVI-D 出力    | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                           |
| 12  | 電源ジャック      | 冗長電源用にサブ電源を接続します。                                                                                                                                                                         |

## KE6940T(トランスミッター)フロントパネル



| No. | 名称                             | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | オーディオ入力ポート                     | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2   | KVM ポートセクション                   | 製品同梱の USB タイプの KVM ケーブルをこれらのポートに接続して、コンピューターと接続します。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 3   | RS-232 シリアルポート<br>(DB-9 ピン メス) | レシーバー側でシリアル機器を使用する場合は、ストレートケーブル (オス - メス) でコンピューターと接続してください。                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 4   | リモート/ローカル LED<br>(グリーン)        | コンピューターの KVM 操作がローカル側またはリモート側のどちらにあるかを点灯状態で表します。                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 5   | LAN LED                        | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> </li> <li>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</li> </ul> |
| 6   | 電源 LED                         | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## KE6940T(トランスミッター)リアパネル

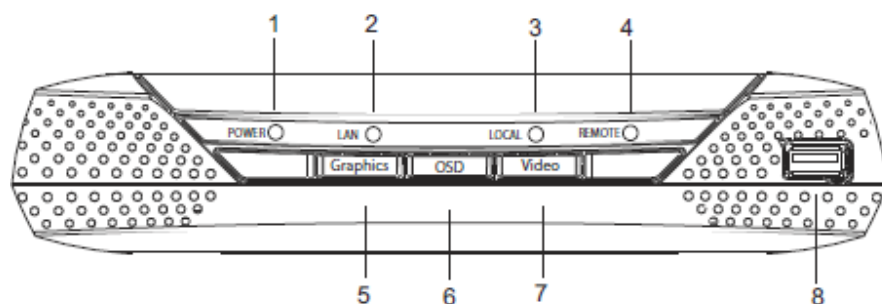


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | 電源ジャック     | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Auto</b> (オート/初期位置) - ローカル (トランスミッター) 側とリモート (レシーバー) 側とで、コンピューターの KVM 操作権を共有します (両側から同時アクセス可能)*。</li> <li>◆ <b>RS-232 Config</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。IP-KVM アクセスコントロールボックス (2XRT-0015G) を接続すると、接続レシーバーの操作権限を有効/無効にすることができます。</li> <li>◆ <b>Local</b> (ローカル) - 操作権はトランスミッター側にのみ与えられ、レシーバー側は閲覧のみとなります。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「Auto」(オート)モードの場合、RS-232 およびオーディオの各機能はレシーバー側では動作しますが、トランスミッター側では動作しないので、ご注意ください。</p> |
| 6   | RS-232 ポート  | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 7   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 8   | LAN ポート     | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 9   | DVI-I 出力    | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

## KE6940R(レシーバー)フロントパネル

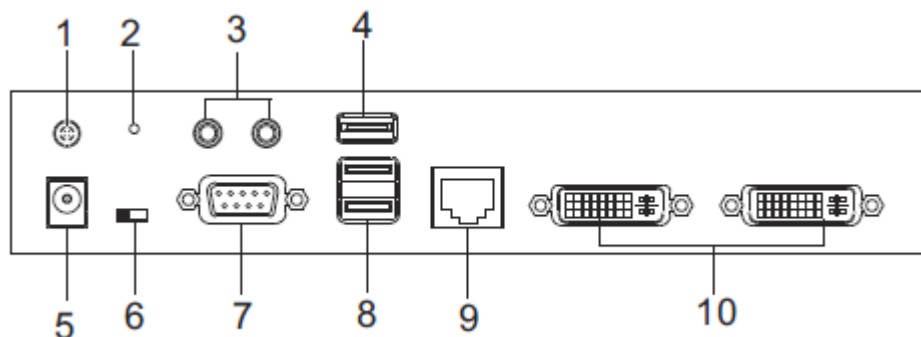


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 電源 LED     | 電源が入っている場合、ブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2   | LAN LED    | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> </li> <li>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</li> </ul> |
| 3   | ローカル LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がトランスミッター側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | リモート LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がレシーバー側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 5   | グラフィックスボタン | 表示画質を可能な限り最高のレベルまで引き上げ、画質を最適化します。このトグルボタンは、ビデオボタンのオプションを OFF にします。デフォルトではグラフィックスモードが選択されています。                                                                                                                                                                                                                 |
| 6   | OSD ボタン    | このボタンを押すと、OSD を起動します。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 7   | ビデオボタン     | 表示画質を映像再生に最適なレベルに設定します。このトグルボタンはグラフィックスボタンのオプションを OFF にします。                                                                                                                                                                                                                                                   |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8   | USB ポート | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>2. この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |

## KE6940R(レシーバー)リアパネル



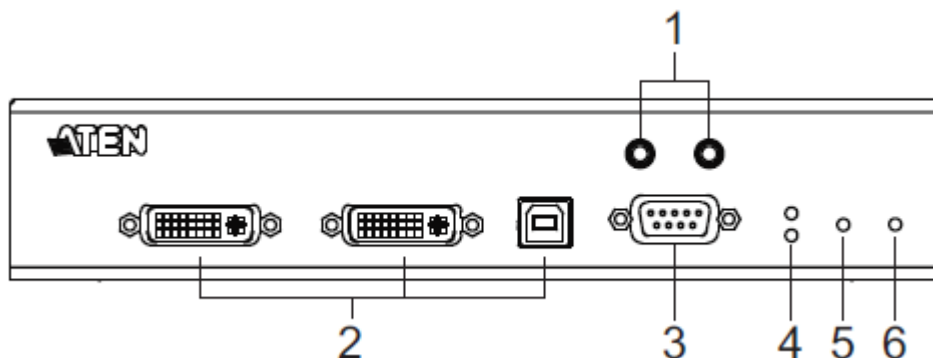
| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4   | USB ポート     | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>2. この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |
| 5   | 電源ジャック      | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 6   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <p>◆ <b>Extension</b> (拡張/初期位置) - 通常の TX/RX 拡張モードが使用可能な状態にします。</p> <p>◆ <b>RS-232 Config</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。</p>                                                                                                                                   |
| 7   | RS-232 ポート  | シリアルターミナル接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 8   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。キーボードやマウスの特殊機能を使用する場合は、4 の USB ポートへ接続し、p.196「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。                                                                                                                                                                                                                      |
| 9   | LAN ポート     | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 10  | DVI-I 出力    | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

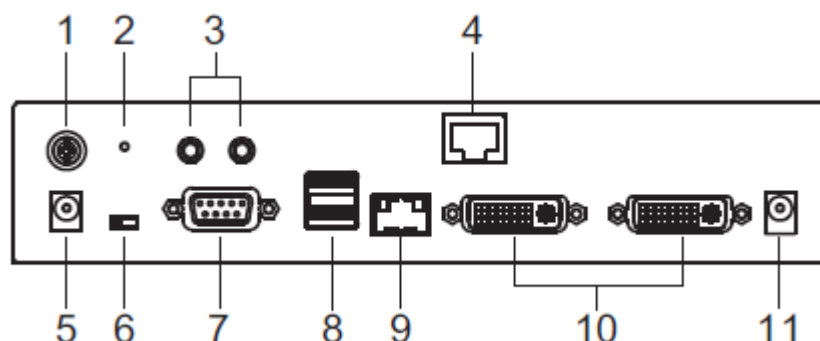


## KE6940AT (トランスミッター) フロントパネル



| No. | 名称                             | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | オーディオ入力ポート                     | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクrophonを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2   | KVM ポートセクション                   | 製品同梱の USB タイプの KVM ケーブルと DVI ケーブルをこれらのポートに接続して、コンピュータと接続します。                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 3   | RS-232 シリアルポート<br>(DB-9 ピン メス) | レシーバー側でシリアル機器を使用する場合は、ストレートケーブル (オス - メス) でコンピュータと接続してください。                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 4   | リモート/ローカル LED<br>(グリーン)        | コンピュータの KVM 操作がローカル側またはリモート側のどちらにあるかを点灯状態で表します。                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 5   | LAN LED                        | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> </li> <li>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</li> </ul> |
| 6   | 電源 LED                         | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## KE6940AT(トランスミッター)リアパネル

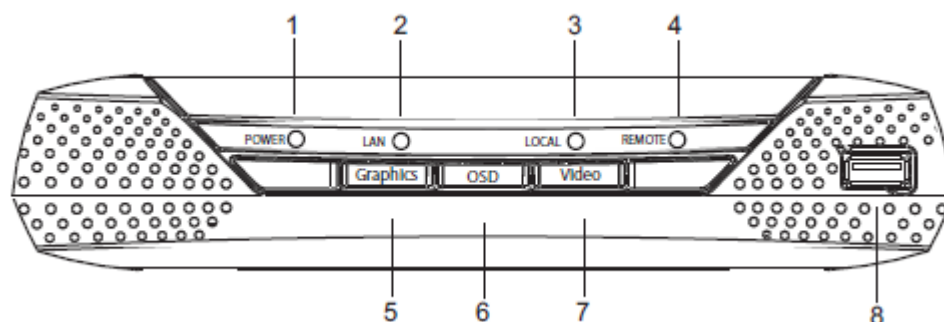


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクروفンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | LAN ポート    | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 5   | 電源ジャック     | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Auto</b> (オート/初期位置) - ローカル (トランスミッター) 側とリモート (レシーバー) 側とで、コンピューターの KVM 操作権を共有します (両側から同時アクセス可能)*。</li> <li>◆ <b>RS-232 Config</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。IP-KVM アクセスコントロールボックス (2XRT-0015G) を接続すると、接続レシーバーの操作権限を有効/無効にすることができます。</li> <li>◆ <b>Local</b> (ローカル) - 操作権はトランスミッター側にのみ与えられ、レシーバー側は閲覧のみとなります。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「Auto」(オート)モードの場合、RS-232 およびオーディオの各機能はレシーバー側では動作しますが、トランスミッター側では動作しないので、ご注意ください。</p> |
| 7   | RS-232 ポート  | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 8   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 9   | SFP スロット    | ギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで、この部分から LAN に接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 10  | DVI-I 出力    | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 11  | 電源ジャック      | 冗長電源用にサブ電源を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

## KE6940AR(レシーバー)フロントパネル

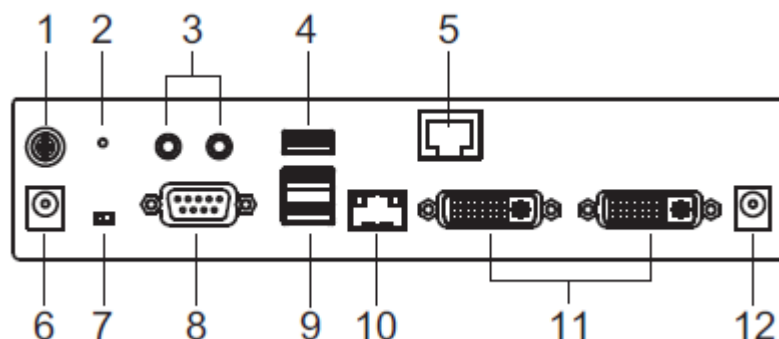


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 電源 LED     | 電源が入っている場合、ブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2   | LAN LED    | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> </li> <li>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</li> </ul> |
| 3   | ローカル LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がトランスミッター側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | リモート LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がレシーバー側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 5   | グラフィックスボタン | 表示画質を可能な限り最高のレベルまで引き上げ、画質を最適化します。このトグルボタンは、ビデオボタンのオプションを OFF にします。デフォルトではグラフィックスモードが選択されています。                                                                                                                                                                                                                 |
| 6   | OSD ボタン    | このボタンを押すと、OSD を起動します。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 7   | ビデオボタン     | 表示画質を映像再生に最適なレベルに設定します。このトグルボタンはグラフィックスボタンのオプションを OFF にします。                                                                                                                                                                                                                                                   |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8   | USB ポート | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>2. この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |

## KE6940AR(レシーバー)リアパネル

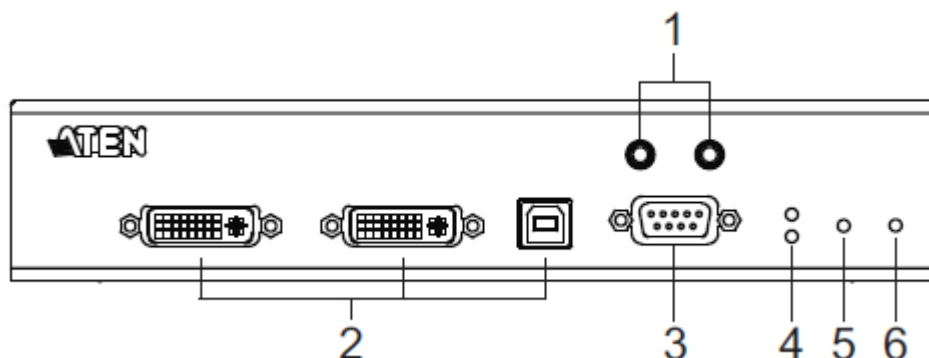


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4   | USB ポート     | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>2. この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |
| 5   | SFP スロット    | ギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで、この部分から LAN に接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 6   | 電源ジャック      | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 7   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Extension</b> (拡張/初期位置) - 通常の TX/RX 拡張モードが使用可能な状態にします。</li> <li>◆ <b>RS-232 Config</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。</li> </ul>                                                                                      |
| 8   | RS-232 ポート  | シリアルターミナル接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 9   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。キーボードやマウスの特殊機能を使用する場合は、4 の USB ポートへ接続し、p.196「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。                                                                                                                                                                                                                      |
| 10  | LAN ポート     | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 11  | DVI-I 出力    | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 12  | 電源ジャック      | 冗長電源用にサブ電源を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

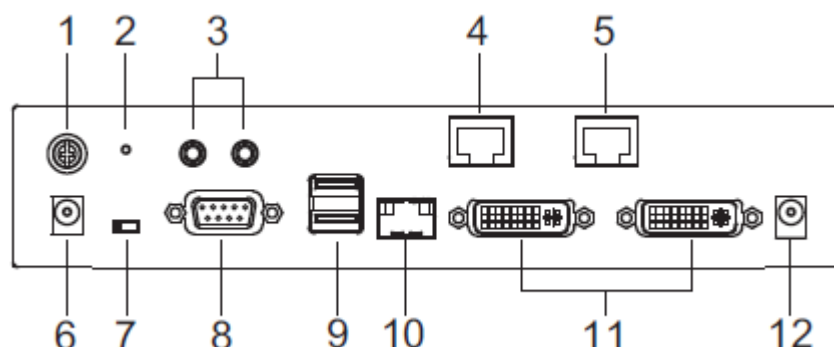
## KE6940AiT (トランスミッター) フロントパネル



| No. | 名称                             | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | オーディオ入力ポート                     | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクrophonを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2   | KVM ポートセクション                   | 製品同梱の USB タイプの KVM ケーブルと DVI ケーブルをこれらのポートに接続して、コンピュータと接続します。                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 3   | RS-232 シリアルポート<br>(DB-9 ピン メス) | レシーバー側でシリアル機器を使用する場合は、ストレートケーブル (オス - メス) でコンピュータと接続してください。                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 4   | リモート/ローカル LED<br>(グリーン)        | コンピュータの KVM 操作がローカル側またはリモート側のどちらにあるかを点灯状態で表します。                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 5   | LAN LED                        | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> </li> <li>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</li> </ul> |
| 6   | 電源 LED                         | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |



## KE6940AiT (トランスミッター) リアパネル

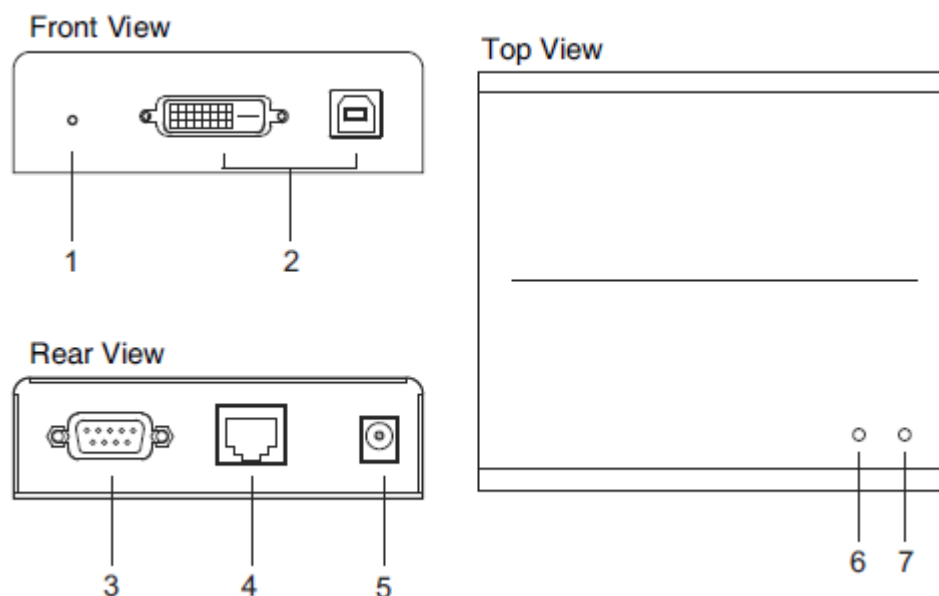


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報 (ユーザーネーム/パスワード) を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 4   | LAN ポート    | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 5   | インターネットポート | インターネットにつながっているイーサネットケーブルを接続すると、Web インターフェースへのアクセスが可能になります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 6   | 電源ジャック     | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Auto</b> (オート/初期位置) - ローカル (トランスミッター) 側とリモート (レシーバー) 側とで、コンピューターの KVM 操作権を共有します (両側から同時アクセス可能)*。</li> <li>◆ <b>RS-232 Config</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。IP-KVM アクセスコントロールボックス (2XRT-0015G) を接続すると、接続レシーバーの操作権限を有効/無効にすることができます。</li> <li>◆ <b>Local</b> (ローカル) - 操作権はトランスミッター側にのみ与えられ、レシーバー側は閲覧のみとなります。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「Auto」(オート)モードの場合、RS-232 およびオーディオの各機能はレシーバー側では動作しますが、トランスミッター側では動作しないので、ご注意ください。</p> |
| 8   | RS-232 ポート  | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 9   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 10  | SFP スロット    | ギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで、この部分から LAN に接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 11  | DVI-I 出力    | DVI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 12  | 電源ジャック      | 冗長電源用にサブ電源を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

## KE6900ST (トランスミッター) フロント/リア/トップパネル

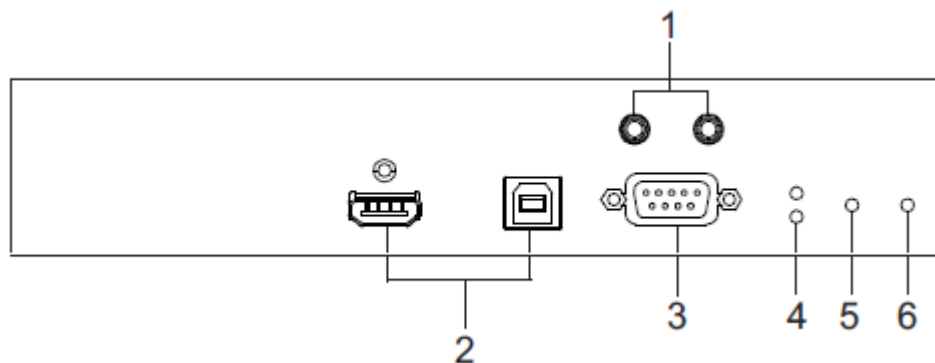


| No. | 名称           | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | リセット         | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 2   | KVM ポートセクション | <p>製品同梱の USB タイプの KVM ケーブルをこれらのポートに接続して、コンピューターと接続します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

(表は次のページに続きます)

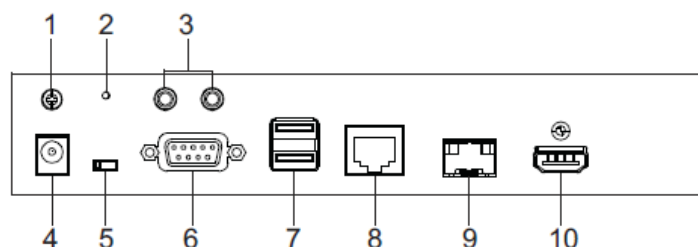
| No. | 名称                             | 説明                                                                                                                                                                                    |
|-----|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3   | RS-232 シリアルポート<br>(DB-9 ピン メス) | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。<br><b>注意:</b> LAN 接続が検出されると、シリアルコマンドは KE6900ST にバイパスされ、ネットワーク経由でレシーバーに送信されます。LAN 接続が検出されないと、シリアルコマンドは、ローカルで設定や操作を行うものとして自動的に KE6900ST に送られます。            |
| 4   | LAN ポート                        | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                       |
| 5   | 電源ジャック                         | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                 |
| 6   | LAN LED                        | ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。<br>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。<br>➤ オレンジ: 10Mbps<br>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps<br>➤ グリーン: 1000Mbps<br>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。 |
| 7   | 電源 LED                         | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                   |

## KE8950T/KE8952T (トランスミッター) フロントパネル



| No. | 名称                             | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | オーディオ入力ポート                     | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2   | KVM ポートセクション                   | 製品同梱の USB タイプの KVM ケーブルをこれらのポートに接続して、コンピューターと接続します。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 3   | RS-232 シリアルポート<br>(DB-9 ピン メス) | レシーバー側でシリアル機器を使用する場合は、ストレートケーブル (オス - メス) でコンピューターと接続してください。                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 4   | リモート/ローカル LED<br>(グリーン)        | コンピューターの KVM 操作がローカル側またはリモート側のどちらにあるかを点灯状態で表します。                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 5   | LAN LED                        | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> </li> <li>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</li> </ul> |
| 6   | 電源 LED                         | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## KE8950T/KE8952T (トランスミッター) リアパネル

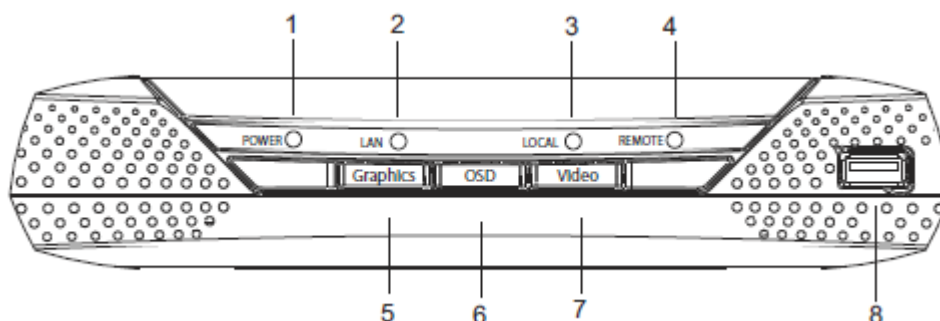


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | 電源ジャック     | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Auto</b> (オート/初期位置) - ローカル (トランスミッター) 側とリモート (レシーバー) 側とで、コンピューターの KVM 操作権を共有します (両側から同時アクセス可能)。</li> <li>◆ <b>RS-232 Config</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。IP-KVM アクセスコントロールボックス (2XRT-0015G) を接続すると、接続レシーバーの操作権限を有効/無効にすることができます。</li> <li>◆ <b>Local</b> (ローカル) - 操作権はトランスミッター側にのみ与えられ、レシーバー側は閲覧のみとなります。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「Auto」(オート) モードの場合、RS-232 およびオーディオの各機能はレシーバー側では動作しますが、トランスミッター側では動作しないので、ご注意ください。</p> |
| 6   | RS-232 ポート  | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 7   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 8   | LAN ポート     | <p>LAN ケーブルを接続します。</p> <p>このポートは PoE 対応*のため、冗長電源やケーブル管理を行うことができます。</p> <p><b>注意:</b> PoE 経由の冗長電源には、バージョン B01G 以降の電源ボードが必要です (詳細は p.103「PoE による冗長電源」を参照してください)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 9   | SFP ポート     | 本体を LAN につなぐ GbE 光ファイバーケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 10  | HDMI 出力     | HDMI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

## KE8950R/KE8952R(レシーバー)フロントパネル



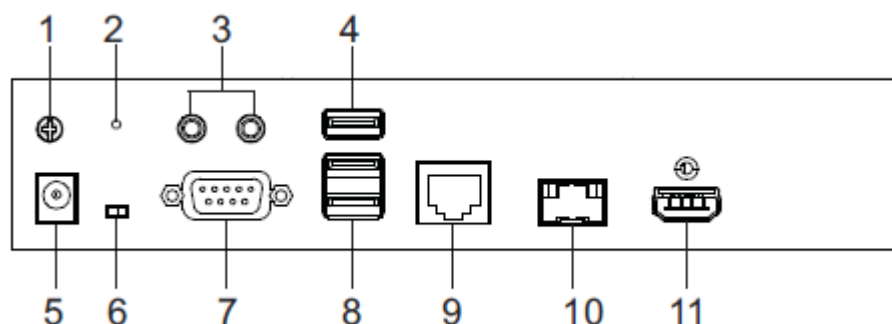
| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                    |
|-----|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 電源 LED     | 電源が入っている場合、ブルーに点灯します。                                                                                                                                                                 |
| 2   | LAN LED    | ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。<br>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。<br>➤ オレンジ: 10Mbps<br>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps<br>➤ グリーン: 1000Mbps<br>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。 |
| 3   | ローカル LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がトランスミッター側にあることを表します。                                                                                                                                      |
| 4   | リモート LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がレシーバー側にあることを表します。                                                                                                                                         |
| 5   | グラフィックスボタン | 表示画質を可能な限り最高のレベルまで引き上げ、画質を最適化します。このトグルボタンは、ビデオボタンのオプションを OFF にします。デフォルトではグラフィックスモードが選択されています。                                                                                         |
| 6   | OSD ボタン    | このボタンを押すと、OSD を起動します。                                                                                                                                                                 |
| 7   | ビデオボタン     | 表示画質を映像再生に最適なレベルに設定します。このトグルボタンはグラフィックスボタンのオプションを OFF にします。                                                                                                                           |

(表は次のページに続きます)



| No. | 名称      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8   | USB ポート | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>2. この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |

## KE8950R/KE8952R(レシーバー)リアパネル

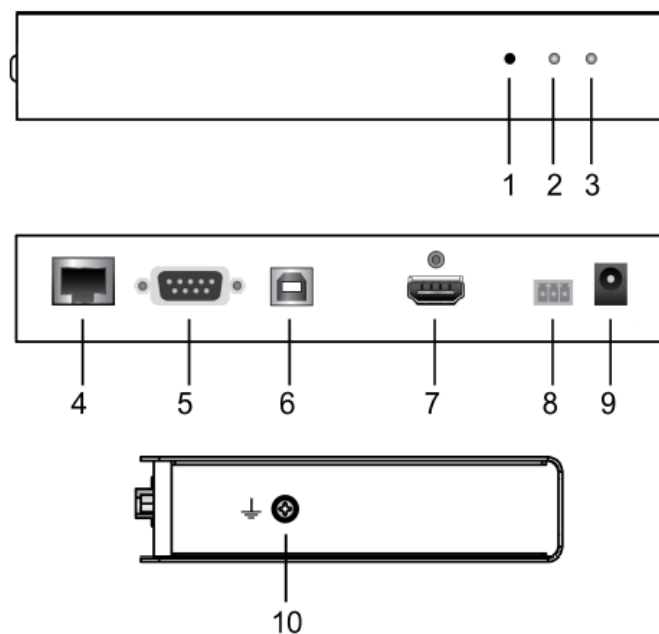


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4   | USB ポート     | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |
| 5   | 電源ジャック      | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 6   | ファンクションスイッチ | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Extension</b> (拡張/初期位置) - 通常の TX/RX 拡張モードが使用可能な状態にします。</li> <li>◆ <b>RS-232 Config</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。</li> </ul>                                                                                |
| 7   | RS-232 ポート  | シリアルターミナル接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 8   | コンソールポート    | USB キーボード・マウスを接続します。キーボードやマウスの特殊機能を使用する場合は、4 の USB ポートへ接続し、p.196「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。                                                                                                                                                                                                                |
| 9   | LAN ポート     | <p>LAN ケーブルを接続します。</p> <p>このポートは PoE 対応*のため、冗長電源やケーブル管理を行うことができます。</p> <p><b>注意:</b> PoE 経由の冗長電源には、バージョン B01G 以降の電源ボードが必要です (詳細は p.103「PoE による冗長電源」を参照してください)。</p>                                                                                                                                                    |
| 10  | SFP ポート     | 本体を LAN につなぐ GbE 光ファイバーケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 11  | HDMI 出力     | HDMI モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

## KE8900ST(トランスミッター)フロント/リア/トップパネル

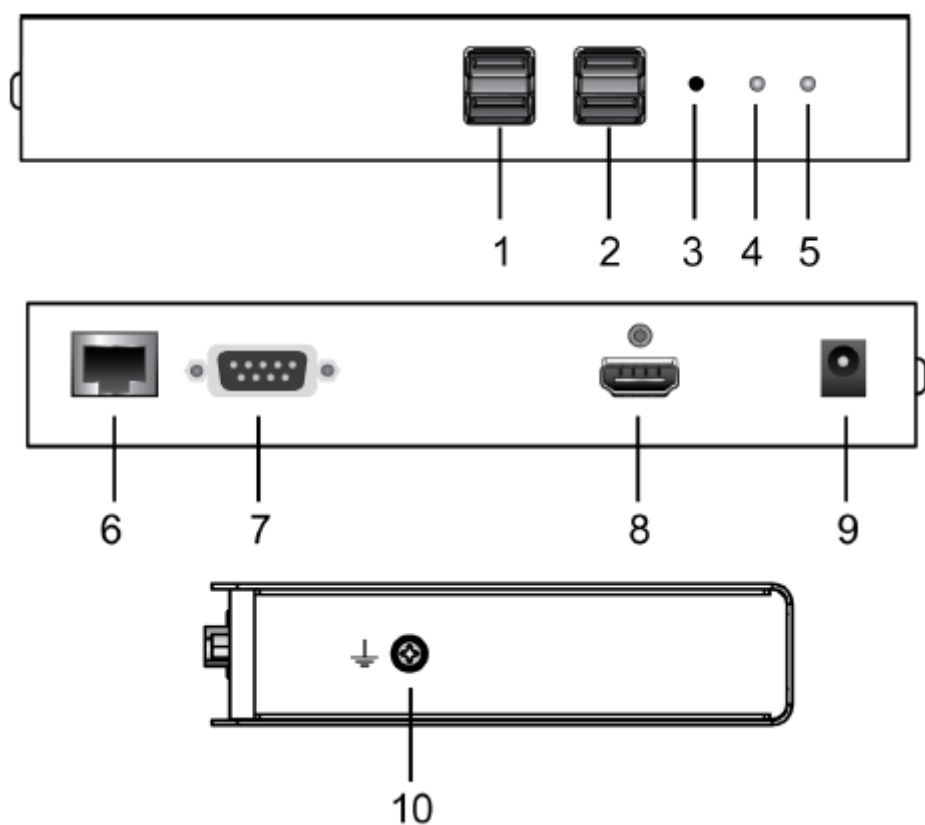


| No. | 名称   | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | リセット | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称                             | 説明                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2   | LAN LED                        | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <p>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> <p>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</p> |
| 3   | 電源 LED                         | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                             |
| 4   | LAN ポート                        | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 5   | RS-232 シリアルポート<br>(DB-9 ピン メス) | <p>シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。</p> <p><b>注意:</b> LAN 接続が検出されると、シリアルコマンドは KE8900ST にバイパスされ、ネットワーク経由でレシーバーに送信されます。LAN 接続が検出されないと、シリアルコマンドは、ローカルで設定や操作を行うものとして自動的に KE8900ST に送られます。</p>                                                                           |
| 6   | USB Type-B ポート                 | コンピューターとの接続を行う USB ポートです。                                                                                                                                                                                                                                       |
| 7   | HDMI 入力ポート                     | ローカル HDMI モニターのケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                      |
| 8   | 3 極ターミナルブロック                   | DC + およびーのワイヤー (DC 12~48V) を電源入力用のターミナルブロックに接続します。                                                                                                                                                                                                              |
| 9   | 電源ジャック                         | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 10  | グラウンドターミナル                     | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                             |

## KE8900SR(レシーバー)フロント/リア/トップパネル

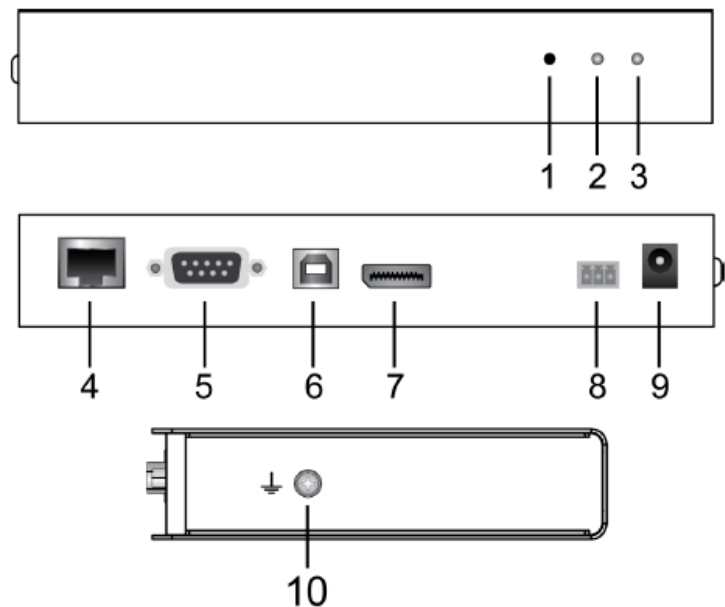


| No. | 名称       | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | USB ポート  | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |
| 2   | コンソールポート | このユニットで使用する USB キーボードと USB マウスを接続するポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                             |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称                             | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3   | リセット                           | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 4   | LAN LED                        | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> </li> <li>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</li> </ul>                                                                                    |
| 5   | 電源 LED                         | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 6   | LAN ポート                        | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 7   | RS-232 シリアルポート<br>(DB-9 ピン メス) | <p>シリアル制御用にコンピューターと接続する RS-232 シリアルポートです。</p> <p><b>注意:</b> LAN 接続が検出されると、シリアルコマンドは KE8900SR にバイパスされ、ネットワーク経由でレシーバーに送信されます。LAN 接続が検出されないと、シリアルコマンドは、ローカルで設定や操作を行うものとして自動的に KE8900SR に送られます。</p>                                                                                                                                                                                                  |
| 8   | HDMI 出力ポート                     | ローカル HDMI モニターのケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 9   | 電源ジャック                         | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 10  | グラウンドターミナル                     | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

KE9900ST (トランスミッター) フロント/リア/トップパネル



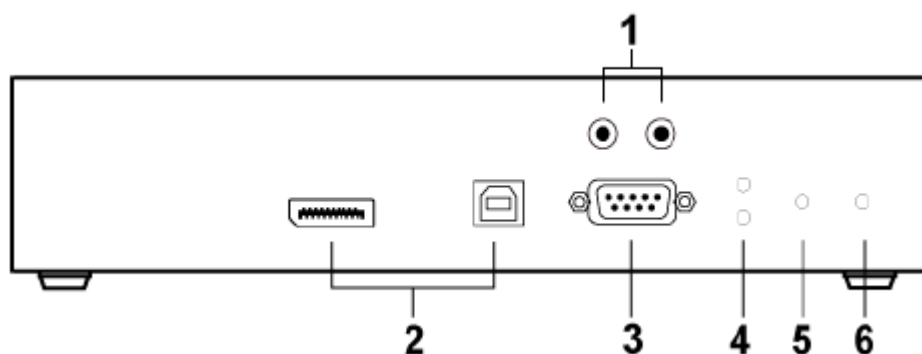
| No. | 名称   | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | リセット | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li><li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li><li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li></ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |

(表は次のページに続きます)



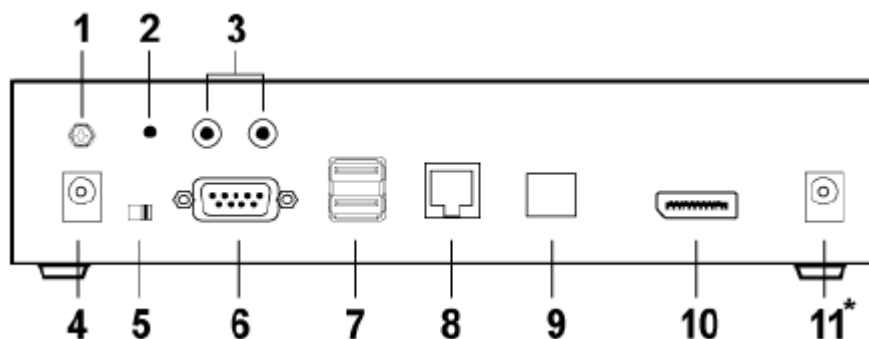
| No. | 名称                             | 説明                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2   | LAN LED                        | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <p>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> <p>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</p> |
| 3   | 電源 LED                         | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                             |
| 4   | LAN ポート                        | LAN ケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 5   | RS-232 シリアルポート<br>(DB-9 ピン メス) | <p>シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。</p> <p><b>注意:</b> LAN 接続が検出されると、シリアルコマンドは KE9900ST にバイパスされ、ネットワーク経由でレシーバーに送信されます。LAN 接続が検出されないと、シリアルコマンドは、ローカルで設定や操作を行うものとして自動的に KE9900ST に送られます。</p>                                                                           |
| 6   | USB Type-B ポート                 | コンピューターとの接続を行う USB ポートです。                                                                                                                                                                                                                                       |
| 7   | DisplayPort 入力ポート              | ローカル DisplayPort モニターのケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                               |
| 8   | 3 極ターミナルブロック                   | DC + およびーのワイヤー (DC 12~48V) を電源入力用のターミナルブロックに接続します。                                                                                                                                                                                                              |
| 9   | 電源ジャック                         | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                           |
| 10  | グラウンドターミナル                     | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                             |

## KE9950T/KE9952T (トランスミッター) フロントパネル



| No. | 名称                             | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | オーディオ入力ポート                     | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2   | KVM ポートセクション                   | 製品同梱の USB タイプの KVM ケーブルをこれらのポートに接続して、コンピューターと接続します。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 3   | RS-232 シリアルポート<br>(DB-9 ピン メス) | レシーバー側でシリアル機器を使用する場合は、ストレートケーブル (オス - メス) でコンピューターと接続してください。                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 4   | リモート/ローカル LED<br>(グリーン)        | コンピューターの KVM 操作がローカル側またはリモート側のどちらにあるかを点灯状態で表します。                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 5   | LAN LED                        | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> </li> <li>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</li> </ul> |
| 6   | 電源 LED                         | 本体に電源が入るとブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

## KE9950T/KE9952T (トランスミッター) リアパネル

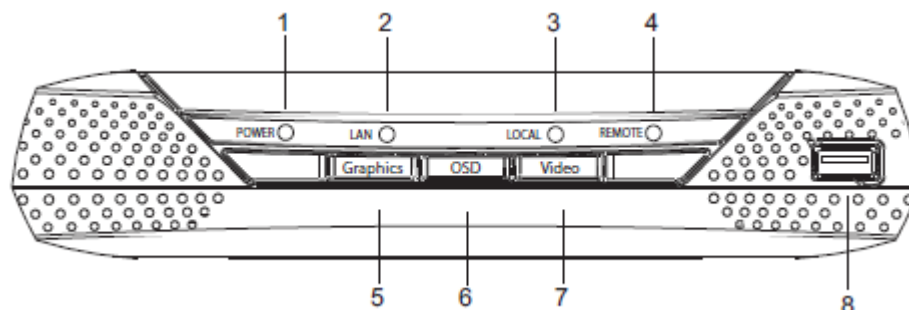


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | 電源ジャック     | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称                     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5   | ファンクションスイッチ            | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Auto</b> (オート/初期位置) - ローカル (トランスミッター) 側とリモート (レシーバー) 側とで、コンピューターの KVM 操作権を共有します (両側から同時アクセス可能)。</li> <li>◆ <b>RS-232 Config/Access Control</b> (RS-232 設定/アクセス制御) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。IP-KVM アクセスコントロールボックス (2XRT-0015G) を接続すると、接続レシーバーの操作権限を有効/無効にすることができます。</li> <li>◆ <b>Local</b> (ローカル) - 操作権はトランスミッター側にのみ与えられ、レシーバー側は閲覧のみとなります。</li> </ul> <p><b>注意:</b>「Auto」(オート) モードの場合、RS-232 およびオーディオの各機能はレシーバー側では動作しますが、トランスミッター側では動作しないので、ご注意ください。</p> |
| 6   | RS-232 ポート             | シリアル機器接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 7   | コンソールポート               | USB キーボード・マウスを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 8   | LAN ポート                | <p>LAN ケーブルを接続します。</p> <p>このポートは PoE 対応*のため、冗長電源やケーブル管理を行うことができます。</p> <p><b>注意:</b> PoE 経由の冗長電源には、バージョン B01G 以降の電源ボードが必要です (詳細は p.103「PoE による冗長電源」を参照してください)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 9   | SFP スロット               | 本体を LAN につなぐ GbE 光ファイバーケーブルを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 10  | DisplayPort 出力         | DisplayPort モニターを接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 11  | 電源ジャック<br>(KE9950T のみ) | 冗長電源用にサブ電源を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

## KE9950R/KE9952R(レシーバー)フロントパネル

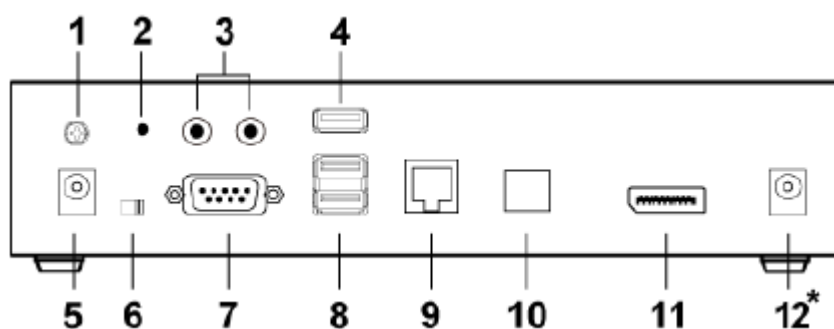


| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 電源 LED     | 電源が入っている場合、ブルーに点灯します。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 2   | LAN LED    | <p>ネットワークの状態を次の点灯状態で表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅します。状態を表す色は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ オレンジ: 10Mbps</li> <li>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps</li> <li>➤ グリーン: 1000Mbps</li> </ul> </li> <li>◆ LAN に接続していない場合は、OFF になります。</li> </ul> |
| 3   | ローカル LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がトランスミッター側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | リモート LED   | グリーンに点灯した時は、コンピューターの KVM 操作がレシーバー側にあることを表します。                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 5   | グラフィックスボタン | 表示画質を可能な限り最高のレベルまで引き上げ、画質を最適化します。このトグルボタンは、ビデオボタンのオプションを OFF にします。デフォルトではグラフィックスモードが選択されています。                                                                                                                                                                                                                 |
| 6   | OSD ボタン    | このボタンを押すと、OSD を起動します。                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 7   | ビデオボタン     | 表示画質を映像再生に最適なレベルに設定します。このトグルボタンはグラフィックスボタンのオプションを OFF にします。                                                                                                                                                                                                                                                   |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8   | USB ポート | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>2. この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol> |

## KE9950R/KE9952R(レシーバー)リアパネル



| No. | 名称         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | グラウンドターミナル | 製品本体を接地する接地線を接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | リセット       | <p>このスイッチは、クリップやボールペンのような先の尖った物を使って押してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ このボタンを押して離すと、ユニットを再起動します。</li> <li>◆ 3 秒以上長押しすると、工場出荷時のデフォルト設定に戻します*。</li> <li>◆ ファームウェアアップグレードの失敗から回復するには、このボタンを押したままユニットの電源を OFF にし、その後ボタンを押したまま電源を再投入します。</li> </ul> <p><b>注意:</b> 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。</p> |
| 3   | オーディオ出力ポート | ステレオミニジャックのうち、グリーンにはスピーカーを、ピンクにはマイクロフォンを、それぞれ接続します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 4   | USB ポート    | <p>バーチャルメディアや USB デバイス用に使用します。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>このポートに USB ストレージデバイスを接続して使用する場合は、p.85「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。</li> <li>この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</li> </ol>                                                                            |

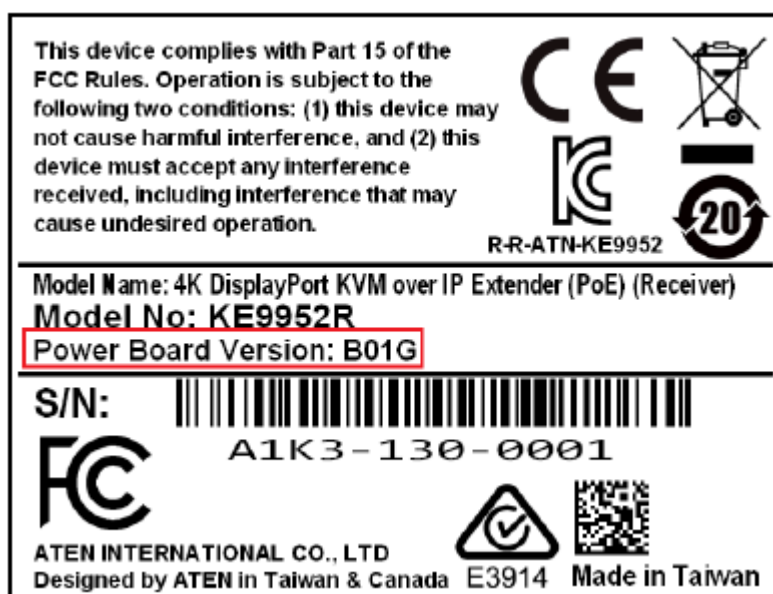
(表は次のページに続きます)

| No. | 名称                     | 説明                                                                                                                                                                                        |
|-----|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5   | 電源ジャック                 | 電源アダプターのケーブル部分を接続します。                                                                                                                                                                     |
| 6   | ファンクションスイッチ            | <p>ユニットのモードを設定するには、このスライドスイッチを使用してください。</p> <p>◆ <b>Extension</b> (拡張/初期位置) - 通常の TX/RX 拡張モードが使用可能な状態にします。</p> <p>◆ <b>RS-232 Config</b> (RS-232 設定) - RS-232 ポート経由でシリアル接続を行う際に設定します。</p> |
| 7   | RS-232 ポート             | シリアルターミナル接続用の RS-232 シリアルポートです。                                                                                                                                                           |
| 8   | コンソールポート               | USB キーボード・マウスを接続します。キーボードやマウスの特殊機能を使用する場合は、4 の USB ポートへ接続し、p.196「USB Mode (USB モード)」をご参照の上、設定を行ってください。                                                                                    |
| 9   | LAN ポート                | <p>LAN ケーブルを接続します。</p> <p>このポートは PoE 対応*のため、冗長電源やケーブル管理を行うことができます。</p> <p><b>注意:</b> PoE 経由の冗長電源には、バージョン B01G 以降の電源ボードが必要です (詳細は p.103「PoE による冗長電源」を参照してください)。</p>                        |
| 10  | SFP スロット               | 本体を LAN につなぐ GbE 光ファイバーケーブルを接続します。                                                                                                                                                        |
| 11  | DisplayPort 出力         | DisplayPort モニターを接続します。                                                                                                                                                                   |
| 12  | 電源ジャック<br>(KE9950R のみ) | 冗長電源用にサブ電源を接続します。                                                                                                                                                                         |



## PoE による冗長電源

PoE 対応モデルで電源を冗長化する場合は、製品本体の底面に「Power Board Version: B01G」と印刷されたラベルが貼られていることをご確認ください。下図は、ラベルの例です。



## 第2章

# ハードウェアセットアップ



1. 機器の設置に際し重要な情報をp.11に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボードに起動機能がついている場合は、コンピューターの電源ケーブルも抜いてください。

### マウント方法

---

トランスミッターは、システムラックや壁の使いやすいところに自由にマウントしてお使いいただけます。

---

**注意:** オプションのラックマウントキットを使った方法でセットアップすることも可能です。詳細については p.112「オプションのラックマウント方法」を参照してください。

また、AiT モデルは、平置きで積み重ねてセットアップするのではなく、適切に排気が行われるようシステムラックまたは壁にマウントすることを推奨します。

---

後続のセクションでは、製品パッケージに同梱されたマウントキットを使ってトランスミッターを取り付ける方法について説明します。

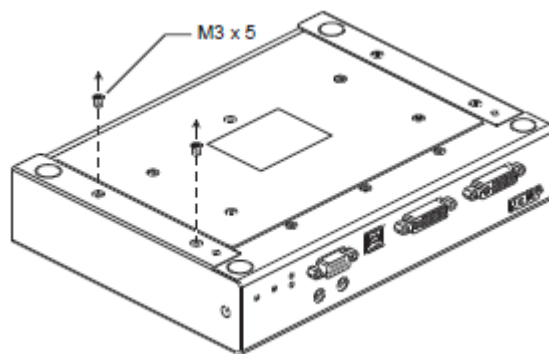
## ブラケットの取付

ユニットにマウント用ブラケットを取り付けるには、次の手順に従って作業を行ってください。

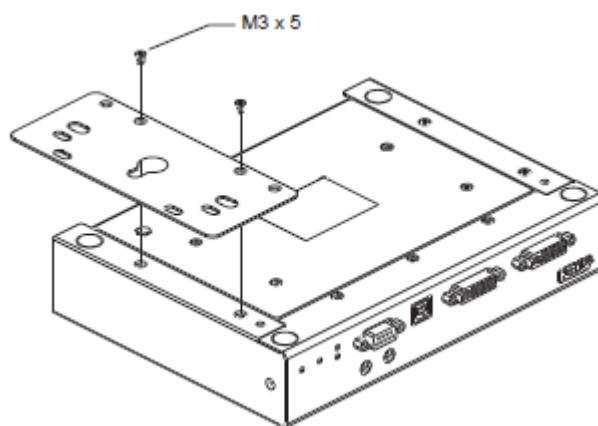
### 非スリムタイプのトランスミッター

**注意:** 非スリムタイプのトランスミッター (KE6900、KE6900A、KE6900AiT、KE6910、KE6912、KE6920、KE6922、KE6940、KE6940A、KE6940AiT、KE8950、KE8952、KE9950、KE9952) は、次に説明する KE6900 の手順と同様に取り付けることができます。

1. ユニットの下面にあるネジを取り外してください。

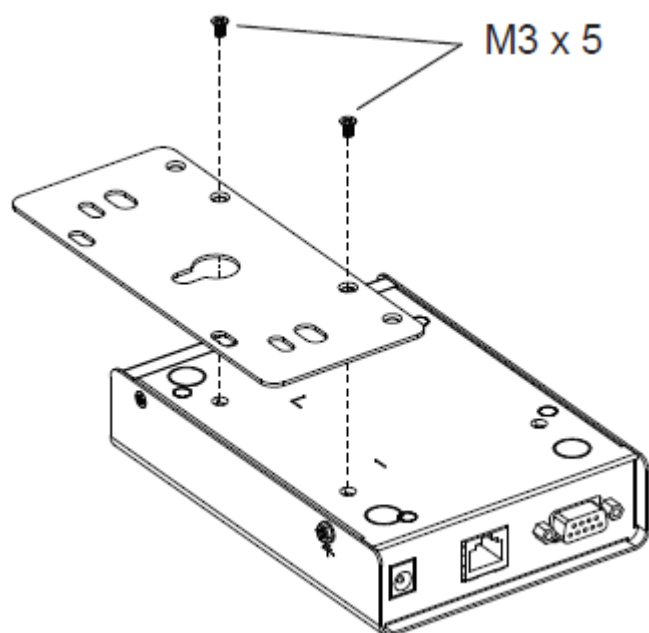


2. トランスミッターの下面の部分に、手順 1 で取り外したネジを使ってマウント用ブラケットを取り付けてください。



### スリムタイプのトランスミッター (KE6900ST)

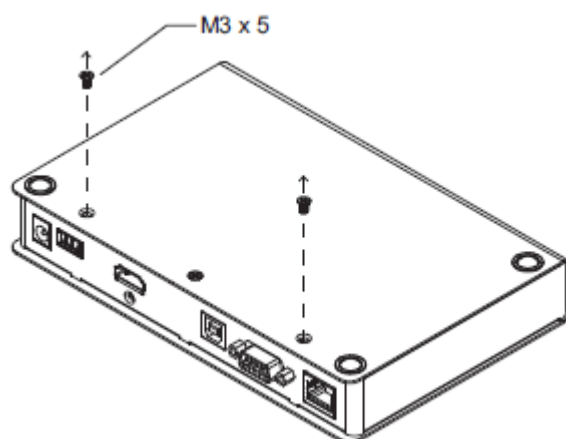
マウントキットに付属しているネジを使用して、下図のようにマウント用ブラケットをトランスミッターの底面に取り付けてください。



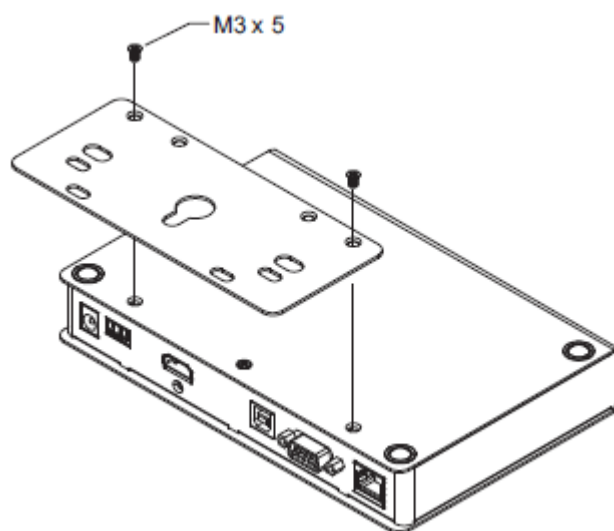
### スリムタイプのトランスミッター (KE8900ST/KE9900ST)

手順説明の図で使用されているのは KE8900ST です。

1. ユニットの下面の部分にあるネジを取り外してください。



2. トランスミッターの下図の部分に、手順 1 で取り外したネジを使ってマウント用ブラケットを取り付けてください。



## ラックマウント

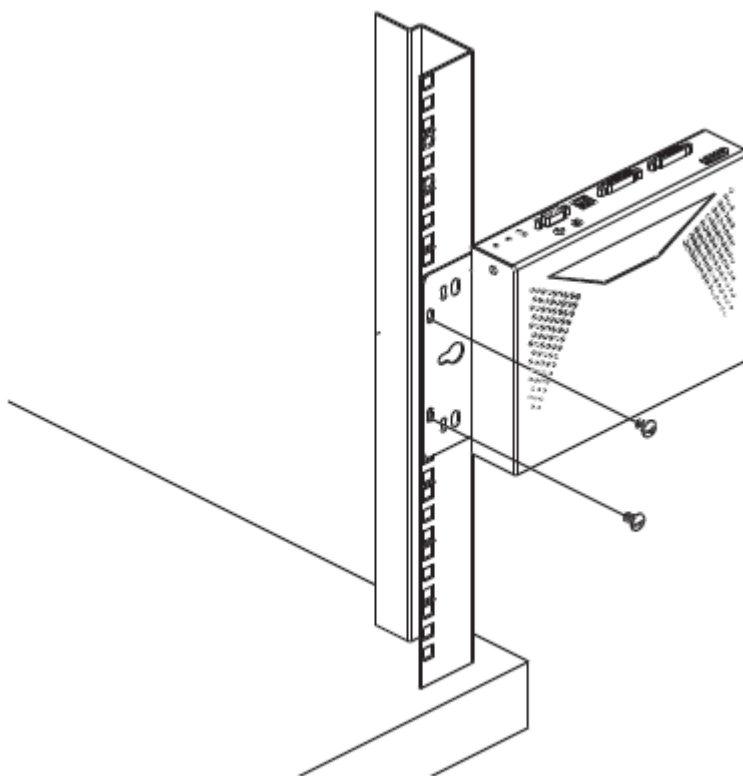
### 非スリムタイプのトランスミッター

---

**注意：** 非スリムタイプのトランスミッター（KE6900、KE6900A、KE6900AiT、KE6910、KE6912、KE6920、KE6922、KE6940、KE6940A、KE6940AiT、KE8950、KE8952、KE9950、KE9952）は、次に説明する KE6900 の手順と同様に取り付けることができます。

---

マウント用ブラケットを、ラックの適当な場所にネジ止めしてください。



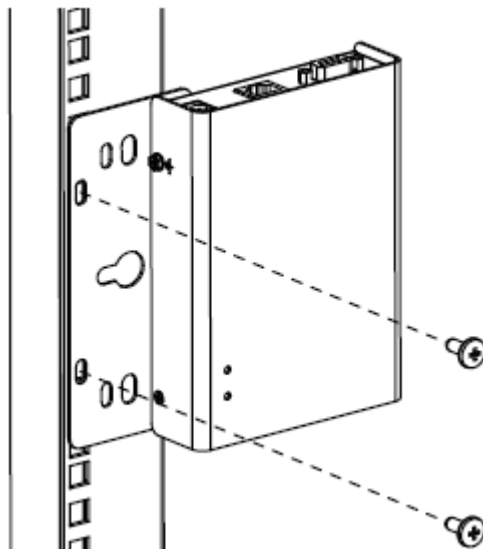
---

**注意：** ラックにブラケットを取り付ける際に必要となるネジは製品には同梱されていません。製品をラックにマウントする場合は、お手数ですが、お使いのシステムラックに適したネジを別途ご用意ください。

---

### スリムタイプのトランスミッター (KE6900ST)

マウント用ブラケットを、ラックの適当な場所にネジ止めしてください。



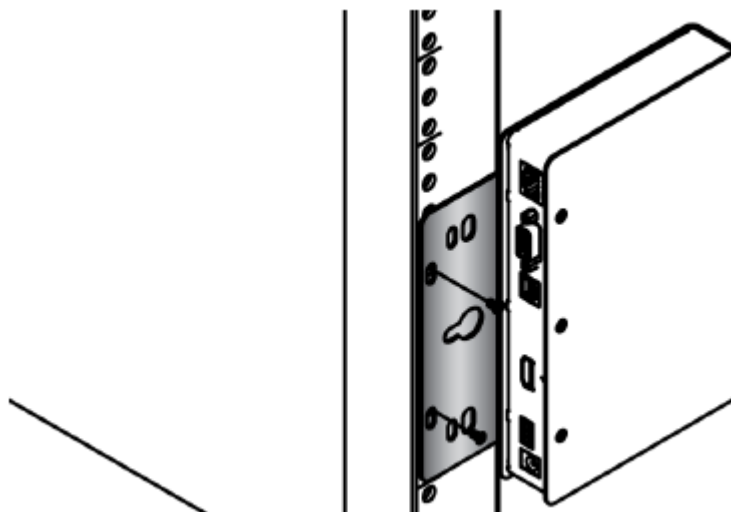
---

**注意:** ラックにブラケットを取り付ける際に必要となるネジは製品には同梱されていません。製品をラックにマウントする場合は、お手数ですが、お使いのシステムラックに適したネジを別途ご用意ください。

---

### スリムタイプのトランスミッター (KE8900ST/KE9900ST)

マウント用ブラケットを、ラックの適当な場所にネジ止めしてください。

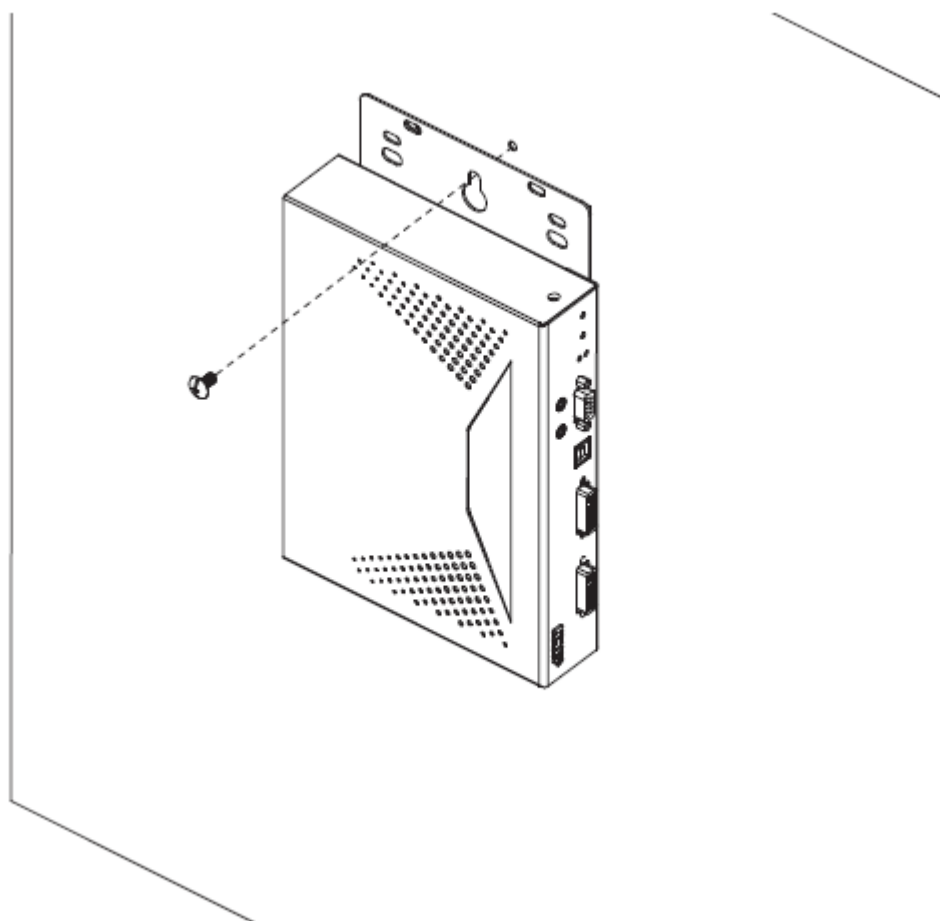


## ウォールマウント

### 非スリムタイプのトランスミッター

**注意：** 非スリムタイプのトランスミッター（KE6900、KE6900A、KE6900AiT、KE6910、KE6912、KE6920、KE6922、KE6940、KE6940A、KE6940AiT、KE8950、KE8952、KE9950、KE9952）は、次に説明する KE6900 の手順と同様に取り付けることができます。

マウント用ブラケット中央の穴を使って、壁面の安全な場所にブラケットをネジ止めしてください。

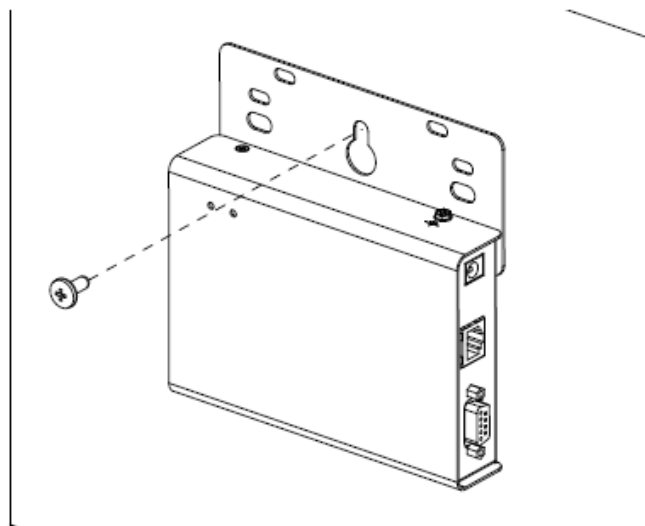


**注意：** 壁面固定用のネジは製品パッケージに同梱されていません。



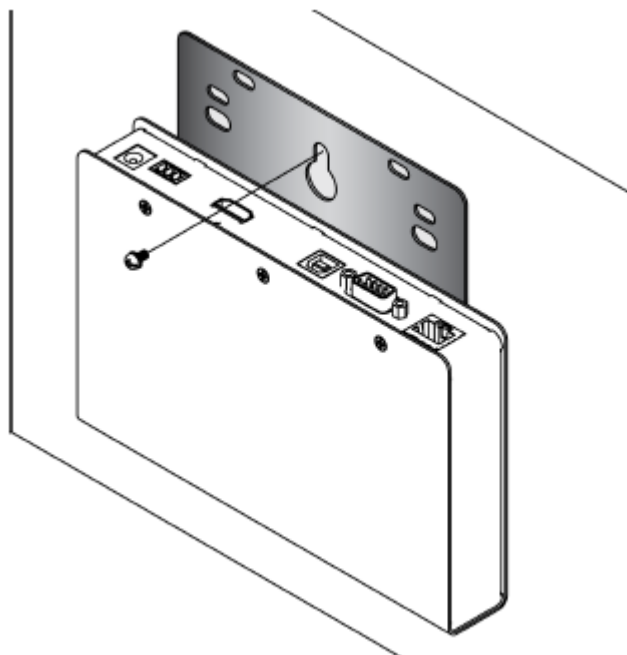
### スリムタイプのトランスミッター (KE6900ST)

マウント用ブラケット中央の穴を使って、壁面の安全な場所にブラケットをネジ止めしてください。



### スリムタイプのトランスミッター (KE8900ST/KE9900ST)

マウント用ブラケット中央の穴を使って、壁面の安全な場所にブラケットをネジ止めしてください。



## オプションのラックマウント方法

ラックマウントの利便性と柔軟性を高めるために、下表のオプションラックマウントキットがご利用いただけます。

| マウントの種類                                                            | 型番       |
|--------------------------------------------------------------------|----------|
| デュアルラックマウントキット※1                                                   | 2X-021G  |
| シングルラックマウントキット※1                                                   | 2X-031G  |
| ビデオエクステンダー ラックマウントキット※2<br>(KE6900ST、KE8900ST、KE8900SR、KE9900ST 用) | VE-RMK1U |

※1 KE6900/KE6900A/KE6900AiT/KE6910/KE6912/KE6920/KE6922/KE6940/KE6940A/KE6940AiT/KE8950/KE8952/KE9950/KE9952 に対応しています。

※2 これらの製品のマウント方法については、VE-RMK1U のユーザーマニュアルを参照してください。

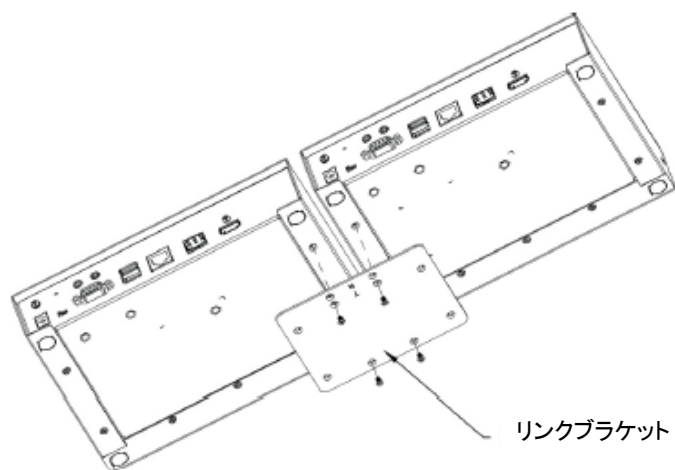
## デュアルラックマウントキットを使ったセットアップ方法

デュアルラックマウントキット「2X-021G」は、2 台のユニット (KE6900/KE6900A/KE6900AiT/KE6910/KE6912/KE6920/KE6922/KE6940/KE6940A/KE6940AiT/KE8950/KE8952/KE9950/KE9952) を横並びに結合して、1U のサーバーラックスペースにセットアップします。

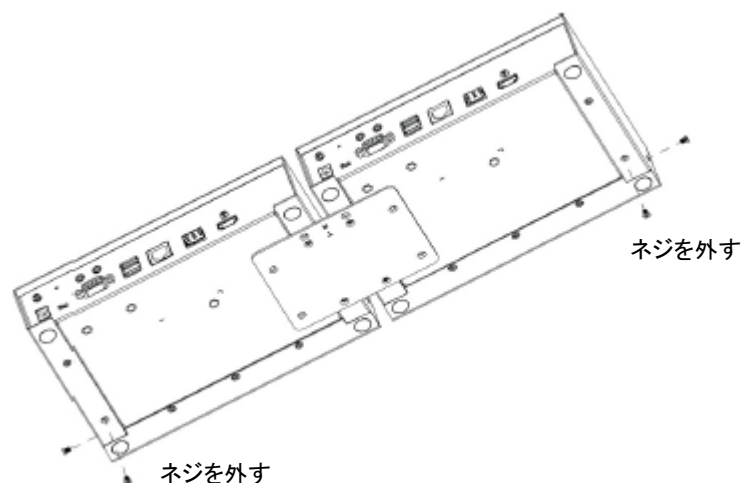
### トランスミッター

ここでは KE8950T を例として説明します。

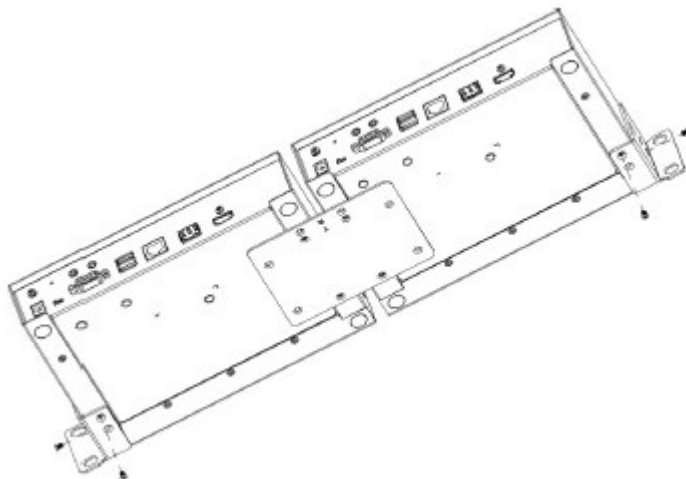
1. 2 台のユニットで、リンクブラケットを取り付ける位置にあたる場所から 1 台につき 2 個ずつネジを外したら、このブラケットを図の位置に合わせ、先ほど取り外したネジで固定してください。



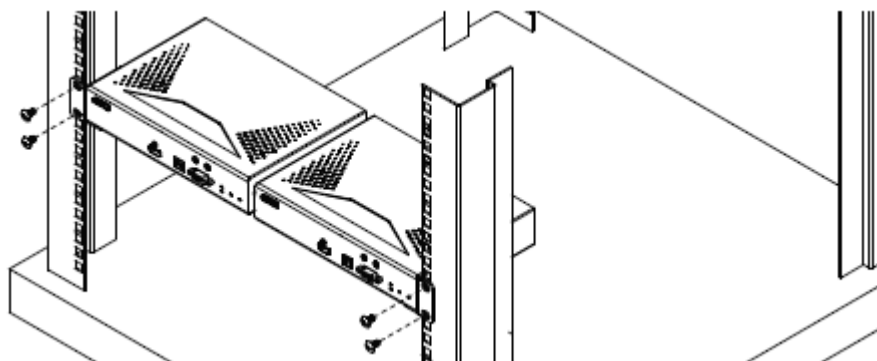
2. 各ユニットから、下図に示した位置 (底面および側面) にあるネジを取り外してください。



3. 手順 2 で取り外したネジを使って、下図の位置にマウント用ブラケットを取り付けてください。



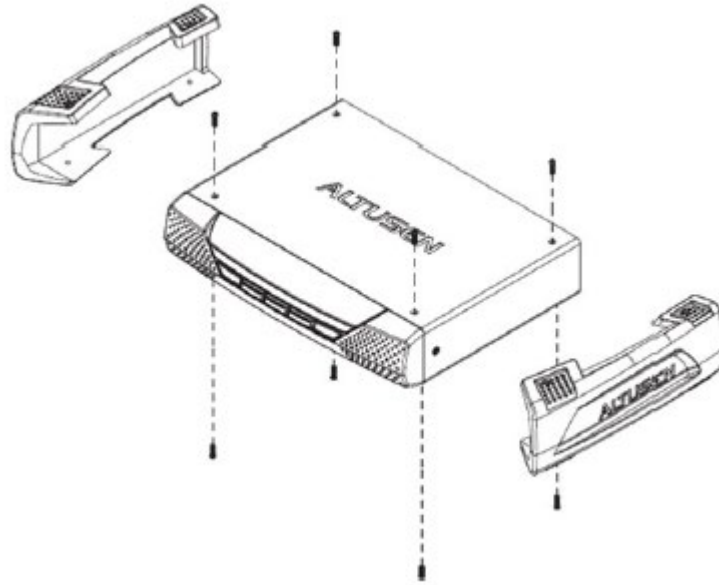
4. マウント用ブラケットをラックにネジ止めしてください。



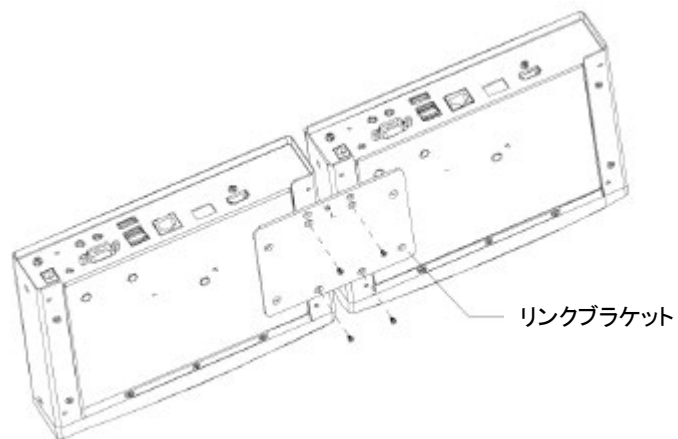
## レシーバー

ここでは KE8950R を例として説明します。

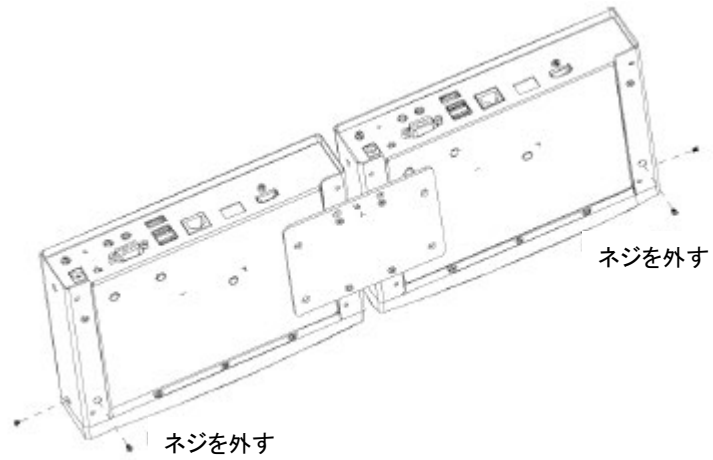
1. レシーバーから、下図に示した位置にあるネジ(8箇所)を取り外し、側面のプラスチックカバーを外してください



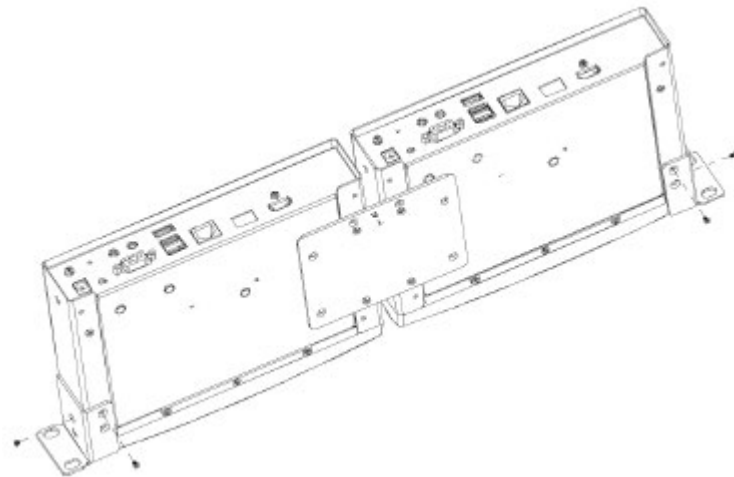
2. 2 台のユニットで、リンクブラケットを取り付ける位置にあたる場所から 1 台につき 2 個ずつネジを外したら、このブラケットを図の位置に合わせ、先ほど取り外したネジで固定してください。



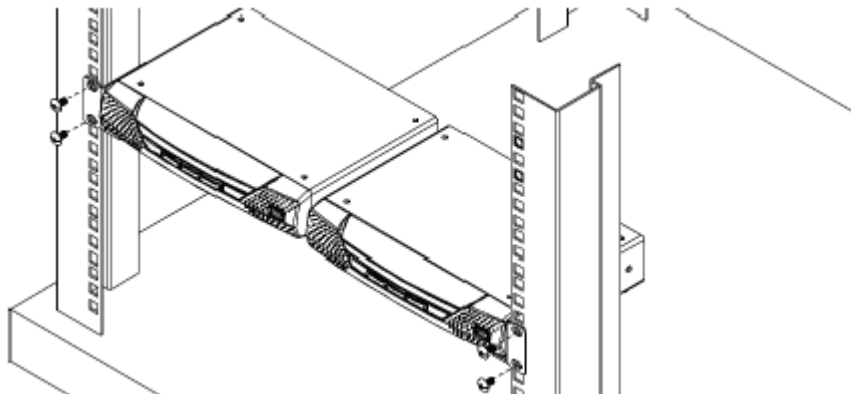
3. 各ユニットから、下図に示した位置(底面および側面)にあるネジを取り外してください。



4. 手順 3 で取り外したネジを使って、下図の位置にマウント用ブラケットを取り付けてください。



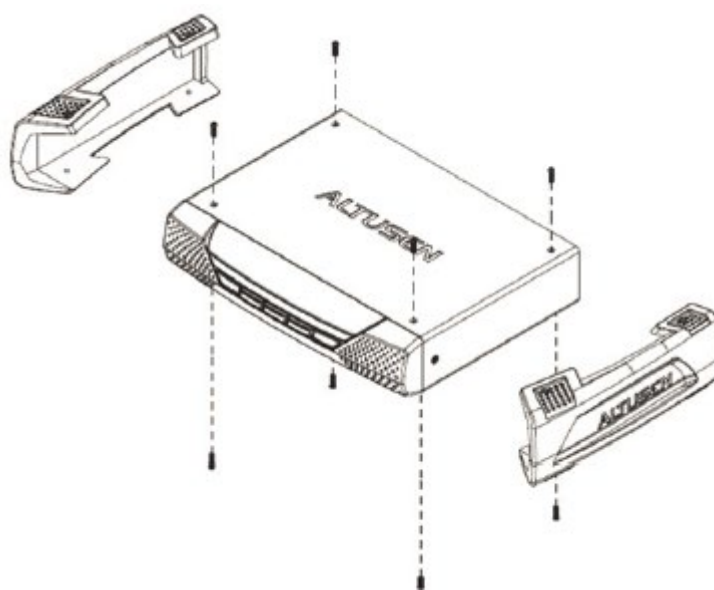
5. マウント用ブラケットをラックにネジ止めしてください。



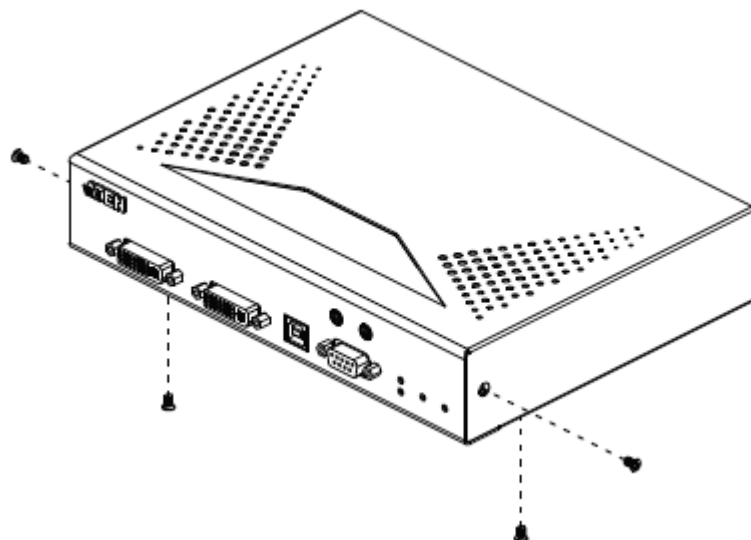
## シングルラックマウントを使ったセットアップ方法

シングルラックマウントキット「2X-031G」は、1U のサーバーラックスペースにおいて、KE6900/KE6900A/KE6900AiT/KE6910/KE6912/KE6920/KE6922/KE6940/KE6940A/KE6940AiT/KE8950/KE8952/KE9950/KE9952 のユニットを 1 台ずつセットアップします。

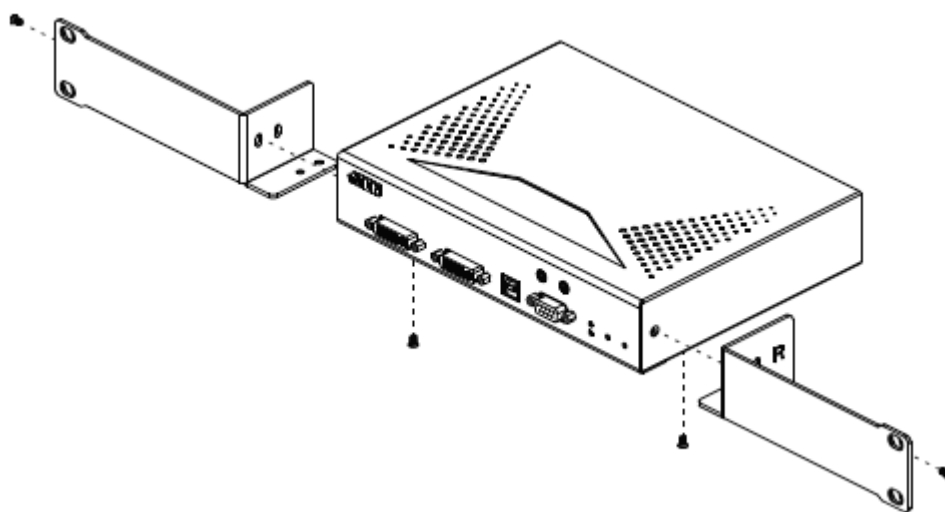
1. ユニットから、下図に示した位置にあるネジ(8 箇所)を取り外し、側面のプラスチックカバーを外してください(レシーバーのユニットのみ)。



2. ユニットから、下図に示した位置にあるネジ(底面および側面)を取り外してください。

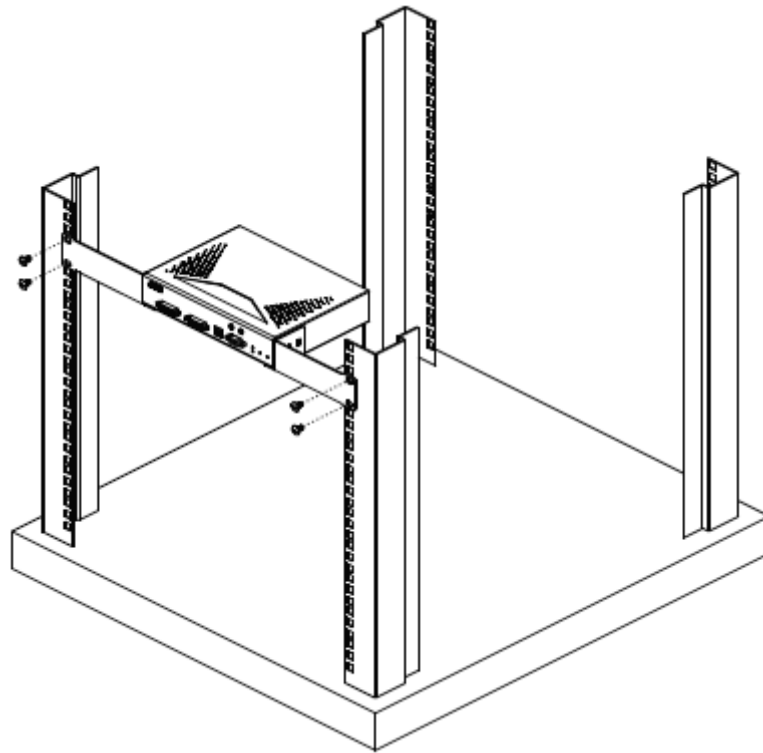


3. 手順2で取り外したネジを使って、ユニットの左側面と右側面にマウント用ブラケットを取り付けてください。



4. 手順3で取り付けしたマウント用ブラケットをラックにネジ止めしてください。





## 1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE6900/KE6940)

---

KE6900/KE6940 を 1 対 1 で使用する場合、セットアップに必要な作業はケーブルの配線だけです。

---

**注意:** 1 対 1 で使用の場合は、管理者向けの設定を行う必要はありません。

---

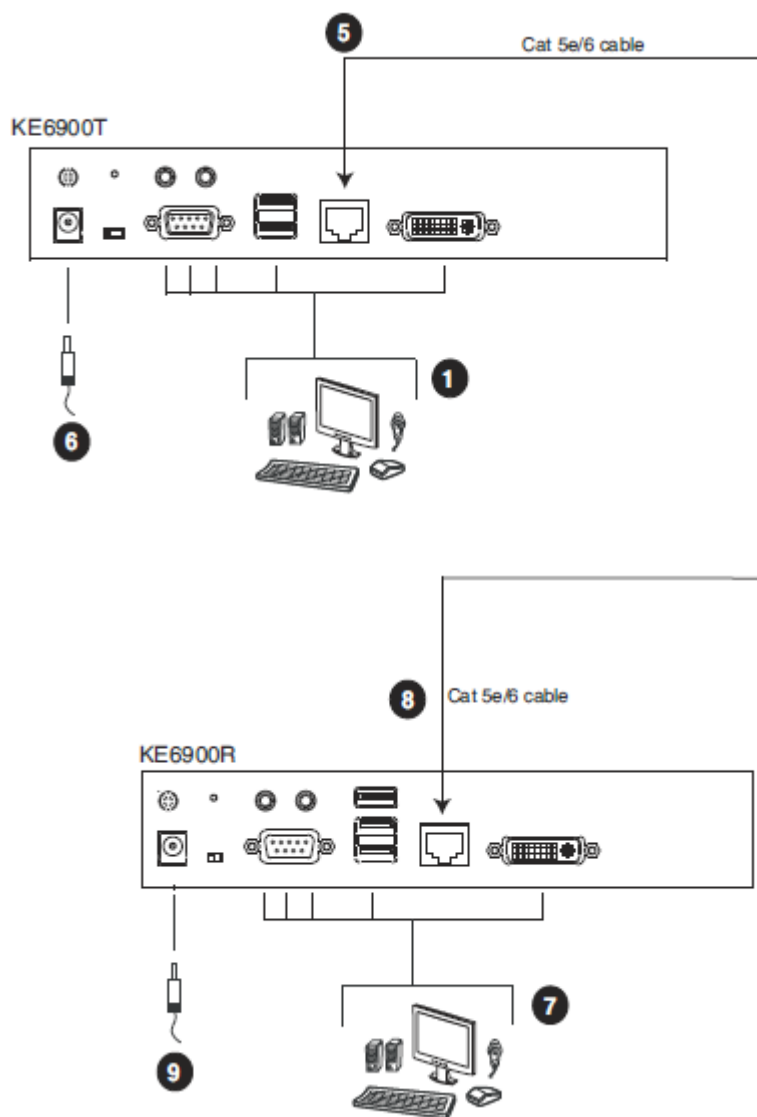
まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。そして、p.122 の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. トランスミッター側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DVI モニター、マイク、スピーカー)を背面の当該ポートにそれぞれ接続してください。ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています<sup>※1</sup>。
2. 製品同梱の USB KVM ケーブルの各コネクタを、トランスミッターのフロントパネルにある KVM セクションの当該ポートにそれぞれ接続してください。
3. 手順 2 で使用した USB KVM ケーブルのもう片方の端にある各コネクタを、コンピューターの当該ポート(マウス、キーボード、DVI モニター、マイク、スピーカーの各ポート)にそれぞれ接続してください。
4. シリアルデバイスを接続して使用したい場合は、トランスミッターの RS-232 シリアルポートとコンピューターのシリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)で接続してください。
5. Cat 5e/6 ケーブルをトランスミッターの LAN ポートに接続してください。
6. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、このアダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャックに接続してください。
7. 次に、レシーバー側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DVI モニター、スピーカー、マイク)をレシーバーのコンソールセクションにある当該ポートにそれぞれ接続してください<sup>※2</sup>。
8. Cat 5e/6 ケーブルのもう片方の端をレシーバーの LAN ポートに接続してください。

9. 製品に同梱されている 2 つ目の電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをレシーバーの電源ジャックに接続してください。
10. コンピューターに電源を入れてください。

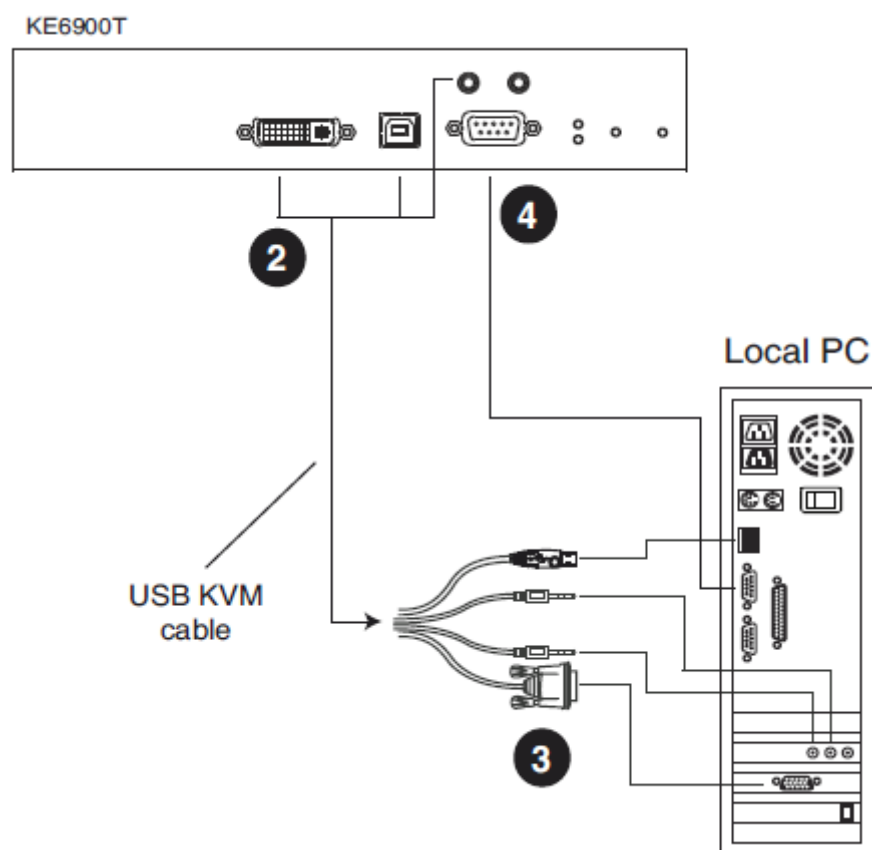
- 
- 注意:**
1. KE6940 に DVI モニターを 2 台接続する場合は、同梱の DVI ケーブルで 2 台目の DVI モニターとコンピューターを KE6940 に接続してください。
  2. 特殊機能を備えたキーボードやマウスを使用する場合は、USB ポートに接続しないと、特殊機能が動作しないことがあります (p.196「USB Mode (USB モード)」参照)。
-

## KE6900/KE6940 を 1 対 1 で使用する場合の接続図(1/2)



**注意:** 上図は、KE6900T と KE6900R のセットアップ方法を例にとった接続図です。KE6940 のセットアップは、デュアルディスプレイ用として両側にもう 1 台 DVI モニターが接続されるという点を除いて、基本的に同じ方法で行います。

## KE6900/KE6940 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2)



---

**注意:** トランスミッター側のシリアルポートにはコンピューターを、また、レシーバー側のシリアルポート(図には表示されていません)にはシリアルデバイス(オプション)を、それぞれ接続してください。

---

## 1 対 1 で使用する場合はセットアップ方法 (KE6900A/KE6940A)

KE6900A/KE6940A を 1 対 1 で使用する場合は、セットアップに必要な作業はケーブルの配線だけです。

---

**注意:** 1 対 1 で使用する場合は、管理者向けの設定を行う必要はありません。

---

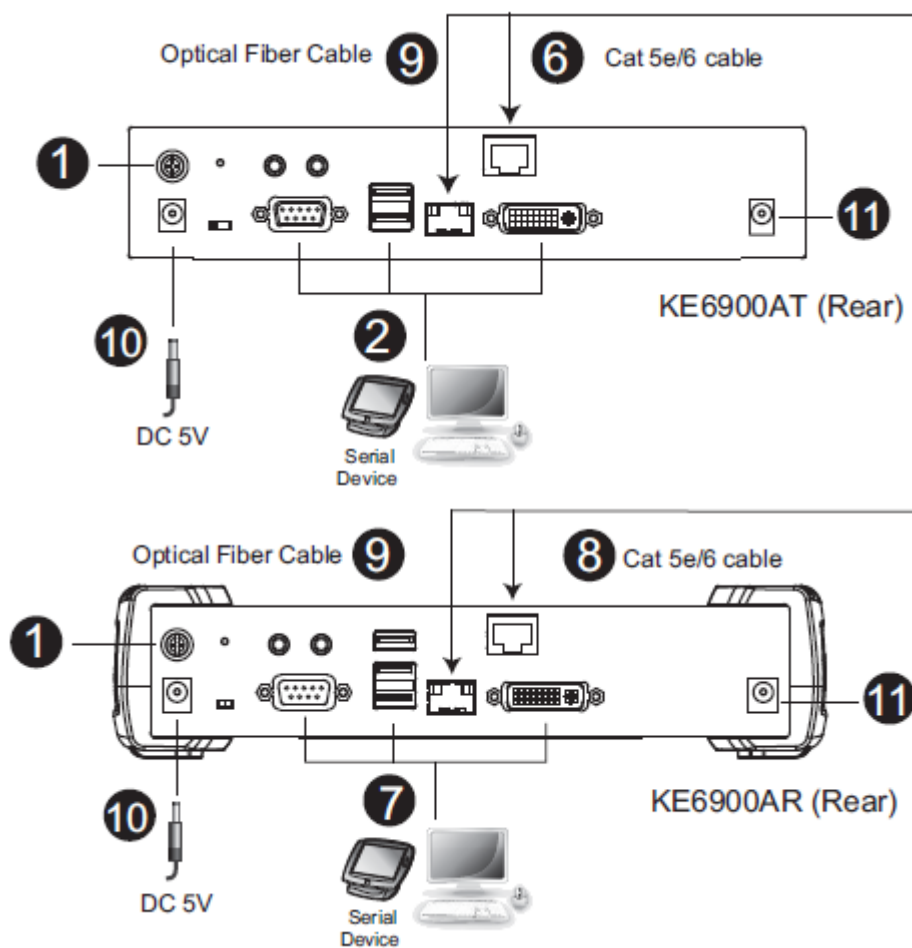
まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。そして、p.126 の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. (オプション) ユニットのグラウンドターミナルを接地線で適切な設置物に接続して、製品本体を接地してください。
2. トランスミッター側 (KE6900AT/KE6940AT) で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DVI モニター、シリアルデバイス)を背面の当該ポートにそれぞれ接続してください※1。
3. 製品同梱の USB KVM ケーブルの各コネクタを、トランスミッターのフロントパネルにある KVM セクションの当該ポートにそれぞれ接続してください。
4. 手順 3 で使用した USB KVM ケーブルのもう片方の端にある各コネクタを、コンピューターの当該ポート(マウス、キーボード、DVI モニター、マイク、スピーカーの各ポート)にそれぞれ接続してください。
5. シリアルデバイスを接続して使用したい場合は、トランスミッターのフロントパネルにある RS-232 シリアルポートとコンピューターのシリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)で接続してください。
6. Cat 5e/6 ケーブルをトランスミッターの LAN ポートに接続してください。
7. 次に、レシーバー側 (KE6900AR/KE6940AR) で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DVI モニター、スピーカー、マイク)をレシーバーのコンソールセクションにある当該ポートにそれぞれ接続してください※2。
8. Cat 5e/6 ケーブルのもう片方の端をレシーバーの LAN ポートに接続してください。

9. LAN ポート経由で接続する代わりに、KE6900A/KE6940A を SFP スロット経由で接続することもできます。後者の方法で接続する場合は、SFP モジュールをトランスミッターとレシーバーの SFP スロットにそれぞれ接続し、これらの SFP モジュールをギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで接続してください※<sup>3</sup>。
10. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャックに接続してください。レシーバーも同様の方法で電源アダプターを使って電源に接続してください。
11. (オプション) 電源を二重化する場合は、2 つ目の電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャックに接続してください。レシーバーも同様の方法で電源アダプターを使って電源に接続してください※<sup>4</sup>。
12. コンピューターに電源を入れてください。

- 
- 注意:**
1. KE6940A に DVI モニターを 2 台接続する場合は、同梱の DVI ケーブルで 2 台目の DVI モニターとコンピューターを KE6940A に接続してください。
  2. 特殊機能を備えたキーボードやマウスを使用する場合は、USB ポートに接続しないと、特殊機能が動作しないことがあります (p.196「USB Mode (USB モード)」参照)。
  3. SFP モジュール (2A-136G/2A-137G) は別売りです。製品情報については、弊社販売代理店までお問い合わせください。
  4. 2 つ目の電源アダプターは別売りです。製品情報については、弊社販売代理店までお問い合わせください。
-

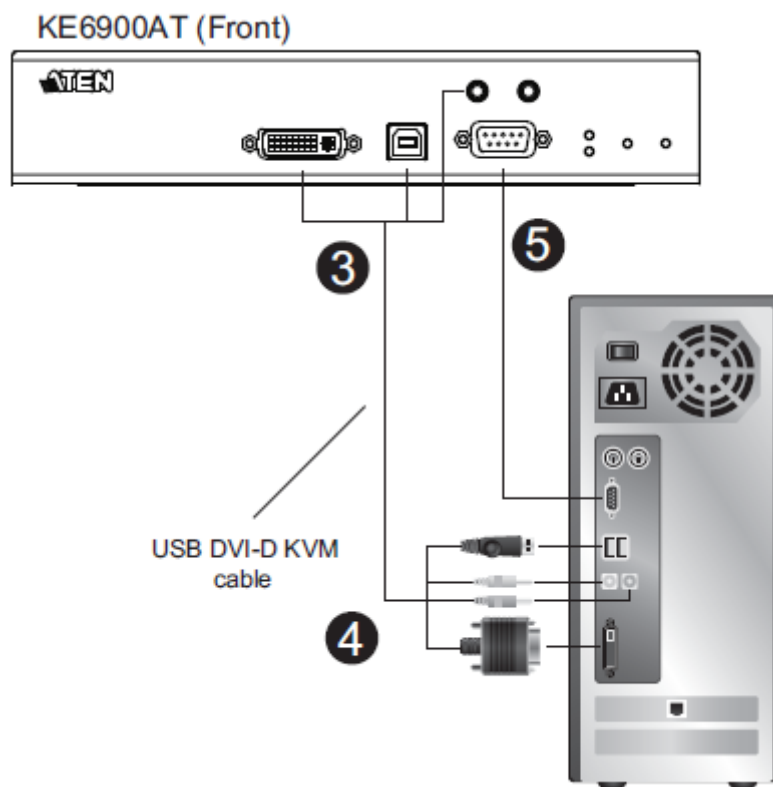
## KE6900A/KE6940A を 1 対 1 で使用する場合の接続図(1/2)



**注意:** 上図は、KE6900AT と KE6900AR のセットアップ方法を例に取った接続図です。KE6940A のセットアップは、デュアルディスプレイ用として両側にもう 1 台 DVI モニターが接続されるという点を除いて、基本的に同じ方法で行います。



## KE6900A/KE6940A を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2)



---

**注意:** トランスミッター側のシリアルポートにはコンピューターを、また、レシーバー側のシリアルポート(図には表示されていません)にはシリアルデバイス(オプション)を、それぞれ接続してください。

---

## 1 対 1 で使用する場合はセットアップ方法 (KE6900AiT/KE6940AiT)

KE6900AiT/KE6940AiT を 1 対 1 で使用する場合は、セッティングに必要な作業はケーブルの配線だけです。これらの製品はトランスミッターですが、レシーバーと対して使用するため、KE6940AR と併用した場合を例に説明します。

**注意:** 1 対 1 で使用する場合は、管理者向けの設定を行う必要はありません。  
また、AiT モデルは、平置きで積み重ねてセットアップするのではなく、適切に排気が行われるようシステムラックまたは壁にマウントすることを推奨します。

まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。  
そうしたら、p.130 の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

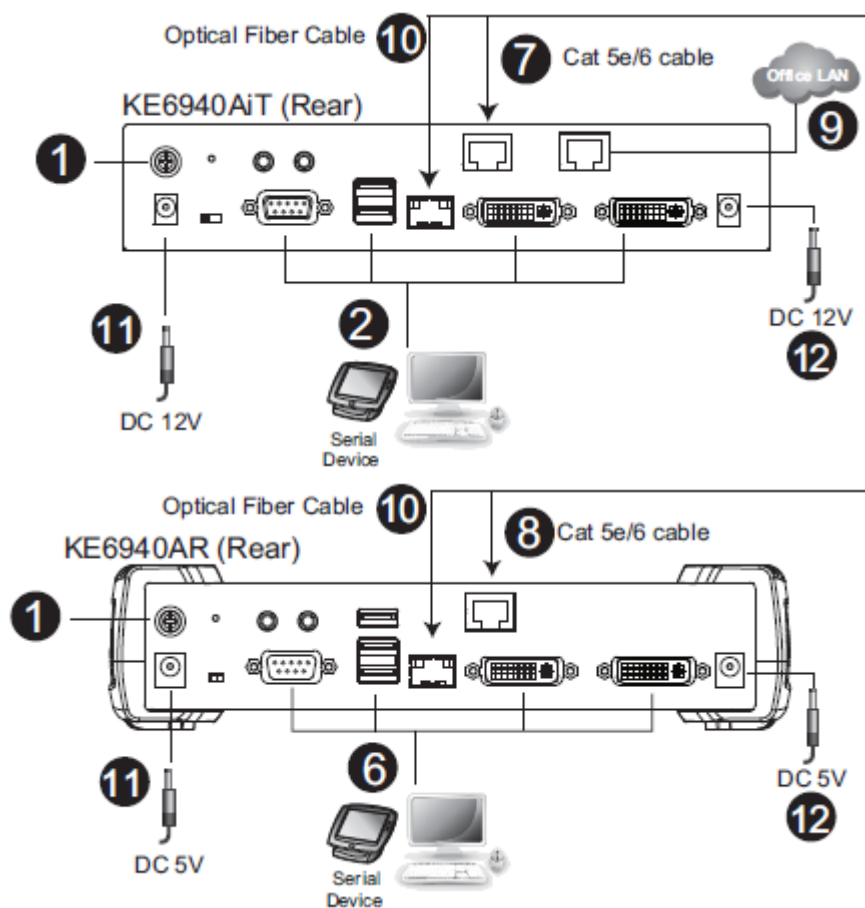
1. (オプション)ユニットのグラウンドターミナルを接地線で適切な設置物に接続して、製品本体を接地してください。
2. トランスミッター側(KE6900AiT/KE6940AiT)で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DVI モニター、シリアルデバイス)を背面の当該ポートにそれぞれ接続してください※1。
3. 製品同梱の KVM ケーブル(デュアルリンク DVI-D、USB、オーディオ)および DVI-D ケーブル(KE6940AiT のみ)を、トランスミッターのフロントパネルにある KVM セクションの当該ポートにそれぞれ接続してください。
4. 手順3で使用した KVM ケーブルおよび DVI-D ケーブル(KE6940AiT のみ)の反対側の端にある各コネクタを、コンピューターの当該ポート(マウス、キーボード、DVI モニター、マイク、スピーカーの各ポート)にそれぞれ接続してください。
5. シリアルデバイスを接続して使用したい場合は、トランスミッターのフロントパネルにある RS-232 シリアルポートとコンピューターのシリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)で接続してください。
6. コンソールで使用するマウス、キーボード、DVI モニター、スピーカー、マイク、シリアルデバ

スの各コネクタを、それぞれレシーバーのコンソールセクションにあるポートに接続してください(ここでは KE6940AR を使用した場合を例に説明します)<sup>※1</sup>。

7. Cat 5e/6 ケーブルをトランスミッターの LAN ポートに接続してください。
8. Cat 5e/6 ケーブルの反対側の端をレシーバーの LAN ポートに接続してください。
9. Web インターフェースにアクセスする場合は、製品本体のイーサネットポートにイーサネットケーブルを接続し、このケーブルをネットワークスイッチに接続してください。
10. LAN ポート経由で接続する代わりに、KE6900AiT/KE6940AiT を SFP スロット経由で接続することもできます。後者の方法で接続する場合は、SFP モジュールをトランスミッターとレシーバーの SFP スロットにそれぞれ接続し、これらの SFP モジュールをギガビットイーサネット(GbE) 光ファイバーケーブルで接続してください<sup>※2</sup>。
11. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターのケーブル部分をトランスミッターの電源ジャックに接続してください。レシーバーも同様の方法で電源アダプターを使って電源に接続してください。
12. (オプション)電源を二重化する場合は、2つ目の電源アダプター(別売り)をAC電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャックに接続してください。レシーバーも同様の方法で電源アダプターを使って電源に接続してください<sup>※3</sup>。
13. コンピューターに電源を入れてください。

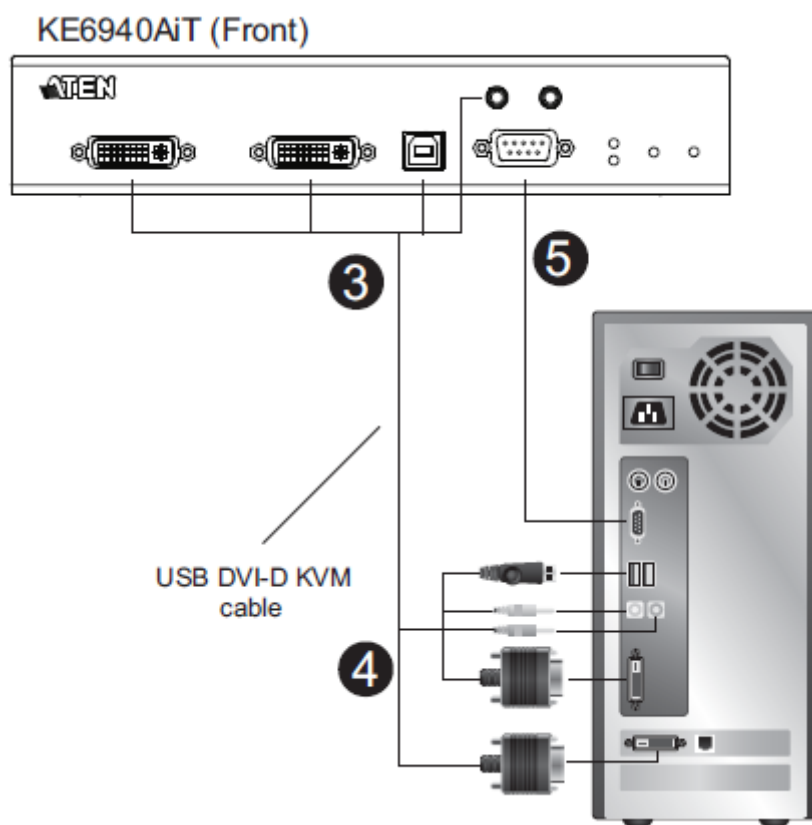
- 
- 注意:**
1. 特殊機能を備えたキーボードやマウスを使用する場合は、USB ポートに接続しないと、特殊機能が動作しないことがあります(p.196「USB Mode(USB モード)」参照)。
  2. SFP モジュール(2A-136G/2A-137G)は別売りです。製品情報については、弊社販売代理店までお問い合わせください。
  3. 2 つ目の電源アダプターは別売りです。製品情報については、弊社販売代理店までお問い合わせください。
-

## KE6940AiT を 1 対 1 で使用する場合の接続図(1/2)



**注意:** 上図は、KE6940AiT と KE6940AR のセットアップ方法を例に取った接続図です。KE6900AiT のセットアップは、使用する DVI モニターが 1 台だけである点を除いて、基本的に同じ方法で行います。

## KE6940AiT を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2)



---

**注意:** トランスミッター側のシリアルポート(上図参照)にはコンピューターを、また、レシーバー側のシリアルポート(図には表示されていません)にはシリアルデバイス(オプション)を、それぞれ接続してください。

---

## 1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法(KE6910/KE6912)

---

KE6910/KE6912 を 1 対 1 で使用する場合、セットアップに必要な作業はケーブルの配線だけです。

---

**注意:** 1 対 1 で使用の場合は、管理者向けの設定を行う必要はありません。

---

まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。そして、p.134 の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. (オプション)ユニットのグランドターミナルを接地線で適切な設置物に接続して、製品本体を接地してください。
2. トランスミッター(KE6910T/KE6912T)側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DVI-D モニター、シリアルデバイス、マイク、スピーカー)を背面のコンソールセクションにある当該ポートにそれぞれ接続してください。
3. 製品同梱の USB DVI-D KVM ケーブルの各コネクタを、トランスミッターのフロントパネルにある KVM セクションの当該ポートにそれぞれ接続してください。
4. 手順 3 で使用した USB DVI-D KVM ケーブルのもう片方の端にある各コネクタを、コンピューターの当該ポート(マウス、キーボード、DVI モニター、マイク、スピーカーの各ポート)にそれぞれ接続してください。
5. シリアルデバイスを接続して使用したい場合は、トランスミッターの RS-232 シリアルポートとコンピューターのシリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)で接続してください。
6. Cat 5e/6 ケーブルをトランスミッターの LAN ポートに接続してください。
7. 次に、レシーバー(KE6910R/KE6912R)側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DVI-D モニター、シリアルデバイス、スピーカー、マイク)をレシーバーのコンソールセクションにある当該ポートにそれぞれ接続してください。

8. Cat 5e/6 ケーブルのもう片方の端をレシーバーの LAN ポートに接続してください。
9. LAN ポート経由で接続する代わりに、KE6910/KE6912 を SFP スロット経由で接続することもできます。後者の方法で接続する場合は、SFP モジュールをトランスミッターとレシーバーの SFP スロットにそれぞれ接続し、これらの SFP モジュール※<sup>1</sup> をギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで接続してください。
10. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャックに接続してください。レシーバーも同様の方法で電源アダプターを使って電源に接続してください。なお、KE6912 は Power over Ethernet (PoE) に対応していますので、電源アダプターを使わなくても PoE ネットワークスイッチ経由で給電することができます。
11. (オプション) 電源を二重化する場合は、2 つ目の電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャック※<sup>2</sup> に接続してください。レシーバーも同様の方法で電源アダプターを使って電源に接続してください。
12. コンピューターに電源を入れてください。

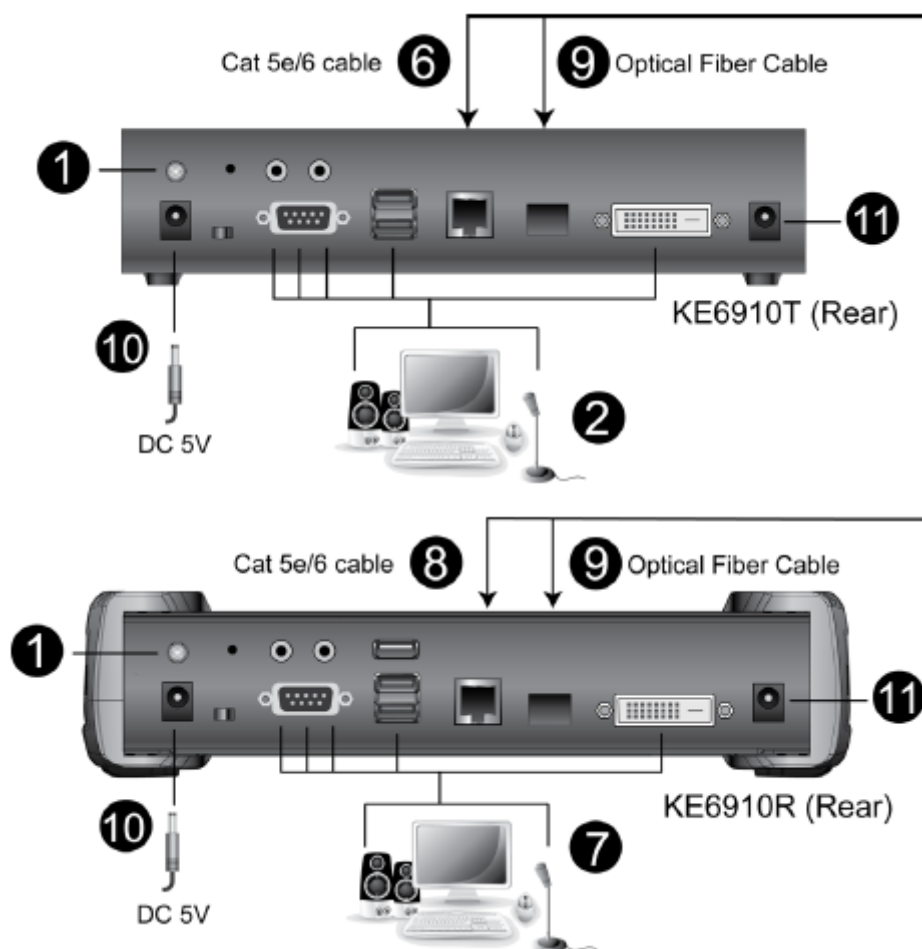
---

**注意:**

1. SFP モジュール (2A-136G/2A-137G) は別売りです。製品情報については、弊社販売代理店までお問い合わせください。
2. この仕様は、KE6910T と KE6900R のみでご利用いただけます。なお、2 つ目の電源アダプターは別売りです。製品情報については、弊社販売代理店までお問い合わせください。また、KE6912T と KE6912R の冗長電源は、PoE 機能によって実現されます。

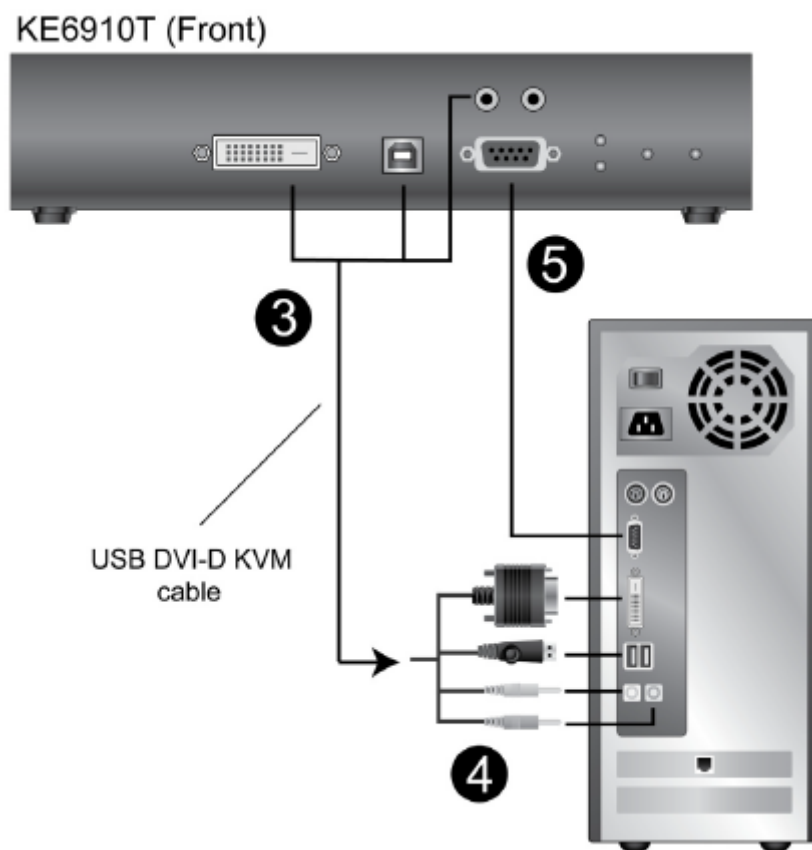
---

KE6910/KE6912 を 1 対 1 で使用する場合の接続図(1/2)





KE6910/KE6912 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2)



## 1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE6920/KE6922)

---

KE6920/KE6922 を 1 対 1 で使用する場合、セットアップに必要な作業はケーブルの配線だけです。

---

**注意:** 1 対 1 で使用の場合は、管理者向けの設定を行う必要はありません。

---

まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。そして、p.138 の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. (オプション) ユニットのグラウンドターミナルを接地線で適切な設置物に接続して、製品本体を接地してください。
2. トランスミッター (KE6920T/KE6922T) 側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DVI モニター、シリアルデバイス、マイク、スピーカー)をコンソールセクションにある当該ポートにそれぞれ接続してください。
3. 製品同梱の USB DVI-D KVM ケーブルの各コネクタを、トランスミッターのフロントパネルにある KVM セクションの当該ポートにそれぞれ接続してください。
4. 手順 3 で使用した USB DVI-D KVM ケーブルのもう片方の端にある各コネクタを、コンピューターの当該ポート(マウス、キーボード、DVI モニター、マイク、スピーカーの各ポート)にそれぞれ接続してください。
5. シリアルデバイスを接続して使用したい場合は、トランスミッターの RS-232 シリアルポートとコンピューターのシリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)で接続してください。
6. Cat 5e/6 ケーブルをトランスミッターの LAN ポートに接続してください。
7. 次に、レシーバー (KE6920R/KE6922R) 側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DVI-D モニター、シリアルデバイス、スピーカー、マイク)をレシーバーのコンソールセクションにある当該ポートにそれぞれ接続してください。

8. Cat 5e/6 ケーブルのもう片方の端をレシーバーの LAN ポートに接続してください。
9. LAN ポート経由で接続する代わりに、KE6920/KE6922 を SFP スロット経由で接続することもできます。後者の方法で接続する場合は、SFP モジュールをトランスミッターとレシーバーの SFP スロットにそれぞれ接続し、これらの SFP モジュール※<sup>1</sup> をギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで接続してください。
10. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャックに接続してください。レシーバーも同様の方法で電源アダプターを使って電源に接続してください。
11. (オプション) 電源を二重化する場合は、2 つ目の電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャック※<sup>2</sup> に接続してください。レシーバーも同様の方法で電源アダプターを使って電源に接続してください。
12. コンピューターに電源を入れてください。

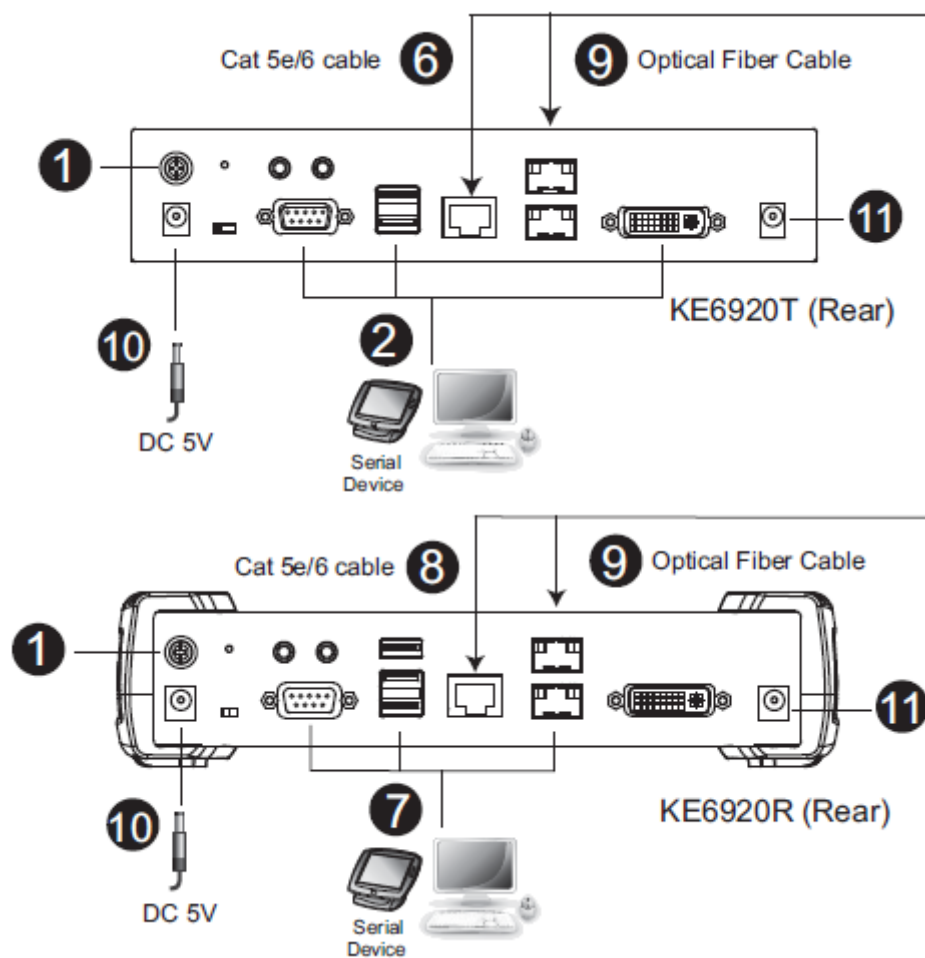
---

**注意:**

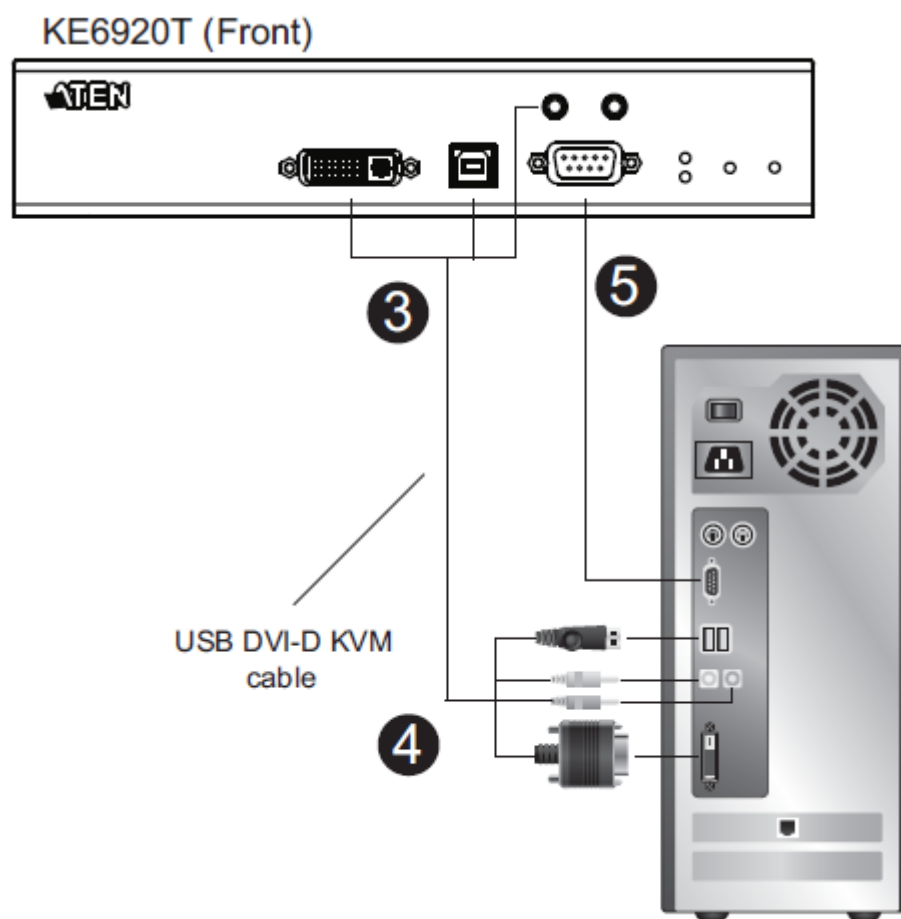
1. SFP モジュール (2A-136G/2A-137G) は別売りです。製品情報については、弊社販売代理店までお問い合わせください。
2. この仕様は、KE6920T と KE6920R のみでご利用いただけます。なお、2 つ目の電源アダプターは別売りです。製品情報については、弊社販売代理店までお問い合わせください。また、KE6922T と KE6922R の冗長電源は、PoE 機能によって実現されます。

---

KE6920/KE6922 を 1 対 1 で使用する場合の接続図(1/2)



KE6920/KE6922 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2)



## 1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE8950/KE8952)

---

KE8950/KE8952 を 1 対 1 で使用する場合、セットアップに必要な作業はケーブルの配線だけです。

---

**注意:** 1 対 1 で使用の場合は、管理者向けの設定を行う必要はありません。

---

まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。そして、p.142 の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. トランスミッター側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、HDMI モニター、マイク、スピーカー)を背面の当該ポートにそれぞれ接続してください。ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています。
2. 製品同梱の USB KVM ケーブルの各コネクタを、トランスミッターのフロントパネルにある KVM セクションの当該ポートにそれぞれ接続してください。
3. 手順 2 で使用した USB KVM ケーブルのもう片方の端にある各コネクタを、コンピューターの当該ポート(マウス、キーボード、HDMI モニター、マイク、スピーカーの各ポート)にそれぞれ接続してください。
4. シリアルデバイスを接続して使用したい場合は、トランスミッターの RS-232 シリアルポートとコンピューターのシリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)で接続してください。
5. ネットワークにつながっている Cat 5e/6 ケーブルをトランスミッターの LAN ポートに接続するか、同じくネットワークにつながっている GbE 光ファイバーケーブルを SFP ポートに接続してください。
6. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、このアダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャックに接続してください※。
7. 次に、レシーバー側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、HDMI モニター、スピーカー、マイク)をレシーバーのコンソールセクションにある当該ポートにそれぞれ接続してください。

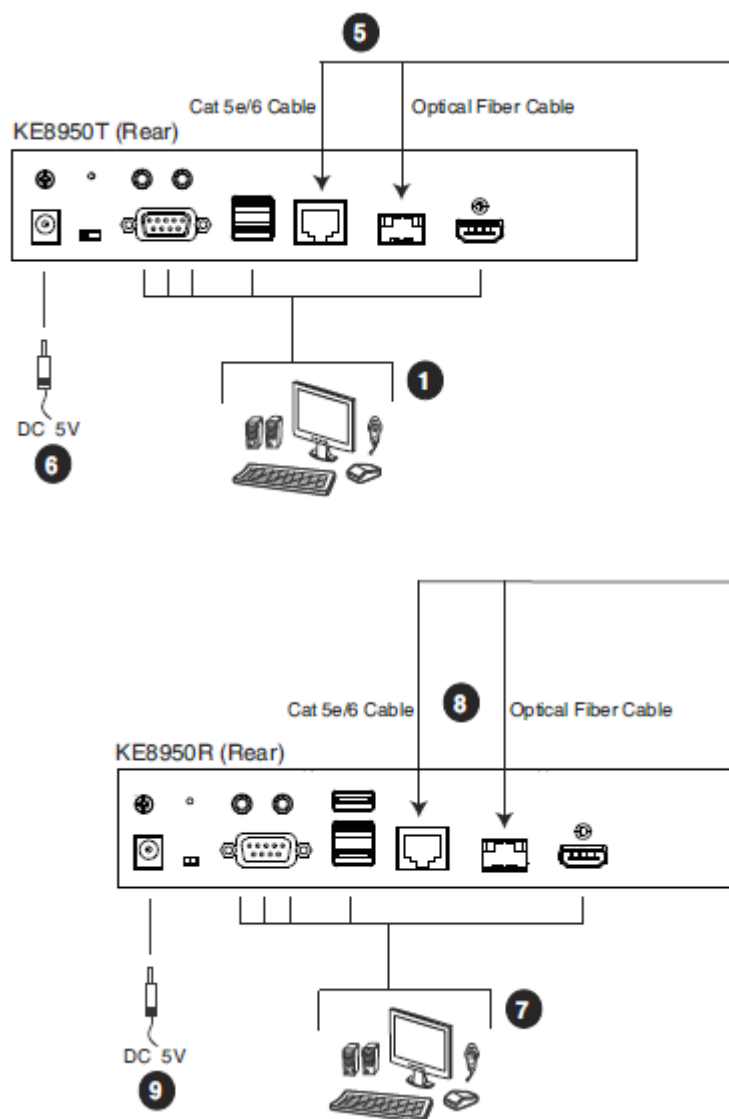
8. Cat 5e/6 ケーブルをお使いの場合は、このケーブルの端をレシーバーの LAN ポートに接続し、ケーブルを TCP/IP ネットワークに接続してください。GbE 光ファイバーケーブルをお使いの場合は、同様に、このケーブルの端をレシーバーの SFP ポートに接続して、ケーブルを TCP/IP ネットワークに接続してください。
9. 製品に同梱されている 2 つ目の電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをレシーバーの電源ジャックに接続してください※。
10. コンピューターに電源を入れてください。

---

**注意:** KE8952 には電源アダプターが同梱されていません。電源アダプターが追加で必要となる場合には、販売店までお問い合わせください。

---

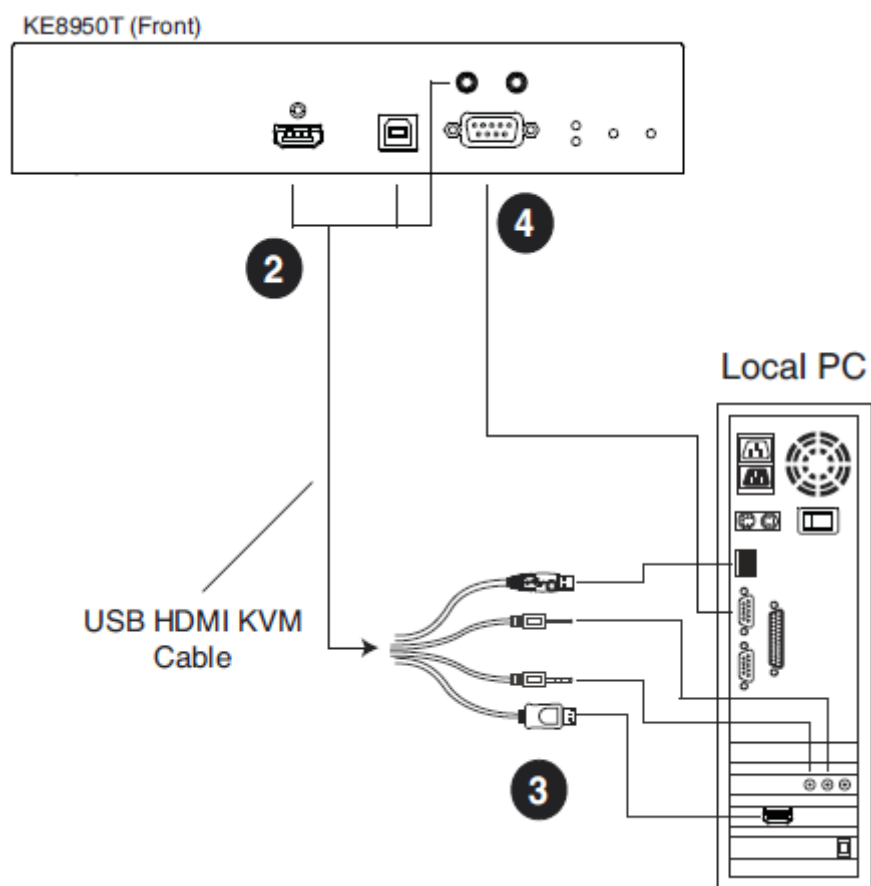
## KE8950/KE8952 を 1 対 1 で使用する場合の接続図(1/2)



**注意:** KE8952 には電源アダプターが同梱されていません。電源アダプターが追加で必要となる場合には、販売店にお問い合わせの上、お求めください。または、PoE (Power over Ethernet) 機能を使って KE8952 に給電してください。



## KE8950/KE8952 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2)



---

**注意:** トランスミッター側のシリアルポートにはコンピューターを、また、レシーバー側のシリアルポート(図には表示されていません)にはシリアルデバイス(オプション)を、それぞれ接続してください。

---

## 1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法(KE6900ST)

---

DVI 対応 IP-KVM エクステンダーシリーズにおけるスリムタイプのトランスミッターKE6900ST は、ローカルコンソールやオーディオ信号は不要でも、進化した KE シリーズの接続機能を利用したいといった要件であれば、コストを抑えたトランスミッターとしてお使いいただけます。

KE6900ST を 1 対 1 で使用する場合、セットアップに必要な作業はケーブルの配線だけです。まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。そして、p.145 の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. 製品同梱の USB KVM ケーブルの各コネクタを、KE6900ST のフロントパネルにある KVM セクションの当該ポートにそれぞれ接続してください。
2. 手順 1 で使用した USB KVM ケーブルのもう片方の端にある各コネクタを、コンピューターの当該ポートにそれぞれ接続してください。
3. シリアルデバイスを接続して使用したい場合は、KE6900ST の RS-232 シリアルポートとコンピューターのシリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)で接続してください。
4. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、このアダプターの電源ケーブルを KE6900ST の電源ジャックに接続してください。
5. Cat 5e/6 ケーブルを KE6900ST の LAN ポートに接続してください。
6. Cat 5e/6 ケーブルのもう片方の端をレシーバー\*の LAN ポートに接続してください。
7. 次に、レシーバー\*側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DVI モニター)をレシーバーのコンソールセクションにある当該ポートにそれぞれ接続してください。
8. 製品に同梱されている 2 つ目の電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをレシーバーの電源ジャックに接続してください。
9. コンピューターに電源を入れてください。

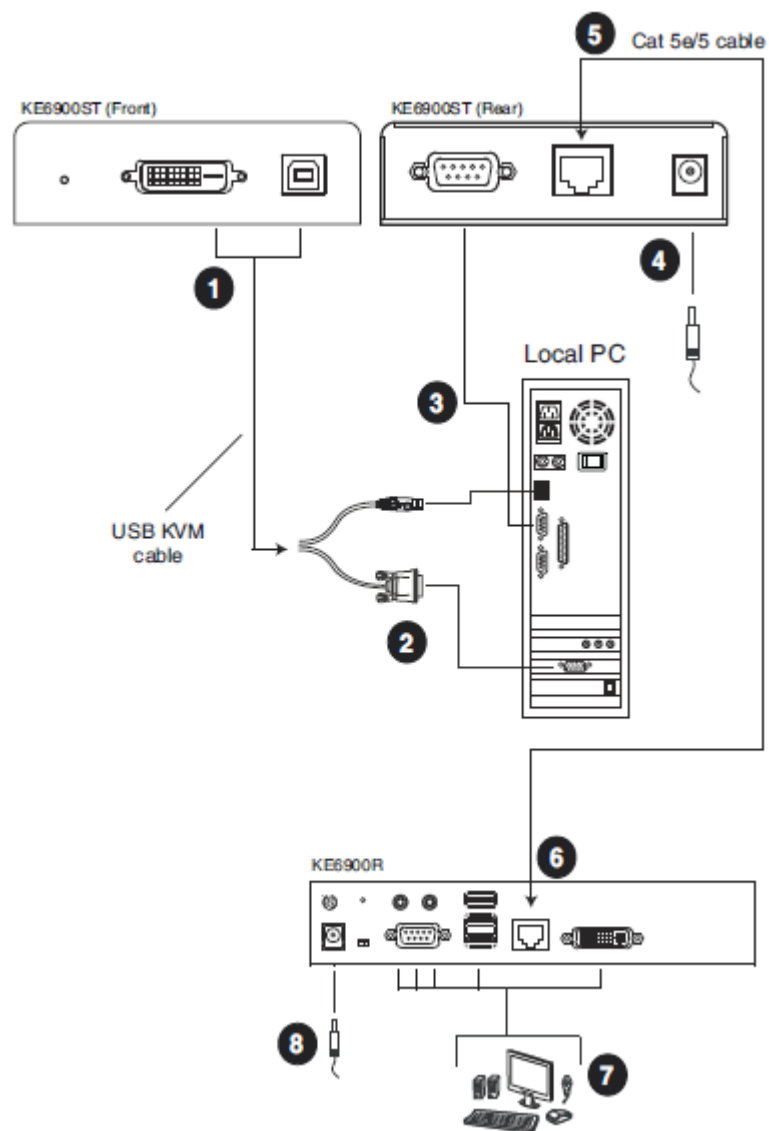
---

**注意:** レシーバーとなるユニット(KE69xxR または KE89xxR)が必要となります。こちらのユニットは、別途お求めください。

---

### イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法

イーサネット経由で本製品を使用するには、1対1、1対多、多対1、多対多の4つの通信方法があります。1対1以外で使用する場合は、IP-KVM エクステンダーをそれぞれ複数台使用し、同一のイーサネット上でトランスミッターとレシーバーを接続して使用します。イーサネット経由で使用する場合は、2台の KE69xx のユニットをダイレクトに接続するのではなく、Cat 5e/6 ケーブルでネットワークに接続してください(上記手順5を参照)。詳細は p.155「イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法(KE6900/KE6940)」をご参照ください。



## 1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE8900S)

---

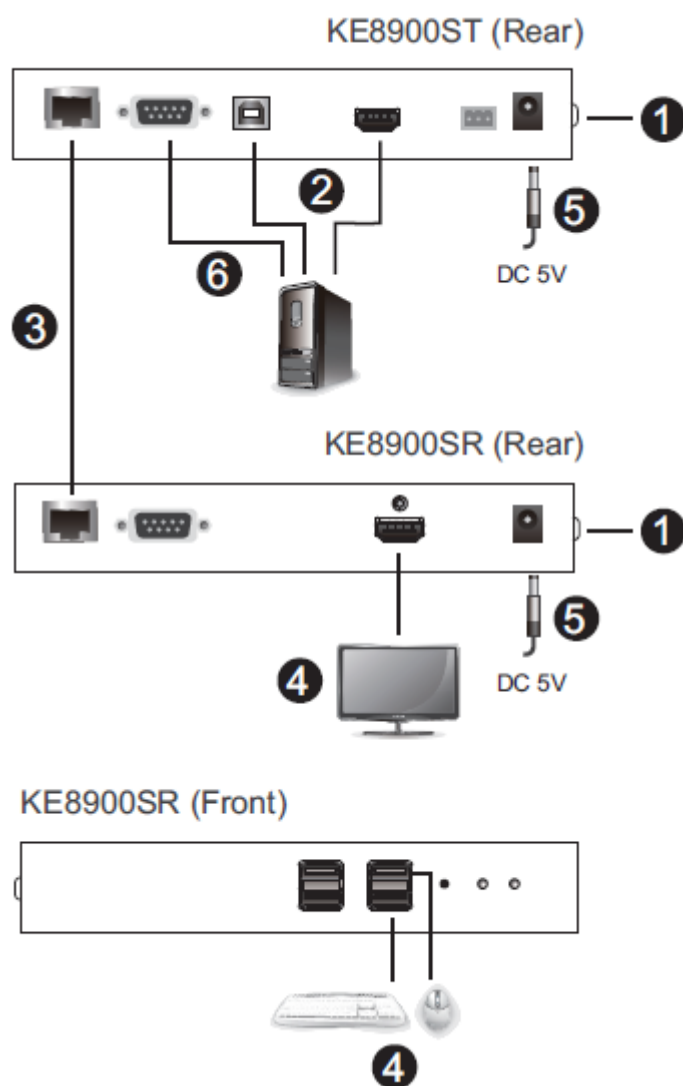
HDMI 対応 IP-KVM エクステンダーシリーズにおけるスリムタイプモデルの KE8900S は、ローカルコンソールやオーディオ信号は不要でも、進化した KE シリーズの接続機能を利用したいといった要件であれば、コストを抑えたトランスミッターとしてお使いいただけます。

KE8900S を 1 対 1 で使用する場合、セットアップに必要な作業はケーブルの配線だけです。まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。そして、p.148 の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. (オプション) KE8900ST および KE8900SR のグラウンドターミナルを接地線で適切な設置物に接続して、製品本体を接地してください。
2. 製品同梱の USB HDMI KVM ケーブルの各コネクタを、KE8900ST の対応ポートにそれぞれ接続してください。KE8900ST には USB Type-B ポートがありますので、ここには KVM ケーブルの USB Type-B コネクタを接続してください。
3. Cat 5e/6 ケーブルを KE8900ST と KE8900SR の LAN ポートに接続してください。
4. USB マウス/キーボードを KE8900SR のフロントパネルに、また、HDMI モニターを KE8900SR のリアパネルに、それぞれ接続してください。
5. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、このアダプターの電源ケーブルを KE8900ST および KE8900SR の電源ジャックにそれぞれ接続してください。KE8900ST に対しては、電源入力にターミナルブロックを使用することができます。アイコンの表示に従って、DC + およびーのワイヤー (DC 12~48V) をターミナルブロックに接続してください。
6. (オプション) シリアルデバイスを接続して使用したい場合は、KE8900ST の RS-232 シリアルポートとコンピューターのシリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)で接続してください。
7. コンピューターに電源を入れてください。

## イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法

イーサネット経由で本製品を使用するには、1対1、1対多、多対1、多対多の4つの通信方法があります。1対1以外で使用する場合は、IP-KVM エクステンダーをそれぞれ複数台使用し、同一のイーサネット上でトランスミッターとレシーバーを接続して使用します。イーサネット経由で使用する場合は、2 台のユニットをダイレクトに接続するのではなく、Cat 5e/6 ケーブルでネットワークに接続してください(手順 3)。詳細は p.155「イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法 (KE6900/KE6940)」をご参照ください。



## 1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法(KE9900ST)

---

DisplayPort 対応 IP-KVM エクステンダーシリーズにおけるスリムタイプのトランスミッター KE9900ST は、ローカルコンソールやオーディオ信号は不要でも、進化した KE シリーズの接続機能を利用したいといった要件であれば、コストを抑えたトランスミッターとしてお使いいただけます。

KE9900ST を 1 対 1 で使用する場合、セットアップに必要な作業はケーブルの配線だけです。まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。そして、p.150 の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. (オプション)KE9900ST のグラウンドターミナルを接地線で適切な設置物に接続して、製品本体を接地してください。
2. 製品同梱の DisplayPort ケーブルで、コンピューターの DisplayPort ポートを KE9900ST に接続してください。
3. 製品同梱の USB 2.0 Type-A→Type-B ケーブルで、コンピューターの USB Type-A ポートと KE9900ST の USB Type-B ポートを接続してください。
4. (オプション)シリアルデバイスを接続して使用したい場合は、KE9900ST の RS-232 シリアルポートとコンピューターのシリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)で接続してください。
5. Cat 5e/6 ケーブルで KE9900ST とレシーバーユニット※(例:KE8900SR)の LAN ポートを接続してください。
6. USB マウス/キーボードおよび HDMI モニターを KE8900SR の対応ポートに、それぞれ接続してください。
7. KE8900SR に電源を入れてください(例:電源アダプターをユニットと電源に接続)。
8. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、このアダプターの電源ケーブルを KE9900ST の電源ジャックにそれぞれ接続してください。電源入力にはターミナルブロックを使用することもできます。アイコンの表示に従って、DC +およびーのワイヤー(DC 12~48V)

をターミナルブロックに接続してください。

9. コンピューターに電源を入れてください。

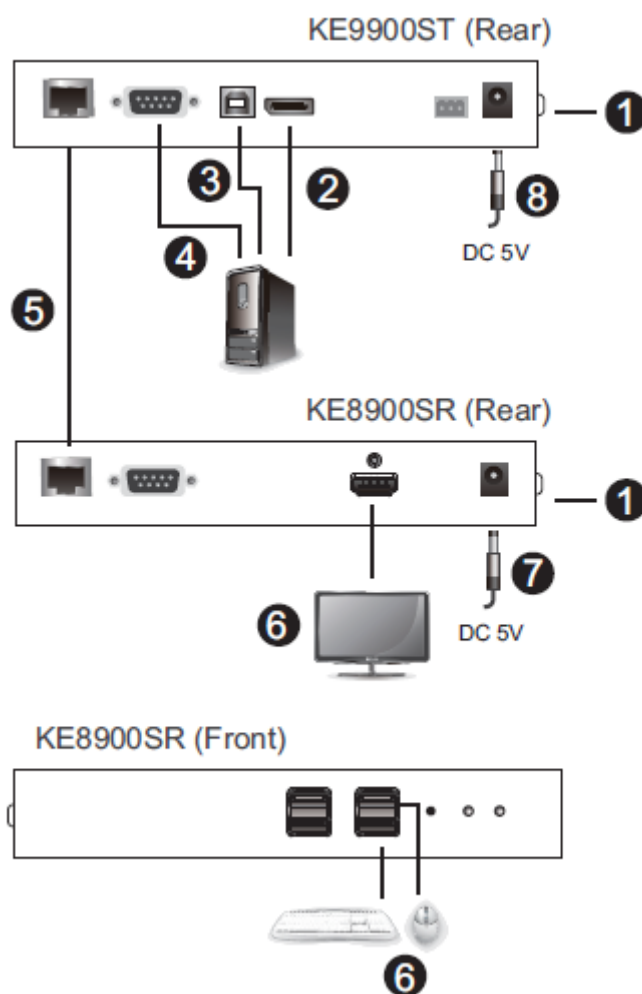
---

※ KE シリーズのレシーバーユニットが必要です (別売り)。

---

### イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法

イーサネット経由で本製品を使用するには、1 対 1、1 対多、多対 1、多対多の 4 つの通信方法があります。1 対 1 以外で使用する場合は、IP-KVM エクステンダーをそれぞれ複数台使用し、同一のイーサネット上でトランスミッターとレシーバーを接続して使用します。イーサネット経由で使用する場合は、2 台のユニットをダイレクトに接続するのではなく、Cat 5e/6 ケーブルでネットワークに接続してください (手順 5)。詳細は p.155「イーサネット経由で使用する場合のセットアップ方法 (KE6900/KE6940)」をご参照ください。





## 1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法(KE9950/KE9952)

---

KE9950/KE9952 を 1 対 1 で使用する場合、セットアップに必要な作業はケーブルの配線だけです。

---

**注意:** 1 対 1 で使用する場合は、管理者向けの設定を行う必要はありません。

---

まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。そして、p.153 の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. (オプション)ユニットのグランドターミナルを接地線で適切な設置物に接続して、製品本体を接地してください。
2. トランスミッター (KE9950T/KE9952T) 側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DisplayPort モニター、シリアルデバイス、マイク、スピーカー)をコンソールセクションにある当該ポートにそれぞれ接続してください。
3. 製品同梱の DisplayPort ケーブルで、コンピュータの DisplayPort ポートを KE9950T/KE9952T に接続してください。また、製品同梱の USB 2.0 Type-A→Type-B ケーブルで、コンピュータの USB Type-A ポートを KE9950T/KE9952T の USB Type-B ポートに接続してください。これと同様に、オーディオケーブルでコンピュータのオーディオポートを KE9950T/KE9952T のオーディオ出力ポートに接続してください。
4. 手順 3 で使用した DisplayPort ケーブル、USB 2.0 Type-A→Type-B ケーブル、およびオーディオケーブルのもう片方の端にある各コネクタを、コンピュータの当該ポート (DisplayPort モニター、USB Type-A、マイク、スピーカーの各ポート) にそれぞれ接続してください。
5. シリアルデバイスを接続して使用したい場合は、トランスミッターの RS-232 シリアルポートとコンピュータのシリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)で接続してください。
6. Cat 5e/6 ケーブルをトランスミッターの LAN ポートに接続してください。

7. 次に、レシーバー (KE9950R/KE9952R) 側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DisplayPort モニター、シリアルデバイス、スピーカー、マイク)をレシーバーのコンソールセクションにある当該ポートにそれぞれ接続してください。
8. Cat 5e/6 ケーブルのもう片方の端をレシーバーの LAN ポートに接続してください。
9. LAN ポート経由で接続する代わりに、KE9950/KE9952 を SFP スロット経由で接続することもできます。後者の方法で接続する場合は、SFP モジュールをトランスミッターとレシーバーの SFP スロットにそれぞれ接続し、これらの SFP モジュール※<sup>1</sup> をギガビットイーサネット (GbE) 光ファイバーケーブルで接続してください。
10. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャックに接続してください。レシーバーも同様の方法で電源アダプターを使って電源に接続してください。なお、KE9952 は Power over Ethernet (PoE) に対応していますので、電源アダプターを使わなくても PoE ネットワークスイッチ経由で給電することができます。
11. (オプション) 電源を二重化する場合は、2 つ目の電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャック※<sup>2</sup> に接続してください。レシーバーも同様の方法で電源アダプターを使って電源に接続してください。
12. コンピューターに電源を入れてください。

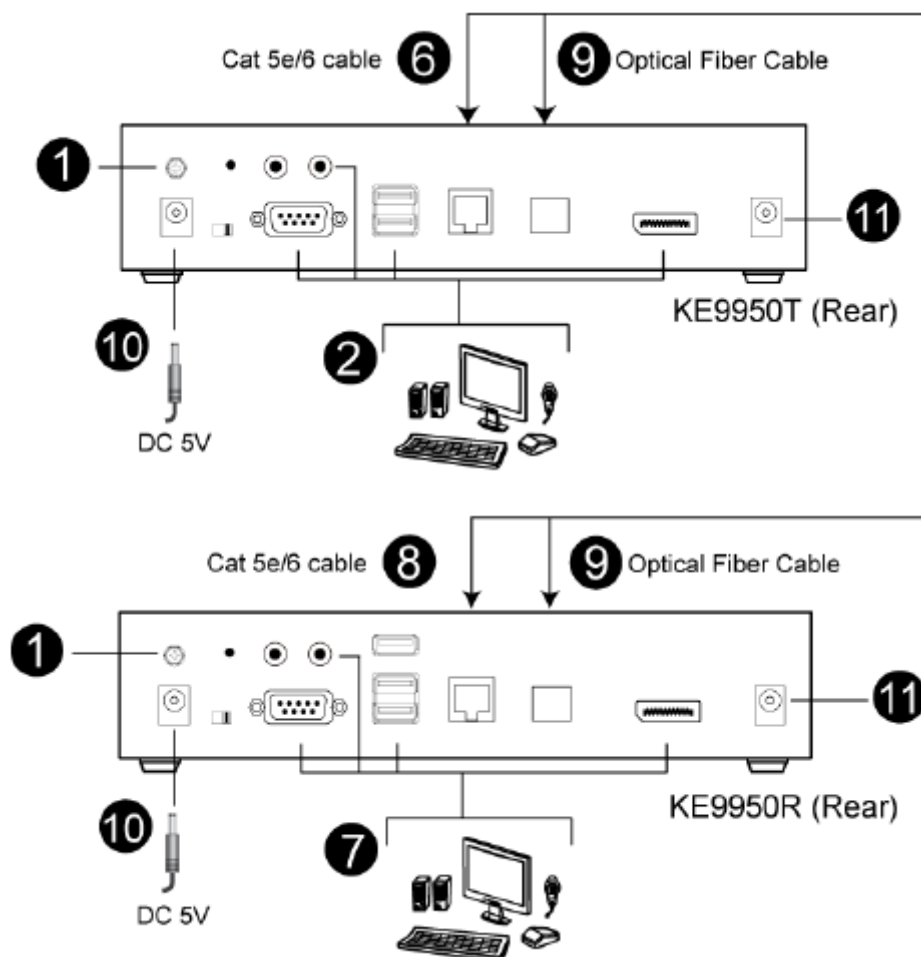
---

**注意:**

1. SFP モジュール (2A-136G/2A-137G) は別売りです。製品情報については、弊社販売代理店までお問い合わせください。
2. この仕様は、KE9950T と KE9950R のみでご利用いただけます。なお、2 つ目の電源アダプターは別売りです。製品情報については、弊社販売代理店までお問い合わせください。また、KE9952T と KE9952R の冗長電源は、PoE 機能によって実現されます。

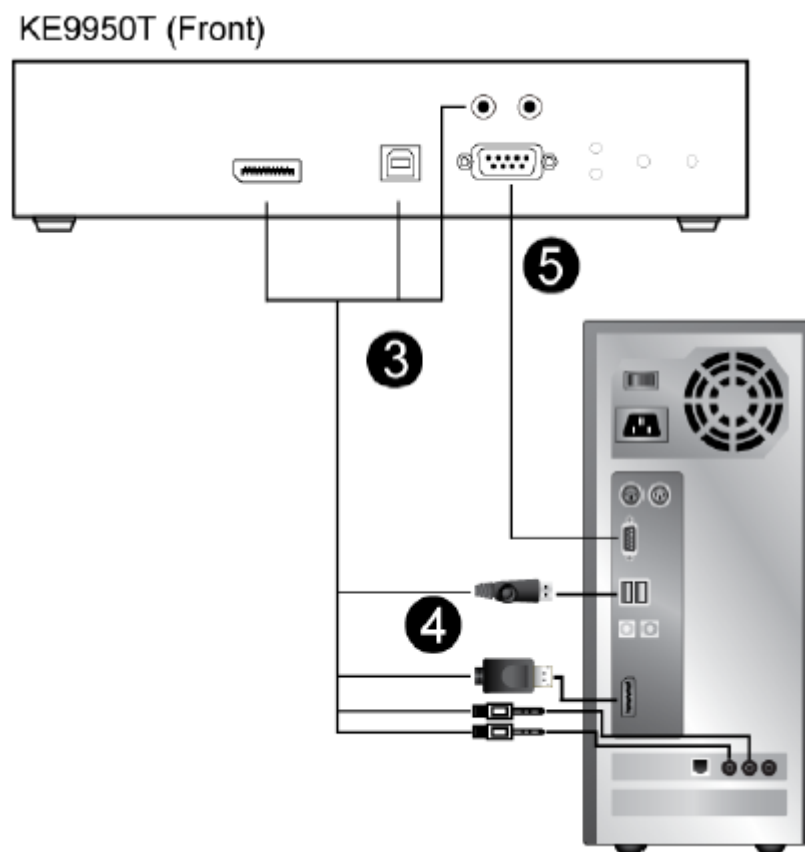
---

## KE9950/KE9952 を 1 対 1 で使用する場合の接続図(1/2)



**注意:** KE9952 には電源アダプターが同梱されていません。電源アダプターが追加で必要となる場合には、販売店までお問い合わせください。または、PoE (Power over Ethernet) 機能を使って KE9952 に給電してください。

## KE9950/KE9952 を 1 対 1 で使用する場合の接続図 (2/2)



---

**注意:** トランスミッター側のシリアルポートにはコンピューターを、また、レシーバー側のシリアルポート(図には表示されていません)にはシリアルデバイス(オプション)を、それぞれ接続してください。

---

## イーサネット経由で使用する場合はセットアップ方法 (KE6900/KE6940)

---

イーサネット経由で本製品を使用するには、1 対 1、1 対多、多対 1、多対多の 4 つの通信方法があります。1 対 1 以外で使用する場合は、KE6900/KE6900ST/KE6940 をそれぞれ複数台使用し、同一のイーサネット上でトランスミッターとレシーバーを接続して使用します。セットアップする前に、弊社が提供するパフォーマンスガイドを使って、お使いの KE システムのレイアウト計画を作成されることを推奨します。詳細は、p.473「ネットワークパフォーマンス改善の秘訣」をご参照ください。

セットアップの際には、次の点にご注意ください。

- ◆ 本製品には工場出荷時にデフォルトのネットワーク情報が設定されています。製品を単体で 1 対 1 にて使用する場合は、これらのデフォルトのネットワーク情報を変更する必要はありません。詳細については p.183「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。
- ◆ 同一のイーサネットネットワークにおいて、1 対 1 以外の機器構成で使用する場合、トランスミッターやレシーバーにはそれぞれ固有の IP アドレスを設定してください。詳細については p.155「ネットワークの設定」をご参照ください。
- ◆ 本製品を使って、異なる LAN セグメント間で通信を行う場合は、1000Mbps ギガビットイーサネットスイッチ（ポートあたり 1Gbps/1.5Gbps の性能で、ワイヤスピード、ノンブロッキングで通信）の使用を推奨します。10/100Mbps のスイッチでは使用に耐えないおそれがあります。
- ◆ 1 対 1 以外の機器構成で使用する際には、データスループットの低下を防ぐために、お使いのネットワークスイッチ/ハブにおいて IGMP およびフロー制御機能を有効にしてください。本製品の性能が存分に発揮されるよう、IGMP クエリに対応したレイヤー 3 スイッチをお使いください。
- ◆ お使いのネットワークで、スイッチをカスケード接続してご使用の場合は、データスループットが十分かどうか、ご確認ください。
- ◆ 本製品は帯域幅を大量に使用しますので、性能が存分に発揮されるよう、専用のプライベートネットワークを構築されることを推奨します。
- ◆ まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。

以下の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. KE6900T/KE6940T で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DVI モニター、マイク、スピーカー)を背面の当該ポートにそれぞれ接続してください。ポートにはわかりやすくするため、

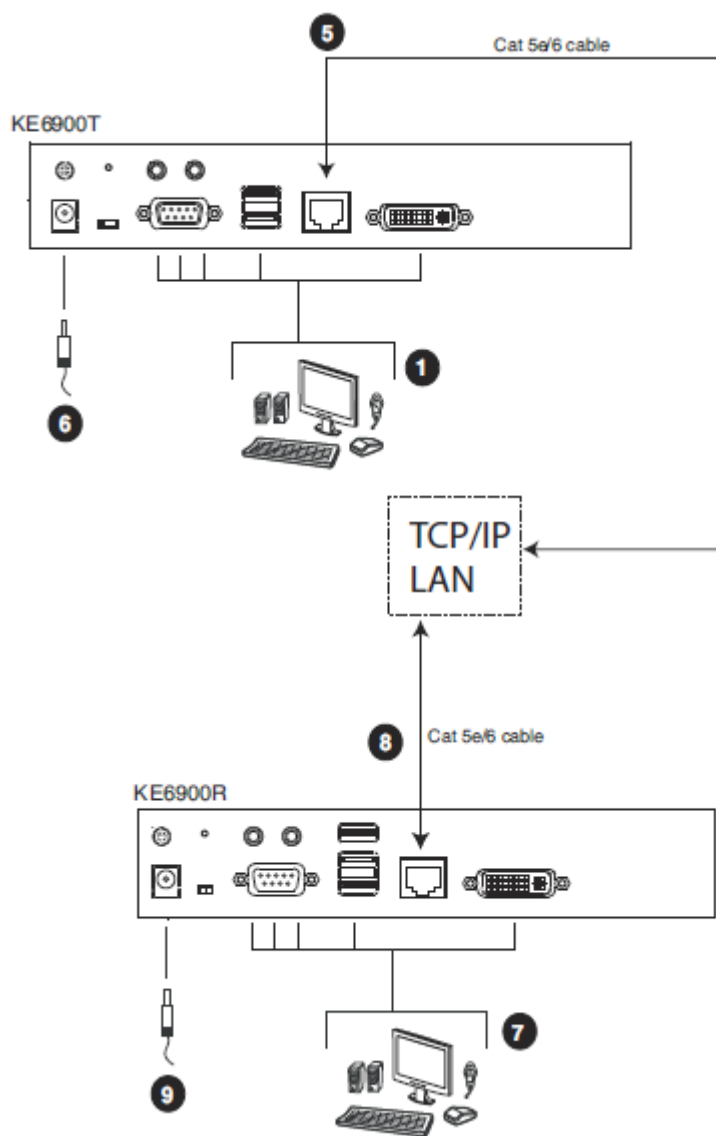
接続するデバイスのアイコンと PC99 準拠のカラーリングが施されています(下記の注意書き 1 参照)。

2. 製品同梱の USB KVM ケーブルの各コネクタを、トランスミッターのフロントパネルにある KVM ポートセクションの当該ポートにそれぞれ接続してください。
3. 手順 2 で使用した USB KVM ケーブルのもう片方の端にある各コネクタを、コンピューターの当該ポート(マウス、キーボード、DVI モニター、マイク、スピーカーの各ポート)にそれぞれ接続してください。
4. シリアルデバイスを接続して使用したい場合は、トランスミッターの RS-232 シリアルポートとコンピューターのシリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)で接続してください。
5. Cat 5e/6 ケーブルをトランスミッターのユニットのリア側にある LAN ポートに接続し、このケーブルをイーサネットに接続してください。
6. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、このアダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャックに接続してください。
7. 次に、レシーバー側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、DVI モニター、スピーカー、マイク)を背面のコンソールセクションにある当該ポートにそれぞれ接続してください(下記の注意書き 2 を参照)。
8. Cat 5e/6 ケーブルをレシーバーの背面にある LAN ポートに接続し、このケーブルをイーサネットに接続してください。
9. 製品に同梱されている 2 つ目の電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをレシーバーの電源ジャックに接続してください。
10. レシーバー側の OSD を使って、トランスミッターとレシーバー両方のネットワーク設定を行ってください(p.155「ネットワークの設定」参照)。
11. 使用するトランスミッターとレシーバーそれぞれに対して、上記の手順でセットアップを行ってください。

12. コンピューターに電源を入れてください。

- 
- 注意:**
1. KE6940 に DVI モニターを 2 台接続する場合は、同梱の DVI ケーブルで 2 台目の DVI モニターとコンピューターを KE6940 に接続してください。
  2. 特殊機能を備えたキーボードやマウスを使用する場合は、p.196「USB Mode (USB モード)」を参照してください。
-

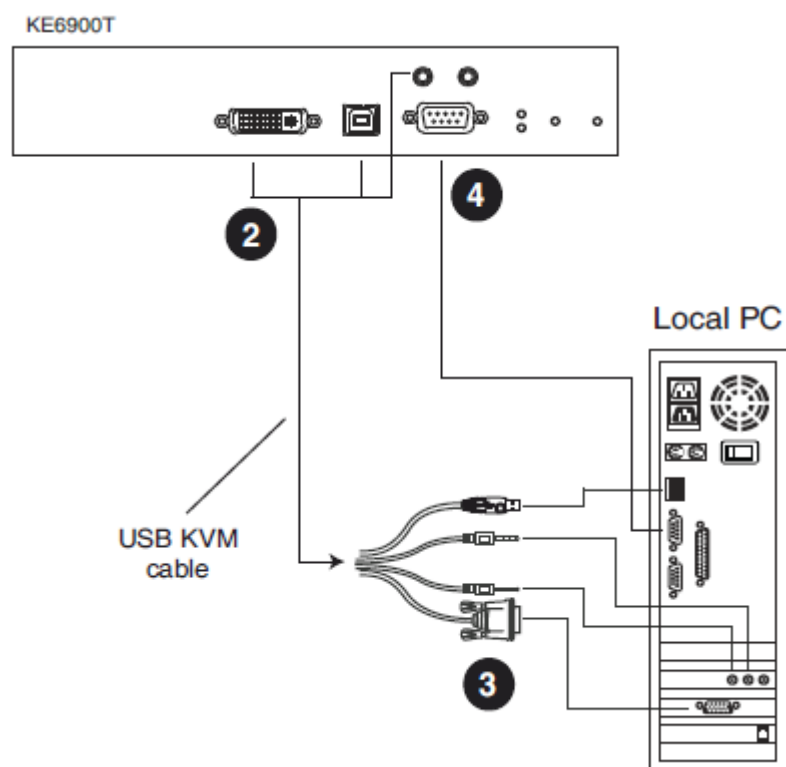
## KE6900/KE6940 をイーサネット経由で使用する場合の接続図(1/2)



**注意:** 上図は、KE6900T と KE6900R を例に取った接続図です。KE6940 のセットアップは、デュアルディスプレイ用として両側にもう 1 台 DVI モニターが接続されるという点を除いて、基本的に同じ方法で行います。



## KE6900/KE6940 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2)



---

**注意:** トランスミッター側のシリアルポートには、コンピューターを、また、レシーバー側のシリアルポート(図には表示されていません)にはシリアルデバイス(オプション)を、それぞれ接続してください。

---

## イーサネット経由で使用する場合はセットアップ方法 (KE6900A/KE6940A)

---

イーサネット経由で本製品を使用するには、1 対 1、1 対多、多対 1、多対多の 4 つの通信方法があります。1 対 1 以外で使用する場合は、KE6900A/KE6940A をそれぞれ複数台使用し、同一のイーサネット上でトランスミッターとレシーバーを接続して使用します。セットアップする前に、弊社が提供するパフォーマンスガイドを使って、お使いの KE システムのレイアウト計画を作成されることを推奨します。詳細は、p.473「ネットワークパフォーマンス改善の秘訣」をご参照ください。

セットアップの際には、次の点にご注意ください。

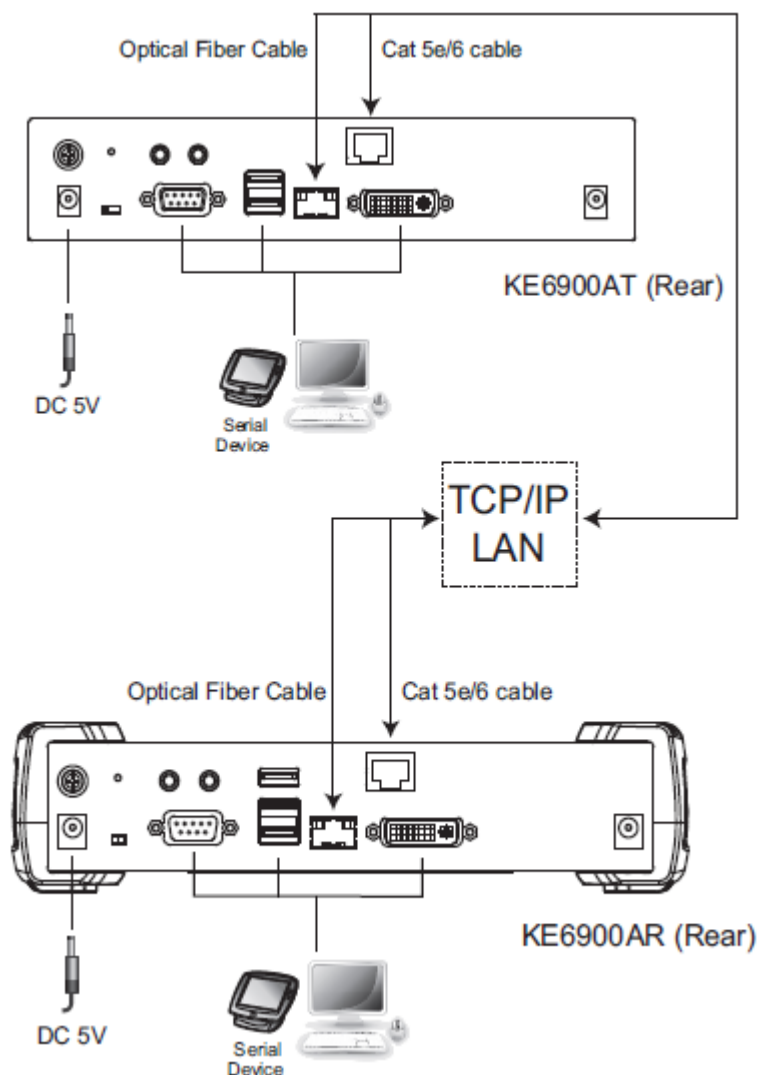
- ◆ 本製品には工場出荷時にデフォルトのネットワーク情報が設定されています。製品を単体で 1 対 1 にて使用する場合は、これらのデフォルトのネットワーク情報を変更する必要はありません。詳細については p.183「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。
- ◆ 同一のイーサネットネットワークにおいて、1 対 1 以外の機器構成で使用する場合、トランスミッターやレシーバーにはそれぞれ固有の IP アドレスを設定してください。詳細については p.155「ネットワークの設定」をご参照ください。
- ◆ 本製品を使って、異なる LAN セグメント間で通信を行う場合は、1000Mbps ギガビットイーサネットスイッチ（ポートあたり 1Gbps/1.5Gbps の性能で、ワイヤスピード、ノンブロッキングで通信）の使用を推奨します。10/100Mbps のスイッチでは使用に耐えないおそれがあります。
- ◆ 1 対 1 以外の機器構成で使用する際には、データスループットの低下を防ぐために、お使いのネットワークスイッチ/ハブにおいて IGMP およびフロー制御機能を有効にしてください。本製品の性能が存分に発揮されるよう、IGMP クエリに対応したレイヤー 3 スイッチをお使いください。
- ◆ お使いのネットワークで、スイッチをカスケード接続してご使用の場合は、データスループットが十分かどうか、ご確認ください。
- ◆ 本製品は帯域幅を大量に使用しますので、性能が存分に発揮されるよう、専用のプライベートネットワークを構築されることを推奨します。
- ◆ KE6900A/KE6940A はネットワークの二重化に対応しています。LAN ポートと SFP ポートが両方接続されている場合は、ネットワークが二重化されますが、銅製 SFP モジュールをお使いの際に LAN ポートのネットワークに切り替えるには、モジュールを取り外す必要があります。
- ◆ 特殊機能を備えたキーボードやマウスを使用する場合は、p.196「USB Mode (USB モード)」を参照してください。
- ◆ まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。

い。

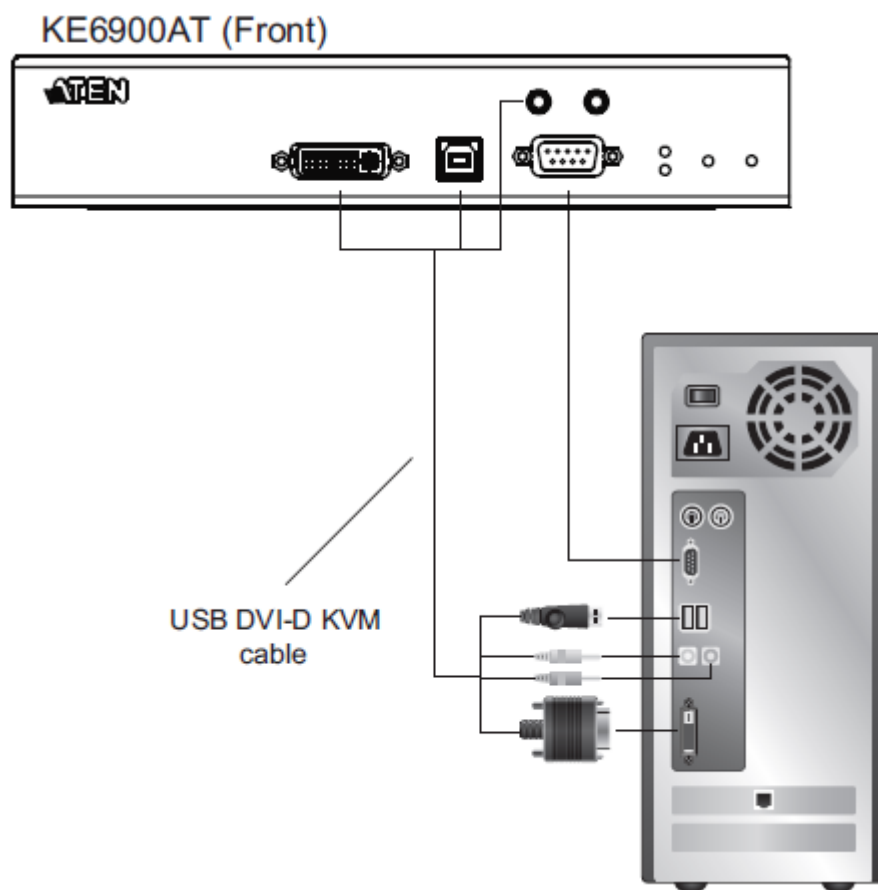
セットアップ手順は、p.124「1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE6900A/KE6940A)」に記載されている内容と基本的に同じです。異なるのは、トランスミッターとレシーバーをローカルエリアの TCP/IP ネットワークに接続する点です。次のページの接続図を参考にしながら、正しく接続を行ってください。

ネットワークで使用するトランスミッターとレシーバーそれぞれに対して手順を繰り返し、最後にコンピュータの電源を入れてください。

### KE6900A/KE6940A をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (1/2)



KE6900A/KE6940A をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2)



## イーサネット経由で使用する場合はセットアップ方法 (KE6900AiT/KE6940AiT)

---

イーサネット経由で本製品を使用するには、1 対 1、1 対多、多対 1、多対多の 4 つの通信方法があります。1 対 1 以外で使用する場合は、エクステンダーを複数台使用し、同一のイーサネット上でトランスミッターとレシーバーを接続して使用します。セットアップを行う前に、弊社が提供するパフォーマンスガイドを使って、お使いの KE システムのレイアウト計画を作成されることを推奨します。詳細は、p.473「ネットワークパフォーマンス改善の秘訣」をご参照ください。

セットアップの際には、次の点にご注意ください。

- ◆ 本製品には工場出荷時にデフォルトのネットワーク情報が設定されています。製品を単体で 1 対 1 にて使用する場合は、これらのデフォルトのネットワーク情報を変更する必要はありません。詳細については p.183「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。
- ◆ 同一のイーサネットネットワークにおいて、1 対 1 以外の機器構成で使用する場合、トランスミッターやレシーバーにはそれぞれ固有の IP アドレスを設定してください。詳細については p.155「ネットワークの設定」をご参照ください。
- ◆ 本製品を使って、異なる LAN セグメント間で通信を行う場合は、1000Mbps ギガビットイーサネットスイッチ（ポートあたり 1Gbps/1.5Gbps の性能で、ワイヤスピード、ノンブロッキングで通信）の使用を推奨します。10/100Mbps のスイッチでは使用に耐えないおそれがあります。
- ◆ 1 対 1 以外の機器構成で使用する際には、データスループットの低下を防ぐために、お使いのネットワークスイッチ/ハブにおいて IGMP およびフロー制御機能を有効にしてください。本製品の性能が存分に発揮されるよう、IGMP クエリに対応したレイヤー 3 スイッチをお使いください。
- ◆ お使いのネットワークで、スイッチをカスケード接続してご使用の場合は、データスループットが十分かどうか、ご確認ください。
- ◆ 本製品は帯域幅を大量に使用しますので、性能が存分に発揮されるよう、専用のプライベートネットワークを構築されることを推奨します。
- ◆ KE6900AiT/KE6940AiT はネットワークの二重化に対応しています。LAN ポートと SFP ポートが両方接続されている場合は、ネットワークが二重化されますが、銅製 SFP モジュールをお使いの際に LAN ポートのネットワークに切り替えるには、モジュールを取り外す必要があります。
- ◆ 特殊機能を備えたキーボードやマウスを使用する場合は、p.196「USB Mode (USB モード)」を参照してください。
- ◆ 作業に取り掛かる前に、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていること

を確認してください。

セットアップ手順は、p.128「1 対 1 で使用する場合のセットアップ方法 (KE6900AiT/KE6940AiT)」に記載されている内容と基本的に同じです。異なるのは、トランスミッターとレシーバーをローカルエリアの TCP/IP ネットワークに接続する点です。次のページの接続図を参考にしながら、正しく接続を行ってください。

ネットワークで使用するトランスミッターとレシーバーそれぞれに対して手順を繰り返し、最後にコンピュータの電源を入れてください。

---

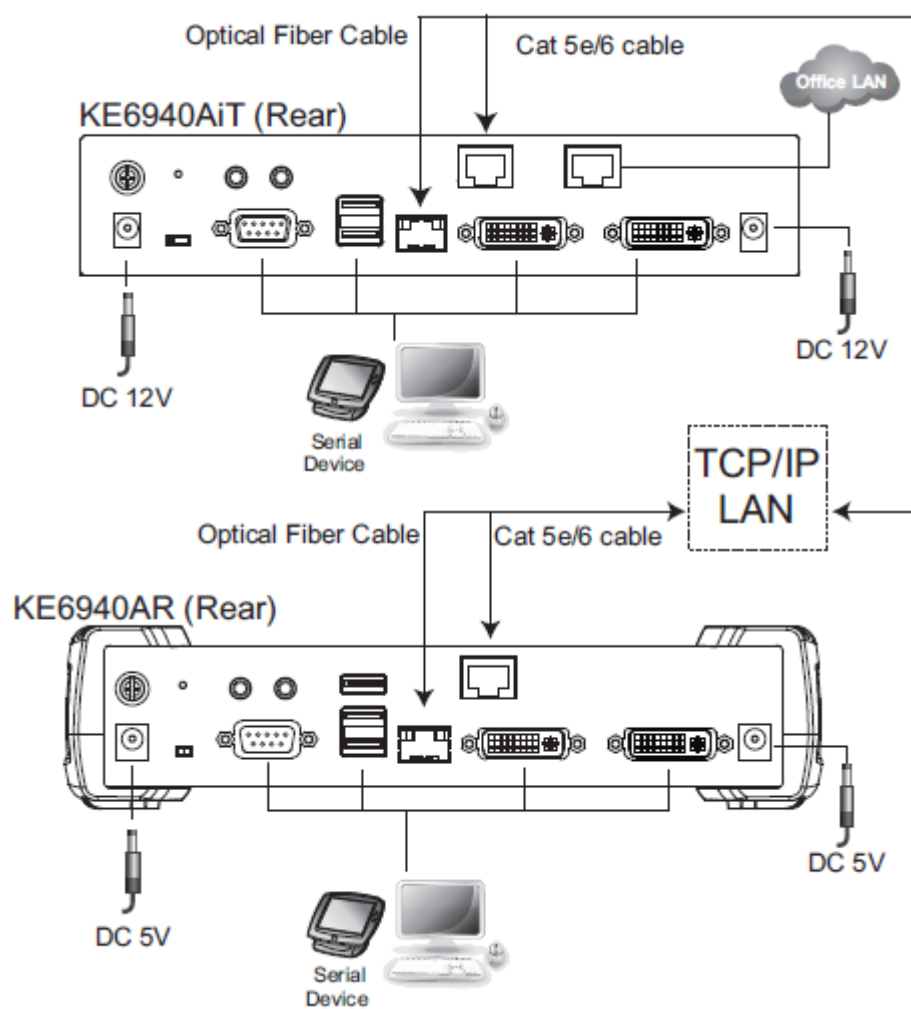
**注意:** Windows/Java クライアントを使用してリモートアクセスを行う場合は、KE6900AiT/KE6940AiT のインターネットポートをオフィス LAN に接続する必要があります。

また、AiT モデルは、平置きで積み重ねてセットアップするのではなく、適切に排気が行われるようシステムラックまたは壁にマウントすることを推奨します。

---

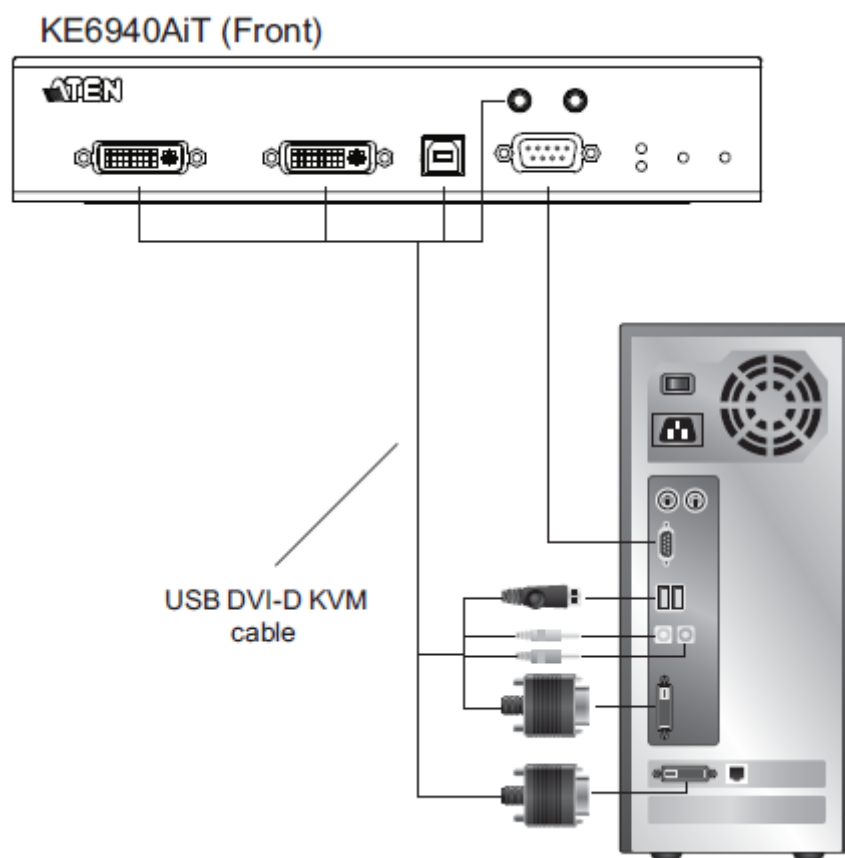
## KE6900AiT/KE6940AiT をイーサネット経由で使用する場合の接続図

(1/2)



KE6900AiT/KE6940AiT をイーサネット経由で使用する場合の接続図

(2/2)





## イーサネット経由で使用する場合はセットアップ方法 (KE6910/KE6912)

イーサネット経由で本製品を使用するには、1 対 1、1 対多、多対 1、多対多の 4 つの通信方法があります。1 対 1 以外で使用する場合は、KE6910/KE6912 をそれぞれ複数台使用し、同一のイーサネット上でトランスミッターとレシーバーを接続して使用します。セットアップする前に、弊社が提供するパフォーマンスガイドを使って、お使いの KE システムのレイアウト計画を作成されることを推奨します。詳細は、p.473「ネットワークパフォーマンス改善の秘訣」をご参照ください。

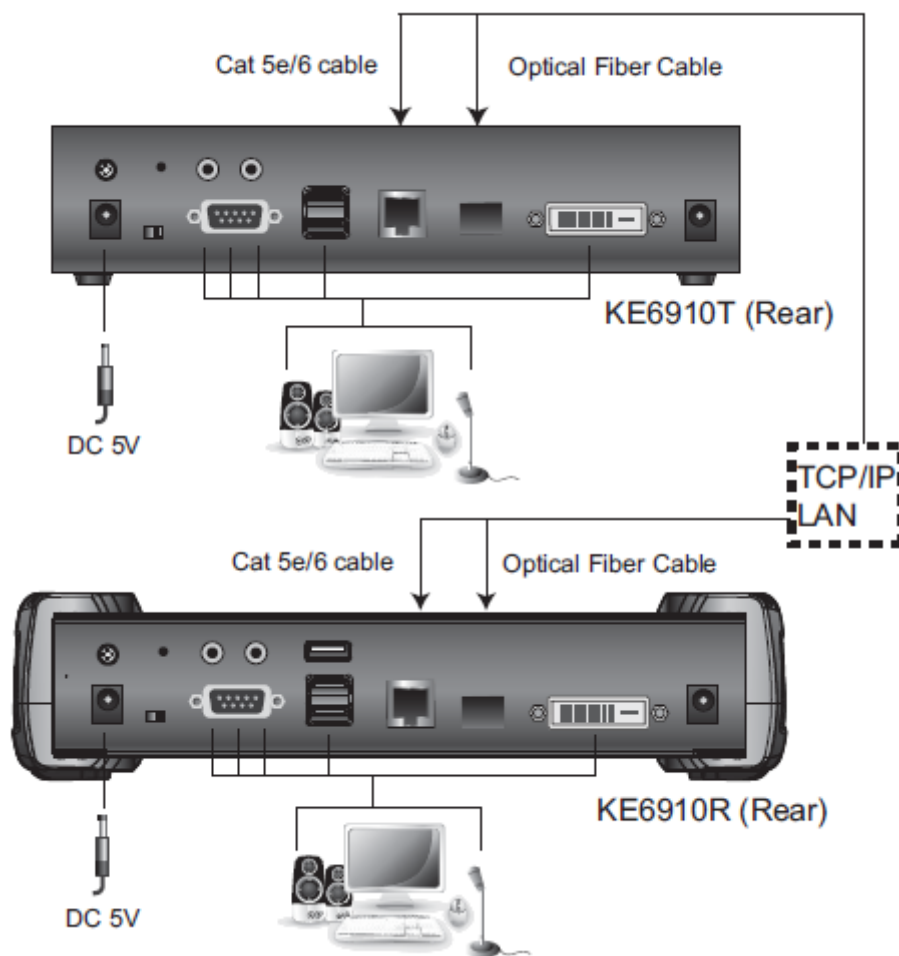
セットアップの際には、次の点にご注意ください。

- ◆ 本製品には工場出荷時にデフォルトのネットワーク情報が設定されています。製品を単体で 1 対 1 にて使用する場合は、これらのデフォルトのネットワーク情報を変更する必要はありません。詳細については p.183「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。
- ◆ 同一のイーサネットネットワークにおいて、1 対 1 以外の機器構成で使用する場合、トランスミッターやレシーバーにはそれぞれ固有の IP アドレスを設定してください。詳細については p.155「ネットワークの設定」をご参照ください。
- ◆ 本製品を使って、異なる LAN セグメント間で通信を行う場合は、1000Mbps ギガビットイーサネットスイッチ（ポートあたり 1Gbps/1.5Gbps の性能で、ワイヤスピード、ノンブロッキングで通信）の使用を推奨します。10/100Mbps のスイッチでは使用に耐えないおそれがあります。
- ◆ 1 対 1 以外の機器構成で使用する際には、データスループットの低下を防ぐために、お使いのネットワークスイッチ/ハブにおいて IGMP およびフロー制御機能を有効にしてください。本製品の性能が存分に発揮されるよう、IGMP クエリに対応したレイヤー 3 スイッチをお使いください。
- ◆ お使いのネットワークで、スイッチをカスケード接続してご使用の場合は、データスループットが十分かどうか、ご確認ください。
- ◆ 本製品は帯域幅を大量に使用しますので、性能が存分に発揮されるよう、専用のプライベートネットワークを構築されることを推奨します。
- ◆ まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。

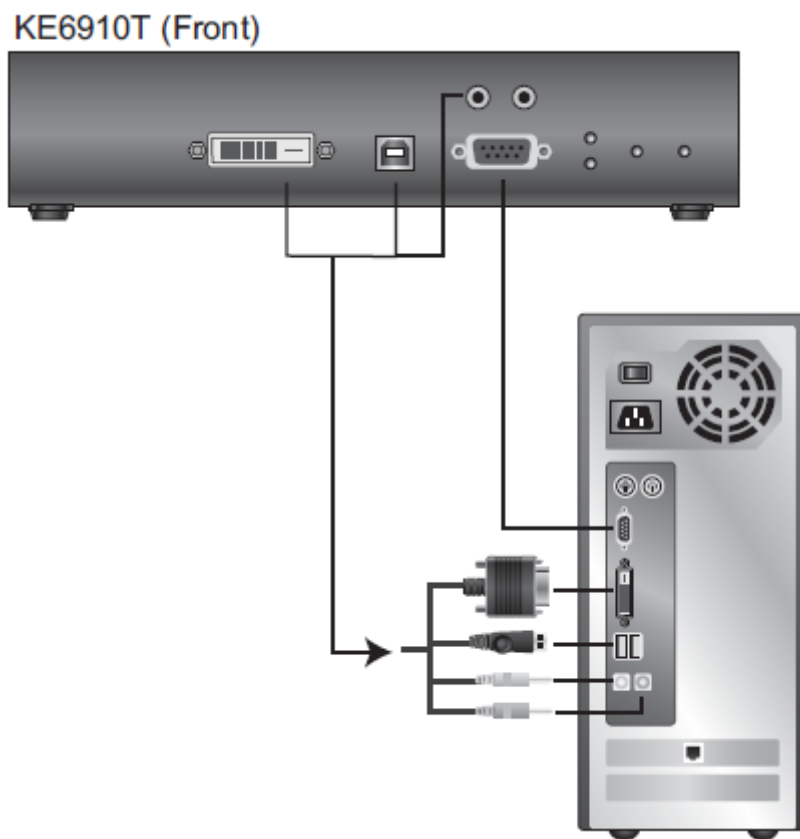
セットアップ手順は、p.132「1 対 1 で使用する場合はセットアップ方法 (KE6910/KE6912)」に記載されている内容と基本的に同じです。異なるのは、トランスミッターとレシーバーをローカルエリアの TCP/IP ネットワークに接続する点です。次のページの接続図を参考にしながら、正しく接続を行ってください。

ネットワークで使用するトランスミッターとレシーバーそれぞれに対して手順を繰り返し、最後にコンピュータの電源を入れてください。

### KE6910/KE6912 をイーサネット経由で使用する場合の接続図(1/2)



KE6910/KE6912 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2)



## イーサネット経由で使用する場合はセットアップ方法 (KE6920/KE6922)

---

イーサネット経由で本製品を使用するには、1 対 1、1 対多、多対 1、多対多の 4 つの通信方法があります。1 対 1 以外で使用する場合は、KE6920/KE6922 をそれぞれ複数台使用し、同一のイーサネット上でトランスミッターとレシーバーを接続して使用します。セットアップする前に、弊社が提供するパフォーマンスガイドを使って、お使いの KE システムのレイアウト計画を作成されることを推奨します。詳細は、p.473「ネットワークパフォーマンス改善の秘訣」をご参照ください。

セットアップの際には、次の点にご注意ください。

- ◆ 本製品には工場出荷時にデフォルトのネットワーク情報が設定されています。製品を単体で 1 対 1 にて使用する場合は、これらのデフォルトのネットワーク情報を変更する必要はありません。詳細については p.183「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。
- ◆ 同一のイーサネットネットワークにおいて、1 対 1 以外の機器構成で使用する場合は、トランスミッターやレシーバーにはそれぞれ固有の IP アドレスを設定してください。詳細については p.155「ネットワークの設定」をご参照ください。
- ◆ 本製品を使って、異なる LAN セグメント間で通信を行う場合は、1000Mbps ギガビットイーサネットスイッチ（ポートあたり 1Gbps/1.5Gbps の性能で、ワイヤスピード、ノンブロッキングで通信）の使用を推奨します。10/100Mbps のスイッチでは使用に耐えないおそれがあります。
- ◆ 1 対 1 以外の機器構成で使用する際には、データスループットの低下を防ぐために、お使いのネットワークスイッチ/ハブにおいて IGMP およびフロー制御機能を有効にしてください。本製品の性能が存分に発揮されるよう、IGMP クエリに対応したレイヤー 3 スイッチをお使いください。
- ◆ お使いのネットワークで、スイッチをカスケード接続してご使用の場合は、データスループットが十分かどうか、ご確認ください。
- ◆ 本製品は帯域幅を大量に使用しますので、性能が存分に発揮されるよう、専用のプライベートネットワークを構築されることを推奨します。
- ◆ まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。

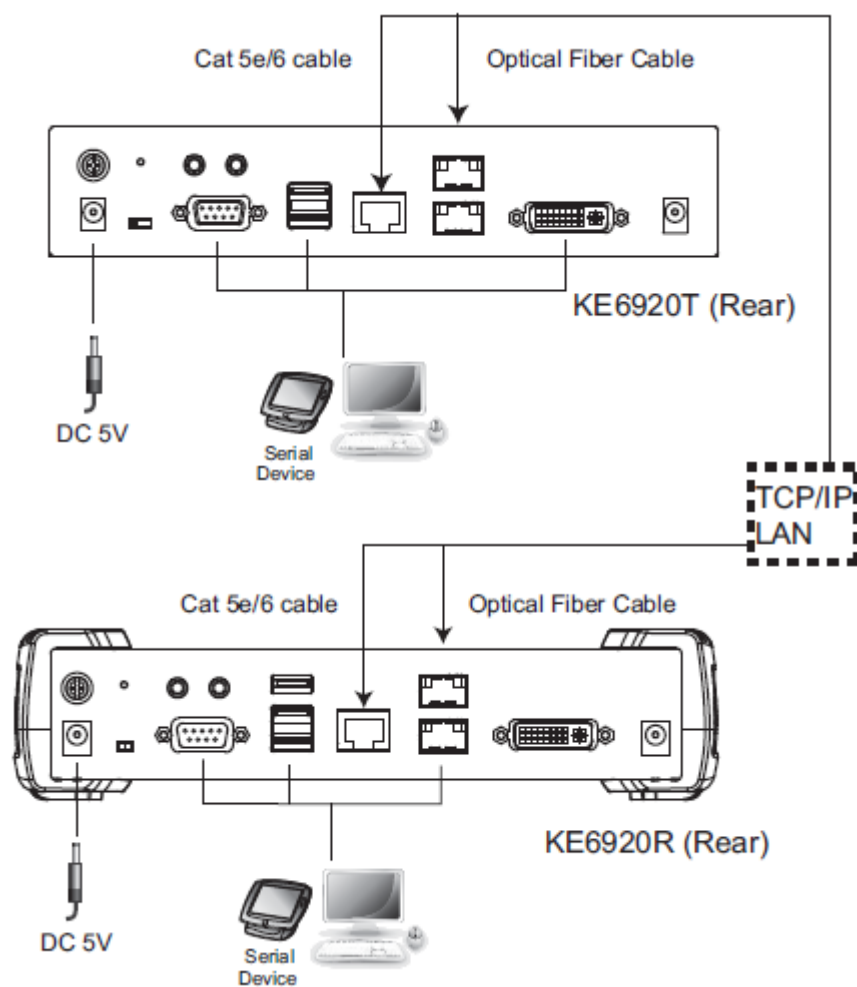
セットアップ手順は、p.136「1 対 1 で使用する場合はセットアップ方法 (KE6920/KE6922)」に記載されている内容と基本的に同じです。異なるのは、トランスミッターとレシーバーをローカルエリアの TCP/IP ネットワークに接続する点です。次のページの接続図を参考にしながら、正しく接続を行っ

てください。

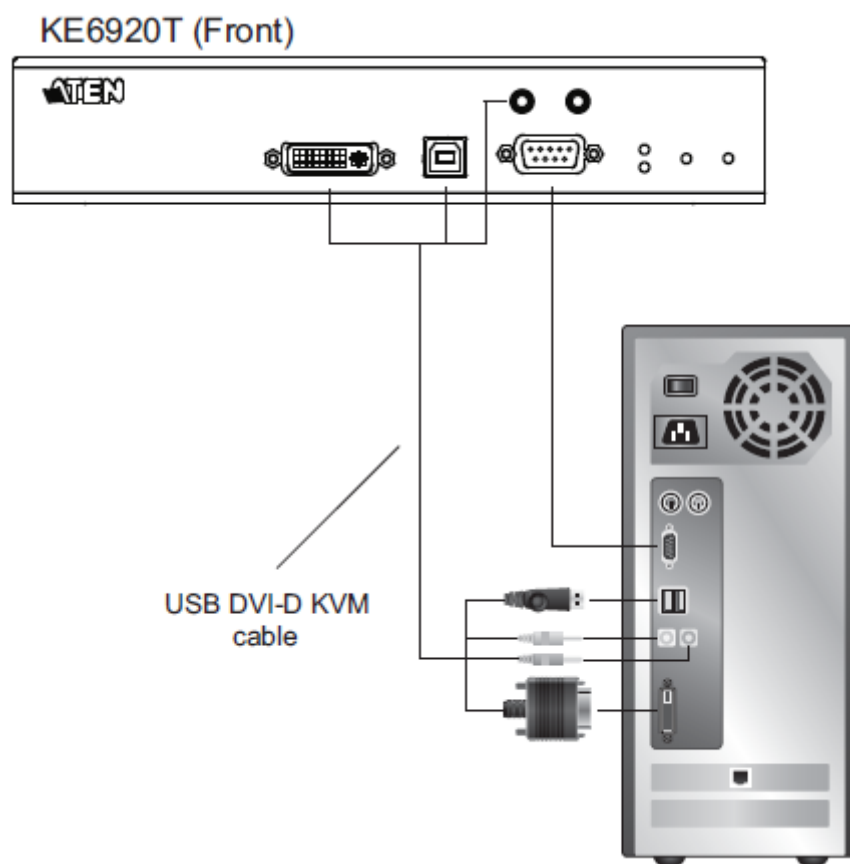
ネットワークで使用するトランスミッターとレシーバーそれぞれに対して手順を繰り返し、最後にコンピュータの電源を入れてください。

- 
- 注意:**
1. KE6920/KE6922 はネットワークの二重化に対応しています。LAN ポートと SFP ポートが両方接続されている場合は、ネットワークが二重化されますが、銅製 SFP モジュールをお使いの際に LAN ポートのネットワークに切り替えるには、モジュールを取り外す必要があります。
  2. KE6922 の LAN ポートは、PoE (Power over Ethernet) 機能に対応しています。このため、互換性のある PoE ネットワークスイッチに接続されると、製品本体に電源が供給されます。
  3. KE6922 には電源アダプターが同梱されていません。電源アダプターが追加で必要となる場合には、販売店にお問い合わせの上、お求めください。または、PoE (Power over Ethernet) 機能を使って KE6922 に給電してください。
  4. 特殊機能を備えたキーボードやマウスを使用する場合は、p.196「USB Mode (USB モード)」を参照してください。
-

KE6920/KE6922 をイーサネット経由で使用する場合の接続図(1/2)



KE6920/KE6922 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2)



## イーサネット経由で使用する場合はセットアップ方法 (KE8950/KE8952)

---

イーサネット経由で本製品を使用するには、1 対 1、1 対多、多対 1、多対多の 4 つの通信方法があります。1 対 1 以外で使用する場合は、KE8950/KE8952 をそれぞれ複数台使用し、同一のイーサネット上でトランスミッターとレシーバーを接続して使用します。セットアップする前に、弊社が提供するパフォーマンスガイドを使って、お使いの KE システムのレイアウト計画を作成されることを推奨します。詳細は、p.473「ネットワークパフォーマンス改善の秘訣」をご参照ください。

セットアップの際には、次の点にご注意ください。

- ◆ 本製品には工場出荷時にデフォルトのネットワーク情報が設定されています。製品を単体で 1 対 1 にて使用する場合は、これらのデフォルトのネットワーク情報を変更する必要はありません。詳細については p.183「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。
- ◆ 同一のイーサネットネットワークにおいて、1 対 1 以外の機器構成で使用する場合、トランスミッターやレシーバーにはそれぞれ固有の IP アドレスを設定してください。詳細については p.155「ネットワークの設定」をご参照ください。
- ◆ 本製品を使って、異なる LAN セグメント間で通信を行う場合は、1000Mbps ギガビットイーサネットスイッチ（ポートあたり 1Gbps/1.5Gbps の性能で、ワイヤスピード、ノンブロッキングで通信）の使用を推奨します。10/100Mbps のスイッチでは使用に耐えないおそれがあります。
- ◆ 1 対 1 以外の機器構成で使用する際には、データスループットの低下を防ぐために、お使いのネットワークスイッチ/ハブにおいて IGMP およびフロー制御機能を有効にしてください。本製品の性能が存分に発揮されるよう、IGMP クエリに対応したレイヤー 3 スイッチをお使いください。
- ◆ お使いのネットワークで、スイッチをカスケード接続してご使用の場合は、データスループットが十分かどうか、ご確認ください。
- ◆ 本製品は帯域幅を大量に使用しますので、性能が存分に発揮されるよう、専用のプライベートネットワークを構築されることを推奨します。
- ◆ まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。

以下の接続図を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. トランスミッター側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、HDMI モニター、マイク、スピー



カー)を背面の当該ポートにそれぞれ接続してください。ポートにはわかりやすくするため、接続するデバイスのアイコン表示とPC99 準拠のカラーリングが施されています。

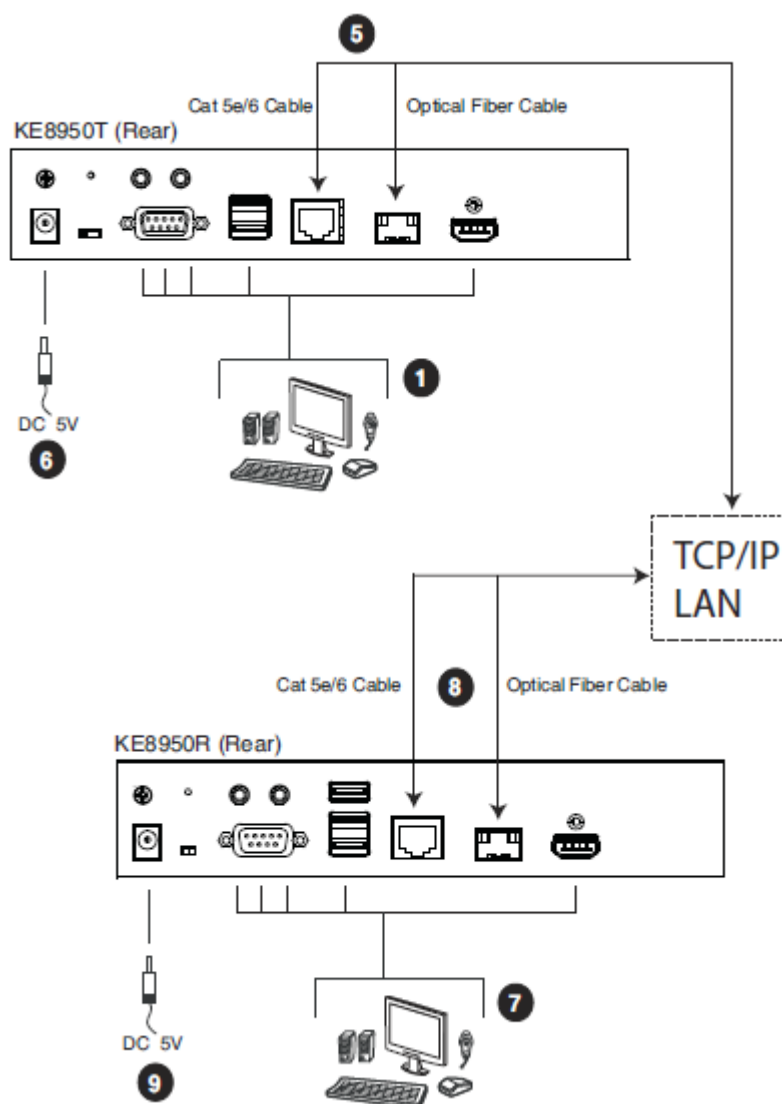
2. 製品同梱の USB KVM ケーブルの各コネクタを、トランスミッターのフロントパネルにある KVM ポートセクションの当該ポートにそれぞれ接続してください。
3. 手順2 で使用した USB KVM ケーブルのもう片方の端にある各コネクタを、コンピューターの当該ポート(マウス、キーボード、HDMI モニター、マイク、スピーカーの各ポート)にそれぞれ接続してください。
4. シリアルデバイスを接続して使用したい場合は、トランスミッターの RS-232 シリアルポートとコンピューターのシリアルポートをシリアルケーブル(ストレート 全結線 : コンピューター側 メス、トランスミッター側 オス)で接続してください。
5. ネットワークにつながっている Cat 5e/6 ケーブルをトランスミッターの LAN ポートに接続するか、同じくネットワークにつながっている GbE 光ファイバーケーブルを SFP ポートに接続して、トランスミッターをローカルエリアの TCP/IP ネットワークに接続してください<sup>※2</sup>。
6. 製品に同梱されている電源アダプターを AC 電源に接続し、このアダプターの電源ケーブルをトランスミッターの電源ジャックに接続してください<sup>※3</sup>。
7. 次に、レシーバー側で、コンソールデバイス(マウス、キーボード、HDMI モニター、スピーカー、マイク)を背面のコンソールセクションにある当該ポートにそれぞれ接続してください<sup>※4</sup>。
8. 手順5と同様の方法で、ネットワークにつながっている Cat 5e/6 ケーブルをレシーバーの背面にある LAN ポートに接続するか、同じくネットワークにつながっている GbE 光ファイバーケーブルを SFP ポートに接続して、レシーバーをローカルエリアの TCP/IP ネットワークに接続してください<sup>※2</sup>。
9. 製品に同梱されている 2 つ目の電源アダプターを AC 電源に接続し、この電源アダプターの電源ケーブルをレシーバーの電源ジャックに接続してください<sup>※3</sup>。
10. レシーバー側の OSD を使って、トランスミッターとレシーバー両方のネットワーク設定を行ってください(p.155「ネットワークの設定」参照)。
11. 使用するトランスミッターとレシーバーそれぞれに対して、上記の手順でセットアップを行ってく

ださい。

12. コンピューターに電源を入れてください。

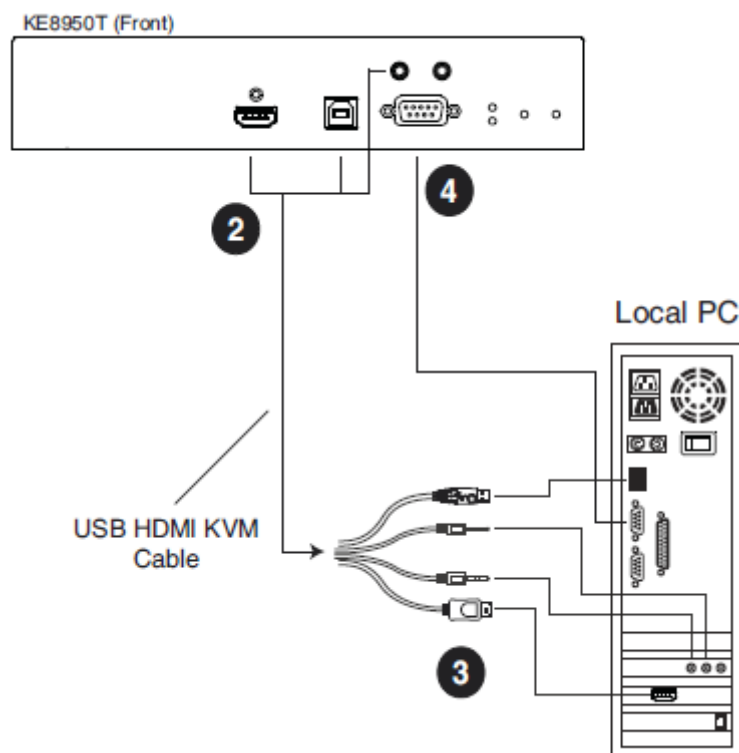
- 
- 注意:**
1. KE8950/KE8952 はネットワークの二重化に対応しています。LAN ポートと SFP ポートが両方接続されている場合は、ネットワークが二重化されますが、銅製 SFP モジュールをお使いの際に LAN ポートのネットワークに切り替えるには、モジュールを取り外す必要があります。
  2. KE8952 の LAN ポートは、PoE (Power over Ethernet) 機能に対応しています。このため、互換性のある PoE ネットワークスイッチに接続されると、製品本体に電源が供給されます。
  3. KE8952 には電源アダプターが同梱されていません。電源アダプターが追加で必要となる場合には、販売店にお問い合わせの上、お求めください。または、PoE (Power over Ethernet) 機能を使って KE8952 に給電してください。
  4. 特殊機能を備えたキーボードやマウスを使用する場合は、p.196「USB Mode (USB モード)」を参照してください。
-

## KE8950/KE8952 をイーサネット経由で使用する場合の接続図(1/2)



**注意:** KE8952 には電源アダプターが同梱されていません。電源アダプターが追加で必要となる場合には、販売店にお問い合わせの上、お求めください。または、PoE (Power over Ethernet) 機能を使って KE8952 に給電してください。

## KE8950/KE8952 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2)



---

**注意:** トランスミッター側のシリアルポートには、コンピューターを、また、レシーバー側のシリアルポート(図には表示されていません)にはシリアルデバイス(オプション)を、それぞれ接続してください。

---

## イーサネット経由で使用する場合はセットアップ方法 (KE9950/KE9952)

---

イーサネット経由で本製品を使用するには、1 対 1、1 対多、多対 1、多対多の 4 つの通信方法があります。1 対 1 以外で使用する場合は、KE9950/KE9952 をそれぞれ複数台使用し、同一のイーサネット上でトランスミッターとレシーバーを接続して使用します。セットアップする前に、弊社が提供するパフォーマンスガイドを使って、お使いの KE システムのレイアウト計画を作成されることを推奨します。詳細は、p.473「ネットワークパフォーマンス改善の秘訣」をご参照ください。

セットアップの際には、次の点にご注意ください。

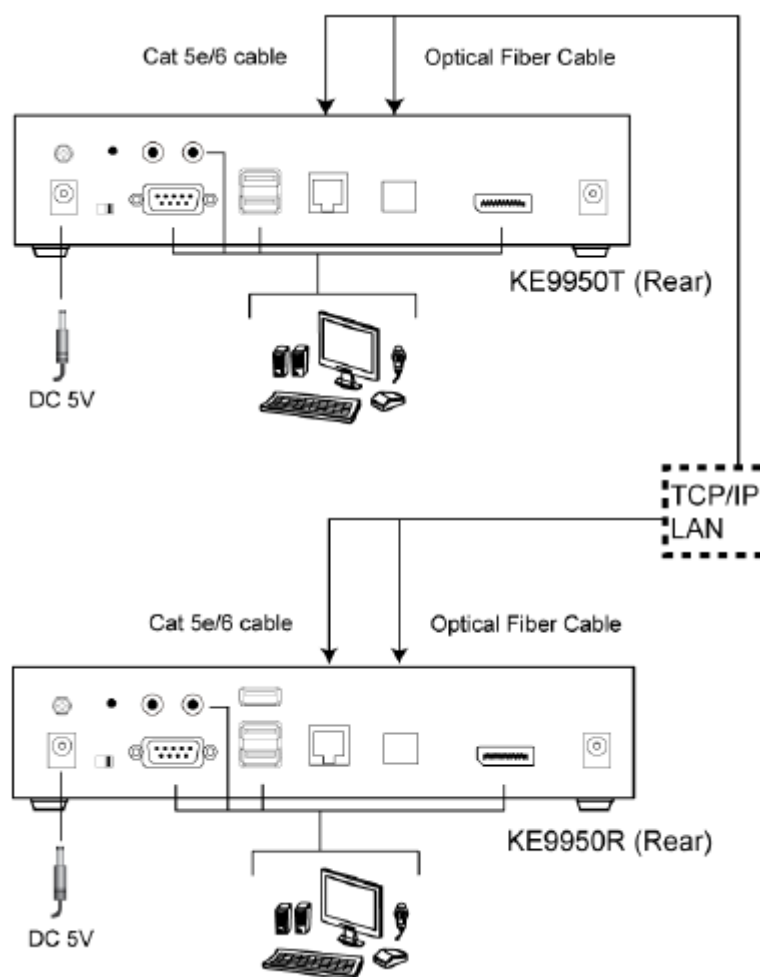
- ◆ 本製品には工場出荷時にデフォルトのネットワーク情報が設定されています。製品を単体で 1 対 1 にて使用する場合は、これらのデフォルトのネットワーク情報を変更する必要はありません。詳細については p.183「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。
- ◆ 同一のイーサネットネットワークにおいて、1 対 1 以外の機器構成で使用する場合は、トランスミッターやレシーバーにはそれぞれ固有の IP アドレスを設定してください。詳細については p.155「ネットワークの設定」をご参照ください。
- ◆ 本製品を使って、異なる LAN セグメント間で通信を行う場合は、1000Mbps ギガビットイーサネットスイッチ（ポートあたり 1Gbps/1.5Gbps の性能で、ワイヤスピード、ノンブロッキングで通信）の使用を推奨します。10/100Mbps のスイッチでは使用に耐えないおそれがあります。
- ◆ 1 対 1 以外の機器構成で使用する際には、データスループットの低下を防ぐために、お使いのネットワークスイッチ/ハブにおいて IGMP およびフロー制御機能を有効にしてください。本製品の性能が存分に発揮されるよう、IGMP クエリに対応したレイヤー 3 スイッチをお使いください。
- ◆ お使いのネットワークで、スイッチをカスケード接続してご使用の場合は、データスループットが十分かどうか、ご確認ください。
- ◆ 本製品は帯域幅を大量に使用しますので、性能が存分に発揮されるよう、専用のプライベートネットワークを構築されることを推奨します。
- ◆ まず、セットアップに使用するすべての機器の電源が OFF になっていることを確認してください。

セットアップ手順は、p.151「1 対 1 で使用する場合はセットアップ方法 (KE9950/KE9952)」に記載されている内容と基本的に同じです。異なるのは、トランスミッターとレシーバーをローカルエリアの TCP/IP ネットワークに接続する点です。次のページの接続図を参考にしながら、正しく接続を行っ

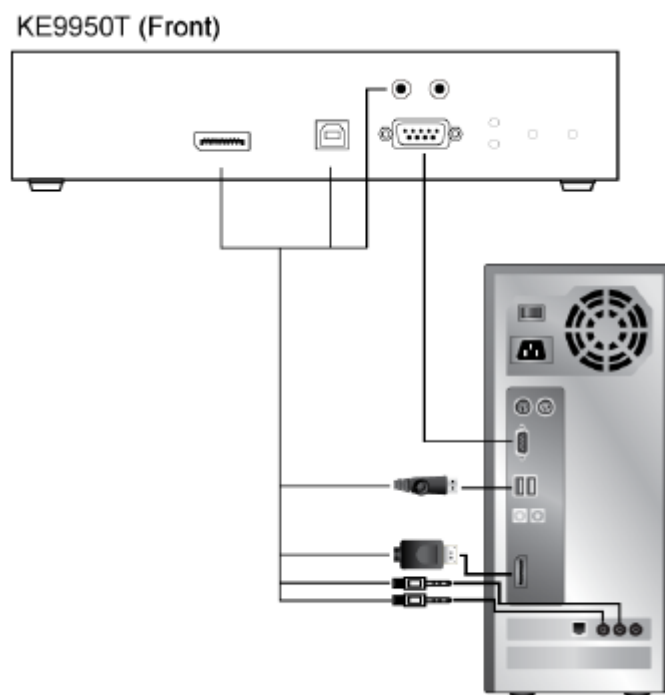
てください。

ネットワークで使用するトランスミッターとレシーバーそれぞれに対して手順を繰り返し、最後にコンピュータの電源を入れてください。

### KE9950/KE9952 をイーサネット経由で使用する場合の接続図(1/2)



KE9950/KE9952 をイーサネット経由で使用する場合の接続図 (2/2)



## ネットワークの設定

---

本セクションでは、固定 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイでネットワーク設定を行う方法について説明します。IP インストーラーを使って IP アドレスを設定する場合は、p.427「IP インストーラー」をご参照ください。

- 
- 注意:**
1. 本製品には工場出荷時のネットワーク情報がデフォルトで設定されています。製品を 1 対 1 で使用する場合は、これらのデフォルトのネットワーク情報を変更する必要はありません。詳細については p.183「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。
  2. 同一のイーサネットネットワークにおいて 1 対 1 以外の機器構成で使用する場合、トランスミッターやレシーバーにはそれぞれ固有の IP アドレスを設定してください。詳細については下記をご参照ください。
  3. 本製品を使って異なる LAN セグメント間で通信を行う場合は、1000Mbps ギガビットイーサネットスイッチ (ポートあたり 1Gbps/1.5Mpps の性能で、ワイヤスピード、ノンブロッキングで通信) の使用を推奨します。10/100Mbps のスイッチでは使用に耐えないおそれがあります。
  4. 1 対 1 以外の機器構成で使用する際には、データスループットの低下を防ぐために、お使いのネットワークスイッチ/ハブにおいて IGMP およびフロー制御機能を有効にしてください。本製品の性能が存分に発揮できるよう、IGMP クエリに対応したレイヤー 3 スイッチをお使いください。
  5. お使いのネットワークで、スイッチをカスケード接続してご使用の場合は、データスループットが十分かどうか、ご確認ください。
  6. 本製品は帯域幅を大量に使用しますので、性能が存分に発揮されるよう、専用のプライベートネットワークを構築されることを推奨します。
- 

ネットワーク情報を設定する場合は、下記の手順に従ってください。

1. ハードウェアをセットアップし、トランスミッターとレシーバーを LAN に接続してください (p.120「イーサネット経由で使用する場合はセットアップ方法 (KE6900/KE6940)」、または p.174「イーサネット経由で使用する場合はセットアップ方法 (KE8950/KE8952)」参照)。
2. レシーバー側で、[Scroll Lock] キーを 2 回押し、OSD を起動してください。



3. サイドバーのメニューから「Receiver」(レシーバー)または「Transmitter」(トランスミッター)を選択してください。
4. パスワードを入力し、「**Configure**」(設定)をクリックしてください。  
デフォルトパスワードは「password」です。
5. 「Network」(ネットワーク)タブから「**Set IP address manually**」(手動で IP アドレスを設定する)を選択し、ご使用のネットワークに適した値を次のように各欄に入力してください。
  - ◆ IP Address (IP アドレス) - 本製品の IP アドレスを設定します。お使いのネットワークで有効な固有の IP アドレスを入力してください。

---

**注意:** 工場出荷時におけるデフォルト設定については、p.183「デフォルト IP アドレス」をご参照ください。
  - ◆ Subnet Mask (サブネットマスク) - 本製品のサブネットマスクを設定します。お使いのネットワークで有効なサブネットマスクの値を入力してください。

---

**注意:** サブネットマスクのデフォルト設定は、255.255.255.0 です。
  - ◆ Default Gateway (デフォルトゲートウェイ) - 本製品のデフォルトゲートウェイを設定します。お使いのネットワークで有効なデフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力してください。
6. 「**Save**」(保存)をクリックしてください。

## 操作を終了する

OSD を終了する場合は、キーボードで[Esc]キーを押すか、「**Logout**」(ログアウト)をクリックするか、[Scroll Lock]キーを 2 回押すか、OSD のメイン画面に戻ってフロントパネルの OSD ボタンを押す(レシーバーのみ)かの、いずれかの操作を行ってください。

この時点では、レシーバーはトランスミッターに接続して、コンピューターにアクセスすることができます(詳細については、p.214「OSD マトリックスモード」を参照)。

## デフォルト IP アドレス

工場出荷時にデフォルトで設定されている IP アドレスは次のとおりです。

トランスミッター - 192.168.0.61

レシーバー - 192.168.0.60

## 本製品における I/O ポート

本製品における I/O ポートは下表のとおりです。

| デバイス                 | ポート            | ポート番号                           |
|----------------------|----------------|---------------------------------|
| マトリックスマネジャー<br>(TCP) | HTTP           | 8080                            |
|                      | HTTPS          | 8443                            |
|                      | デバイス TCP       | 9110                            |
|                      | CLI            | 9111                            |
|                      | 二重化            | 9120                            |
|                      | データベース<br>サービス | 1527                            |
| マトリックスマネジャー<br>(UDP) | ポート            | 9110                            |
|                      | ブロードキャスト       | 9000                            |
| KE TX/RX デバイス(TCP)   | マネジャー          | 9110                            |
|                      | サービス           | 9000                            |
|                      | Telnet         | 23                              |
|                      | SSH            | 22                              |
| KE TX デバイス(TCP)      | VM             | 9001                            |
|                      | vUSB           | 9002                            |
|                      | シリアル           | 9003                            |
|                      | USB アクセスモード    | 9009                            |
| KE RX デバイス(TCP)      | CLI            | 9130                            |
| KE TX/RX デバイス(UDP)   | マネジャー          | 9110                            |
|                      | サービス           | 9000                            |
|                      | アレイモード         | 9120                            |
|                      | ビデオ            | 0xFE00 (65024) ~ 0xFE03 (65027) |
|                      | オーディオ          | 0xFE04 (65028) ~ 0xFE05 (65029) |

## LED 表示

トランスミッター、レシーバーともに、フロントパネルには操作状況と電源状況を示す LED ランプがあります。各ランプの機能は下表のとおりです。

| LED  | 説明                                                                                                                                                             |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| LAN  | ネットワークの状態を次の点灯状態に表示<br>◆ LAN に接続している場合は点灯し、イーサネット接続がアクティブである場合は点滅。状態を表す色は次のとおり。<br>➤ オレンジ: 10Mbps<br>➤ オレンジ+グリーン: 100Mbps<br>➤ グリーン: 1000Mbps<br>◆ LAN 未接続時に消灯 |
| 電源   | ◆ ユニットに電源が入っている場合、ブルーに点灯<br>◆ 電源が入っていない場合に消灯                                                                                                                   |
| ローカル | ◆ トランスミッター側でコンピューターの KVM 操作を行っている場合、グリーンに点灯                                                                                                                    |
| リモート | ◆ レシーバー側でコンピューターの KVM 操作を行っている場合、グリーンに点灯                                                                                                                       |

## 認証ロック (KE6910/KE6912 のみ)

KE6910/KE6912 には、認証ロック機能が搭載されています。予期せぬ停電が発生した場合でも、この機能があれば、ユーザーは停電前に表示された設定を継続することができますので、ユーザーの認証状態と表示画面は変わりません。

この機能は、p.312「全般」メニューにて設定することができます。

# 第3章

## OSD 操作

### 概要

---

本章では、トランスミッター側のオンスクリーンディスプレイ(OSD)を使って、本製品の設定や操作を行う方法について説明します。OSD を使ってネットワークの設定を行う方法については、p.155「ネットワークの設定」をご参照ください。

### OSD の起動

---

オンスクリーンディスプレイ(OSD)は、レシーバー側から操作できる設定用メニューです。複数のトランスミッターを1台のレシーバーで切り替えて設定を行うことができます。レシーバー側でネットワーク\*上にあるトランスミッターやイーサネットケーブルに接続されたトランスミッターが検出されると、レシーバー側の OSD を使ってトランスミッターの設定を行うことができます。

OSD を起動する場合は、レシーバーのフロントパネルにある OSD ボタンを押すか、キーボードの [Scroll Lock] キーを 2 回連続で押すと、OSD のメイン画面が表示されます (p.189「OSD インターフェース」参照)。

OSD を終了する場合は、キーボードで [Esc] キーを押すか、「Logout」(ログアウト)をクリックするか、[Scroll Lock] キーを 2 回押すか、OSD のメイン画面に戻ってレシーバーのフロントパネルにある OSD ボタンを押すかの、いずれかの操作を行ってください。そうすると、OSD 画面が終了し、コンピューターのデスクトップ画面が表示されます。

- 
- 注意:**
1. レシーバーがネットワーク上のトランスミッターを検出するには、2 つが共に LAN の同一セグメントにセットアップされている必要があります。
  2. OSD 起動のホットキーは変更することができます。詳細については p.212「ユーザー設定」をご参照ください。
  3. OSD 起動時にキーボード/マウスが動作しない場合は、まず、キーボードの接続ポートが正しいかご確認ください。特殊キー付きのデバイスをご使用する場合は、合わせて p.281「USB Mode (USB モード)」をご参照ください。
-

## タッチパネルのキャリブレーション

タッチパネルを使っているときに OSD 画面が中央に表示されない場合は、四隅にある点滅中の「+」マークを押して、OSD の位置を調節してください。

## OSD ホットキー

OSD ホットキーは、レシーバーの OSD 画面を操作するのに用いられます。ホットキーは、OSD 設定画面ではなく、システムログイン画面 (p.214 参照) へのログイン後に動作します。ホットキーを押すと、そのホットキーに対応した OSD 画面へと遷移します。

| ホットキー | OSD 画面                 | ページ   |
|-------|------------------------|-------|
| [F1]  | リストモードの接続画面 1          | p.215 |
| [F2]  | アレイモードの接続画面 1          | p.218 |
| [F3]  | プロフィール画面 1             | p.220 |
| [F5]  | コンテンツのプッシュ画面 1         | p.222 |
| [F6]  | コンテンツのプル画面 1           | p.224 |
| [F7]  | レシーバー > プロパティ          | p.194 |
| [F8]  | ユーザー設定                 | p.212 |
| [F9]  | OSD ログイン画面 (ユーザーのログオフ) | p.214 |

## マイク用ホットキー

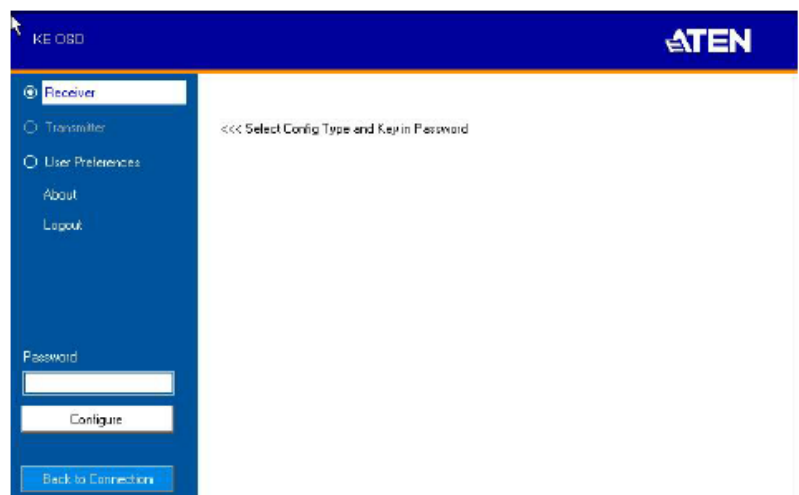
下記のホットキーで、レシーバー間におけるマイクの使用を切り替えることができます。

1. [Num Lock]キーを長押ししてください。
2. [-](マイナス)キーを 1 回押したら、指を離してください。
3. [Num Lock]キーから指を離してください。
4. [1]キーを押してください。

操作をキャンセルする場合は[Esc]キーを押してください。

# OSD インターフェース

レシーバーから OSD を起動すると、下図のような画面が表示されます。



**注意:** OSD にログインするにはパスワードが必要です。デフォルトで設定されているパスワードは「password」です。なお、セキュリティ対策のため、システム側からパスワードの変更が求められます。

OSD 内のメニューは下表のとおりです。

| No. | 名称                           | 説明                                                                                                                                                                           |
|-----|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | Receiver<br>(レシーバー)          | このラジオボタンを選択し、パスワードを入力して「Configure」(設定)をクリックすると、「Receiver Configuration」(レシーバーの設定)画面に移動します。                                                                                   |
| 2   | Transmitter<br>(トランスミッター)    | このラジオボタンを選択し、パスワードを入力して「Configure」(設定)をクリックすると、「Transmitter Configuration」(トランスミッターの設定)画面に遷移します。<br><b>注意:</b> このオプションを使用できるようにするには、レシーバー側でネットワーク上のトランスミッターを先に認識しておく必要があります。 |
| 3   | User Preferences<br>(ユーザー設定) | このラジオボタンを選択し、パスワードを入力して「Configure」(設定)をクリックすると、「User Preferences」(ユーザー設定)画面に遷移します。                                                                                           |

(表は次のページに続きます)

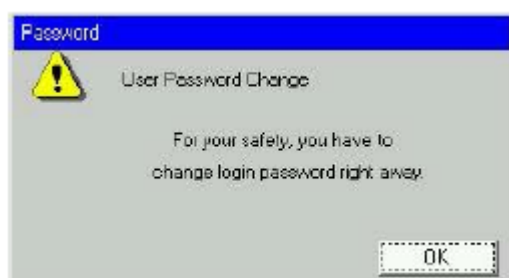
| No. | 名称                            | 説明                                                                                |
|-----|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 4   | About<br>(バージョン情報)            | OSD のバージョン情報を提供します。                                                               |
| 5   | Password<br>(パスワード)           | OSD パスワードを入力し「Configure」(設定)をクリックすると、選択された設定画面に移動します。前頁に記載のパスワードに関する注意書きをご参照ください。 |
| 6   | Configure<br>(設定)             | パスワードを入力して「 <b>Configure</b> 」(設定)をクリックすると、選択された設定画面に遷移します。                       |
| 7   | Back to Connection<br>(接続に戻る) | このボタンをクリックすると、OSD を終了し、お使いのコンピューターの画面へ戻ります。                                       |



## 初めてログインするには

アドミニストレーターとして最初に(レシーバーまたはユーザー設定ラジオボタンで)ログインする場合は、デフォルトのパスワード(password)を使用してください。

なお、ログインすると、セキュリティ対策のため下図のようにシステム側からパスワードの変更が求められます。



上図のような画面が表示されたら、「OK」をクリックして、パスワードを変更してください。



新しいパスワードとなる文字列を、「New Password」(新しいパスワード)と「Confirm Password」(確認用パスワード)の各欄に入力してください。新しいパスワードには、元のパスワードとは違う文字列を設定してください。

## レシーバーの設定

「Receiver」(レシーバー)ラジオボタンを選択し、「**Configure**」(設定)をクリックしてログインすると、「Network」(ネットワーク)タブが表示されます。

The screenshot displays the ATEN KE 090 web interface. The top navigation bar includes 'Network', 'Properties', and 'System' tabs, with 'Network' currently selected. On the left sidebar, the 'Receiver' radio button is selected, and the 'Configure' button is visible. The main content area is titled 'IP Installer' and contains the following settings:

- IP Installer:** Three radio buttons are present: 'Enable' (selected), 'View Only', and 'Disabled'.
- Network Configuration:** Two radio buttons are present: 'Obtain IP address automatically' and 'Set IP address manually' (selected).
- Manual IP Settings:** Three input fields are shown:
  - IP Address: 192.168.0.71
  - Subnet Mask: 255.255.255.0
  - Default Gateway: 192.168.0.254

At the bottom right of the configuration area, there is a 'Save' button. The bottom of the sidebar contains a 'Password' field, a 'Configure' button, and a 'Back to Connection' button.

## ネットワーク

「Network」(ネットワーク)タブでは、レシーバーの IP アドレス設定を行うことができます。

| 項目                                     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| IP Installer<br>(IP インストーラー)           | IP インストーラーとは、製品に IP アドレスを割り当てることのできる Windows ベースの外部ユーティリティです。IP インストーラーの使用目的に応じて、「 <b>Enable</b> 」(有効)、「 <b>View Only</b> 」(参照のみ)、「 <b>Disable</b> 」(無効)のラジオボタンの中から一つを選択してください。<br>使用方法については、p.427「IP インストーラー」をご参照ください。<br><b>注意:</b> セキュリティ対策として、IP インストーラーの使用後は、この項目を「View Only」(参照のみ)、または「Disable」(無効)に設定することを推奨します。 |
| Network<br>Configuration<br>(ネットワーク設定) | (DHCP を使用して)動的に IP アドレスを設定する場合は、「 <b>Obtain an IP address automatically</b> 」(IP アドレスを自動的に取得する)のラジオボタンを選択してください。<br>IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイにそれぞれ固定のアドレスを割り当てる場合は、「 <b>Set IP address manually</b> 」(IP アドレスを手動で設定する)のラジオボタンを選択して、各欄に、お使いのネットワーク環境で有効な値を入力してください。<br>ネットワーク設定を行う方法の詳細は、p.155「ネットワークの設定」をご参照ください。    |

入力が完了したら、「**Save**」(保存)ボタンをクリックしてください。

## プロパティ

KE シリーズのプロパティには、通常版とスリム版の 2 種類があります。

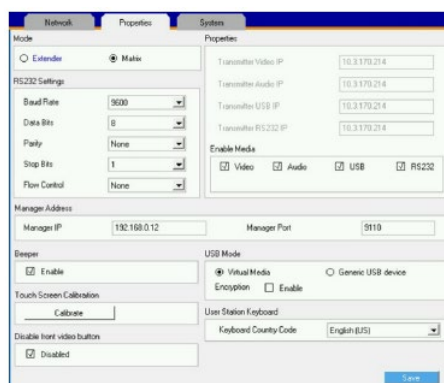
「Properties」(プロパティ)タブでは、レシーバーのエクステンダー機能に関する設定を行うことができます。

---

**注意:**      スリム版を使用するのは、KE8900ST、KE8900SR、KE9900ST です。

---

### 通常版



| 項目                    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Mode<br>(モード)         | 単純な(トランスミッターからレシーバーに対する)1 対 1 の通信をレシーバー側の OSD メニューで管理する場合は、「 <b>Extender</b> 」(エクステンダー)モードを選択してください。<br>KE マトリックスマネージャーの Web GUI からデバイスや接続の管理を行う場合は、「 <b>Matrix</b> 」(マトリックス)モードを選択してください。このモードは、トランスミッターからレシーバーへの通信を高度な方法で管理するためのものです(p.234「ブラウザ/Telnet による操作」参照)。 |
| Properties<br>(プロパティ) | 「 <b>Extender</b> 」(エクステンダー)モード(上記参照)を選択した場合は、レシーバーのビデオ、オーディオ、USB、RS-232 の各信号の送信元となるトランスミッターの IP アドレスを設定してください。<br>「 <b>Matrix</b> 」(マトリックス)モードを選択した場合、これらの入力欄は操作できません。チャンネルを使ってトランスミッターの接続を設定してください(p.234「ブラウザ/Telnet による操作」参照)。                                   |

(表は次のページに続きます)

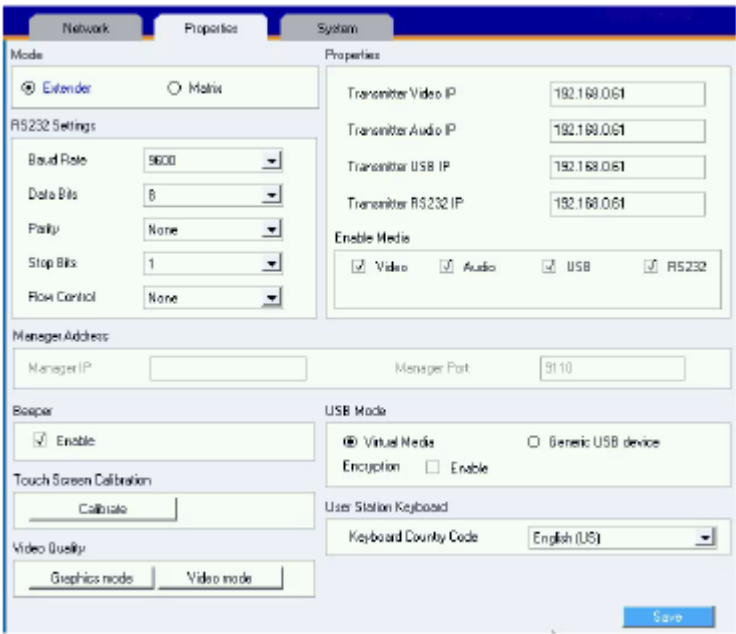
| 項目                                                    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| RS-232 Settings<br>(RS-232 設定)                        | レシーバーに対してシリアルデバイスの設定を行います。デフォルト設定は下記のとおりです。<br>ボーレート:9600<br>パリティ:なし<br>データビット:8 ビット<br>ストップビット:1 ビット<br>フロー制御:なし                                                                                                                                                                                                       |
| Enable Media<br>(メディアを有効にする)                          | レシーバーがトランスミッターにアクセスできるメディアの種類を選択します。選択できるのは「Video」(ビデオ)、「Audio」(オーディオ)、USB、RS-232 です。KE8950 シリーズのモデルでは、ラジオボタンを使ってオーディオ信号のソースを設定してください。選択できるのは、HDMI、「Analog」(アナログ)、「Both」(両方)です。                                                                                                                                         |
| Manager Address<br>(マネージャーアドレス)                       | マトリックスマネージャーのソフトウェアが稼働しているコンピュータの <b>IP アドレス</b> と <b>ポート番号</b> を設定します。デフォルトのポート番号は 9110 です。                                                                                                                                                                                                                            |
| Beeper<br>(ビープ音)                                      | この項目にチェックを入れると、設定が変更された際にレシーバーからビープ音を出力します。                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Touch Screen<br>Calibration<br>(タッチパネルの<br>キャリブレーション) | 製品に接続された USB タッチパネルの画面のキャリブレーションは、このボタンを使って行います。キャリブレーション画面が表示されたら、処理が完了する前に、四隅にある点滅中の「+」マークに触れてキャリブレーションを行ってください。                                                                                                                                                                                                      |
| USB Mode<br>(USB モード)                                 | USB ポートに接続する USB デバイスの種類を選択します。<br><b>Virtual Media (バーチャルメディア)</b> :USB ポートにストレージデバイスを挿入している時にのみ、このオプションを選択するようにしてください。この設定では、データ転送速度を最大にしますが、他の USB デバイスを USB ポートに接続して使用することはできなくなります。同一トランスミッターに接続されたレシーバーがUSB ディスクドライブをマウントまたはマウント解除すると、キーボードやマウスの操作は若干遅延します。トランスミッターがサポートするバーチャルメディアの同時接続数は最大 12 です(キーボード/マウスを含む)。 |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                                                      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| USB Mode<br>(USB モード)<br>(続き)                                           | <p><b>vUSB (Generic USB デバイス) (vUSB (ジェネリック USB デバイス)):</b><br/> USB デバイス*を USB ポートに接続する場合は、この項目を選択してください。また、特殊な機能を備えたキーボードやマウスを USB ポートに接続してコンソールとして使用する場合も、この項目を選択します。<br/> この項目は、特殊な機能を備えたキーボードやマウスを使用する必要があるものの、コンソールポートに接続しても動作しない場合にのみ設定するようにしてください。キーボードやマウスを USB ポートに接続しても、これらを使って OSD メニューを操作することはできません。<br/> OSD メニューで使用できるようにするためには、キーボードおよびマウスをコンソールポートに接続してください。なお、KE6900ST/KE8900ST/KE9900ST は、このモードに対応していません。このモードにおいてサポートされる USB の最大接続数は、KE6900/KE6940 で 2、KE8950/KE8952 で 5 です (キーボード/マウスを除く)。また、KE8900SR でサポートされる vUSB の接続数は 1 です。</p> <p><b>Encryption (暗号化):</b>この項目にチェックを入れると、USB ポートに接続された USB ドライブを暗号化します。</p> <p><b>注意:</b>この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</p> |
| Receiver Keyboard<br>(レシーバーのキーボード)                                      | <p>キーボードの国コードが列挙されたドロップダウンメニューを使って、レシーバーの OSD で使用する言語キーボードを選択します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Disable front video button<br>(フロントのビデオボタンを無効にする)<br>(KE6910/KE6912 のみ) | <p>レシーバーのフロントパネルにあるビデオボタンの機能 (ビデオモードまたはグラフィックモードの選択) を有効または無効にすることができます。</p> <p>「Disable」(無効) にチェックを入れると、この機能を無効にします (デフォルト設定)。</p> <p>また、この項目からチェックを外すと、この機能を有効にします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

入力が完了したら、「**Save**」(保存) ボタンをクリックしてください。

スリム版



| 項目                    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Mode<br>(モード)         | <p>単純な(トランスミッターからレシーバーに対する)1 対 1 の通信をレシーバー側の OSD メニューで管理する場合は、「<b>Extender</b>」(エクステンダー)モードを選択してください。</p> <p>KE マトリックスマネジャーの Web GUI からデバイスや接続の管理を行う場合は、「<b>Matrix</b>」(マトリックス)モードを選択してください。このモードは、トランスミッターからレシーバーへの通信を高度な方法で管理するためのものです (p.234「ブラウザ/Telnet による操作」参照)。</p> |
| Properties<br>(プロパティ) | <p>「<b>Extender</b>」(エクステンダー)モード(上記参照)を選択した場合は、レシーバーのビデオ、オーディオ、USB、RS-232 の各信号の送信元となるトランスミッターの IP アドレスを設定してください。</p> <p>「<b>Matrix</b>」(マトリックス)モードを選択した場合、これらの入力欄は操作できません。チャンネルを使ってトランスミッターの接続を設定してください (p.234「ブラウザ/Telnet による操作」参照)。</p>                                  |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                                    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| RS-232 Settings<br>(RS-232 設定)                        | <p>レシーバーに対してシリアルデバイスの設定を行います。デフォルト設定は下記のとおりです。</p> <p>ボーレート:9600</p> <p>パリティ:なし</p> <p>データビット:8 ビット</p> <p>ストップビット:1 ビット</p> <p>フロー制御:なし</p>                                                                                                                                                                                      |
| Enable Media<br>(メディアを有効にする)                          | <p>レシーバーがトランスミッターにアクセスできるメディアの種類を選択します。選択できるのは「Video」(ビデオ)、「Audio」(オーディオ)、USB、RS-232 です。KE8950 シリーズのモデルでは、ラジオボタンを使ってオーディオ信号のソースを設定してください。選択できるのは、HDMI、「Analog」(アナログ)、「Both」(両方)です。</p>                                                                                                                                            |
| Manager Address<br>(マネージャーアドレス)                       | <p>マトリックスマネージャーのソフトウェアが稼働しているコンピュータの <b>IP アドレス</b>と<b>ポート番号</b>を設定します。デフォルトのポート番号は 9110 です。</p>                                                                                                                                                                                                                                  |
| Beeper<br>(ビープ音)                                      | <p>この項目にチェックを入れると、設定が変更された際にレシーバーからビープ音を出力します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| Touch Screen<br>Calibration<br>(タッチパネルの<br>キャリブレーション) | <p>製品に接続された USB タッチパネルの画面のキャリブレーションは、このボタンを使って行います。キャリブレーション画面が表示されたら、処理が完了する前に、四隅にある点滅中の「+」マークに触れてキャリブレーションを行ってください。</p>                                                                                                                                                                                                         |
| USB Mode<br>(USB モード)                                 | <p>USB ポートに接続する USB デバイスの種類を選択します。</p> <p><b>Virtual Media (バーチャルメディア)</b>:USB ポートにストレージデバイスを挿入している時にのみ、このオプションを選択するようにしてください。この設定では、データ転送速度を最大にしますが、他の USB デバイスを USB ポートに接続して使用することはできなくなります。同一トランスミッターに接続されたレシーバーがUSB ディスクドライブをマウントまたはマウント解除すると、キーボードやマウスの操作は若干遅延します。トランスミッターがサポートするバーチャルメディアの同時接続数は最大 12 です(キーボード/マウスを含む)。</p> |

(表は次のページに続きます)



| 項目                                                          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| USB Mode<br>(USB モード)<br>(続き)                               | <p><b>vUSB (Generic USB デバイス) (vUSB (ジェネリック USB デバイス)):</b><br/> USB デバイス*を USB ポートに接続する場合は、この項目を選択してください。また、特殊な機能を備えたキーボードやマウスを USB ポートに接続してコンソールとして使用する場合も、この項目を選択します。<br/> この項目は、特殊な機能を備えたキーボードやマウスを使用する必要があるものの、コンソールポートに接続しても動作しない場合にのみ設定するようにしてください。キーボードやマウスを USB ポートに接続しても、これらを使って OSD メニューを操作することはできません。<br/> OSD メニューで使用できるようにするためには、キーボードおよびマウスをコンソールポートに接続してください。なお、KE6900ST/KE8900ST/KE9900ST は、このモードに対応していません。また、このモードにおいてサポートされる USB の最大接続数は、KE6900/KE6940 で 2、KE8950/KE8952 で 5 です (キーボード/マウスを除く)。</p> <p><b>Encryption (暗号化):</b>この項目にチェックを入れると、USB ポートに接続された USB ドライブを暗号化します。</p> <p><b>注意:</b>この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</p> |
| Receiver Keyboard<br>(レシーバーのキーボード)                          | <p>キーボードの国コードが列挙されたドロップダウンメニューを使って、レシーバーの OSD で使用する言語キーボードを選択します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Video Quality<br>(ビデオ品質)<br>(KE8900ST/KE8900SR/KE9900ST のみ) | <p>スリムタイプの KE シリーズのレシーバーには物理的なボタンがないため、この項目でビデオモードまたはグラフィックモードのいずれかを選択することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

入力が完了したら、「**Save**」(保存)ボタンをクリックしてください。

## システム

「System」(システム)タブでは、レシーバーの全般的な設定を行うことができます。

The screenshot shows the 'System' tab of a configuration interface. It contains three main sections: 'Device Information' with fields for Name, Description, IP Address, MAC Address, Firmware Version, and Serial Number; 'Reboot' with a 'Reset to factory default' checkbox and a 'Reboot' button; and 'User Station Password Change' with an 'Enable' checkbox and three password input fields (Old Password, New Password, Confirm Password). A 'Save' button is located at the bottom right of the interface.

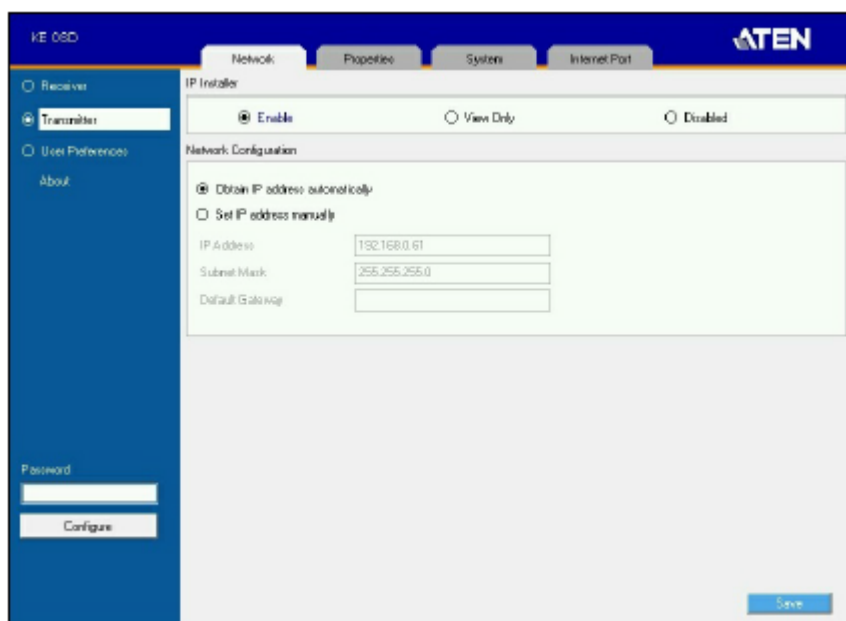
| 項目                                             | 説明                                                                                                                                                                                 |
|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Device Information<br>(デバイス情報)                 | 「Name」(名前)と「Description」(説明)の各欄に、レシーバーの名前と説明をそれぞれ入力してください。また、この部分には、レシーバーの IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェアバージョン、シリアルナンバーが表示されます。                                                          |
| Reboot<br>(再起動)                                | 1. ボタンをクリックすると、本体の再起動を行います。<br>または<br>2. レシーバーを工場出荷時のデフォルト設定にリセットする場合、この項目にチェックを入れ、「Reboot」(再起動)ボタンをクリックします。この操作により、製品購入後に変更された設定(ログイン情報を除く)はすべて失われます。                             |
| Receiver Password<br>Change<br>(レシーバーのパスワード変更) | 「Enable」(有効)にチェックを入れると、レシーバーの OSD 設定画面にアクセスする際にパスワードが必要になります。「Old Password」(旧パスワード)、「New Password」(新パスワード)、「Confirm Password」(確認用新パスワード)の各欄に必要な情報を入力して「Save」(保存)ボタンをクリックすると変更できます。 |

入力が完了したら、「Save」(保存)ボタンをクリックしてください。

## トランスミッターの設定

「Transmitter」(トランスミッター)ラジオボタンを選択し、「**Configure**」(設定)をクリックしてログインすると、「Network」(ネットワーク)タブが表示されます。

**注意:** トランスミッターの設定は単体で行えません。必ずレシーバーと接続し、レシーバーと通信できるようになってから設定が可能になります。もし、通信できない場合は、1 対 1 で接続し、トランスミッターとレシーバーを工場出荷時設定に戻して通信を行ってください。



## ネットワーク

「Network」(ネットワーク)タブでは、トランスミッターの IP アドレス設定を行うことができます。

| 項目                                  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| IP Installer<br>(IP インストーラー)        | IP インストーラーとは、製品に IP アドレスを割り当てることのできる Windows ベースの外部ユーティリティです。IP インストーラーの使用目的に応じて、「 <b>Enable</b> 」(有効)、「 <b>View Only</b> 」(参照のみ)、「 <b>Disable</b> 」(無効)のラジオボタンの中から一つを選択してください。<br>使用方法については、p.427「IP インストーラー」をご参照ください。<br><b>注意:</b> セキュリティ対策として、IP インストーラーの使用後は、この項目を「View Only」(参照のみ)、または「Disable」(無効)に設定することを推奨します。 |
| Network Configuration<br>(ネットワーク設定) | (DHCP を使用して)動的に IP アドレスを設定する場合は、「 <b>Obtain an IP address automatically</b> 」(IP アドレスを自動的に取得する)のラジオボタンを選択してください。<br>IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイにそれぞれ固定のアドレスを割り当てる場合は、「 <b>Set IP address manually</b> 」(IP アドレスを手動で設定する)のラジオボタンを選択して、各欄に、お使いのネットワーク環境で有効な値を入力してください。<br>ネットワーク設定を行う方法の詳細は、p.155「ネットワーク設定」をご参照ください。     |

入力が完了したら、「**Save**」(保存)ボタンをクリックしてください。

## プロパティ

「Properties」(プロパティ)タブでは、トランスミッターのエクステンダー機能に関する設定を行うことができます。

| 項目            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Mode<br>(モード) | <p>単純な(トランスミッターからレシーバーに対する)1 対 1 の通信をレシーバー側の OSD メニューで管理する場合は、「<b>Extender</b>」(エクステンダー)モードを選択してください。</p> <p>KE マトリックスマネージャーの Web GUI からデバイスや接続の管理を行う場合は、「<b>Matrix</b>」(マトリックス)モードを選択してください。このモードは、トランスミッターからレシーバーへの通信を高度な方法で管理するためのものです(p.234「ブラウザ/Telnet による操作」参照)。</p> |

(表は次のページに続きます)

| 項目                    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Properties<br>(プロパティ) | <p><b>Port OS (ポート OS) :</b> トランスミッターに接続されているコンピューターの OS を、このドロップダウンリストから選択してください。</p> <p><b>OS Language (OS 言語) :</b> トランスミッターに接続されているコンピューターの OS 言語を、このドロップダウンリストから選択してください。</p> <p><b>Enable Multicast Video (マルチキャストビデオを有効にする) :</b> この項目にチェックを入れると、トランスミッターのビデオ信号を複数のレシーバーにブロードキャストします。複数のレシーバーから同時にアクセスする時はこの項目にチェックを入れてください。</p> <p><b>Enable Multicast Audio (マルチキャストオーディオを有効にする) :</b> この項目にチェックを入れると、トランスミッターのオーディオ信号を複数のレシーバーにブロードキャストします。複数のレシーバーから同時にアクセスする時はこの項目にチェックを入れてください。</p> <p><b>EDID Mode Selection (EDID モード選択) :</b> EDID にはモニターの基本情報が含まれており、使用するモニターの機種が異なっても入力機器側でこの情報をもとに解像度を最適化して表示することができます。「Manual」(手動)または「Remix」(リミックス)が選択されていると、レシーバー側の OSD にはボタンが表示されます。このボタンを使うと、接続に使用するローカル EDID を設定することができます。入力機器がどのような方法でディスプレイの EDID を取得するかは、こちらの項目で設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Default (デフォルト) :</b> トランスミッターに内蔵している EDID を使用します。KE69xx のデバイスを KE89xx のデバイスに接続する場合は、必ずこの設定にしてください。</li> <li>◆ <b>Auto (自動) :</b> 接続されているすべてのディスプレイの EDID および ATEN デフォルト EDID を精査し、全ディスプレイに最適な共通解像度を使用します。</li> <li>◆ <b>Manual (手動) :</b> レシーバーに接続しているモニターの EDID を読み込めるようにします。読込の方法は「Connection」(接続)画面 (p.215) からを行います。</li> <li>◆ <b>Remix (リミックス) :</b> 接続されているすべてのディスプレイの EDID および ATEN デフォルト EDID を手動で精査し、全ディスプレイに最適である共通解像度を使用します (p.215 参照)。</li> </ul> |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                                  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Enable Media<br>(メディアを有効にする)                        | トランスミッターがレシーバーへ送信するメディアの種類を選択します。選択できるのは「Video」(ビデオ)、「Audio」(オーディオ)、USB、RS-232 です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| RS-232 Settings<br>(RS-232 設定)                      | トランスミッターに対してシリアルデバイスの設定を行います。デフォルト設定は下記のとおりです。<br>ボーレート:9600<br>パリティ:なし<br>データビット:8 ビット<br>ストップビット:1 ビット<br>フロー制御:なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Manager Address<br>(マネージャーアドレス)                     | マトリックスマネージャーのソフトウェアが稼働しているコンピュータの <b>IP アドレス</b> と <b>ポート番号</b> を設定します。デフォルトのポート番号は 9110 です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Transmitter Video<br>Attributes<br>(トランスミッターのビデオ動作) | トランスミッターのビデオを設定します。<br><b>Video Type (ビデオの種類)</b> :ディスプレイで使用されている DVI コネクタの種類を、「Digital (DVI-D)」と「Digital (DVI-I)」から選択してください。このオプションは KE6900、KE6940、KE6900A、KE6940A の各シリーズのみで利用可能であるため、他の型番をお使いの場合はグレー表示されます。<br><b>Color Depth (色深度)</b> :色深度に使用するビット数を、24、16、8 から選択してください。これは 1 ピクセルの色を描画するのに使用するビット数を表すものです。1 ビットの深度で、一度に表示できる色の数が決まります。<br><b>Bandwidth Limit (転送量上限)</b> :トランスミッターがネットワーク上でビデオを転送するのに使用することのできる最大帯域幅を選択してください。この値を小さく設定すると低画質で転送します。この値を大きくすると高画質で転送しますが、ネットワークの転送速度に影響を与える可能性があります。<br><b>Video Quality (ビデオ画質)</b> :お使いの環境で使用するビデオ画質を選択してください。5 は最も高い画質に、1 は最も低い画質にそれぞれ設定します。選択できる値は 1～5 です。<br><b>Background Refresh (バックグラウンドリフレッシュ)</b> :トランスミッターがディスプレイを自動でリフレッシュする頻度を設定してください。選択できる値は、256/128/64/32/16/0 フレームごとです。 |

(表は次のページに続きます)

| 項目                           | 説明                                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Beeper<br>(ビープ音)             | この項目にチェックを入れると、設定が変更されるたびに製品からビープ音を出力します。                                                                                                                                                                                                |
| Occupy Timeout<br>(占有タイムアウト) | アクセスモードが「Occupy」(占有)に設定されているデバイスのタイムアウトのしきい値を設定します (p.275「Access Type (アクセスタイプ)」参照)。このポートを占有しているユーザーが何も操作せずに、ここで設定されたタイムアウト時間が経過すると、レシーバーはタイムアウトとなり、ポートは開放されます。ポートが開放されてから初めてキーボードやマウスで操作を行ったレシーバーが、次にポートを占有することができます。入力できる値は、1～240 秒です。 |

入力が完了したら、「**Save**」(保存)ボタンをクリックしてください。



## システム

「System」(システム)タブでは、トランスミッターの全般的な設定を行うことができます。

| 項目                                                | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Device Information<br>(デバイス情報)                    | 「 <b>Name</b> 」(名前)と「 <b>Description</b> 」(説明)の各欄に、トランスミッターの名前と説明をそれぞれ入力してください。この部分には、トランスミッターの IP アドレス、MAC アドレス、ファームウェアバージョン、シリアルナンバーが表示されます。                                                                                                                          |
| Reboot<br>(再起動)                                   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボタンをクリックすると、本体の再起動を行います。<br/>または</li> <li>2. トランスミッターを工場出荷時のデフォルト設定にリセットする場合、「Reset to factory default」(工場出荷時のデフォルト値にリセットする)の項目にチェックを入れ、「<b>Reboot</b>」(再起動)ボタンをクリックします。この操作により、製品購入後に変更された設定(ログイン情報を除く)はすべて失われます。</li> </ol> |
| Transmitter Password Change<br>(トランスミッターのパスワード変更) | 「 <b>Enable</b> 」(有効)にチェックを入れると、トランスミッターの OSD 設定画面にアクセスする際にパスワードが必要になります。「Old Password」(旧パスワード)、「New Password」(新パスワード)、「Confirm Password」(確認用新パスワード)の各欄に必要な情報を入力して「 <b>Save</b> 」(保存)ボタンをクリックすると変更できます。                                                                 |

入力が完了したら、「**Save**」(保存)ボタンをクリックしてください。

## インターネットポート(Ait モデル限定)

「Internet Port」(インターネットポート)タブでは、トランスミッターにおけるインターネットポートの設定を行うことができます。

This screenshot shows the top portion of the 'Internet Port' configuration window. At the top, there are tabs for 'Network', 'Properties', 'System', and 'Internet Port'. Below the tabs, the 'IP Installer' section has three radio buttons: 'Enable' (selected), 'View Only', and 'Disabled'. To the right are 'Previous Page' and 'Next Page' buttons. The 'Service Port' section contains three input fields: 'Program Port' (9000), 'HTTP Port' (80), and 'HTTPS Port' (443). Below this are two 'IPv4 Settings' and 'IPv6 Settings' sections, each with radio buttons for 'DHCP' (selected) and 'Manual', and fields for 'IP Address', 'Subnet Mask', 'Default Gateway', and 'DNS Servers'. A 'Save' button is at the bottom right.

This screenshot shows the bottom portion of the 'Internet Port' configuration window. It features 'Previous Page' and 'Next Page' buttons at the top right. The 'OCVSR' section has radio buttons for 'Disabled' (selected) and 'Enable', with fields for 'MAC Address' (e0:05:0b:00:00:06) and 'Service Port' (0). The 'Working Mode' section has three checkboxes: 'Enable ICMP' (checked), 'Disable Browser Service' (unchecked, with a dropdown menu showing 'Disable HTTPS(SSL)'), and 'Enable Client AP Device List' (checked). A 'Save' button is at the bottom right.

## IP インストーラー

IP インストーラーは、トランスミッターに外部から IP アドレスを設定することのできる、Windows 用ソフトウェアです。IP インストーラーの用途に応じて、「Enabled」(有効にする)、「View Only」(参照のみ)、「Disabled」(無効にする)のいずれかのラジオボタンをクリックしてください。IP インストーラーの詳細は p.427 を参照してください。

- 
- 注意:**
1. 「View Only」(参照のみ)を選択した場合、トランスミッターは IP インストーラーのデバイスリストで確認することができますが、この IP インストーラーから IP アドレスを変更することはできません。
  2. セキュリティ上の理由から、IP インストーラーの使用後には、この項目を「View Only」(参照のみ)または「Disabled」(無効にする)に設定することを強く推奨します。
- 

## サービスポート

トランスミッターが各種ネットワークサービスで使用するポートを指定してください。

- ◆ **Program**(プログラム): Windows クライアントや Java ビューワー、Windows/Java クライアント AP プログラムからトランスミッターに接続する際に使用するポート番号です。デフォルトでは 9000 に設定されています。
- ◆ **HTTP**: ブラウザによるログインで使用するポート番号です。デフォルトでは 80 に設定されています。
- ◆ **HTTPS**: セキュリティで保護されたブラウザによるログインで使用するポート番号です。デフォルトでは 443 に設定されています。

- 
- 注意:**
1. 各サービスポートで有効な値は 1~65535 です。
  2. これらのポートはそれぞれ固有のポートを割り当て、項目間で値が重複しないように設定してください。
  3. ファイアーウォールが設置されている環境では、ネットワーク管理者とご相談の上、設定してください。
- 

ファイアーウォールが使用されている場合、管理者はファイアーウォールの設定で許可されたポート番号を製品側でも設定する必要があります。デフォルト以外のポートが設定されている場合、ユーザーはログイン時に IP アドレスの一部としてポート番号を指定する必要があります。ポート番号が指定されていない場合や無効なポート番号が指定されている場合、あるいはポート番号が存在しない場合は、トランスミッターを検索しても表示されません。

## IPv4 設定

トランスミッターには、起動時に動的に割り当てられる IP アドレス(DHCP)、または固定 IP アドレスを割り当てることができます。

- ◆ IP アドレスを動的に割り当てる場合は、「**DHCP**」ラジオボタンを選択します(デフォルト設定です)。
- ◆ 固定 IP アドレスを設定する場合は、「**Manual**」(手動)のラジオボタンを選択し、IP アドレスを入力してください。

---

**注意:**

1. 「**DHCP**」の項目を選択した場合、トランスミッターは起動後に DHCP サーバーからの IP アドレスの割り当てを待機します。1 分経過しても IP アドレスが割り当てられない場合は、工場出荷時にデフォルトで設定された IP アドレス(192.168.0.60)に自動的に戻ります。
2. トランスミッターが DHCP を使用してネットワークアドレスを割り当てるネットワーク上にあり、その IP アドレスを確認する必要がある場合は、IP インストーラーを使用できます。詳細については p.427「IP インストーラー」を参照してください。

---

トランスミッターは、DNS サーバーアドレスを自動的に割り当てるか、または固定アドレスを指定することができます。

- ◆ DNS サーバーのアドレスを自動的に割り当てer場合は、「**Obtain DNS server address automatically**」(DNS サーバーアドレスを自動的に取得する)のラジオボタンを選択してください。
- ◆ DNS サーバーの固定アドレスを指定する場合は、「**Use the following DNS server address**」(以下の DNS サーバーアドレスを使用する)のラジオボタンを選択し、必要な情報を入力してください。

---

**注意:** 代替 DNS サーバーのアドレスは任意で設定してください。

---

## IPv6 設定

トランスミッターには、ブート時に動的 IPv6 アドレスを割り当てたり(DHCP)、固定 IPv6 アドレスを指定したりすることができます。

- ◆ 動的 IPv6 アドレスを割り当てer場合は、「**DHCP**」ラジオボタンを選択してください(デフォルト設定です)。
- ◆ 固定 IP アドレスを設定する場合は、「**Manual**」(手動)ラジオボタンを選択し、IP アドレスを入力

してください。

トランスミッターには DNS サーバーのアドレスを自動で割り当てることも、手動で固定アドレスを設定することも可能です。

- ◆ DNS サーバーのアドレスを自動的に割り当てる場合は、「**Obtain DNS server address automatically**」(DNS サーバーアドレスの自動取得)のラジオボタンを選択してください。
- ◆ DNS サーバーの固定アドレスを指定する場合は、「**Set DNS server address manually**」(DNS サーバーアドレスを手動で設定する)のラジオボタンを選択し、必要な情報を入力してください。

---

**注意：** 代替 DNS サーバーのアドレスは任意で設定してください。

---

## 動作モード

「Working Mode」(動作モード)セクションを使うと、動作モードの各種パラメーターを設定することができます。

- ◆ **Enable ICMP (ICMP を有効にする)：**この項目にチェックを入れると、ICMP サービスを有効にします。
- ◆ **Disable Browser Service (ブラウザサービスを無効にする)：**この項目にチェックを入れると、特定のアクセスを無効にします。利用可能なオプションは、「browser」(ブラウザ)、「http」、「https」です。
- ◆ **Enable Client AP Device List (クライアント AP のデバイスリストを有効にする)：**この項目にチェックを入れると、この機能を有効にします。この機能が有効である場合、ユニットは Windows/Java クライアントを使ってサーバーリストで検出できるようになります (p.350「起動」参照)。また、無効である場合は、ユニットが接続されていてもサーバーリストには表示されません。

情報の入力や設定が完了したら、「**Save**」(保存)をクリックしてください。

## ユーザー設定

「User Preferences」(ユーザー設定)ラジオボタンを選択し、「**Configure**」(設定)をクリックしてログインすると、下図のような設定画面が表示されます。

| 項目                                     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| User Password Change<br>(ユーザーパスワードの変更) | <p>このセクションでは、OSD パスワードを変更することができます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「Old Password」(旧パスワード)の欄に、現在のパスワードを入力してください。</li> <li>2. 「New Password」(新パスワード)の欄に、新たに設定するパスワードを入力してください。</li> <li>3. 「Confirm Password」(確認用パスワード)の欄に、新たに設定するパスワードを再度入力してください。</li> </ol> |
| OSD Language<br>(OSD 言語)               | <p>ドロップダウンリストから OSD セッションで使用する言語を選択してください。選択できる値は、英語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)、日本語、韓国語、オランダ語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語です。</p>                                                                                                                                                         |
| OSD Hotkey<br>(OSD ホットキー)              | <p>OSD 画面を呼び出すホットキーの組み合わせを選択してください。</p>                                                                                                                                                                                                                                     |

(表は次のページに続きます)

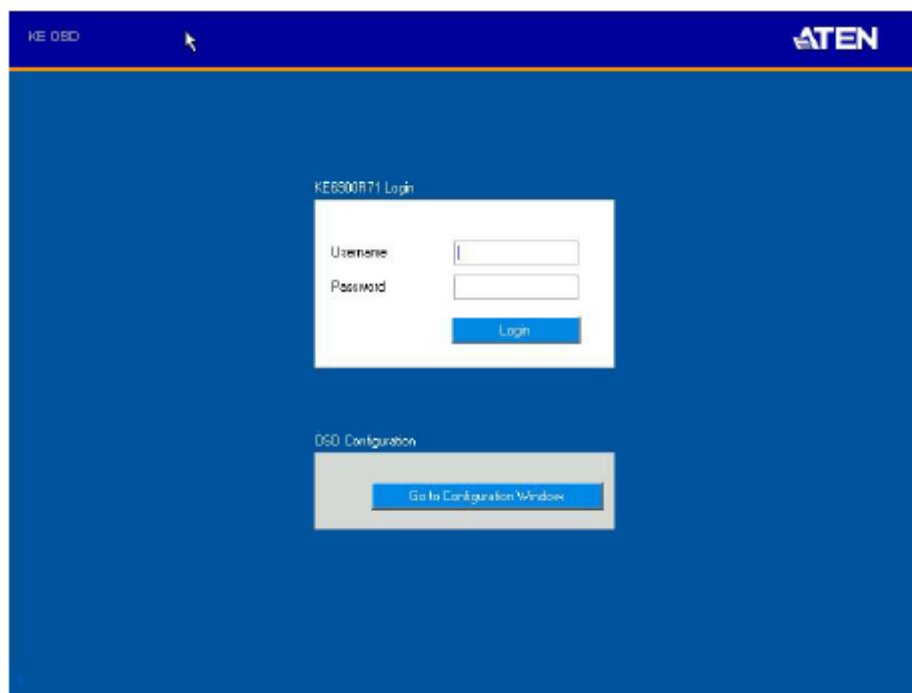
| 項目                              | 説明                                                                              |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| Logout Timeout<br>(ログアウトタイムアウト) | ユーザーが操作しないまま、この機能で設定された時間が経過すると、ユーザーは自動的にログアウトします。OSD にアクセスするには再度ログインする必要があります。 |
| Screen Blanker<br>(スクリーンブランカー)  | ユーザーが操作しないまま、この機能で設定された時間が経過すると、映像信号の出力を OFF にします。                              |

入力が完了したら、「**Save**」(保存)ボタンをクリックしてください。

## OSD マトリックスモード

---

システムを(プロパティで)マトリックスモードに設定すると、OSD を起動した際にシステムログイン画面が表示されます。ここでユーザーネームとパスワードを入力すると、「Connection」(接続)画面に遷移します。



---

**注意:** レシーバー側でログインが不要な場合は、「Login to system」(システムへログイン)をクリックしてください。エクステンダー、デスクトップ/マトリックスの各モードに関する詳細は、p.194「Mode(モード)」を参照してください。

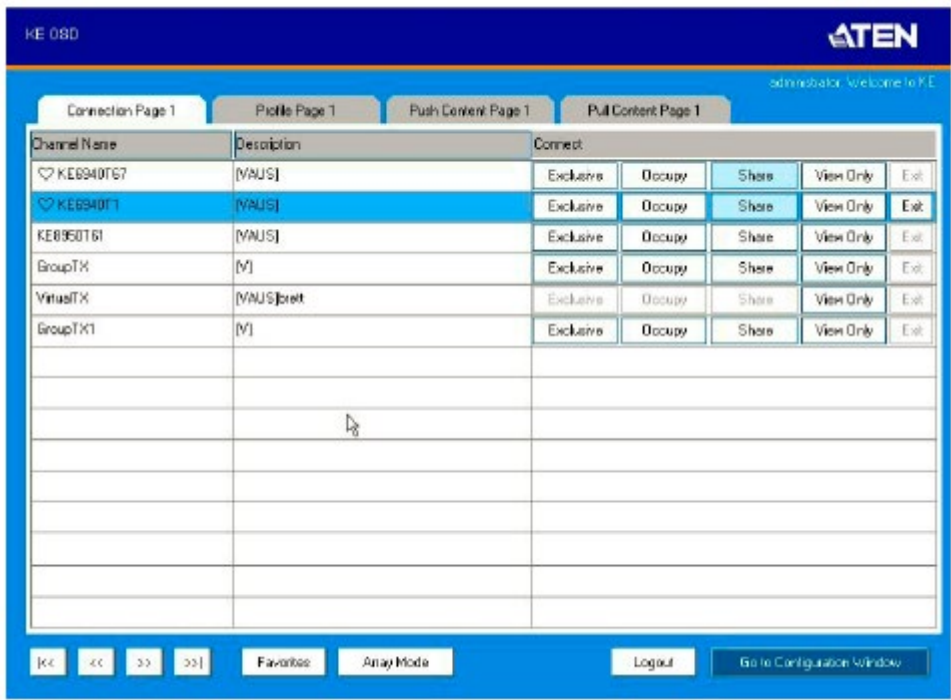
---

ログインすると、次のページのような「Connection」(接続)画面に遷移します。



接続画面

リストモード



この接続画面における各項目の内容は下表のとおりです。

| No. | 名称                       | 説明                                                                                                                                              |
|-----|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | Channel Name<br>(チャンネル名) | レシーバーで利用可能なチャンネル接続を一覧表示します。チャンネルとはアクセス可能なトランスミッターへの接続のことを指します。これはマトリックスマネジャーの「Device Management」(デバイス管理)タブで作成されます (p.234「ブラウザ/Telnet による操作」参照)。 |
| 2   | Description<br>(説明)      | この欄には、接続が作成されたときに入力された、チャンネルの説明が表示されます。                                                                                                         |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称                              | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3   | Connect<br>(接続)                 | <p>レシーバーをチャンネルに接続する際には、次のアクセスタイプをクリックしてください。</p> <p><b>Exclusive (排他)</b>:最初にチャンネルにアクセスしたレシーバーが、このチャンネルに対して排他的に操作することができます。このとき、他のユーザーはチャンネルを参照したり、操作したりすることができません。この設定ではタイムアウト機能は適用されません。</p> <p><b>Occupy (占有)</b>:最初にチャンネルにアクセスしたレシーバーが、このチャンネルを操作することができます。このとき、他のユーザーもチャンネルのビデオを参照できますが操作はできません。このチャンネルを操作しているレシーバーが非アクティブな状態のまま、「Timeout」(タイムアウト)欄で設定された時間が経過すると、操作権限は、このタイムアウト後に初めてマウスかキーボードを操作したレシーバーに移ります。</p> <p><b>Share (共有)</b>:チャンネルに対して複数のレシーバーで同時に操作を共有することができます。レシーバーからの入力キューに格納されて、順番に実行されます。</p> <p><b>View Only (参照のみ)</b>:レシーバーは映像を参照するのみで、操作はできません。</p> |
| 4   | >> / >> <br>(次のページ<br>/ 最後のページ) | <p>一覧に 1 ページの表示件数を超えるチャンネルがある場合、「&gt;&gt;」ボタンをクリックすると、次のページに移動します。また、「&gt;&gt; 」ボタンをクリックすると、最後のページに移動します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 5   | << /  <<<br>(前のページ<br>/ 最初のページ) | <p>一覧に 1 ページの表示件数を超えるチャンネルがある場合、「&lt;&lt;」ボタンをクリックすると、前のページに移動します。また、「 &lt;&lt;」ボタンをクリックすると、最初のページに移動します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 6   | Favorite<br>(お気に入り)             | <p>「<b>Favorites</b>」(お気に入り)をクリックすると、お気に入りに該当するチャンネルのみが一覧表示されます。また、お気に入りに該当するチャンネルにはハートのアイコンが表示されます。</p> <p>お気に入りに追加する場合は、チャンネルを選択した後でマウスを右クリックして、「<b>Add to Favorite</b>」(お気に入りに追加)を選択してください。また、お気に入りから削除する場合は、チャンネルを選択した後でマウスを右クリックして、「<b>Remove from Favorite</b>」(お気に入りから削除)を選択してください。</p> <p><b>注意</b>:お気に入りにには、最大 50 チャンネル追加することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                              |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称                                         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7   | Array Mode<br>(アレイモード)                     | このボタンをクリックすると、各ソースのビデオプレビューの形式でチャンネル接続を参照します。この一覧は一度に 6 つのグループで表示されます。このモードについては p.218 で説明します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 8   | List Mode<br>(リストモード)                      | これは、モードに「Array」(アレイ)を選択した際に表示されるオプションです。このボタンをクリックすると、名前でソートされた一覧、またはお気に入りが上位に表示された形式でチャンネル接続を参照します。ソートを変更する場合は、一覧における「Channel Name」(チャンネル名)の見出しをクリックしてください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 9   | EDID Mode<br>(EDID モード)                    | <p>トランスミッターの EDID が設定されると、設定内容に応じて、レシーバーの接続用 EDID の設定を行う各種ボタンが表示または非表示になります。トランスミッターの EDID 設定に応じて、下記のルールがレシーバー側の OSD に適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ EDID モードが「<b>Default</b>」(デフォルト)または「<b>Auto</b>」(自動)である場合は、設定項目がないため、EDID ボタンは表示されません。</li> <li>◆ EDID モードが「<b>Manual</b>」(手動)または「<b>Remix</b>」(リミックス)である場合は、EDID ボタンが表示されるため、「Manual EDID」(手動 EDID)または「Remix EDID」(リミックス EDID)のどちらかを選択してください。</li> </ul> <p>EDID 設定をローカルで調整する場合は、「<b>Manual</b>」(手動)または「<b>Remix</b>」(リミックス)をクリックしてください。</p> <p>トランスミッターの EDID モードを設定する方法については、p.203「プロパティ」を参照してください。</p> |
| 10  | Logout<br>(ログアウト)                          | このボタンをクリックすると、接続画面からログアウトします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 11  | Go to Configuration Window<br>(設定ウィンドウに戻る) | このボタンをクリックすると、メインの OSD 画面に戻ります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

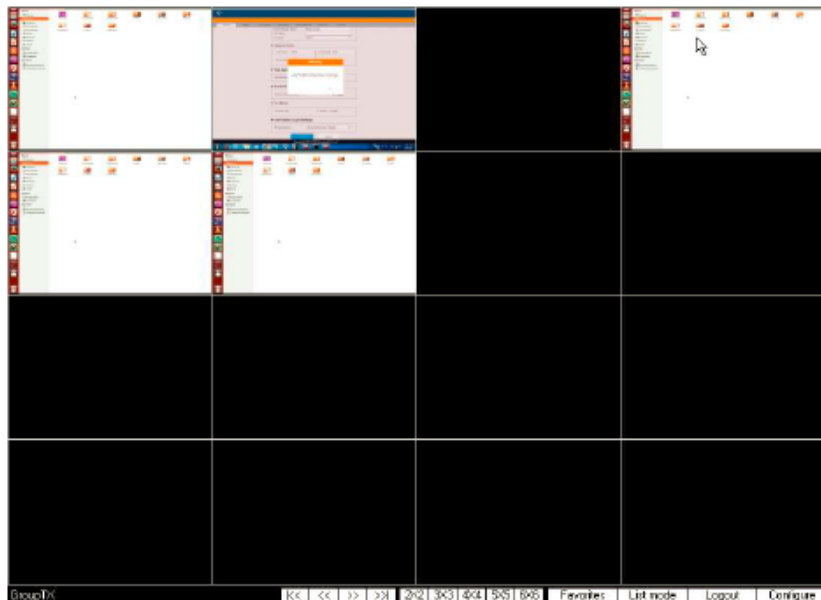
## アレイモード

アレイモードは、スリムタイプの IP-KVM レシーバーではサポートされませんので、ご注意ください。

この画面は複数パネルのグリッドに分かれており、各パネルには特定チャネルのビデオ出力が表示されます。接続するモードを選択するには、パネルを右クリックして、次のオプションから適当なものを選択してください。

**E**: Exclusive (排他)、**O**: Occupy (占有)、**S**: Share (共有)、**V**: View Only (参照のみ)、**X**: Exit (終了)

なお、ビデオを表示中のパネルの上にマウスカーソルが置かれていると、オーディオがトランスミッターから出力されてもレシーバー側で出力できなくなります。



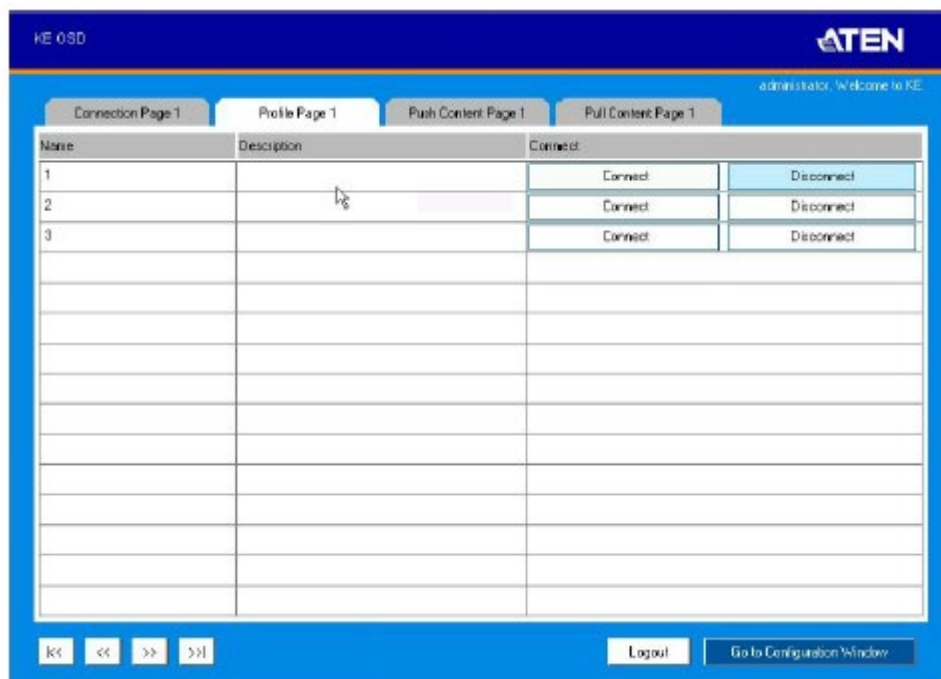
| No. | 名称                              | 説明                                                                                        |
|-----|---------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | >> / >> <br>(次のページ<br>/ 最後のページ) | 一覧に 1 ページの表示件数を超えるチャネルがある場合、「>>」ボタンをクリックすると、次のページに移動します。また、「>> 」ボタンをクリックすると、最後のページに移動します。 |
| 2   | << /  <<<br>(前のページ<br>/ 最初のページ) | 一覧に 1 ページの表示件数を超えるチャネルがある場合、「<<」ボタンをクリックすると、前のページに移動します。また、「 <<」ボタンをクリックすると、最初のページに移動します。 |
| 3   | Grid Selection<br>(グリッド選択)      | 表示するチャネル数を選択します。オプションは、2×2、3×3、4×4、5×5、6×6 です。                                            |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称                    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4   | Favorites<br>(お気に入り)  | <p>「<b>Favorites</b>」(お気に入り)をクリックすると、お気に入りに該当するチャンネルのみが一覧表示されます。「<b>All</b>」(すべて)をクリックすると、すべてのチャンネルを一覧表示します。</p> <p>お気に入りに追加する場合は、リストモードにしてから、チャンネルを選択した後にマウスを右クリックして、「<b>Add to Favorite</b>」(お気に入りに追加)を選択してください。また、お気に入りから削除する場合も同様に、リストモードにしてから、チャンネルを選択した後にマウスを右クリックして、「<b>Remove from Favorite</b>」(お気に入りから削除)を選択してください。</p> <p><b>注意:</b>お気に入りにには、最大 50 チャンネル追加することができます。</p> |
| 5   | List Mode<br>(リストモード) | <p>このボタンをクリックすると、名前でソートされた一覧、またはお気に入りが上位に表示された形式でチャンネル接続を参照します。</p> <p>ソートを変更する場合は、一覧における「Channel Name」(チャンネル名)の見出しをクリックしてください。リストモードについては p.217 でも説明しています。</p>                                                                                                                                                                                                                     |
| 6   | Logout<br>(ログアウト)     | このボタンをクリックすると、接続画面からログアウトします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 7   | Configure<br>(設定)     | このボタンをクリックすると、メインの OSD 画面に戻ります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

## プロフィール画面

「Profile」(プロフィール)タブをクリックすると、次のような画面が表示されます。



このプロフィール画面における各項目の内容は下表のとおりです。

| No. | 名称                  | 説明                                                                                      |
|-----|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | Name<br>(名前)        | 利用可能なプロフィールを一覧表示します。プロフィールは、レシーバーにチャンネルへのアクセスを提供します。「Connect」(接続)をクリックすることで接続することができます。 |
| 2   | Description<br>(説明) | この欄には、新規作成時に入力されたプロフィールの説明が表示されます。                                                      |
| 3   | Connect<br>(接続)     | 「 <b>Connect</b> 」(接続)をクリックすると、レシーバーは、プロフィールの設定情報に基づき接続を行います(p.305「プロフィールの追加」参照)。       |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称                                            | 説明                                                                                                  |
|-----|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4   | Disconnect<br>(切断)                            | 「Disconnect」(切断)をクリックすると、現在のプロファイルへの接続を終了します。                                                       |
| 5   | >>/ >> <br>(次のページ<br>/ 最後のページ)                | 一覧に 1 ページの表示件数を超えるプロファイル/ビデオウォールがある場合、「>>」ボタンをクリックすると、次のページに遷移します。また、「>> 」ボタンをクリックすると、最後のページに移動します。 |
| 6   | << /  <<<br>(前のページ<br>/ 最初のページ)               | 一覧に 1 ページの表示件数を超えるプロファイル/ビデオウォールがある場合、「<<」ボタンをクリックすると、前のページに遷移します。また、「 <<」ボタンをクリックすると、最初のページに移動します。 |
| 7   | Logout<br>(ログアウト)                             | このボタンをクリックすると、接続画面からログアウトします。                                                                       |
| 8   | Go to Configuration<br>Window<br>(設定ウィンドウに戻る) | このボタンをクリックすると、メインの OSD 画面に戻ります。                                                                     |

## コンテンツのプッシュ

「Push Content」(コンテンツのプッシュ)画面を使うと、レシーバー側にあるコンピューターの接続を別のレシーバーのコンソールにプッシュし、両方から同じコンピューターに対してアクセスすることができるようになります。「Push Content」(コンテンツのプッシュ)タブをクリックすると、下図のような画面が表示されます。

この画面における各項目の内容は下表のとおりです。

| No. | 名称                        | 説明                                                  |
|-----|---------------------------|-----------------------------------------------------|
| 1   | Receiver Name<br>(レシーバー名) | レシーバー側のコンピューターの接続をプッシュする対象として選択可能なレシーバーの名前を一覧表示します。 |
| 2   | Description<br>(説明)       | この欄には、新規作成時に入力されたレシーバーの説明が表示されます。                   |

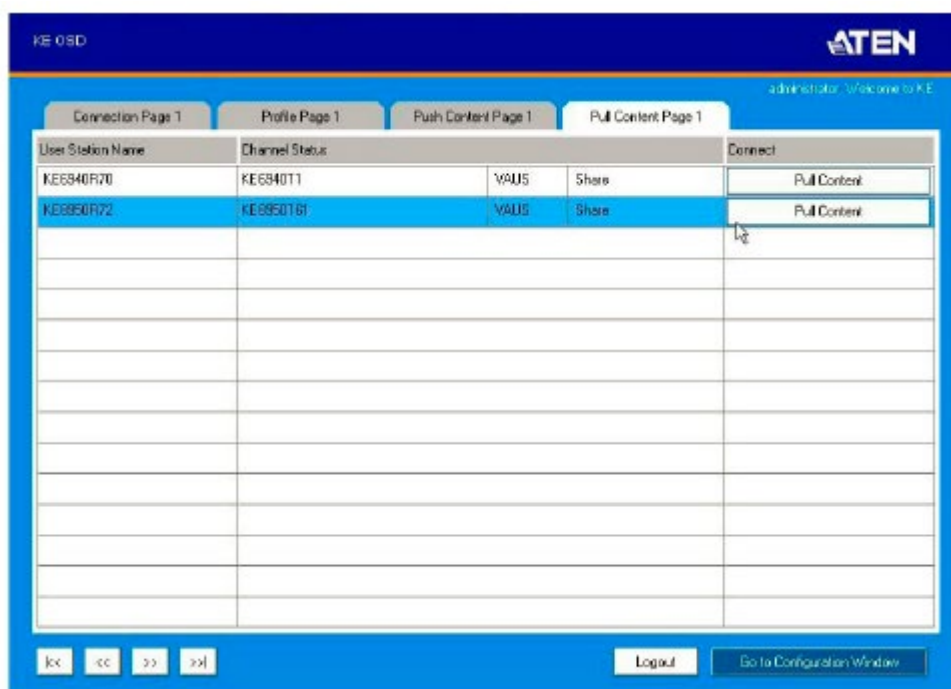
(表は次のページに続きます)



| No. | 名称                                         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3   | Connect<br>(接続)                            | 「 <b>Push Content</b> 」(コンテンツのプッシュ)をクリックすると、選択されたレシーバーのコンソールに対して、ローカルのレシーバー側にあるコンピューターの接続をプッシュします。そうすると、ローカルのレシーバー側にあるコンピューターの接続が、プッシュされた側のレシーバーに表示され、両側からコンピューターへの接続を共有することができます。アクセスの共有方法は、ローカル側のレシーバーによって選択されたアクセスモードによって決まります (p.274「トランスミッターの操作権限」参照)。 |
| 4   | >>/ >> <br>(次のページ<br>/ 最後のページ)             | 一覧に 1 ページの表示件数を超えるアイテムがある場合、「>>」ボタンをクリックすると、次のページに遷移します。また、「>> 」ボタンをクリックすると、最後のページに移動します。                                                                                                                                                                   |
| 5   | << /  <<<br>(前のページ<br>/ 最初のページ)            | 一覧に 1 ページの表示件数を超えるアイテムがある場合、「<<」ボタンをクリックすると、前のページに遷移します。また、「<< 」ボタンをクリックすると、最初のページに移動します。                                                                                                                                                                   |
| 6   | Logout<br>(ログアウト)                          | このボタンをクリックすると、接続画面からログアウトします。                                                                                                                                                                                                                               |
| 7   | Go to Configuration Window<br>(設定ウィンドウに戻る) | このボタンをクリックすると、メインの OSD 画面に戻ります。                                                                                                                                                                                                                             |

## コンテンツのプル

「Pull Content」(コンテンツのプル)画面を使うと、レシーバー側にあるコンピューターの接続をローカル側のレシーバーのコンソールにプルし、両方から同じコンピューターに対してアクセスすることができるようになります。「Pull Content」(コンテンツのプル)タブをクリックすると、下図のような画面が表示されます。



この画面における各項目の内容は下表のとおりです。

| No. | 名称                          | 説明                                                         |
|-----|-----------------------------|------------------------------------------------------------|
| 1   | Receiver Name<br>(レシーバー名)   | 「Channel Status」(チャネルの状態)列に表示されたチャネルに接続中のレシーバーの名前を一覧表示します。 |
| 2   | Channel Status<br>(チャネルの状態) | この欄には、利用可能な各チャネル接続の名前、説明、アクセスタイプが表示されます。                   |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称                                         | 説明                                                                                                             |
|-----|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3   | Connect<br>(接続)                            | 「Pull Content」(コンテンツのプル)をクリックすると、レシーバーは「Channel Status」(チャンネルの状態)に表示されているアクセスモードを使用して、チャンネル接続をローカルコンソールにプルします。 |
| 4   | >>/ >> <br>(次のページ<br>/ 最後のページ)             | 一覧に 1 ページの表示件数を超えるアイテムがある場合、「>>」ボタンをクリックすると、次のページに遷移します。また、「>> 」ボタンをクリックすると、最後のページに移動します。                      |
| 5   | << /  <<<br>(前のページ<br>/ 最初のページ)            | 一覧に 1 ページの表示件数を超えるアイテムがある場合、「<<」ボタンをクリックすると、前のページに遷移します。また、「<< 」ボタンをクリックすると、最初のページに移動します。                      |
| 6   | Logout<br>(ログアウト)                          | このボタンをクリックすると、接続画面からログアウトします。                                                                                  |
| 7   | Go to Configuration Window<br>(設定ウィンドウに戻る) | このボタンをクリックすると、メインの OSD 画面に戻ります。                                                                                |

# 第4章

## ソフトウェアのインストール

### 概要

---

「KE マトリックスマネジャー」とは、本製品をマトリックスモードで使用するのに必要なシステムであり、ネットワーク経由で管理する Web ブラウザベースの GUI です。このソフトウェアの完全版をご購入される場合は、お近くの ATEN 販売店までお問い合わせください。無料の KE マトリックスマネジャーのライト版をダウンロードする場合は、下記の操作方法をご参照ください。

- 
- 注意：**
1. 「マトリックスマネジャー」と「KE Matrix Manager」は同じソフトウェアのことを指します。
  2. このソフトウェアには、マトリックスモードを使用するための基本的な機能が含まれています。
- 

### マトリックスマネジャーのインストール

---

ここでは、KE マトリックスマネジャーの完全版をプライマリーまたはセカンダリーのコンピューターへとインストールする方法について説明します。ソフトウェア要件については、p.31「最小ハードウェア/ソフトウェア要件」を参照してください。

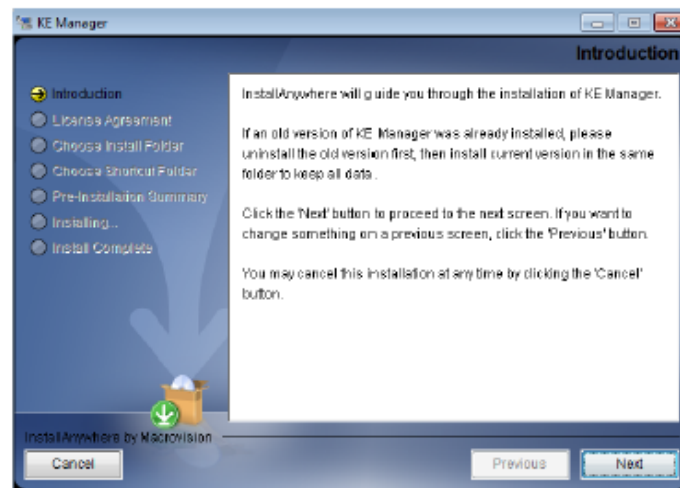
1. お使いのコンピューターの USB ポートに、別売りの USB ライセンスキーを挿してください。

---

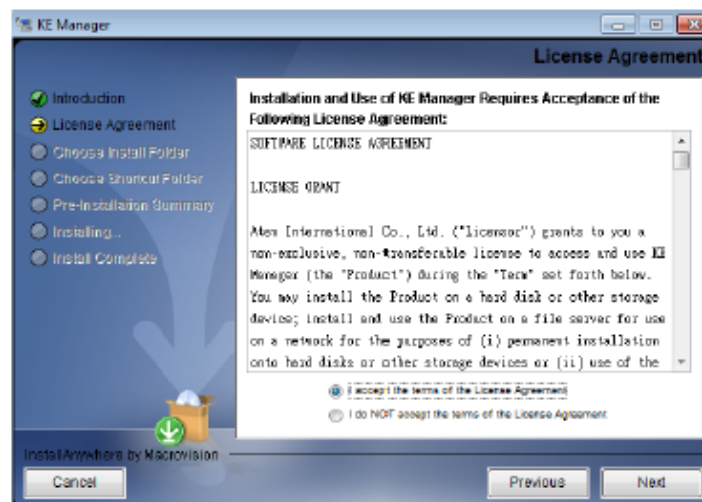
**注意：** セットアップで KE シリーズのデバイスを 9 台以上使用する場合は、セカンダリーコンピューターに KE マトリックスマネジャーをインストールする際に、USB ライセンスキーがもう 1 つ必要になります。

---

2. ファイル「KEMatrixManagerSetup」をダブルクリックし、インストールを開始してください。  
「Introduction」画面が表示されたら、「Next」(次へ)ボタンをクリックしてください。

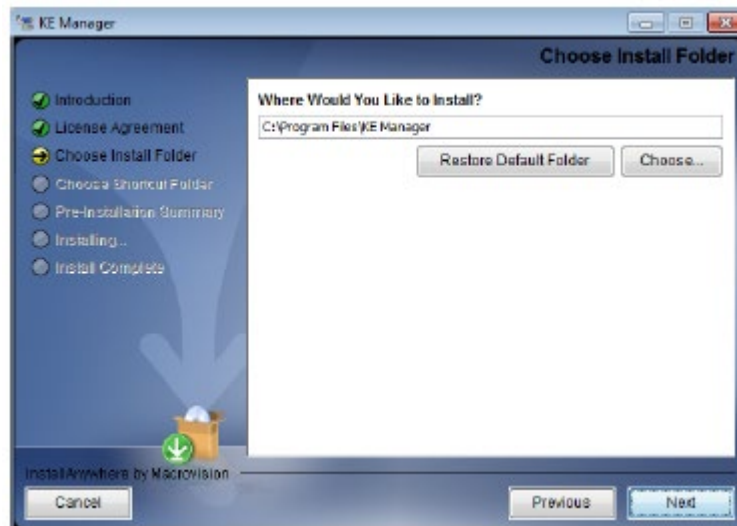


3. 「License Agreement」画面が表示されます。



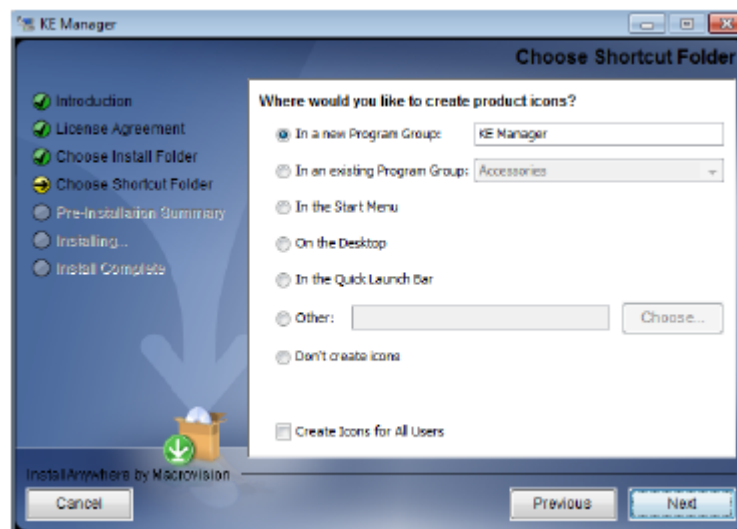
この使用許諾契約の内容に同意される場合は、「I accept the terms of the license agreement」(この使用許諾契約の内容に同意する)のラジオボタンを選択し、「Next」(次へ)ボタンをクリックしてください。

4. 「Choose Install Folder」(インストールフォルダーの選択)画面が表示されます。



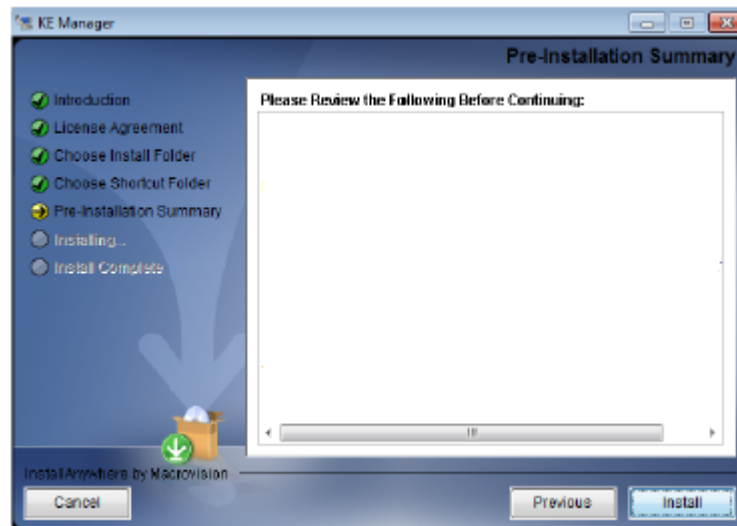
このソフトウェアをインストールするフォルダーを選択し、「Next」(次へ)ボタンをクリックしてください。

5. 「Choose Shortcut Folder」(ショートカットフォルダーの選択)画面が表示されます。



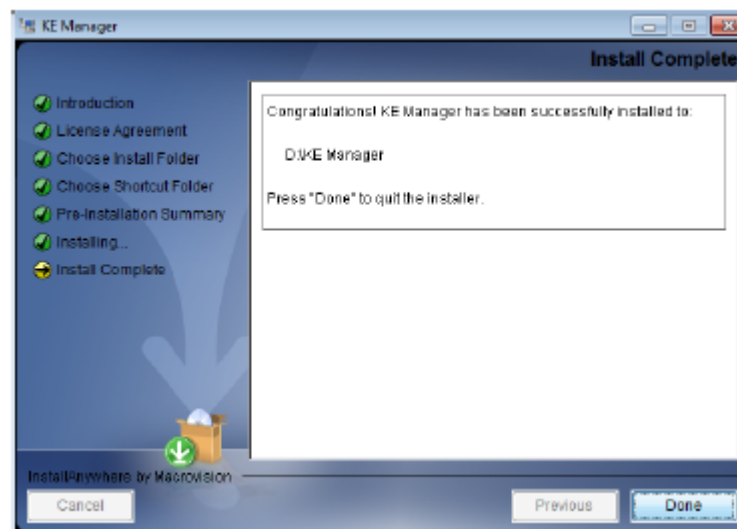
画面内に表示されているオプションを選択し、プログラムのショートカットを作成する場所を選択したら、「Next」(次へ)ボタンをクリックしてください。

6. 「Pre-Installation Summary」(インストール前の概要)画面が表示されます。



これまでにインストーラーで選択してきた設定内容を確認してください。設定を変更したい場合は、「**Previous**」(前へ)ボタンをクリックして、前の画面に戻ってください。この設定でソフトウェアをインストールする場合は、「**Install**」(インストール)ボタンをクリックしてください。

7. インストールが終了すると、「Install Complete」(インストール完了)画面が表示されます。



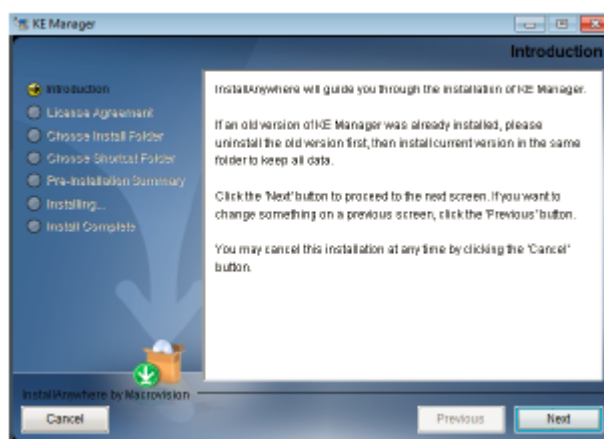
「**Done**」(終了)ボタンをクリックしてください。

## Linux へのインストール

---

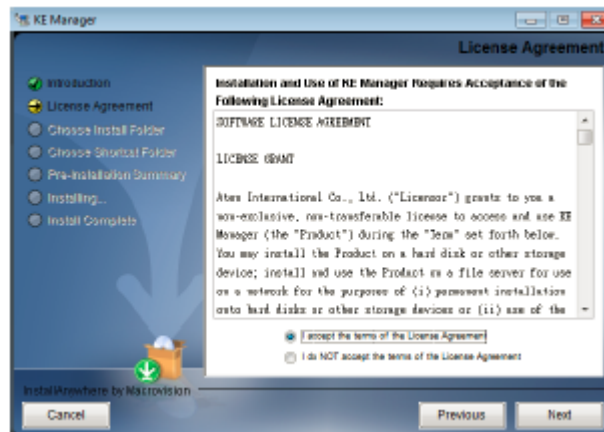
下記の説明は、Linux サーバーにマトリックスマネージャーソフトウェアの完全版をインストールする方法です。ソフトウェアのシステム要件については、p.31「最小ハードウェア/ソフトウェア要件」を参照してください。

1. マトリックスマネージャーソフトウェアのインストール用ファイルをLinuxサーバーにダウンロードしてください。
2. 手順1でダウンロードしたインストール用ファイルがコマンドから実行できるように、下記の例を参考にしながらファイルの属性(アクセス権限)を変更してください。  
例: `chmod a+x kemandager_setup.bin`
3. インストール用ファイルをコマンドで実行してください。  
`sudo sh ./kemandager_setup.bin`
4. 「Introduction」(はじめに)画面が表示されたら、「Next」(次へ)をクリックしてください。





5. そうすると、「License Agreement」(使用許諾契約)画面が表示されます。



使用許諾契約に同意した場合は、「I accept the terms of the license agreement」(この使用許諾契約の内容に同意する)のラジオボタンを選択し、「Next」(次へ)ボタンをクリックしてください。

6. 「Choose Install Folder」(インストールフォルダーの選択)画面が表示されたら、インストール場所となるディレクトリを選択して、「Next」(次へ)ボタンをクリックしてインストール作業を続けてください。
7. ソフトウェアが正常にインストールされると、有効なリンクがディレクトリに表示されます。

```
mitch@mitch-945GCM-S2L:/$ sudo -l
[sudo] password for mitch:
root@mitch-945GCM-S2L:~# ls -al
total 40
drwx----- 7 root root 4096 14 13:42 .
drwxr-xr-x 25 root root 4096 14 10:04 ..
-rw-r--r-- 1 root root 65 14 13:42 .bash_history
-rw-r--r-- 1 root root 3166 23 2015 .bashrc
drwx----- 2 root root 4096 20 04:49 .cache
drwx----- 3 root root 4096 13 10:07 .gnupg
drwxrwxr-x 4 root root 4096 14 13:29 .java
drwxrwxr-x 5 root root 4096 14 13:39 .keManager
drwxrwxr-x 2 root root 4096 14 09:58 .oracle_jre_usage
-rw-r--r-- 1 root root 148 17 2015 .profile
root@mitch-945GCM-S2L:~# cd /keManager/
root@mitch-945GCM-S2L:~/keManager# ls
keManager      Query_Service  UnInstall_Matrix_Manager
keManager_installation  Service_Manager
root@mitch-945GCM-S2L:~/keManager#
```

8. 上図にある「Uninstall\_Matrix\_Manager」はソフトウェアをアンインストールする際に使用されます。デフォルトでは、ルートフォルダーに対して次のようにアクセスすることができます。

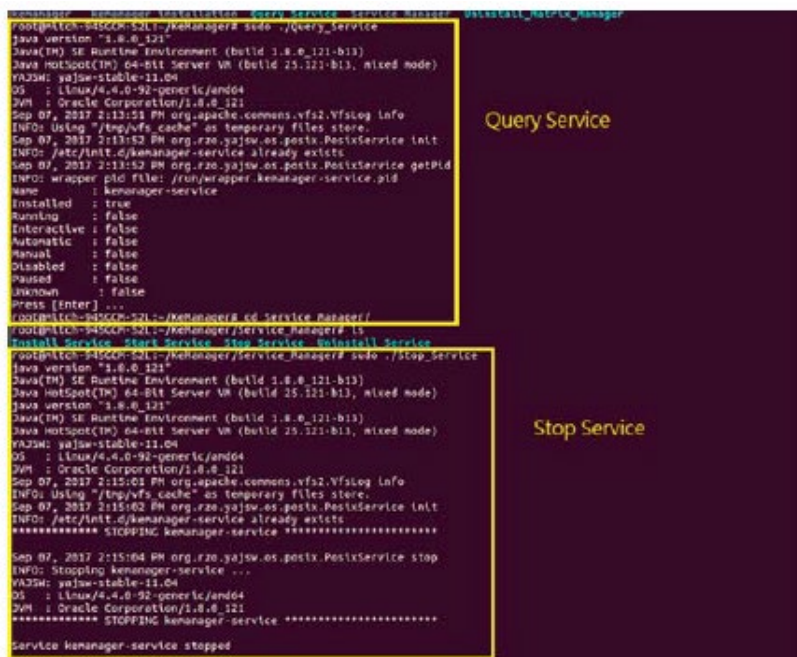
```
sudo -i cd /root cd KeManager sudo ./Uninstall_Matrix_Manager
```

9. マトリックスマネジャーのサービスを確認して停止する場合は、下記のコマンドを使用してください。

```
cd KeManager
```

サービスを確認する場合: `sudo ./Query_Service`

サービスを停止する場合: `sudo ./Stop_Service`



The image shows a terminal window with a dark background and light-colored text. The terminal output is divided into two sections by a horizontal line. The top section, labeled 'Query Service' in orange text on the right, shows the output of the `./Query_Service` command. It displays system information like Java version, VM details, and the status of the `kenanmanager-service`, which is currently not running. The bottom section, labeled 'Stop Service' in orange text on the right, shows the output of the `./Stop_Service` command. It confirms that the `kenanmanager-service` is being stopped and successfully stops it. The terminal prompt is `root@kali:~/KeManager#`.

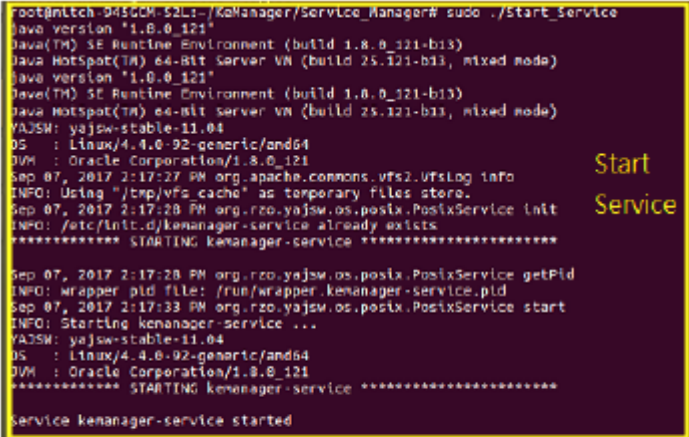
```
root@kali:~/KeManager# ./Query_Service
java version "1.8.0_121"
Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.8.0_121-b13)
Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 25.121-b13, mixed mode)
WARNING: yajsw-stable-11.04
OS : Linux/4.4.0-92-generic/amd64
JVM : Oracle Corporation/1.8.0_121
Sep 07, 2017 2:13:51 PM org.apache.commons.vfs2.VfsLog Info
INFO: Using "/tmp/vfs.cache" as temporary files store.
Sep 07, 2017 2:13:52 PM org.r2o.yajsw.postix.PostixService Init
INFO: /etc/init.d/kenanmanager-service already exists
Sep 07, 2017 2:13:52 PM org.r2o.yajsw.postix.PostixService getPid
INFO: wrapper pid file: /run/wrapper.kenanmanager-service.pid
Name : kenanmanager-service
Installed : true
Running : false
Interactive : false
Automatic : false
Manual : false
Disabled : false
Paused : false
Unknown : false
Press [Enter] ...
root@kali:~/KeManager# cd Service_Manager/
root@kali:~/KeManager/Service_Manager# ls
Install_Service  Start_Service  Stop_Service  Uninstall_Service
root@kali:~/KeManager/Service_Manager# sudo ./Stop_Service
java version "1.8.0_121"
Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.8.0_121-b13)
Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 25.121-b13, mixed mode)
WARNING: yajsw-stable-11.04
OS : Linux/4.4.0-92-generic/amd64
JVM : Oracle Corporation/1.8.0_121
Sep 07, 2017 2:15:02 PM org.apache.commons.vfs2.VfsLog Info
INFO: Using "/tmp/vfs.cache" as temporary files store.
Sep 07, 2017 2:15:02 PM org.r2o.yajsw.postix.PostixService Init
INFO: /etc/init.d/kenanmanager-service already exists
***** STOPPING kenanmanager-service *****
Sep 07, 2017 2:15:04 PM org.r2o.yajsw.postix.PostixService stop
INFO: Stopping kenanmanager-service ...
WARNING: yajsw-stable-11.04
OS : Linux/4.4.0-92-generic/amd64
JVM : Oracle Corporation/1.8.0_121
***** STOPPING kenanmanager-service *****
Service kenanmanager-service stopped
```

10. マトリックスマネジャーのサービスを確認して開始する場合は、下記のコマンドを使用してください。

cd KeManager

サービスを確認する場合: `sudo ./Query_Service`

サービスを開始する場合: `sudo ./Start_Service`



```
root@mitch-945GCM-52Li:~/KeManager/Service_Manager# sudo ./Start_Service
Java version "1.8.0_121"
Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.8.0_121-b13)
Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 25.121-b13, mixed mode)
Java version "1.8.0_121"
Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.8.0_121-b13)
Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 25.121-b13, mixed mode)
YASW: yasw-stable-11.04
OS : Linux/4.4.0-92-generic/amd64
DVM : Oracle Corporation/1.8.0_121
Sep 07, 2017 2:17:27 PM org.apache.commons.vfs2.VfsLog info
INFO: Using "/tmp/vfs-cache" as temporary files store.
Sep 07, 2017 2:17:28 PM org.rzo.yajsw.os.posix.PosixService init
INFO: /etc/init.d/keanager-service already exists
***** STARTING keanager-service *****

Sep 07, 2017 2:17:28 PM org.rzo.yajsw.os.posix.PosixService getPid
INFO: wrapper pid file: /run/wrapper.keanager-service.pid
Sep 07, 2017 2:17:33 PM org.rzo.yajsw.os.posix.PosixService start
INFO: Starting keanager-service ...
YASW: yasw-stable-11.04
OS : Linux/4.4.0-92-generic/amd64
DVM : Oracle Corporation/1.8.0_121
***** STARTING keanager-service *****

service keanager-service started

Sep 07, 2017 2:17:33 PM org.rzo.yajsw.os.posix.PosixService getPid
INFO: wrapper pid file: /run/wrapper.keanager-service.pid
Sep 07, 2017 2:17:34 PM org.rzo.yajsw.os.posix.PosixService getPid
INFO: wrapper pid file: /run/wrapper.keanager-service.pid
Sep 07, 2017 2:17:34 PM org.rzo.yajsw.os.posix.PosixService getPid
INFO: wrapper pid file: /run/wrapper.keanager-service.pid
Service keanager-service started
root@mitch-945GCM-52Li:~/KeManager/Service_Manager#
```

# 第5章

## ブラウザ/Telnet 操作

### 概要

---

「マトリックスマネジャー」には、標準的な Web ブラウザや Telnet 経由でアクセスすることができます。ユーザーがログインし、認証されると、ブラウザ GUI 画面が表示されます。本章では、前半のセクションでログイン手順と Web ブラウザ画面における項目について、また、後半のセクションで Telnet 経由の接続方法に関する詳細について、それぞれ説明します。

### ログイン

---

マトリックスマネジャーにログインするには、以下の手順に従って操作を行ってください。

アクセスの前にマトリックスマネジャーが Windows サービスとして起動しているか確認してください。サービスとして登録されていない場合は、スタートメニューから、Matrix Manager → 「Install service」を管理者権限で実行してください※。インストール完了後に再びスタートメニューから、「Start Service」を管理者権限で実行してください。

---

※           もし、インストールができない場合は、JRE ランタイムのパスがシステム環境変数に追加されているかご確認ください。

---

1. Web ブラウザを起動し、マトリックスマネジャーがインストールされているコンピューターの IP アドレスを URL バーに入力してください。

---

**注意:**     管理者が HTTP または HTTPS のポートをデフォルト設定から変更している場合は、IP アドレスの前に「**http://**」または「**https://**」を、また、IP アドレスの後ろにポート番号をそれぞれ追加する必要があります。以下は入力例です。

https://192.168.1.20:8443

この例における「8443」は HTTPS のポート番号です。HTTP を使用する場合はポート番号は「8080」です。また、IP アドレスとこのポート番号はコロンでつなげます。

---

2. 「セキュリティの警告」ダイアログボックスが表示されますが、この証明書は信頼できるものですので、受け入れてください(詳細は p.460「信頼された証明書」参照)。または「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)」をクリックすると、ログイン画面が表示されます。

A login dialog box with an orange header labeled "Login". It contains input fields for "Username" and "Password", a language dropdown menu currently set to "English", a checkbox labeled "Remember this account" which is checked, and a blue "Login" button at the bottom.

3. ユーザーネームとパスワードを入力し、「Login」(ログイン)ボタンをクリックしてください。

---

**注意:** この時、必ず、次のアドミニストレーターのアカウントを使用してください。  
ユーザーネーム: administrator パスワード: password

---

4. セキュリティ対策として、システム側からパスワードをすぐに変更するよう求められます。

A warning dialog box with an orange header labeled "Warning". The text inside says "For your safety, you have to change login password right away." and there is a blue "OK" button in the bottom right corner.

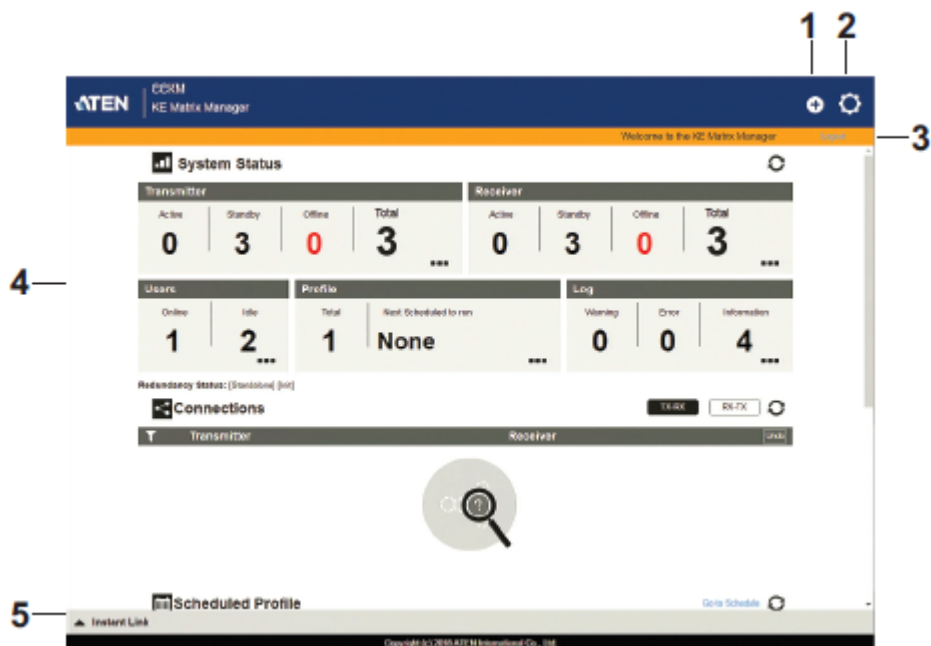
「OK」をクリックすると、パスワード変更ダイアログボックスが表示されます。

A "Change Password" dialog box with an orange header. It has two input fields: "Password" (with masked characters) and "Confirm". At the bottom, there are "CANCEL" and "OK" buttons.

5. 新しいパスワードを「Password」(パスワード)と「Confirm」(確認)の両方の欄に入力してください。
6. 「OK」をクリックしてパスワードの変更を完了すると、KE マトリックスマネジャーのメイン画面に遷移します。詳細については次のページを参照してください。

# マトリックスマネジャー メイン画面

ログインに成功すると、Web ブラウザには下図のようなメイン画面が表示されます。



## 各部名称

画面内における各部名称と機能内容は下表のとおりです。

| No. | 名称          | 説明                                                                                                                                                            |
|-----|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | インストールウィザード | このアイコンを使うと、LAN 上のトランスミッター/レシーバーを検索し、これらをマトリックスマネジャーに追加することができます (p.238「インストールウィザード」参照)。デバイスが見つからない場合は、そのデバイスの OSD メニューにおけるネットワークの設定をご確認ください (p.193、p.202 参照)。 |
| 2   | システム設定      | このアイコンをクリックすると、マトリックスマネジャーソフトウェアの設定を行える「System Setting」(システム設定) セクションに移動します。このメニューにおける操作方法については p.312 で説明しています。                                               |

(表は次のページに続きます)

| No. | 名称      | 説明                                                                                           |
|-----|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3   | ログアウト   | このボタンをクリックすると、マトリックスマネジャーの Web セッションからログアウトします。                                              |
| 4   | 相互表示パネル | メインで操作を行う部分です。ページを上または下にスクロールすると、各種選択項目を参照することができます。クリックすると、項目に応じて詳細画面を開いたり、現在の情報が表示されたりします。 |
| 5   | 簡易リンク   | このアイコンをクリックすると、下部にバーが表示され、ここから KE デバイスに簡単にアクセスすることができます。簡易リンクについては、p.241 で説明します。             |

## 相互表示パネル

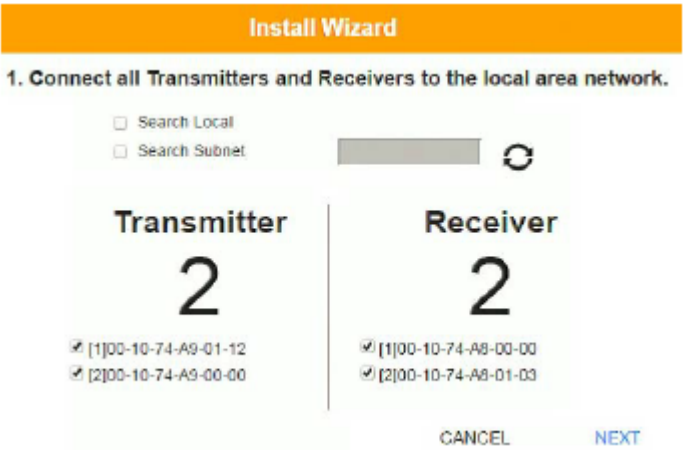
メインの相互表示パネルにある各アイコンには、下表の機能が関連付けられています。

| アイコン                                                                                | 機能                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <b>System Status (システムの状態)</b> : トランスミッター、レシーバー、ユーザー、プロファイル、ログの状態の概要を提供します。各タイトルをクリックすると、そのタイトルに関連した設定画面が開きます。システムの状態に関する詳細は、p.248 で説明します。 |
|  | <b>Connections (接続)</b> : 現在のトランスミッターとレシーバーの接続を視覚的に表示します。接続に関する詳細は、p.340 で説明します。                                                           |
|  | <b>Scheduled Profile (スケジューリングされたプロファイル)</b> : 実行が予定されている接続プロファイルの概要を提供します。スケジューリングされたプロファイルに関する詳細は、p.343 で説明します。                          |
|  | <b>Sessions (セッション)</b> : 現在のユーザーセッションが一覧表示されます。セッションに関する詳細は、p.345 で説明します。                                                                 |
|  | <b>Refresh (再表示)</b> : このアイコンをクリックすると、現在画面に表示されている情報を最新の情報に更新します。                                                                          |
|  | <b>To Top (画面上部へ)</b> : このアイコンは相互表示パネルの右下に表示され、クリックすると、画面の上部に戻ります。                                                                         |

# インストールウィザード

CCKM にトランスミッターやレシーバーを追加するには、インストールウィザードを使用します。このウィザードは、ネットワーク上のデバイスを検索し、これらをCCKMに追加するものです。デバイスを追加するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

- 1. トランスミッターとレシーバーをすべて LAN に接続してください。
- 2. CCKM のメイン画面で、「Install Wizard」(インストールウィザード)アイコンをクリックしてください(p.236 参照)。
- 3. インストールウィザードが表示されたら、オプションを選択してデバイスの検索を行ってください。



| 項目                                                                                  | 説明                                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Search Local<br>(ローカル検索)                                                            | この項目にチェックを入れて「Refresh」(再読込)ボタンをクリックすると、LAN 上のトランスミッター/レシーバーを検索します。                                |
| Search Subnet<br>(サブネット検索)                                                          | この項目にチェックを入れてサブネット IP を入力し、「Refresh」(再読込)ボタンをクリックすると、サブネット上のトランスミッター/レシーバーを検索します。                 |
| Transmitter / Receiver<br>(トランスミッター / レシーバー)                                        | ネットワーク上で検出されたトランスミッターおよびレシーバーの数を表示します。追加したいトランスミッターやレシーバーを選択するには、各アイテムの隣にあるチェックボックスにチェックを入れてください。 |
|  | この「Refresh」(再読込)ボタンを押すと、現在インストールウィザードに表示されている情報を更新します。                                            |



4. 追加したいトランスミッターやレシーバーの隣にあるチェックボックスにチェックを入れて選択したら、「Next」(次へ)をクリックしてください。
5. 「Assign IP Address」(IP アドレスの割り当て)画面でオプションを選択して、ネットワーク設定を行ったら、「Next」(次へ)をクリックしてください。

| 項目                                         | 説明                                                                                |
|--------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| IP Range<br>(IP の範囲)                       | この項目を選択した場合は、追加対象のトランスミッター/レシーバーに割り当てたい固定 IP アドレスの範囲の始点および終点となるアドレスをそれぞれ入力してください。 |
| DHCP                                       | この項目を選択すると、動的 IP アドレスを割り当てます。                                                     |
| Use Original IP Setting<br>(元の IP 設定を使用する) | この項目を選択すると、現在トランスミッター/レシーバーに設定されている IP アドレスを、そのまま使用します。                           |

6. 命名規則(タイトル+番号)を作成する場合は、「Naming Rule」(命名規則)ラジオボタンを、また、現在トランスミッター/レシーバーに設定されている名前をそのまま使用する場合は「Use Original Name」(元の名前を使用する)ラジオボタンを、それぞれ選択し、「Next」(次へ)ボタンをクリックしてください。

7. 各トランスミッターの名前、IPアドレス、オーディオの各設定を確認したら、「Permissions」(操作権限)\*のチェックボックスを選択して、「Next」(次へ)ボタンをクリックしてください。レシーバーに対しても、それぞれ同様の手順で設定を行ってください。

**Install Wizard**

**4. Confirm Transmitter information.**

Permissions ☒ View Only ☒ Occupy ☒ Exclusive

| No. | MAC               | Name      | IP Address   |
|-----|-------------------|-----------|--------------|
| 1   | 00-10-74-A9-01-12 | KE6940T61 | 192.168.0.61 |
| 2   | 00-10-74-B0-01-23 | KE8950T   | 192.168.0.63 |

BACK NEXT

---

**注意:** 操作権限の設定に関する詳細は、**p.274**「トランスミッターの操作権限」および **p.291**「レシーバーの権限設定」を参照してください。

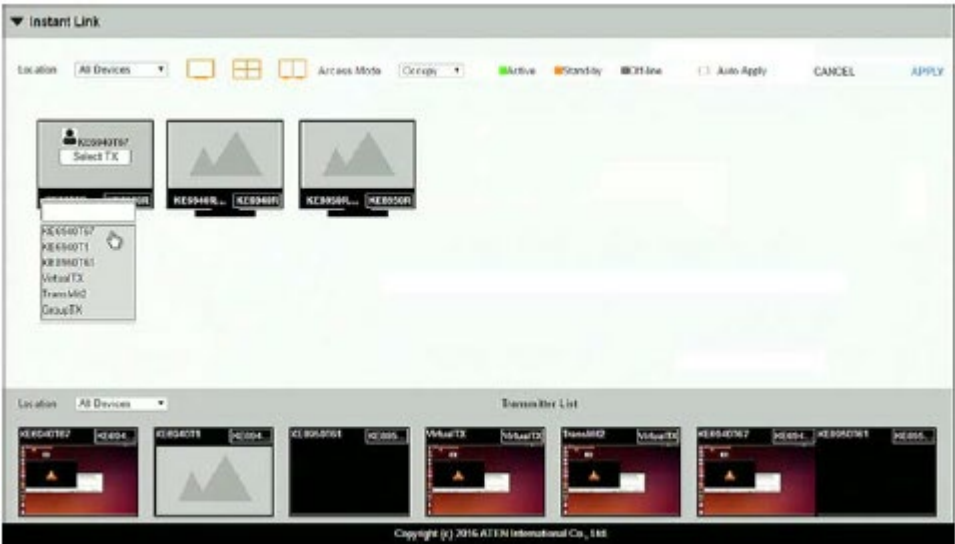
---

8. 「Done」(完了)をクリックしてください。

# 簡易リンク

マトリクススマネジャーのメイン画面下部には、簡易リンクバーがあります。この部分を使うと、レシーバーをトランスミッターに簡単に接続することができます。

上部パネルには「Receiver List」(レシーバー一覧)が、下部パネルには「Transmitter List」(トランスミッター一覧)が、それぞれ表示されます。接続を作成するには、上部パネルにあるレシーバーをクリックして、ドロップダウンメニューからトランスミッターを選択するか(下図参照)、下部パネルにあるトランスミッターをドラッグして、上部パネルのレシーバーにドロップしてください。レシーバーとトランスミッターの接続を必要だけ設定したら、「Apply」(適用)をクリックしてください。



| 項目                      | 説明                                                                                                                                                              |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Instant Link<br>(簡易リンク) | このバーを使うと、レシーバーをトランスミッターへと簡単に接続させることができます。バーをクリックするとパネルを開き、もう一回クリックするとパネルを最小化します。上部パネルには、LAN で検出されたレシーバーがすべて一覧表示されます。レシーバーをクリックしてドロップダウンメニューを使うと、トランスミッターを選択します。 |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                                                                | 説明                                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Transmitter List<br>(トランスミッター一覧)                                                  | この一覧のバーをクリックすると、パネルを開きます。パネルには、LAN で検出されたトランスミッターがすべて一覧表示されます。下部パネルにあるトランスミッターをドラッグして、上部パネルにあるレシーバーにドロップすると、接続を確立します。 |
| Location<br>(場所)                                                                  | ドロップダウンメニューを使って場所を選択すると、画面に表示するレシーバーやトランスミッターの条件を絞り込みます。                                                              |
|  | このアイコンをクリックすると、個々のレシーバーを表示します。                                                                                        |
|  | このアイコンをクリックすると、ビデオウォールのレシーバーのみを表示します。                                                                                 |
|  | このアイコンをクリックすると、レシーバーグループに属しているレシーバーのみを表示します。                                                                          |
| Access Mode<br>(アクセスモード)                                                          | デバイスをクリックしたら、ドロップダウンボックスからアクセスモード(占有、参照のみ、排他)を選択してください。                                                               |
| Auto Apply<br>(自動適用)                                                              | この項目にチェックを入れると、「Apply」(適用)ボタンをクリックしなくても、デバイスをドラッグ&ドロップするだけで接続を即座に適用します。                                               |
| Apply<br>(適用)                                                                     | この部分をクリックすると、デバイスの接続を行います。                                                                                            |
| Cancel<br>(キャンセル)                                                                 | この部分をクリックすると、接続せずに終了します。                                                                                              |

## RS-232/Telnet

---

KE シリーズの IP-KVM エクステンダーは、Telnet を使用しリモートターミナルセッション経由で操作したり設定したりすることができます。これは、初回セットアップでネットワークに接続して、製品本体を設定するのに便利な方法です。

### Telnet

Telnet セッションを使用して KE シリーズの IP-KVM エクステンダーにログインするには、下記の手順に従って操作してください。

1. お使いのコンピュータで、ターミナル(コマンドライン)セッションを開いてください。
2. プロンプトで、KE シリーズの IP-KVM エクステンダーの IP アドレスとポート番号(23)を次の形式で入力してください(パラメーター前後のカッコ([ ])は入力不要です)。

telnet [IP アドレス] [ポート番号]

3. [Enter]キーを押して**テキストメニュー**を起動してください。そうすると、ログイン画面が表示されますので、ログインプロンプトでパスワードを入力してください。



---

**注意:** Telnet セッションのデフォルトパスワードは「password」です。

---

## RS-232

RS-232 セッションを使用して KE シリーズの IP-KVM エクステンダーにログインするには、下記の手順に従って操作してください。

1. コントローラーのシリアルポートを、レシーバーのデフォルト設定と同じになるように設定してください。設定内容は下表のとおりです。

|           |       |
|-----------|-------|
| ボーレート     | 9600  |
| データビット    | 8 ビット |
| パリティ      | 無     |
| ストップビット   | 1 ビット |
| フローコントロール | 無     |

レシーバーの**ファンクションスイッチ**は、「RS-232 Config」(RS-232 設定)にする必要があります (p.39 参照)。また、ネットワーク上で RS-232 コマンドを実行する前に、コンピューターにマトリクスマネジャーをインストールして、オンライン状態になっていることを確認してください。また、スリムタイプの KE シリーズ (KE8900ST/KE8900SR/KE9900ST) をお使いの場合は、コマンドを実行する前に RS-232 シリアルポートが接続されていないことを確認してください。

4. [Enter] キーを押して**テキストメニュー**を起動してください。そうすると、ログイン画面が表示されますので、ログインプロンプトでパスワードを入力してください。



---

**注意:** RS-232 セッションのデフォルトパスワードは「password」です。

---

## 設定メニュー

KE シリーズの IP-KVM エクステンダーへの Telnet 接続が確立されると、この製品のテキストベースの設定メニューが表示されます。この画面では、番号を指定することでオプションの選択が可能です。

### メインメニュー

```
+++++
KE6900 Receiver
-----

Receiver Configuration
+++++

1. Network
2. Properties
3. System
Q. Logout
Select one:
```

### 1. ネットワーク

```
+++++
KE6900 Receiver
-----

Network Settings
+++++

1. IP Installer      [Enabled]
2. DHCP             [Disabled]
3. IP Address       [172.17.17.34]
4. Subnet Mask      [255.255.255.0]
5. Default Gateway  [172.17.17.254]

Q. Exit

Select one:
```

## 2. プロパティ

```
+++++
KE6900 Receiver
-----
      Device Properties
+++++
1. Mode    [Matrix]
2. Transmitter Video IP Address [172.17.17.35]
3. Transmitter Audio IP Address [172.17.17.35]
4. Transmitter USB IP Address  [172.17.17.35]
5. Transmitter RS232 IP Address [172.17.17.35]
6. UART Configuration
7. Video   [Enabled]
8. Audio   [Enabled]
9. USB     [Enabled]
10. RS232  [Enabled]
11. KE Matrix Manager IP      [172.17.17.33]
12. KE Matrix Manager Port    [9110]
13. Beeper      [Enabled]
14. USB Mode     [VM]
15. USB Secure Transmit [Disabled]

Q. Exit

Select one:
```



### 3. システム

```
+++++
KE6900 Receiver
-----
System Setting
+++++
1. Device Name      [KE6900R]
2. Device Description [Receiver1]

Device IP Address: 172.17.17.34
Device MAC Address: 00:10:74:A8:01:23
Device FW Version: V1.1.109
Device Serial Number:

3. Password [Enabled]
4. Change Password
5. System Reboot/Reset to Factory Default

Q. Exit

Select one:
```

---

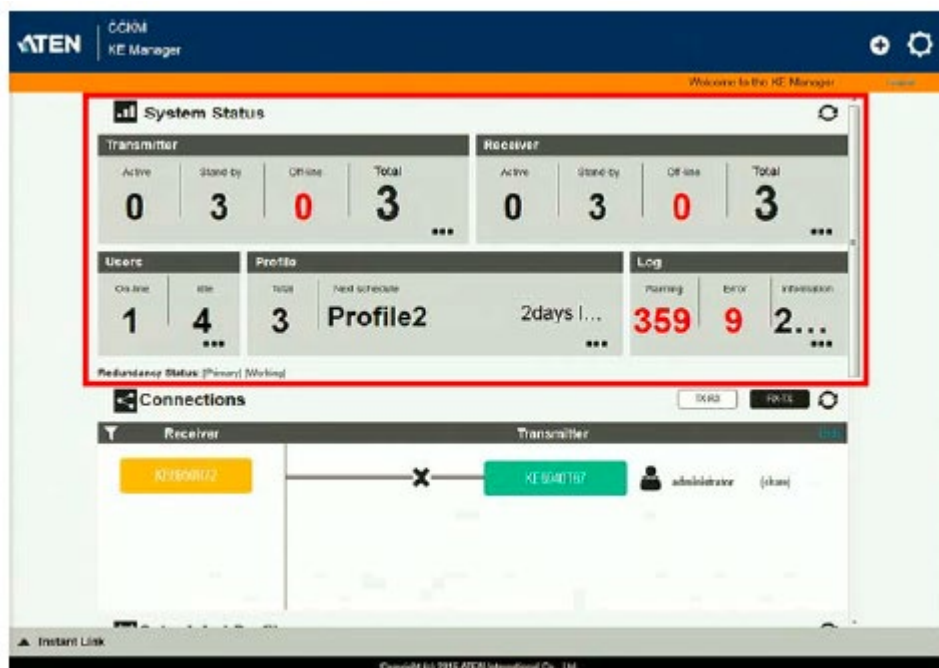
**注意:** 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。

---

## 第6章 システムの状態

### 概要

「System Status」(システムの状態)パネルは、マトリックスマネジャーのメイン画面上部にあります。この部分には、トランスミッター、レシーバー、ユーザー、プロファイル、およびログに関する状態の情報が表示されます。項目を選択してクリックすると、「Settings」(設定)画面を開きます。この画面の詳細については、次のセクションで説明します。



# システムの状態

「System Status」(システムの状態)パネルには、情報や各設定画面へのリンクが表示された 5 つのセクションがあります。セクション内における「Transmitter」(トランスミッター)、「Receiver」(レシーバー)、「Users」(ユーザー)、「Profile」(プロファイル)、「Log」(ログ)といった項目をクリックすると、それぞれの設定画面にアクセスすることができます。各セクションについては下表で、また、画面における設定に関する詳細は後続のページで、それぞれ説明します。



| 項目                        | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Transmitter<br>(トランスミッター) | <p>この部分には、マトリックスマネジャーに追加されているトランスミッターの概要が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ <b>Active (アクティブ)</b> : オンラインで、かつレシーバーに接続しているトランスミッターの台数が表示されます。</li><li>◆ <b>Standby (スタンバイ)</b> : オンラインではあるものの、レシーバーに接続していないトランスミッターの台数が表示されます。</li><li>◆ <b>Offline (オフライン)</b> : オフラインのマトリックスマネジャーに追加されているトランスミッターの台数が表示されます。</li><li>◆ <b>Total (合計)</b> : マトリックスマネジャーに追加されているトランスミッターの合計台数が表示されます。</li></ul> |

(表は次のページに続きます)

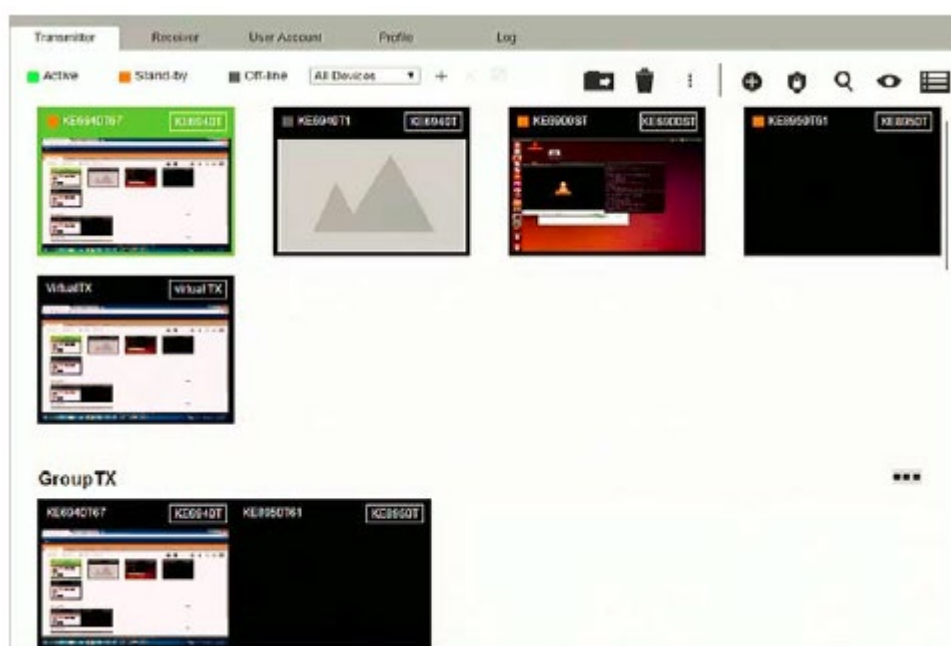
| 項目                  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Receiver<br>(レシーバー) | <p>この部分には、マトリックスマネジャーに追加されているレシーバーの概要が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Active (アクティブ)</b> : オンラインで、かつトランスミッターに接続しているレシーバーの台数が表示されます。</li> <li>◆ <b>Standby (スタンバイ)</b> : オンラインではあるものの、トランスミッターに接続していないレシーバーの台数が表示されます。</li> <li>◆ <b>Offline (オフライン)</b> : オフラインのマトリックスマネジャーに追加されているレシーバーの台数が表示されます。</li> <li>◆ <b>Total (合計)</b> : マトリックスマネジャーに追加されているレシーバーの合計台数が表示されます。</li> </ul> |
| Users<br>(ユーザー)     | <p>この部分には、マトリックスマネジャーのセッションにおけるユーザーの概要が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>On-line (オンライン)</b> : OSD またはマトリックスマネジャーのセッションにログイン中のユーザー数が表示されます。</li> <li>◆ <b>Idle (アイドル)</b> : OSD とマトリックスマネジャーのセッションのどちらにもログインしていないユーザー数が表示されます。</li> </ul>                                                                                                                                             |
| Profile<br>(プロファイル) | <p>この部分には、プロフィールおよびプロフィールスケジュールの概要が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Total (合計)</b> : 利用可能なプロフィールの合計が表示されます。</li> <li>◆ <b>Next scheduled to run (次の実行スケジュール)</b> : 次に実行が予定されているプロフィールの名前が表示されます。</li> <li>◆ <b>Days later (次のスケジュールまでの日数)</b> : 次に予定されているプロフィールが実行されるまでの日数が表示されます。</li> </ul>                                                                                        |
| Log<br>(ログ)         | <p>この部分には、システムログの概要が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Warning (警告)</b> : イベントログが消去されてから、新たに発生した警告ログの件数が表示されます。</li> <li>◆ <b>Error (エラー)</b> : イベントログが消去されてから、新たに発生したエラーログの件数が表示されます。</li> <li>◆ <b>Information (情報)</b> : イベントログが消去されてから、新たに発生した情報ログの件数が表示されます。</li> </ul>                                                                                                           |

(表は次のページに続きます)

| 項目                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Redundancy Status<br>(二重化の状態) | <p>この部分には、二重化モードに関する情報が表示されます。最初のカッコには、どのサーバーがマトリックスマネジャーを制御しているかを、<b>[Primary]</b>または<b>[Secondary]</b>で表示します。二重化が無効になっている場合、最初のカッコには<b>[Standalone]</b>と表示されます。2 つ目のカッコには状態が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>[Working]</b>(稼働中): このサーバーがマトリックスマネジャーのデータベースを制御していることを表します。</li> <li>◆ <b>[Standby]</b>(スタンバイ): データベースの稼働がアイドル状態である場合に、このメッセージが表示されます。</li> </ul> |

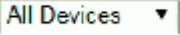
## トランスミッター

「System Status」(システムの状態)パネルにある「**Transmitter**」(トランスミッター)をクリックすると、設定画面を開きます。この画面では、トランスミッター(物理的なトランスミッター)、仮想トランスミッター(マルチソース)、およびトランスミッターグループ(マルチビデオソース)の追加、削除、および設定を行うことができます。マトリクスマネージャーは、有効な IP アドレスで LAN に接続されているトランスミッターを自動的に追加します。



この画面におけるアイコンや項目名は文字どおりの意味を表します。ここでは、トランスミッターの確認や設定を行うことができます。

- ◆  Active(アクティブ)は、オンラインで、かつ使用中のトランスミッター接続を意味します。
- ◆  Standby(スタンバイ)は、オンラインのトランスミッター接続を意味します。
- ◆  Offline(オフライン)は、オフラインのトランスミッター接続を意味します。

- ◆  このドロップダウンメニューを使うと、トランスミッターを場所別の条件に絞り込んで表示します。場所を指定すると、画面に表示されるトランスミッターに制限をかけることができます。
  -  クリックすると、新しい場所を追加します。
  -  トランスミッターを選択して、この「Move to」(次へ移動)アイコンをクリックすると、選択したデバイスを場所に追加します。
  -  ドロップダウンメニューから場所を選択して、このアイコンをクリックすると、その項目を削除します。
  -  場所を選択して、このアイコンをクリックすると、その場所の名前を変更します。
- ◆  このアイコンをクリックすると、選択されたトランスミッターを削除します。
- ◆  選択されたトランスミッターに、次のオプションを与えたい場合は、該当する項目をクリックしてください。
  - **Copy & Paste(コピー & ペースト)** :トランスミッターの設定をコピーして、別のトランスミッターにペーストします (p.268「コピー & ペースト」参照)。
  - **Beeper(ビープ音)** :ビープ音を出力します。
  - **Reboot(再起動)** :シャットダウン後、再起動します。
  - **Reset to Factory(工場出荷時の状態にリセット)** :すべての設定を工場出荷時におけるデフォルト設定に戻します。

---

**注意:** 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。

---
- ◆  クリックすると、「Create Virtual TX」(仮想 TX の作成)または「Create TX Group」(TX グループの作成)画面に遷移します (p.269 および p.272 参照)。
- ◆  クリックすると、トランスミッターの操作権限を設定します (p.274 参照)。
- ◆  クリックすると、トランスミッターの検索を行います。

- ◆  クリックすると、トランスミッターの条件を絞り込んで画面に表示します。
- ◆  クリックすると、表示を「Grid View」(グリッド表示)と「List View」(一覧表示)の間で交互に切り替えます。



# トランスミッターの設定

マトリクスマネージャーがネットワーク上のトランスミッターを検出すると、検出されたデバイスがトランスミッターの設定画面に表示されます。トランスミッターをダブルクリックすると、そのデバイスの設定を行うことができます。

The image shows a 'Physical Transmitter Configuration' window. It has several tabs: 'Basic', 'Video Settings', 'IP Settings', 'Password Protection', and 'RS232 Settings'. The 'Basic' tab is active, showing fields for Device Name (KE6948807), Description, Location (a dropdown menu), Mode (radio buttons for External and Matrix), Audio Input (radio buttons for HDMI, Analog, and Auto), Enable Media (checkboxes for Video, Audio, USB, and RS232), EDID Mode (a dropdown menu), Multicast Video (checkboxes for Enable and Disable), Multicast Audio (checkboxes for Enable and Disable), Occupancy Timeout (a text input field set to 5 sec (0-240)), Port OS (a dropdown menu set to Win), OS Language (a dropdown menu set to English (US)), COM IP (a text input field set to 192.168.0.11), and IP Protocol (radio buttons for Enable, Disable, and View Only). The 'Video Settings' tab shows Video Type (a dropdown menu set to DVI-D), Color Depth (a dropdown menu set to 24), Bandwidth (a dropdown menu set to Unlimited), Video Quality (a dropdown menu set to Best), and Background Refresh (a dropdown menu set to Every 32 frames). The 'IP Settings' tab shows radio buttons for DHCP and Manual, and fields for IP Address (192.168.0.07), Mask (255.255.255.0), and Gateway (192.168.0.254). The 'Password Protection' tab shows radio buttons for Enable and Disable, and fields for Password and Confirm. The 'RS232 Settings' tab shows fields for Baud Rate (9600), Stop Bits (1), Parity (None), Flow Control (None), and Data Bits (8). At the bottom right, there are 'CANCEL' and 'SAVE' buttons.

**注意:** インターネットポートを搭載したトランスミッター (AiT モデル) では、上図の設定画面が「Main」(メイン) タブの下に配置されます。そして、「Internet Port」(インターネットポート) タブが追加で利用できるようになります。詳細は p.261「インターネットポート (AiT モデル限定)」を参照してください。

The image shows a 'Transmitter Configuration' window. It has two tabs: 'Main' and 'Internet Port'. The 'Main' tab is active, showing fields for Device Name (KE6948807) and Description. The 'Internet Port' tab is also visible, showing fields for Video Type (a dropdown menu set to DVI-D + DVI-I) and Color Depth (a dropdown menu set to 24).

| 項目            | 説明                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Basic<br>(基礎) | <p><b>Device Name (デバイス名) :</b> トランスミッターの名前を入力してください。</p> <p><b>Description (説明) :</b> トランスミッターの説明を入力してください。</p> <p><b>Location (場所) :</b> デバイスの場所をドロップダウンメニューから選択してください。設定画面に表示されるトランスミッターは、この条件で絞り込むことができます。</p> |

(表は次のページに続きます)

| 項目                    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Basic<br>(基本)<br>(続き) | <p><b>Mode (モード)</b> : このラジオボタンを使って、トランスミッターをセットアップしたり管理したりする方法を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 単純な 1 対 1 (トランスミッター→レシーバー) の機器でシステムを構成し、レシーバー側の OSD 側で管理を行う場合は、「<b>Extender</b>」(エクステンダー) モードを選択してください。</li> <li>◆ デバイスや接続の管理をマトリクスマネージャーから LAN 経由で行う場合は、「<b>Matrix</b>」(マトリックス) モードを選択してください。このモードは、マトリクスマネージャーの Web GUI で定義されたトランスミッターやレシーバーの接続を高度な方法で管理する場合に選択してください。</li> </ul> <p><b>Enable Media (メディアを有効にする)</b> : トランスミッターがストリーミングできるソースの種類を選択してください。選択できるのは次の項目です: Video (ビデオ)、Audio (オーディオ)、USB、RS-232。</p> <p><b>Audio Input (オーディオ入力)</b> : このオプションを選択すると、トランスミッターのオーディオ信号を次から選択することができます: HDMI、Analog (アナログ)、Auto (自動)。なお、この項目はコンピューター側と同じ値に設定する必要があります*。</p> <p><b>注意</b> : このオプションは、HDMI に対応した KE デバイスでのみ利用可能です。</p> |

(表は次のページに続きます)

| 項目                    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Basic<br>(基本)<br>(続き) | <p><b>EDID Mode (EDID モード)</b>: EDID にはディスプレイの基本情報が含まれています。ソースデバイスがこの情報を使うことで、各種モニター間で最適な解像度を利用することができるようになります。「Manual」(手動)または「Remix」(リミックス)が選択されていると、レシーバー側の OSD にはボタンが表示されます。このボタンを使うと、接続に使用するローカル EDID を設定することができます (p.217「EDID モード」参照)。ソースデバイスがディスプレイの EDID を取得する方法を次から選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Default (デフォルト)</b>: EDID は ATEN のデフォルトに設定されます。KE69 シリーズのデバイスを KE89 シリーズのデバイスに接続している場合は、必ずこの設定にしてください。</li> <li>◆ <b>Auto (自動)</b>: 接続されているすべてのディスプレイの EDID および ATEN デフォルト EDID を精査し、全ディスプレイに最適な共通解像度を使用します。</li> <li>◆ <b>Manual (手動)</b>: レシーバー側の OSD から手動で EDID の設定を行います (p.217「EDID モード」参照)。</li> <li>◆ <b>Remix (リミックス)</b>: 接続されているすべてのディスプレイの EDID および ATEN デフォルト EDID を手動で精査し、全ディスプレイに最適である共通解像度を使用します (p.215 参照)。</li> </ul> <p><b>Multicast Video (マルチキャストビデオ)</b>: 「Enable」(有効)を選択すると、トランスミッターのビデオ信号を複数のレシーバーにブロードキャストします。</p> <p><b>Multicast Audio (マルチキャストオーディオ)</b>: 「Enable」(有効)を選択すると、トランスミッターのオーディオ信号を複数のレシーバーにブロードキャストします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>Occupy Timeout (占有タイムアウト)</b>: アクセスモードが「Occupy」(占有)に設定されているレシーバーに対して、タイムアウトのしきい値を設定します。このポートを占有しているユーザーが何も操作せずに、ここで設定されたタイムアウト時間が経過すると、レシーバーはタイムアウトとなり、ポートは開放されます。ポートが開放されてから初めてキーボードやマウスで操作を行ったレシーバーが、次にポートを占有することができます。入力できる値は、1～240 秒です。</li> </ul> |

(表は次のページに続きます)

| 項目                        | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Basic<br>(基本)<br>(続き)     | <p><b>Port OS (ポート OS)</b>: トランスミッターに接続されているコンピューターの OS を、ドロップダウンメニューから選択してください。</p> <p><b>OS Language (OS 言語)</b>: トランスミッターに接続されているコンピューターの OS 言語を、ドロップダウンメニューから選択してください。</p> <p><b>CCKM IP</b>: マトリックスマネージャーソフトウェアが稼働しているコンピューターの <b>IP アドレス</b>と<b>ポート番号</b>を設定してください。ポート番号は、デフォルトでは 9110 に設定されています。</p> <p><b>IP Installer (IP インストーラー)</b>: IP インストーラーとは、製品に IP アドレスを割り当てることのできる Windows ベースの外部ユーティリティです。IP インストーラーの使用目的に応じて、「<b>Enable</b>」(有効)、「<b>View Only</b>」(参照のみ)、「<b>Disable</b>」(無効)のラジオボタンの中から一つを選択してください。使用方法については、p.427「IP インストーラー」をご参照ください。</p> |
| Video Settings<br>(ビデオ設定) | <p>トランスミッターのビデオを設定します。</p> <p><b>Video Type (ビデオの種類)</b>: ディスプレイで使用されている DVI コネクタの種類を、「Digital (DVI-D)」と「Digital (DVI-I)」から選択してください。このオプションは KE6900 のみで利用可能です。</p> <p><b>Color Depth (色深度)</b>: 色深度に使用するビット数を、24、16、8 から選択してください。これは 1 ピクセルの色を描画するのに使用するビット数を表すものです。1 ビットの深度で、一度に表示できる色の数が決まります。</p> <p><b>Bandwidth Limit (転送量上限)</b>: トランスミッターがネットワーク上でビデオを転送するのに使用することのできる最大帯域幅を選択してください。この値を小さく設定すると低画質で転送します。この値を大きくすると高画質で転送しますが、ネットワークの転送速度に影響を与える可能性があります。</p>                                                                                             |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                  | 説明                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Video Settings<br>(ビデオ設定)<br>(続き)   | <p><b>Video Quality (ビデオ画質)</b>: お使いの環境で使用するビデオ画質を選択してください。5 は最も高い画質に、1 は最も低い画質にそれぞれ設定します。選択できる値は 1～5 です。</p> <p><b>Background Refresh (バックグラウンドリフレッシュ)</b>: トランスミッターがディスプレイを自動でリフレッシュする頻度を設定してください。選択できる値は、256/128/64/32/16/0 フレームごとです。</p> |
| IP Settings<br>(IP 設定)              | <p>動的に IP アドレスを設定する場合は、「<b>DHCP</b>」のラジオボタンを選択してください。</p> <p>IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイにそれぞれ固定のアドレスを割り当てる場合は、「<b>Manual</b>」(手動)のラジオボタンを選択して、お使いのネットワーク環境で有効な値を各欄に入力してください。</p> <p>ネットワーク設定を行う方法の詳細は、p.155「ネットワークの設定」をご参照ください。</p>         |
| Password<br>Protection<br>(パスワード保護) | <p>「<b>Enable</b>」(有効)を選択すると、トランスミッターの OSD 設定画面にアクセスするのにパスワードが必要になります (p.189 参照)。</p> <p>パスワードとして使用する文字列を、「<b>Password</b>」(パスワード)と「<b>Confirm</b>」(確認)の両方の欄に入力してください。</p>                                                                   |
| RS-232 Settings<br>(RS-232 設定)      | <p>トランスミッターに対してシリアルデバイスの設定を行います。デフォルト設定は下記のとおりです。</p> <p>ボーレート: 9600</p> <p>パリティ: なし</p> <p>データビット: 8 ビット</p> <p>ストップビット: 1 ビット</p> <p>フロー制御: なし</p>                                                                                         |

(表は次のページに続きます)

| 項目                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Replace Device<br>(デバイスの置き換え) | <p>左上にある「<b>Replace Device</b>」(デバイスの置き換え)をクリックすると、古いトランスミッターを新しいものに置き換えます*。設定内容は古いトランスミッターからすべてコピーされ、新しいトランスミッターへと引き継がれます。この機能を利用する前に、新しいトランスミッターをネットワークに接続しておいてください。この項目をクリックしたら、設定を適用する新しいトランスミッターをドロップダウンメニューから選択してください。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. この項目は、トランスミッターがオフラインの場合にのみ表示されます。</li> <li>2. この機能はレシーバーにもトランスミッターにも使用することができますが、置き換えを行う際には同じ型番であることをご確認ください。</li> </ol> |
| Save<br>(保存)                  | クリックすると、プロパティに対する変更内容を保存します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| Cancel<br>(キャンセル)             | クリックすると、変更内容を保存せずに終了します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

## インターネットポート(AiT モデル限定)

インターネットポートを搭載したトランスミッター(AiT モデル)では、このポートの設定を「Internet Port」(インターネットポート)タブで行うことができます。

The screenshot shows the 'Transmitter Configuration' web interface with the 'Internet Port' tab selected. The interface is divided into several sections:

- Main:** Includes 'Basic', 'CCVSR', and 'Working Mode' sub-sections.
- Basic:** Contains 'IP Installer' (with radio buttons for Enable, Disable, and View Only), and input fields for 'Program Port' (9000), 'HTTP Port' (80), and 'HTTPS Port' (443).
- CCVSR:** Contains radio buttons for 'Disable' and 'Enable', and input fields for 'MAC address' and 'Service Port'.
- Working Mode:** Contains checkboxes for 'Enable ICMP', 'Disable Browser Service' (with a dropdown menu), and 'Enable Client AP Device List'.
- IPv4 Settings:** Contains radio buttons for 'DHCP' and 'Manual', and input fields for 'IP Address', 'Subnet Mask', and 'Default Gateway'. It also has options for 'Obtain DNS server address automatically' and 'Set DNS server address manually', with fields for 'Preferred DNS server' and 'Alternate DNS server'.
- IPv6 Settings:** Similar to IPv4, with radio buttons for 'DHCP' and 'Manual', and input fields for 'IP Address', 'Prefix length', and 'Default Gateway'. It also has options for 'Obtain DNS server address automatically' and 'Set DNS server address manually', with fields for 'Preferred DNS server' and 'Alternate DNS server'.
- Private Certificate:** Contains buttons for 'Private Key' and 'Certificate' (both labeled 'Browse'), and buttons for 'Upload' and 'Restore Default'.
- Certificate Signing Request:** Contains a 'Certificate' button (labeled 'Browse'), and buttons for 'Create CSR', 'Get CSR', 'Upload', and 'Remove CSR'.

At the bottom right, there are 'CANCEL' and 'SAVE' buttons.

## 基本

### ■ IP インストーラー

IP インストーラーは、トランスミッターに外部から IP アドレスを設定することができる Windows 用ソフトウェアです。IP インストーラーの用途に応じて、「Enabled」(有効にする)、「View Only」(参照のみ)、「Disabled」(無効にする)のいずれかのラジオボタンをクリックしてください。IP インストーラーの詳細は p.427 を参照してください。

- 
- 注意:**
1. 「View Only」(参照のみ)を選択した場合、トランスミッターは IP インストーラーのデバイスリストで確認することができますが、この IP インストーラーから IP アドレスを変更することはできません。
  2. セキュリティ上の理由から、IP インストーラーの使用後には、この項目を「View Only」(参照のみ)または「Disabled」(無効にする)に設定することを強く推奨します。
- 

### ■ ポート

トランスミッターが各種ネットワークサービスで使用するポートを指定してください。

- ◆ **Program**(プログラム): Windows クライアントや Java ビューワー、Windows/Java クライアント AP プログラムからトランスミッターに接続する際に使用するポート番号です。デフォルトでは 9000 に設定されています。
- ◆ **HTTP**: ブラウザによるログインで使用するポート番号です。デフォルトでは 80 に設定されています。
- ◆ **HTTPS**: セキュリティで保護されたブラウザによるログインで使用するポート番号です。デフォルトでは 443 に設定されています。

- 
- 注意:**
1. 各サービスポートで有効な値は 1~65535 です。
  2. これらのポートはそれぞれ固有のポートを割り当て、項目間で値が重複しないように設定してください。
  3. ファイアーウォールが設置されている環境では、ネットワーク管理者とご相談の上、設定してください。
- 

ファイアーウォールが使用されている場合、管理者はファイアーウォールの設定で許可されたポート番号を製品側でも設定する必要があります。デフォルト以外のポートが設定されている場合、ユーザーはログイン時に IP アドレスの一部としてポート番号を指定する必要があります。ポート番号が指定されていない場合や無効なポート番号が指定されている場合、あるいはポート番号が存在しない場合は、トランスミッターを検索しても表示されません。



## モード

「Mode」(動作モード)セクションを使うと、動作モードの各種パラメーターを設定することができます。

- ◆ **Enable ICMP (ICMP を有効にする)**:この項目にチェックを入れると、ICMP サービスを有効にします。
- ◆ **Disable Browser Service (ブラウザサービスを無効にする)**:この項目にチェックを入れると、特定のアクセスを無効にします。利用可能なオプションは、「browser」(ブラウザ)、「http」、「https」です。
- ◆ **Enable Client AP Device List (クライアント AP のデバイスリストを有効にする)**:この項目にチェックを入れると、この機能を有効にします。この機能が有効である場合、ユニットは Windows/Java クライアントを使ってサーバーリストで検出できるようになります (p.350「起動」参照)。また、無効である場合は、ユニットが接続されていてもサーバーリストには表示されません。

## IPv4 設定

トランスミッターは、起動時に動的に割り当てられる IP アドレス (DHCP)、または固定 IP アドレスを使用することができます。

- ◆ IP アドレスを動的に割り当てる場合は、「DHCP」ラジオボタンを選択します(デフォルト設定です)。
- ◆ 固定 IP アドレスを設定する場合は、「Manual」(手動)のラジオボタンを選択し、IP アドレスを入力してください。

---

**注意:**

1. 「DHCP」の項目を選択した場合、トランスミッターは起動後に DHCP サーバーからの IP アドレスの割り当てを待機します。1 分経過しても IP アドレスが割り当てられない場合は、工場出荷時にデフォルトで設定された IP アドレス (192.168.0.61) に自動的に戻ります。
2. トランスミッターが DHCP を使用してネットワークアドレスを割り当てるネットワーク上にあり、その IP アドレスを確認する必要がある場合は、IP インストーラーを使用できます。詳細については p.427「IP インストーラー」を参照してください。

---

トランスミッターは、DNS サーバーアドレスを自動的に割り当てるか、または固定アドレスを指定することができます。

- ◆ DNS サーバーのアドレスを自動的に割り当てる場合は、「**Obtain DNS server address automatically**」(DNS サーバーアドレスを自動的に取得する)のラジオボタンを選択してください。
- ◆ DNS サーバーの固定アドレスを指定する場合は、「**Use the following DNS server address**」(以下の DNS サーバーアドレスを使用する)のラジオボタンを選択し、必要な情報を入力してください。

---

**注意:** 代替 DNS サーバーのアドレスは任意で設定してください。

---

### IPv6 設定

トランスミッターには、ブート時に動的 IPv6 アドレスを割り当てたり(DHCP)、固定 IPv6 アドレスを指定したりすることができます。

- ◆ 動的 IPv6 アドレスを割り当てる場合は、「**DHCP**」ラジオボタンを選択してください(デフォルト設定です)。
- ◆ 固定 IP アドレスを設定する場合は、「**Manual**」(手動)ラジオボタンを選択し、IP アドレスを入力してください。

トランスミッターには DNS サーバーのアドレスを自動で割り当てることも、手動で固定アドレスを設定することも可能です。

- ◆ DNS サーバーのアドレスを自動的に割り当てる場合は、「**Obtain DNS server address automatically**」(DNS サーバーアドレスの自動取得)のラジオボタンを選択してください。
- ◆ DNS サーバーの固定アドレスを指定する場合は、「**Set DNS server address manually**」(DNS サーバーアドレスを手動で設定する)のラジオボタンを選択し、必要な情報を入力してください。

---

**注意:** 代替 DNS サーバーのアドレスは任意で設定してください。

---

## プライベート証明書

SSL による暗号化通信でログインする場合は、ユーザー自身が意図した Web サイトにログインすることを証明するために、署名済み証明書が使用されます。このセクションでは、セキュリティを強化するために、デフォルトの ATEN 証明書を使うのではなく、自分のプライベート暗号キーと署名済み証明書を使うように設定することができます。

プライベート証明書を発行するには、自己署名された証明書を作成する方法と、サードパーティーの証明局 (CA) によって署名された証明書をインポートする方法の 2 つの方法があります。

### 自己署名済証明書の作成

自己署名済証明書は、「openssl.org.」で公開されている「Win32 OpenSSL」などで作成できます。OpenSSL を使って独自のプライベートキーと SSL 証明書を作成する方法の詳細については、p.461 「自己署名 (プライベート) 証明書」を参照してください。

### CA 署名済 SSL サーバー証明書の取得

セキュリティを強化するために、サードパーティーの認証局 (CA) によって署名された証明書を使うことを推奨します。サードパーティーによって署名された証明書を取得する場合は、認証局の Web サイトにアクセスし、SSL 証明書を申請してください。CA から証明書が送られてきたら、お使いのコンピューターのハードディスクドライブの適当なフォルダーに保存してください。

### プライベート証明書のインポート

プライベート証明書をインポートするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. 「**Private Key**」(プライベートキー)の右隣にある「**Browse**」(参照)ボタンをクリックして、プライベート暗号キーのファイルがあるフォルダーに移動し、このファイルを選択してください。
2. 「**Certificate**」(証明書)の右隣にある「**Browse**」(参照)ボタンをクリックして、証明書のファイルがあるフォルダーに移動し、このファイルを選択してください。
3. 「**Upload**」(アップロード)ボタンをクリックして、操作を完了させてください。

---

**注意:** プライベート暗号キーと署名済証明書は同時にインポートしてください。

---

「**Reset Default**」(デフォルトにリセット)をクリックすると、過去に行われた変更がリストアされます。

## 証明書署名要求

「Certificate Signing Request(CSR)」(CSR 証明書署名要求)セクションでは、CA 署名済み SSL サーバー証明書の取得とインストールを自動的行います。

この操作を実行するには、次の手順に従ってください。

1. 「**Create CSR**」(CSR の作成)をクリックしてください。そうすると、下図のようなダイアログボックスが表示されます。

A screenshot of a 'Certificate Signing Request' dialog box. It has an orange header bar with the title 'Certificate Signing Request'. Below the header, there are seven text input fields with labels: 'Country (2 letter code)', 'State or Province', 'Locality', 'Organization', 'Unit', 'Common Name', and 'Email Address'. At the bottom right of the dialog, there are two buttons: 'CANCEL' and 'CREATE'.

2. 下表の例を参考にしながら、お使いのサイトで有効な値をフォームに入力してください。

| 情報                                        | 入力例                                                                                                                                                                            |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Country(2 letter code)<br>(国名 (2 バイトコード)) | TW                                                                                                                                                                             |
| State or Province<br>(都道府県)               | Taiwan                                                                                                                                                                         |
| Locality(市区町村)                            | Taipei                                                                                                                                                                         |
| Organization(会社名)                         | Your Company, Ltd.                                                                                                                                                             |
| Unit(部署名)                                 | Techdoc Department                                                                                                                                                             |
| Common Name<br>(コモンネーム)                   | mycompany.com<br>ここには証明書を有効にしたいサイトのドメイン名を正確に入力してください。例えば、サイトのドメイン名が「 <a href="http://www.mycompany.com">www.mycompany.com</a> 」で、「mycompany.com」だけしか入力しなかった場合、この証明書は有効にはなりません。 |
| Email Address<br>(メールアドレス)                | administrator@youcompany.com                                                                                                                                                   |

3. フォームへの入力(全項目への入力が必要)が完了したら、「**Create**」(作成)をクリックしてください。  
そうすると、入力した情報に基づいて作成された自己署名済み証明書が、トランスミッターに保存されます。
4. 「**Get CSR**」(CSR を取得する)をクリックし、証明書ファイル(csr.cer)をお使いのコンピュータの適当なフォルダーに保存してください。  
これは、署名済み SSL 証明書の申請の際にサードパーティーの認証局へ提出が必要となるファイルです。
5. 認証局から証明書が送られて来たら、この証明書をお使いのコンピュータの適当なフォルダーに保存してください。そうしたら、「**Browse**」(参照)をクリックして、ファイルの場所へ移動し、「**Upload**」(アップロード)をクリックして、これをトランスミッターに保存してください。

---

**注意:** ファイルをアップロードすると、トランスミッターではファイルのチェックを行い、特定の情報が一致しているかどうかを確認します。一致した場合、ファイルは受け入れられ、一致しない場合は拒否されます。

---

証明書を削除する場合(ドメイン名の変更などにより新しい証明書に置き換える場合)は、「**Remove CSR**」(CSR を削除)をクリックしてください。

## コピー＆ペースト

このオプションを使うと、トランスミッターの設定をコピーして、別のトランスミッターにペーストします。この機能を利用するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 物理的なトランスミッターを選択してください。
2. トランスミッターのメニューバーで、「Copy & Paste」(コピー & ペースト)をクリックしてください (p.253 参照)。
3. コピーしたい設定項目のチェックボックスにチェックを入れたら、「Next」(次へ)をクリックしてください。

The screenshot shows a dialog box titled "Copy & Paste" with a yellow header. Below the header, it says "1. Please select the items you want to copy." There are two buttons: "Select All" and "Unselect All". Below these are two columns of checkboxes. The left column is under the heading "Basic" and includes: Description, Location, Mode, Enable Media, EDID Mode, Multicast Video, Multicast Audio, Occupy Timeout, Port OS, OS Language, CCKM IP, and IP Installer. The right column is under the heading "RS232 Settings" and includes: Baud Rate, Parity, Data Bits, Stop Bits, Flow Control. Below these is another section under the heading "Video Settings" which includes: Video Type, Color Depth, Bandwidth, Video Quality, and Background Refresh. At the bottom, there are two buttons: "CANCEL" and "NEXT".

4. 設定内容を適用したいトランスミッターを選択したら、「Done」(完了)をクリックしてください(複数選択可)。

The screenshot shows a dialog box titled "Copy & Paste" with a yellow header. Below the header, it says "2. Please select the targets you want to paste." There are two buttons: "Select All" and "Unselect All". Below these are two checkboxes: "KE6940T62" and "KE8950T". At the bottom, there are two buttons: "PREVIOUS" and "DONE".

# 仮想トランスミッター

仮想トランスミッターを作成すると、別々のトランスミッターから出力されたソースメディア (KVM、オーディオ、USB、シリアル) の信号から 1 系統の接続を作成することができます。トランスミッターの設定画面の右上に「**Virtual TX**」(仮想 TX) と表示されている場合は、それが仮想トランスミッターであることを表します。この仮想トランスミッターの機能は、各メディアソースに対して、オンラインのトランスミッターを選択するだけで、お使いいただけます。なお、デュアルディスプレイに対応したトランスミッターは、2 台の異なる仮想トランスミッターとして追加することが可能です。

仮想トランスミッターを作成する場合は、トランスミッターの設定画面で「」のアイコンをクリックし、「**Create Virtual TX**」(仮想 TX の作成) を選択してください。

Create Virtual TX

Name

VirtualTX

Description

Location

Unallocated

KVM

Select Device

Audio

Select Device

USB

Select Device

Serial

Select Device

CANCEL

APPLY

| 項目                  | 説明                                                                                            |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| Name<br>(名前)        | 仮想トランスミッターの名前を入力してください。                                                                       |
| Description<br>(説明) | 仮想トランスミッターの説明を入力してください。                                                                       |
| Location<br>(場所)    | 仮想トランスミッターに対して設定する場所を、ドロップダウンメニューから選択してください。場所の割り当ては任意です。詳細については、p.276 における場所に関する記述を参照してください。 |

(表は次のページに続きます)

| 項目                | 説明                                                                |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------|
| KVM               | 仮想トランスミッターに対して設定する KVM 入力(キーボード、モニター、マウス)を、ドロップダウンメニューから選択してください。 |
| Audio<br>(オーディオ)  | 仮想トランスミッターに対して設定するオーディオ入力を、ドロップダウンメニューから選択してください。                 |
| USB               | 仮想トランスミッターに対して設定する USB 入力を、ドロップダウンメニューから選択してください。                 |
| Serial<br>(シリアル)  | 仮想トランスミッターに対して設定するシリアル入力を、ドロップダウンメニューから選択してください。                  |
| Apply<br>(適用)     | クリックすると、変更内容を保存します。                                               |
| Cancel<br>(キャンセル) | クリックすると、変更内容を保存せずに終了します。                                          |

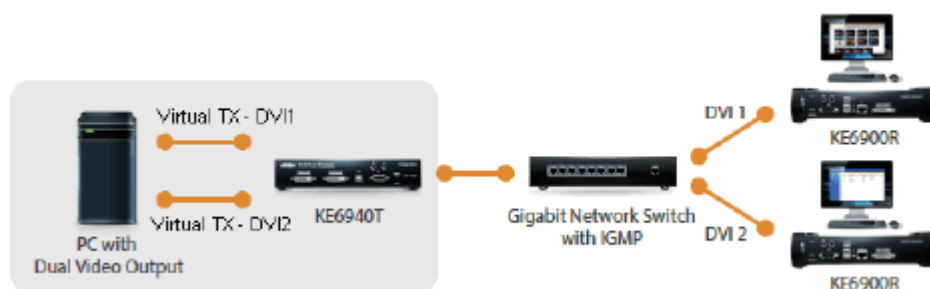


## インテリジェントデュアルビデオ出力管理

本シリーズの A モデル (KE6900A、KE6940A) において、インテリジェントデュアルビデオ出力管理は、1 台のデュアルディスプレイ出力対応のトランスミッター (KE6940T) の各ビデオ出力 (DVI:1、DVI:2) を分けて 2 台の異なる仮想トランスミッターへと出力する機能です。分離されたこれらの出力には、別々のレシーバー (KE6900AR、KE6940AR) からアクセスすることができます。レシーバーは、どちらのレシーバーが制御を行うかを定義したアクセスタイプに基づいて、仮想トランスミッターを相互に切り替えたり、これらのトランスミッターに対して独立して接続したりすることができます (p.274 参照)。

この方法で使用する場合は、下図のように KE デバイスをセットアップしてください。そうしたら、各仮想トランスミッターに対し、KVM ソースとして **DVI:1** と **DVI:2** のどちらを使用するかを選択して、仮想トランスミッターを 2 台作成してください。

A モデル以外の機種 (例: KE6910R、KE6912R) では、DVI:1 または DVI:2 を選択することができますが、常に DVI:1 からのビデオ出力を取得することになります。

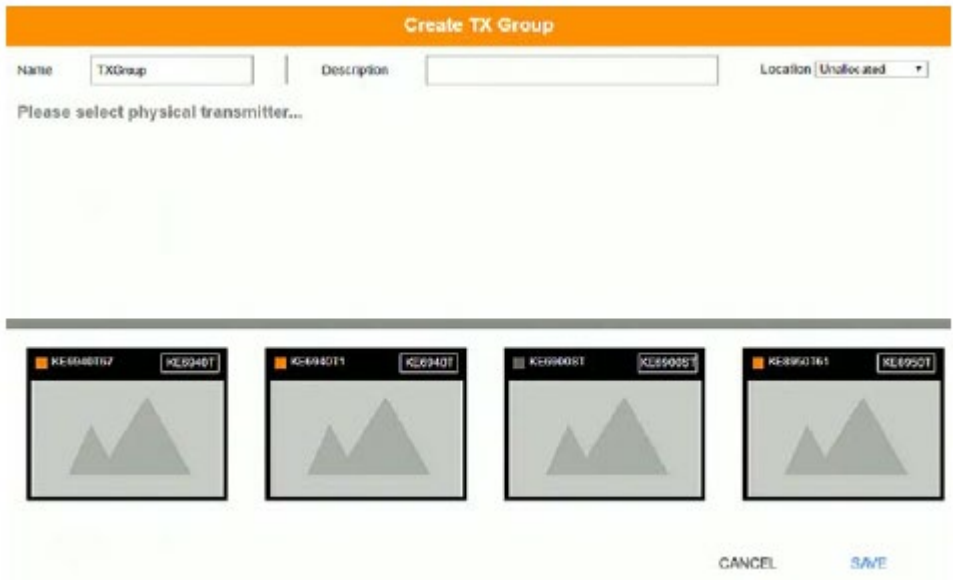


上図のようにセットアップして、2 台の仮想トランスミッターの片方に接続すると、マウスカーソルがメインまたは拡張デュアルディスプレイの画面に置かれて、視界から消える場合があります。このため、操作中のマウスカーソルが見えなくなるかもしれません。マウスカーソルをデュアルディスプレイ画面のどちらかで見えるようにするには、マルチスクリーンコントロール (p.289 参照) を有効にしてから、**[F8] + [F9]** のホットキーを使用してください。

# トランスミッターグループ

トランスミッターグループを作成すると、複数のトランスミッターから出力されたビデオから1系統の接続を作成して、複数のレシーバーに接続されたディスプレイに出力することができます。この機能を使用するには、トランスミッターグループをレシーバーグループに接続してください(p.285 参照)。トランスミッターグループは、トランスミッター設定画面の下部に表示されます。

トランスミッターグループを作成する場合は、トランスミッターの設定画面で「」のアイコンをクリックし、「**Create TX Group**」(TX グループの作成)を選択してください。



各項目に対して適当な値を入力したら、トランスミッターをダブルクリックするか、ドラッグ&ドロップして、これらを上部パネルに追加したり、ここから削除したりしてください。上部パネルにあるトランスミッターは、レシーバー側でレシーバーグループに対するビデオソースとして使用されます。

| 項目                  | 説明                        |
|---------------------|---------------------------|
| Name<br>(名前)        | トランスミッターグループの名前を入力してください。 |
| Description<br>(説明) | トランスミッターグループの説明を入力してください。 |

(表は次のページに続きます)

| 項目                | 説明                                                                                              |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Location<br>(場所)  | トランスミッターグループに対して設定する場所を、ドロップダウンメニューから選択してください。場所の割り当ては任意です。詳細については、p.276 における場所に関する記述を参照してください。 |
| Save<br>(保存)      | クリックすると、変更内容を保存します。                                                                             |
| Cancel<br>(キャンセル) | クリックすると、変更内容を保存せずに終了します。                                                                        |

---

**注意:** トランスミッターグループは最大で 4 つ作成することができます。

---

# トランスミッターの操作権限

「Set Transmitter Permissions」(トランスミッターの操作権限設定)画面では、トランスミッター、仮想トランスミッター、およびトランスミッターグループにアクセス可能なユーザーやグループを設定します。

「Transmitter List」(トランスミッター一覧)でデバイスを選択したら、各ユーザーまたは各グループの隣にあるドロップダウンメニューから操作権限を「All」(すべて)、「View」(参照)、「Occupy」(占有)、「Exclusive」(排他)から選択して、トランスミッターに接続する際の操作権限を設定してください。グリーンブロックは、ユーザーがアクセスできることを表しています。

トランスミッターの操作権限を設定する場合は、「Transmitter」(トランスミッター)の設定画面で、 をクリックしてください。



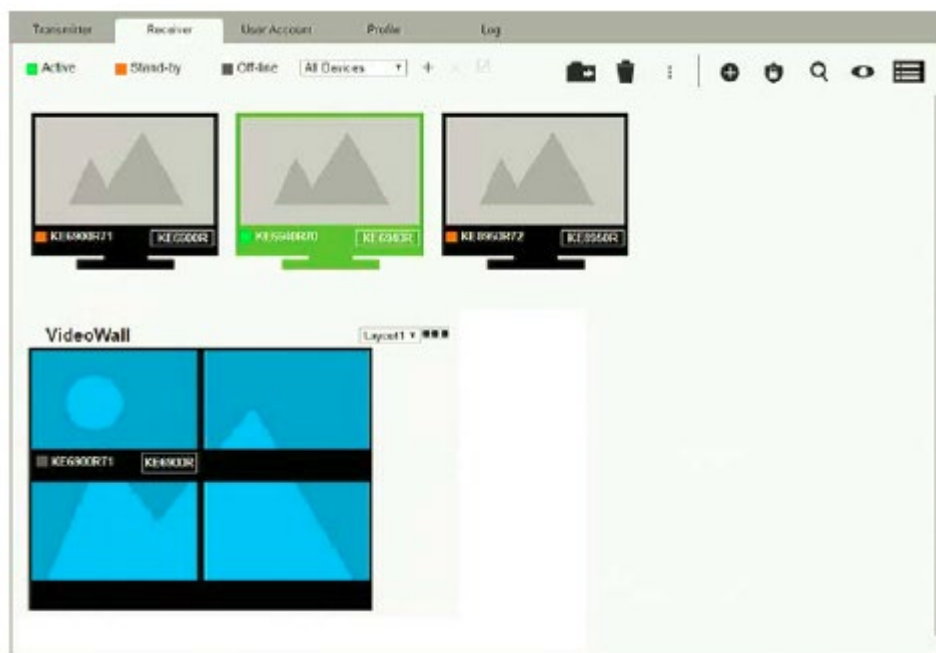
| 項目                               | 説明                                                                                                                                                        |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Transmitter List<br>(トランスミッター一覧) | 操作権限を設定するのに選択可能なトランスミッター、仮想トランスミッター、およびトランスミッターグループを一覧表示します。                                                                                              |
| ドロップダウンメニュー                      | ドロップダウンメニューから、「User」(ユーザー)または「Group」(グループ)を選択してください。選択すると、ユーザーまたはグループの一覧が表示されます。そうしたら、各ユーザーまたは各グループの隣にあるアクセスタイプ(すべて、参照、占有、排他)から該当するものを選択して、操作権限を設定してください。 |

(表は次のページに続きます)

| 項目                       | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Access Type<br>(アクセスタイプ) | <p>ユーザーやグループに対して与えたいアクセスタイプを、項目名の下にある項目から選択してください。これによって、ユーザーやグループによって、トランスミッターがどのようにアクセスされるかを定義することができます。そのユーザーが利用可能なアクセスタイプは、レシーバー側の OSD 接続メニューに表示されます。アクセスタイプを無効にする場合は、項目名の部分にあるチェックボックスからチェックを外してください。</p> <p><b>All(すべて)</b>:ユーザーは完全な操作権限を持っており、トランスミッターの操作を同時に共有することが可能です。ユーザーからの入力キューに格納され、順次実行されていきます。</p> <p><b>View(参照)</b>:ユーザーはリモート画面の参照はできますが、操作はできません。</p> <p><b>Occupy(占有)</b>:最初にトランスミッターにアクセスしたユーザーに操作権限があります。このとき、他のユーザーもトランスミッターのビデオを参照できます。このトランスミッターを操作しているユーザーが非アクティブな状態のまま、トランスミッターの「Timeout」(タイムアウト)で設定された時間が経過すると、操作権限は、このタイムアウト後に初めてマウスかキーボードを操作したユーザーに移ります。</p> <p><b>Exclusive(排他)</b>:最初にトランスミッターにアクセスしたユーザーが、このトランスミッターに対して排他的に操作することができます。このとき、他のユーザーはトランスミッターを見たり、操作したりすることができません。この設定ではタイムアウト機能は適用されません。</p> |
| Apply<br>(適用)            | クリックすると、変更内容を保存します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| Cancel<br>(キャンセル)        | クリックすると、変更内容を保存せずに終了します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

## レシーバー

「System Status」(システムの状態)パネルにある「Receiver」(レシーバー)をクリックすると、設定画面を開きます。この画面では、レシーバー(物理的なレシーバー)、レシーバーグループ、およびビデオウォールの追加、削除、および設定を行うことができます。マトリクスマネージャーは、有効な IP アドレスで LAN に接続されているレシーバーを自動的に追加します。



この画面におけるアイコンや項目名は文字どおりの意味を表します。ここでは、レシーバーの確認や設定を行うことができます。

- ◆  Active (アクティブ) は、オンラインで、かつ使用中のレシーバー接続を意味します。
- ◆  Standby (スタンバイ) は、オンラインのレシーバー接続を意味します。
- ◆  Offline (オフライン) は、オフラインのレシーバー接続を意味します。
- ◆  このドロップダウンメニューを使うと、レシーバーを場所別の条件に絞り込んで表示します。場所を指定すると、画面に表示されるレシーバーに制限をかけることができます。

-  クリックすると、新しい**場所**を追加します。
  -  レシーバーを選択して、この「**Move to**」(次へ移動)アイコンをクリックすると、選択したデバイスを場所に追加します。
  -  ドロップダウンメニューから場所を選択して、このアイコンをクリックすると、その項目を削除します。
  -  場所を選択して、このアイコンをクリックすると、その場所の名前を変更します。
  - ◆  このアイコンをクリックすると、選択されたレシーバーを削除します。
  - ◆  選択されたレシーバーに、次のオプションを与えたい場合は、該当する項目をクリックしてください。
    - **Copy & Paste(コピー&ペースト)**:レシーバーの設定をコピーして、別のレシーバーにペーストします(p.284「コピー&ペースト」参照)。
    - **Beeper(ビープ音)**:ビープ音を出力します。
    - **Reboot(再起動)**:シャットダウン後、再起動します。
    - **Reset to Factory(工場出荷時の状態にリセット)**:すべての設定を工場出荷時におけるデフォルト設定に戻します。
- 
- 注意:** 工場出荷時のデフォルト設定にリセットすると、ログイン情報(ユーザーネーム/パスワード)を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。
- 
- ◆  クリックすると、「Create Receiver Group」(レシーバーグループの作成)または「Video Wall」(ビデオウォール)画面に遷移します(p.285 および p.272 参照)。
  - ◆  クリックすると、レシーバーの操作権限を設定します(p.274 参照)。
  - ◆  クリックすると、レシーバーの検索を行います。
  - ◆  クリックすると、レシーバーの条件を絞り込んで画面に表示します。

- ◆  クリックすると、表示を「Grid View」(グリッド表示)と「List View」(一覧表示)の間で交互に切り替えます。



# レシーバーの設定

マトリクスマネジャーがネットワーク上のレシーバーを検出すると、検出されたデバイスがレシーバーの設定画面に表示されます。レシーバーをダブルクリックすると、そのデバイスの設定を行うことができます。

The image shows a 'Receiver Configuration' window with several tabs and settings. The 'Basic' tab is active, showing fields for Device Name (KES0012), Description, Location (Unallocated), Mode (Extender selected), Enable Tracks (Video, Audio, USB, RS232), Audio Output (HDMI, Analog, Both), CCR4 IP (192.168.0.12), and IP Installer (Enable selected). Other tabs include 'Extender Properties' (Transmitter Video IP, Audio IP, USB IP, RS232 IP), 'IP Settings' (DHCP/Manual, IP Address, Mask, Gateway), 'Password Protection' (Disable/Enable, Password, Confirm), and 'USB Mode' (Virtual Media, Generic USB Device, Encryption).

| 項目            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Basic<br>(基礎) | <p><b>Device Name (デバイス名) :</b>レシーバーの名前を入力してください。</p> <p><b>Description (説明) :</b>レシーバーの説明を入力してください。</p> <p><b>Location (場所) :</b>デバイスの場所をドロップダウンメニューから選択してください。設定画面に表示されるレシーバーは、この項目で絞り込むことができます。</p> <p><b>Mode (モード) :</b>このラジオボタンを使って、レシーバーをセットアップしたり管理したりする方法を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 単純な 1 対 1 (トランスミッター→レシーバー) の機器でシステムを構成し、レシーバー側の OSD 側で管理を行う場合は、「<b>Extender</b>」(エクステンダー)モードを選択してください。</li><li>◆ デバイスや接続の管理をマトリクスマネジャーから LAN 経由で行う場合は、「<b>Matrix</b>」(マトリクス)モードを選択してください。このモードは、マトリクスマネジャーの Web GUI で定義されたトランスミッターやレシーバーの接続を高度な方法で管理する場合に選択してください。</li></ul> |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Basic<br>(基本)<br>(続き)             | <p><b>Enable Media (メディアを有効にする):</b> レシーバーがストリーミングできるソースの種類を選択してください。選択できるのは次の項目です: Video (ビデオ)、Audio (オーディオ)、USB、RS-232</p> <p><b>Audio Output (オーディオ出力):</b> このオプションを選択すると、オーディオ信号 (HDMI、アナログ、またはその両方) を、レシーバーに接続されたデジタルまたはアナログオーディオ出力機器 (スピーカー) に対して個別にストリーミングすることができます。</p> <p><b>注意:</b> このオプションは、HDMI に対応した KE デバイスでのみ利用可能です。</p> <p><b>CCKM IP:</b> マトリックスマネージャーソフトウェアが稼働しているコンピューターの <b>IP アドレス</b> と <b>ポート番号</b> を設定してください。ポート番号は、デフォルトでは 9110 に設定されています。</p> <p><b>IP Installer (IP インストーラー):</b> IP インストーラーとは、製品に IP アドレスを割り当てることのできる Windows ベースの外部ユーティリティです。IP インストーラーの使用目的に応じて、「Enable」(有効)、「View Only」(参照のみ)、「Disable」(無効) のラジオボタンの中から一つを選択してください。使用方法については、p.427「IP インストーラー」をご参照ください。</p> |
| RS-232<br>Settings<br>(RS-232 設定) | <p>レシーバーに対してシリアルデバイスの設定を行います。デフォルト設定は下記のとおりです。</p> <p>ボーレート: 9600</p> <p>パリティ: なし</p> <p>データビット: 8 ビット</p> <p>ストップビット: 1 ビット</p> <p>フロー制御: なし</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                     | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Extender Properties<br>(エクステンダーのプロパティ) | <p>(「Basic」(基本)において)「<b>Extender</b>」(エクステンダー)モードを選択した場合、レシーバーのビデオ、オーディオ、USB、RS-232 ソースに対して、トランスミッターの IP アドレスを設定してください。</p> <p>(「Basic」(基本)において)「<b>Matrix</b>」(マトリックス)モードを選択した場合、プロパティはグレー表示されます。この場合は、トランスミッター、仮想トランスミッター、およびトランスミッターグループを使って、接続の設定を行ってください(p.252「トランスミッター」参照)。</p>                                                                        |
| IP Settings<br>(IP 設定)                 | <p>動的に IP アドレスを設定する場合は、「<b>DHCP</b>」のラジオボタンを選択してください。</p> <p>IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイにそれぞれ固定のアドレスを割り当てる場合は、「<b>Manual</b>」(手動)のラジオボタンを選択して、お使いのネットワーク環境で有効な値を各欄に入力してください。</p> <p>ネットワーク設定を行う方法の詳細は、p.155「ネットワークの設定」をご参照ください。</p>                                                                                                                         |
| Password Protection<br>(パスワード保護)       | <p>「<b>Enable</b>」(有効)を選択すると、レシーバーの OSD 設定画面にアクセスするのにパスワードが必要になります (p.189 参照)。</p> <p>パスワードとして使用する文字列を、「Password」(パスワード)と「Confirm」(確認)の両方の欄に入力してください。</p>                                                                                                                                                                                                    |
| USB Mode<br>(USB モード)                  | <p>USB ポートに接続する USB デバイスの種類を選択します。</p> <p><b>Virtual Media (バーチャルメディア)</b>: このオプションは、USB ポートに USB ディスク (USB HDD ドライブ/光学ディスクを含む) を挿入している時にのみ選択するようにしてください。この設定では、データ転送速度を最大にしますが、他の USB デバイスを USB ポートに接続して使用することはできません。同一のトランスミッターに接続されたレシーバーが USB ディスクドライブをマウントまたはマウント解除すると、キーボードやマウスの操作は若干遅延します。トランスミッターがサポートするバーチャルメディアの同時接続数は最大 12 です (キーボード/マウスを含む)。</p> |

(表は次のページに続きます)

| 項目                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| USB Mode<br>(USB モード)<br>(続き) | <p><b>vUSB (Generic USB Device) (vUSB(ジェネリック USB デバイス))</b>: USB デバイス*を USB ポートに接続する場合は、この項目を選択してください。また、特殊な機能を備えたキーボードやマウスを USB ポートに接続してコンソールとして使用する場合も、この項目を選択します。この項目は、特殊な機能を備えたキーボードやマウスを使用する必要があるものの、コンソールポートに接続しても動作しない場合にのみ設定するようにしてください。キーボードやマウスを USB ポートに接続しても、これらを使って OSD メニューを操作することはできません。OSD メニューで使用するようにするためには、キーボードおよびマウスをコンソールポートに接続してください。なお、KE6900ST/KE8900ST/KE9900ST は、このモードに対応していません。また、このモードにおいてサポートされる USB の最大接続数は、KE6900/KE6940 で 2、KE8950/KE8952 で 5 です(キーボード/マウスを除く)。</p> <p><b>Encryption(暗号化)</b>: この項目にチェックを入れると、USB ポートに接続された USB ドライブを暗号化します。</p> <p><b>注意</b>: この USB ポートはアイソクロナス転送のエンドポイントをサポートしません。したがって、スピーカーや Web カメラのようにオーディオやビデオデータのストリーミングを行う USB 周辺機器を接続しても、正しく動作しませんので、ご注意ください。</p> |
| Replace Device<br>(デバイスの置き換え) | <p>左上にある「<b>Replace Device</b>」(デバイスの置き換え)をクリックすると、古いレシーバーを新しいものに置き換えます*。設定内容は古いレシーバーからすべてコピーされ、新しいレシーバーへと引き継がれます。この機能を利用する前に、新しいレシーバーをネットワークに接続しておいてください。この項目をクリックしたら、設定を適用する新しいレシーバーをドロップダウンメニューから選択してください。</p> <p><b>注意</b>:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>この項目は、レシーバーがオフラインの場合にのみ表示されます。</li> <li>この機能はレシーバーにもトランスミッターにも使用することができますが、置き換えを行う際には同じ型番であることをご確認ください。</li> </ol>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

(表は次のページに続きます)

| 項目                | 説明                           |
|-------------------|------------------------------|
| Save<br>(保存)      | クリックすると、プロパティに対する変更内容を保存します。 |
| Cancel<br>(キャンセル) | クリックすると、変更内容を保存せずに終了します。     |

## コピー＆ペースト

このオプションを使うと、レシーバーの設定をコピーして、別のレシーバーにペーストします。この機能を利用するには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 物理的なレシーバーを選択してください。
2. レシーバーのメニューバーで、「Copy & Paste」(コピー & ペースト)をクリックしてください (p.277 参照)。
3. コピーしたい設定項目のチェックボックスにチェックを入れたら、「Next」(次へ)をクリックしてください。

The screenshot shows a screen titled "Copy & Paste" with the instruction "1. Please select the items you want to copy." At the top, there are two buttons: "Select All" and "Unselect All". Below these, there are two columns of settings, each with a header checkbox and several sub-items, all of which are currently unchecked.

| Basic                                 | RS232 Settings                        |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> Description  | <input type="checkbox"/> Baud Rate    |
| <input type="checkbox"/> Location     | <input type="checkbox"/> Parity       |
| <input type="checkbox"/> Mode         | <input type="checkbox"/> Data Bits    |
| <input type="checkbox"/> Enable Media | <input type="checkbox"/> Stop Bits    |
| <input type="checkbox"/> CCKM IP      | <input type="checkbox"/> Flow Control |
| <input type="checkbox"/> IP Installer |                                       |

| USB Mode                            | Extender Properties                           |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> Mode       | <input type="checkbox"/> Transmitter Video IP |
| <input type="checkbox"/> Encryption | <input type="checkbox"/> Transmitter Audio IP |
|                                     | <input type="checkbox"/> Transmitter USB IP   |
|                                     | <input type="checkbox"/> Transmitter RS232 IP |

At the bottom right, there are two buttons: "CANCEL" and "NEXT".

4. 設定内容を適用したいレシーバーを選択したら、「Done」(完了)をクリックしてください(複数選択可)。

The screenshot shows a screen titled "Copy & Paste" with the instruction "2. Please select the targets you want to paste." At the top, there are two buttons: "Select All" and "Unselect All". Below these, there are two checkboxes for target devices, both of which are currently unchecked.

|                                    |
|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> KE6940R52 |
| <input type="checkbox"/> KE8950R94 |

At the bottom, there are two buttons: "PREVIOUS" and "DONE".

# レシーバーグループ

レシーバーグループを作成すると、複数のトランスミッターから出力されたビデオを複数のレシーバーに接続されたディスプレイに出力することができます。この機能を使用するには、**トランスミッターグループ** (p.272 参照) を**レシーバーグループ**に接続してください (p.241「簡易リンク」参照)。レシーバーグループは、レシーバー設定画面の下部に表示されます。

レシーバーグループを作成する場合は、レシーバーの設定画面で「」のアイコンをクリックし、「**Create RX Group**」(RX グループの作成) を選択してください。

各項目に対して適当な値を入力したら、レシーバーをダブルクリックするか、ドラッグ&ドロップして、これらを上部パネルに追加したり、ここから削除したりしてください。上部パネルにあるレシーバーは、トランスミッターグループから出力されたビデオを参照するのに使用されます。トランスミッターグループをレシーバーグループに接続する方法については、p.241「簡易リンク」を参照してください。

| 項目                  | 説明                     |
|---------------------|------------------------|
| Name<br>(名前)        | レシーバーグループの名前を入力してください。 |
| Description<br>(説明) | レシーバーグループの説明を入力してください。 |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                          | 説明                                                                                           |
|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| Location<br>(場所)                            | レシーバーグループに対して設定する場所を、ドロップダウンメニューから選択してください。場所の割り当ては任意です。詳細については、p.276 における場所に関する記述を参照してください。 |
| Boundless Switching<br>(マルチスクリーン<br>コントロール) | ラジオボタンでマルチスクリーンコントロールを有効にするか無効にするかを設定します。詳細については p.289「マルチスクリーンコントロール」を参照してください。             |
| Save<br>(保存)                                | クリックすると、変更内容を保存します。                                                                          |
| Cancel<br>(キャンセル)                           | クリックすると、変更内容を保存せずに終了します。                                                                     |

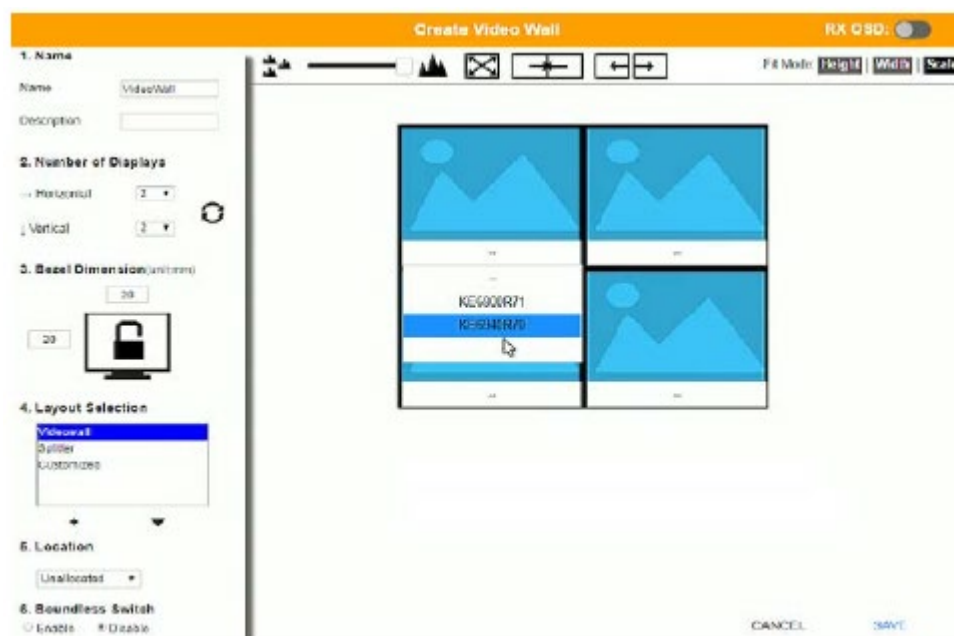
**注意：** レシーバーグループは最大で 4 つ作成することができます。



## ビデオウォール

ビデオウォールを作成すると、レシーバー側のディスプレイを組み合わせることで大型ビデオウォールを形成する接続を作成することができます。画面で提供されている項目を使用して、複数のレシーバーをグループ化し、ビデオウォールを作成してください。ビデオウォールは、複数のコンテンツを個別に出力することも、また、ディスプレイをグループ化させて各種レイアウトで出力することも可能です。ビデオウォールは、レシーバー設定画面の下部に一覧表示されます。

ビデオウォールを作成する場合は、レシーバーの設定画面で「」のアイコンをクリックし、「Create Video Wall」(ビデオウォールの作成)を選択してください。



ディスプレイの台数を選択したら、複数のディスプレイをグループ化して大型スクリーンを構成するか、個々の画面に対して別々のディスプレイを使用してビデオウォールのレイアウトを作成してください。ディスプレイのアイコンの下にあるバーをクリックしたら、各ディスプレイに対してレシーバーを選択してください。この設定は、実際のビデオウォールのレイアウトに合わせてください。

| 項目           | 説明                   |
|--------------|----------------------|
| Name<br>(名前) | ビデオウォールの名前を入力してください。 |

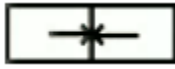
(表は次のページに続きます)

| 項目                                                                                                                | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Description<br>(説明)                                                                                               | ビデオウォールの説明を入力してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| Number of Displays<br>(ディスプレイ数)                                                                                   | ビデオウォールを構成するディスプレイの台数を、「Horizontal」(横)と「Vertical」(縦)の各ドロップダウンメニューを使って設定してください(最大で 64 台に対応)。この設定は、物理的なビデオウォールのレイアウトに合わせてください。更新アイコン(  )をクリックすると、レイアウトを更新します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Bezel Dimension<br>(モニターの額幅)                                                                                      | この 2 つのボックスを使って、アクティブなディスプレイそれぞれの額幅サイズを増減させてください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Lock / Unlock<br>(ロック/ロック解除)<br> | <p>モニターのアイコンをクリックすると、(2 つの)額幅の幅をロックします。この場合、1 つを変更すると、他の設定も、それに合わせて変更されます。</p> <p>モニターのアイコンを再びクリックすると、(2 つの)額幅の幅のロックを解除します。この場合、各々のサイズを個別に変更することができます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Layout Selection<br>(レイアウト選択)                                                                                     | <p>「」をクリックすると、ビデオウォールに対してレイアウトを追加します。また、「」をクリックすると、ビデオウォールからレイアウトを削除します。ここで列挙されるビデオウォールのオプションは、ドロップダウンメニューの形式で表示されるため、レシーバーの設定画面から各種レイアウトを素早く選択することができます。この項目の下にある矢印を使うと、リストにおける選択項目を上下に移動することができます。</p> <p>クイックセットアップに使えるレイアウトテンプレートは 3 種類ご用意しております。ビデオウォールとスプリッターのオプションは変更することができませんが、レシーバーの選択は可能です。なお、これら 3 種類のレイアウトは削除することができません。</p> <p>◆ 「Video Wall」(ビデオウォール)のオプションを選択すると、基本的なフルスクリーンのレイアウトを提供します。このレイアウトでは 1 台のトランスミッターから複数のレシーバーに接続して、複数のディスプレイを 1 台の大型ディスプレイに見立ててビデオを出力することができます。</p> |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                          | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Layout Selection<br>(レイアウト選択)<br>(続き)       | <p>◆ 「Splitter」(スプリッター)を選択すると、1 台のトランスミッターから複数のレシーバーに接続し、別々の画面に同一のビデオを出力するレイアウトを提供します。</p> <p>◆ 「Customize」(カスタマイズ)を選択すると、基本的なフルスクリーンのレイアウトを提供します。このレイアウトでは、自由にグループ化を定義することができます(下記「<b>Group</b>」(グループ)参照)*。</p> <p><b>注意:</b>KE6940R を「Customize」(カスタマイズ)レイアウトで使<br/>用した場合、KE6940R の最初のビデオポートの映像のみが出力<br/>されます。これは、各々のポートにおけるビデオソースが独立し<br/>ているためです。なお、KE6940Rを「Video Wall」(ビデオウォール)または「Splitter」(スプリッター)のレイアウトで使<br/>用した場合は、両方のビデオポートに映像が表示されます。</p> |
| Location<br>(場所)                            | ビデオウォールに対して設定する場所を、ドロップダウンメニューから選択してください。場所の割り当ては任意です。詳細については、p.276 における場所に関する記述を参照してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Boundless Switching<br>(マルチスクリーン<br>コントロール) | <p>この項目を使うと、マウスカーソルを画面の枠を超えて動かすことによ<br/>って、異なるレシーバー間で KVM 操作を切り替えることができま<br/>す。デフォルトでは、この機能は無効に設定されています。</p> <p>マルチスクリーンコントロールが有効になっている場合、下記の機能<br/>を無効にする必要があります。</p> <p>◆ コンピューター側の「コントロールパネル」&gt;「マウスのプロパ<br/>ティ」&gt;「ポインター オプション」のダイアログで、「<b>ポインター<br/>の精度を高める</b>」の項目からチェックを外してください。</p> <p>◆ CCKM のメイン画面で、「Settings」(設定) (p.289 参照)をクリックしたら、「General」(一般)タブで画面を下にスクロールし、<br/>「<b>Fast Switching</b>」(高速切替)を無効にしてください。</p>                        |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                                                                  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Boundless Switching<br>(マルチスクリーン<br>コントロール)                                         | <p><b>注意:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ マルチスクリーンコントロール機能を使うと、デュアルディスプレイ対応のトランスミッターを 2 台の独立した仮想トランスミッターとしてセットアップすることができます。この場合、KE6940 は左側にメインディスプレイとなる DVI-1 を、右側にセカンダリーディスプレイとなる DVI-2 を、それぞれ配置する必要があります。</li> <li>◆ マルチスクリーンコントロール切替は、任意のコンピュータから出力される 1 系統または 2 系統のビデオのみをサポートします。</li> <li>◆ Linux でマウスカーソルが消えてしまう場合は、次のコマンドを実行してください。<br/> <pre>gsettings set org.gnome.setting-daemon.plugins.cursor active false</pre> </li> </ul> |
|   | このスライダーを使うと、ビデオウォールのレイアウトを確認しやすくするためにズームインまたはズームアウトして表示します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|  | このアイコンをクリックすると、ズーム表示を終了して、フルサイズに戻します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|  | 複数のディスプレイのアイコンを選択して、この <b>グループ化</b> ボタンをクリックすると、ディスプレイを一画面にグループ化します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|  | グループを選択して、この <b>グループ解除</b> ボタンを押すと、ディスプレイのグループ化を解除します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| Fit Mode<br>(調整モード)                                                                 | <p>ビデオウォールの表示方法を選択します。</p> <p><b>Height</b> (高さ): ビデオをディスプレイの高さに合わせます。</p> <p><b>Width</b> (幅): ビデオをディスプレイの幅に合わせます。</p> <p><b>Scale</b> (スケーリング): ビデオをディスプレイ全体に合わせます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|  | この <b>RX OSD</b> ボタンを使うと、接続画面の左上にレシーバー名と IP アドレスを表示するかどうかを設定することができます。表示を有効にすると、ディスプレイに接続されているのは、どのレシーバーかを確認するのに便利です。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| Save<br>(保存)                                                                        | クリックすると、変更内容を保存します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| Cancel<br>(キャンセル)                                                                   | クリックすると、変更内容を保存せずに終了します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

# レシーバーの操作権限

「Set Receiver Permissions」(レシーバーの操作権限設定)画面では、レシーバーにアクセス可能なユーザーやグループを設定します。「Receiver List」(レシーバー一覧)でデバイスを選択してから、「Operation」(操作)の下をクリックすると、そのデバイスに対するアクセス権限をユーザーやグループに対して設定することができます。これによって、ユーザーがレシーバー側の OSD メニューにログインして「Connections」(接続)タブにアクセスできるようになります。

レシーバーの操作権限を設定する場合は、「Receiver」(レシーバー)の設定画面で、 をクリックしてください。



| 項目                         | 説明                                                                                                                                                          |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Receiver List<br>(レシーバー一覧) | 操作権限を設定するのに選択可能なレシーバーを一覧表示します。                                                                                                                              |
| ドロップダウンメニュー                | ドロップダウンメニューから、「User」(ユーザー)または「Group」(グループ)を選択してください。選択すると、ユーザーまたはグループの一覧が表示されます。そうしたら、各ユーザーまたは各グループの隣にある「Operation」(操作)のチェックボックスにチェックを入れることで、操作権限を設定してください。 |

(表は次のページに続きます)

| 項目                | 説明                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Operation<br>(操作) | 各ユーザーまたは各グループの隣にある「Operation」(操作)のチェックボックスにチェックを入れることで、選択されたデバイスに対してアクセス権限を設定してください。これによって、ユーザーやグループは、レシーバー側の OSD に対してログインできる権限が与えられます。ユーザーが所属するグループに権限が与えられている場合は、このボックスはブルーで表示されます。すべてのユーザーに対してアクセス権限を無効にしたい場合は、項目名のところにあるチェックボックスからチェックを外してください。 |
| Apply<br>(適用)     | クリックすると、変更内容を保存します。                                                                                                                                                                                                                                 |
| Cancel<br>(キャンセル) | クリックすると、変更内容を保存せずに終了します。                                                                                                                                                                                                                            |

## ユーザーアカウント

「System Status」(システムの状態)パネルにある「Users」(ユーザー)をクリックすると、設定画面を開きます。この画面では、ユーザーやグループの追加、削除、および設定を行うことができます。ユーザーやグループの追加方法については、p.294 に記載されています。



- ◆ 「Users」(ユーザー)および「Group」(グループ)の各ボタンは、画面の上部に表示されます。
  - 選択された項目に応じて、ユーザーまたはグループが画面に一覧表示されます。
- ◆ 表示される情報は、列の項目名をクリックすることで、その項目順に並び替えられます。
- ◆ 右上にある3つのアイコンは、後続のセクションで説明されるように、ユーザーやグループの追加、および権限設定に用いられます。

## ユーザー

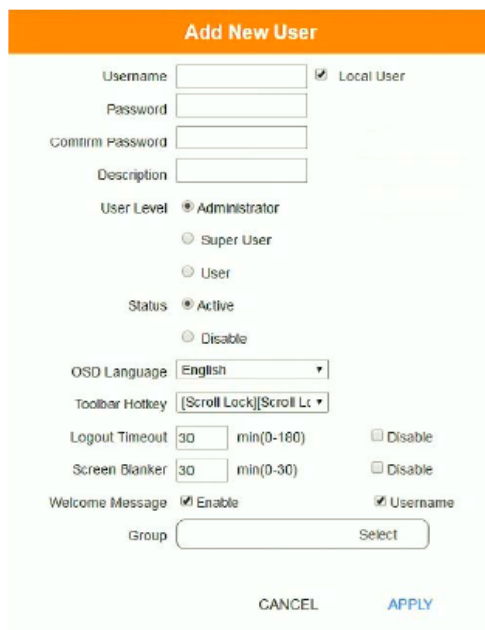
マトリックスマネジャーは、以下の 3 種類のユーザータイプを提供しています。

| ユーザータイプ    | 役割                                                                                                    |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アドミニストレーター | 機器の設定を含むマトリックスマネジャーのアクセス、プッシュ/プルおよび管理、ユーザー/グループ/トランスミッター/レシーバー/プロフィール/ビデオウォールの管理、個人の作業環境の設定がそれぞれ可能です。 |
| スーパーユーザー   | 操作権限のあるレシーバー、トランスミッターおよびプロフィールに対するアクセスとプッシュ/プルが可能です。                                                  |
| ユーザー       | レシーバーにアクセスして、操作権限のあるトランスミッターに接続することが可能です。                                                             |

## ユーザーの追加

ユーザーを追加する場合は、以下の手順で操作してください。

1. メニューバーから「」を選択してください。
2. 「Add New User」(新規ユーザーの追加)を選択してください。そうすると、「Add User User」(新規ユーザーの追加)タブが表示されます。





必要な項目を入力してください。各項目の詳細は下表のとおりです。

| 項目                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Username<br>(ユーザーネーム)         | 1～32 文字で設定してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| Local User<br>(ローカルユーザー)      | マトリックスマネジャーまたはレシーバーにログインするアカウントの場合は、この項目にチェックを入れてください。<br>アカウントがサードパーティーの外部ソース (RADIUS、LDAP/AD、TACACS+) によって認証される場合は、この項目からチェックを外してください。詳細については p.321「ANMS」をご参照ください。                                                                                                                                                                           |
| Password<br>(パスワード)           | アカウントポリシーの設定に応じて、6～32 文字で設定してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Confirm Password<br>(パスワード確認) | パスワードの誤設定を防ぐために、パスワードを再入力してください。ここにはパスワードの欄に入力された文字列と同じものを入力してください。                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| Description<br>(記述)           | ユーザーに関する付加情報があれば、この欄に入力してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| User Level<br>(ユーザーレベル)       | <p>アドミニストレーター、スーパーユーザー、ユーザーのカテゴリの中から選択することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ アドミニストレーターは、マトリックスマネジャーで行える、すべての変更操作に対して完全な権限を有しています。この操作には、トランスミッターやレシーバーの追加・削除、ユーザーアカウントの追加・削除、設定情報の変更が含まれます。</li> <li>◆ スーパーユーザーは、レシーバー側の OSD にアクセスし、チャンネルやプロファイルに接続することができます。</li> <li>◆ ユーザーは、レシーバー側からログインし、チャンネルにアクセスすることができます。</li> </ul> |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Status<br>(ステータス)                          | <p>ユーザーのアカウントとアクセスを、次のように管理することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「Active」(アクティブ)を選択すると、ユーザーに対してアクセスおよび操作権限を設定されたとおりに提供します。</li> <li>◆ 「Disable」(無効)を選択すると、そのユーザーアカウントの使用を停止することができます。この機能ではユーザーは物理的に削除されることがありませんので、後に必要となった場合でも簡単に設定を戻すことができます。</li> </ul> |
| OSD Language<br>(OSD 言語)                   | このユーザーが OSD セッションで使用する言語をドロップダウンメニューから選択してください。選択できる値は、英語、中国語(繁体字)、中国語(簡体字)、日本語、ドイツ語、韓国語、ロシア語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語です。                                                                                                                                                           |
| Toolbar Hotkey<br>(ツールバーホットキー)             | このユーザーが OSD 画面を呼び出す際に用いるホットキーの組み合わせを選択してください。このツールバーは、トランスミッターやレシーバー側からコンピューターにアクセスする際に使用します。                                                                                                                                                                                 |
| Logout Timeout<br>(ログアウトタイムアウト)            | ユーザーが操作しないまま、この機能で設定された時間が経過すると、ユーザーは自動的にログアウトします。OSD にアクセスするには再度ログインする必要があります。デフォルトでは 30 分に設定されています。                                                                                                                                                                         |
| Screen Blanker<br>(スクリーンブランカー)             | ユーザーが操作しないまま、この機能で設定された時間が経過すると、映像信号の出力を OFF にします。                                                                                                                                                                                                                            |
| OSD Title Bar Duration<br>(OSD タイトルバー表示時間) | <p>この機能がサポートされるのは、KE6910/KE6912 のみです。</p> <p>ポートにアクセスすると、画面の左上に、アクセスモードとデバイス名を示すタイトルバーが表示されます。</p> <p>このバーを表示する場合は、タイトルバーを表示する時間を選択してください。このバーを表示したくない場合は、「<b>Disable</b>」(無効)にチェックを入れてください。</p>                                                                              |
| Welcome Message<br>(ウェルカムメッセージ)            | <p>ユーザーがマトリックスマネージャーにログインした際に、ウェルカムメッセージを画面に表示させたい場合は、「<b>Enable</b>」(有効)の項目にチェックを入れてください。</p> <p>ウェルカムメッセージと共にユーザーの画面名を表示させたい場合は、「<b>Username</b>」(ユーザーネーム)の項目にチェックを入れてください。</p>                                                                                             |

(表は次のページに続きます)

| 項目                | 説明                                                           |
|-------------------|--------------------------------------------------------------|
| Group<br>(グループ)   | 「Select」(選択)をクリックして、チェックボックスにチェックを入れることで、ユーザーをグループに追加してください。 |
| Apply<br>(適用)     | クリックすると、変更内容を保存します。                                          |
| Cancel<br>(キャンセル) | クリックすると、変更内容を保存せずに終了します。                                     |

3. 各項目への入力が終わったら「Apply」(適用)ボタンをクリックしてください。
4. 操作に成功すると、メッセージボックスに「Operation Succeeded」(オペレーション成功)と表示されます。ダイアログの「OK」ボタンをクリックして、操作を終了してください。
5. メインパネルに新規ユーザーが表示されます。
  - ◆ 列には、ユーザーネーム、ユーザーレベル、状態、OSD 言語、説明、およびグループが表示されます。

## ユーザーの編集

ユーザーを編集する場合は、以下の手順で操作してください。

1. メインパネルで、編集対象となるユーザーの名前を選択してください。
2. 「Edit User」(ユーザーの編集)画面が表示されたら、設定内容を変更し、「Apply」(適用)ボタンをクリックしてください。

## ユーザーの削除

ユーザーを削除する場合は、以下の手順で操作してください。

1. メインパネルで、削除対象となるユーザーのユーザーネームの隣にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
2. 「」ボタンをクリックしてください。
3. 「OK」ボタンをクリックしてください。

## ユーザーグループ

このメニューを使うと、管理者はユーザーやデバイスを簡単かつ効率的に管理することができます。グループ単位で設定を行うことで、デバイスのアクセス権限はグループの全メンバーに適用されますので、管理者は個々のユーザーに対して権限を設定する手間が省けます。複数のグループを定義して、複数のユーザーに特定のデバイスへのアクセスを許可したり、反対に、特定のデバイスへのアクセスを禁止したりすることができます。デバイスの操作権限については p.300 で説明します。

## グループの作成

グループを作成する場合は、以下の手順で操作してください。

1. 「Account」(アカウント)画面で、「Group」(グループ)をクリックしてください。
2. 「」をクリックしたら、「Add New Group」(新規グループの追加)を選択してください。そうすると、下図のような「Add New Group」(新規グループの追加)画面が表示されます。



3. 必要な項目に適切な値を入力してください。各項目の詳細は下表のとおりです。

| 項目                      | 説明                 |
|-------------------------|--------------------|
| Group Name<br>(グループネーム) | 最大 32 文字で設定してください。 |

(表は次のページに続きます)

| 項目                  | 説明                                                               |
|---------------------|------------------------------------------------------------------|
| Description<br>(説明) | グループに関する付加情報があれば、最大 32 文字でこの欄に入力してください。                          |
| Member<br>(メンバー)    | 現在グループに所属しているユーザーを一覧表示します。ユーザーを追加する場合は、「Edit」(編集)ボタンをクリックしてください。 |

- この段階で、「Edit」(編集)ボタンをクリックすることで、ユーザーをグループに割り当てることができます。
- 選択し終わったら、「Apply」(適用)ボタンをクリックしてください。
- 操作に成功すると、メッセージボックスに「オペレーション成功」と表示されます。ダイアログの「OK」ボタンをクリックして、操作を終了してください。
- そうすると、メインパネルに新規グループが表示されます。
  - ◆ 列には、グループネーム、説明、および、そのグループに所属しているメンバーが表示されます。

他にも追加するグループがある場合は、上記の操作手順を繰り返してください。

## グループの編集

グループを編集する場合は、以下の手順で操作してください。

- メインパネルで、編集対象となるグループの名前をダブルクリックしてください。
- 内容を変更したら、「Apply」(適用)ボタンをクリックしてください。

## グループの削除

グループを削除する場合は、以下の手順で操作してください。

- メインパネルで、削除対象となるグループのグループネームの隣にあるチェックボックスにチェックを入れてください。
- 「」ボタンをクリックしてください。
- 「OK」ボタンをクリックしてください。

# 操作権限

「Account」(アカウント)画面を使うと、トランスミッター、レシーバー、およびプロフィールの操作権限をユーザーやグループに対して設定することができます。

## デバイス操作権限の割り当て

「Account」(アカウント)画面から、ユーザーやグループに対して操作権限を割り当てたい場合は、下記の手順で操作してください。

1. メニューバーで「」をクリックしてください。そうすると、「Set User Permissions」(ユーザー操作権限の設定)画面が表示されます。



2. 操作権限を設定するには、ユーザーまたはグループを選択してからデバイスを選択し、各列の下にあるアクセスタイプを選択してください。そうすると、色がグリーンに変わります。各デバイスにおけるユーザーまたはグループそれぞれに対して、下表の内容を参考にしながら、操作権限の設定を行ってください。

| 項目                    | 説明                                                                                                |
|-----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| User List<br>(ユーザー一覧) | ユーザーとグループのどちらを参照するかを、「Users」(ユーザー)または「Group」(グループ)のラジオボタンで選択し、操作権限の設定を行いたいユーザーまたはグループをクリックしてください。 |

(表は次のページに続きます)

| 項目                       | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ドロップダウンメニュー              | ドロップダウンメニューから、「Transmitter」(トランスミッター)、「Receiver」(レシーバー)、「Profile」(プロファイル)のいずれかを選択してください。選択すると、デバイスの一覧が表示されます。そうしたら、そのデバイスの隣にあるアクセスタイプ(すべて、参照、占有、排他)から該当するものを選択して、操作権限を設定してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Access Type<br>(アクセスタイプ) | <p>ユーザーやグループに対して与えたいアクセスタイプを、各デバイスの下にある項目から選択してください。これによって、ユーザーやグループによって、デバイスがどのようにアクセスされるかを定義することができます。権限が設定されると、そのユーザーが利用可能なトランスミッターのアクセスタイプが、レシーバー側のOSD 接続メニューに表示されます (p.215 参照)。</p> <p><b>All(すべて) :</b>ユーザーは完全な操作権限を持っており、トランスミッターの操作を同時に共有することが可能です。ユーザーからの入力キューに格納され、順次実行されていきます。</p> <p><b>View(参照) :</b>ユーザーはリモート画面の参照はできますが、操作はできません。</p> <p><b>Occupy(占有) :</b>最初にトランスミッターにアクセスしたユーザーに操作権限があります。このとき、他のユーザーもトランスミッターのビデオを参照できます。このトランスミッターを操作しているユーザーが非アクティブな状態のまま、トランスミッターの「Timeout」(タイムアウト)で設定された時間が経過すると、操作権限は、このタイムアウト後に初めてマウスかキーボードを操作したユーザーに移ります。</p> <p><b>Exclusive(排他) :</b>最初にトランスミッターにアクセスしたユーザーが、このトランスミッターに対して排他的に操作することができます。このとき、他のユーザーはトランスミッターを見たり、操作したりすることができません。この設定ではタイムアウト機能は適用されません。</p> |

(表は次のページに続きます)

| 項目                               | 説明                                                                                                                                               |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Access Type<br>(アクセスタイプ)<br>(続き) | <b>Operation (操作) ※レシーバーおよびプロファイル:</b> このアクセスタイプを選択すると、レシーバーの場合は、ユーザーがレシーバーにログインすることができます。また、プロファイルの場合は、ユーザーがレシーバーからプロファイルに対して接続することができるようになります。 |
| Apply<br>(適用)                    | クリックすると、変更内容を保存します。                                                                                                                              |
| Cancel<br>(キャンセル)                | クリックすると、変更内容を保存せずに終了します。                                                                                                                         |

3. 各項目への入力が終わったら「**Apply**」(適用)ボタンをクリックしてください。
4. 確認のポップアップウィンドウが表示されたら、「**OK**」ボタンをクリックして、操作を終了してください。



## プロフィール

「System Status」(システムの状態)パネルにある「**Profile**」(プロフィール)をクリックすると、設定画面を開きます。この画面では、接続プロフィールの作成、実行、およびスケジューリングを行うことができます。プロフィールは、特定のレシーバーをトランスミッターに接続するもので、これはプロフィールの画面からいつでも簡単に接続することができます。プロフィールはまた、特定の時刻に自動実行するようスケジューリングすることもできます。



この画面におけるアイコンや項目名は文字どおりの意味を表します。ここでは、トランスミッターの確認や設定を行うことができます。

- ◆  クリックすると、選択されたプロフィールに接続します。
- ◆  クリックすると、選択されたプロフィールとの接続を切断します。
- ◆  クリックすると、選択されたプロフィールを削除します。
- ◆  クリックすると、「Create Profile」(プロフィールの作成)または「Create Schedule」(スケジュールの作成)画面に遷移します(p.305 および p.308 参照)。
- ◆  クリックすると、検索条件となる文字列を入力してプロフィールの検索を行います。

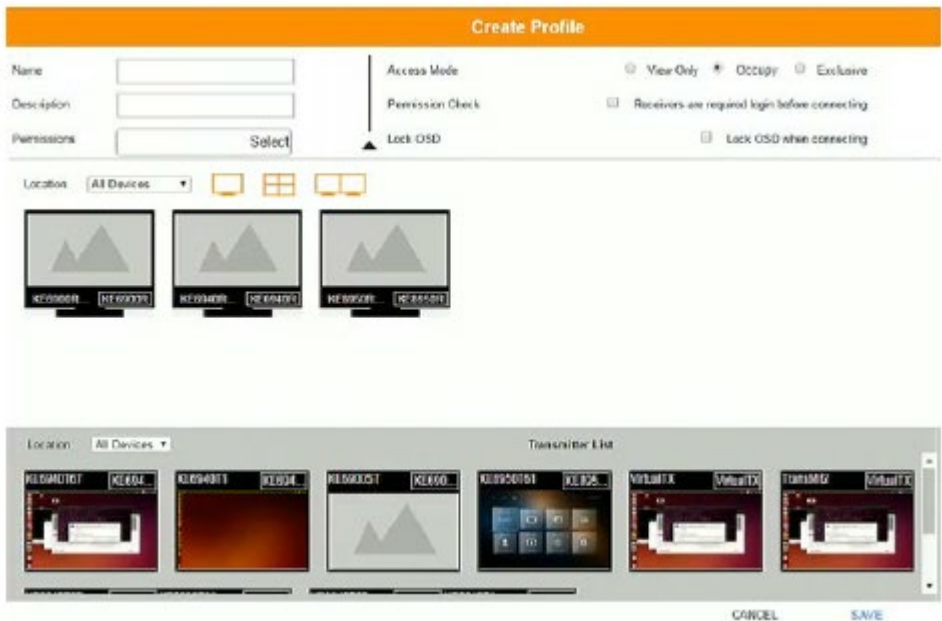
- ◆  プロファイルの隣にあるチェックボックスにチェックを入れて、「Connect」(接続)または「Disconnect」(切断)のアイコンをクリックすると、プロファイルの接続を開始/停止します。また、スケジュールの隣にあるチェックボックスにチェックを入れて、「Enable」(有効)または「Disable」(無効)のアイコンをクリックすると、スケジュールを有効/無効にします。
- ◆  このアイコンは「Schedule」(スケジュール)画面に表示され、クリックすると、選択されたスケジュールを有効にします。
- ◆  このアイコンは「Schedule」(スケジュール)画面に表示され、クリックすると、選択されたスケジュールを無効にします。

# プロファイルの追加

プロファイルを作成すると、1 台または複数のレシーバーからトランスミッターに素早く接続することができます。

プロファイルを追加する場合は、以下の手順で操作してください。

1. 「Profile」(プロファイル) 画面から、「」をクリックしたら、「Create Profile」(プロファイルの作成)を選択してください。そうすると、「Create Profile」(プロファイルの作成)画面が表示されます。



| 項目                  | 説明                     |
|---------------------|------------------------|
| Name<br>(名前)        | プロファイルに付ける名前を入力してください。 |
| Description<br>(説明) | プロファイルの説明を入力してください。    |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                                                                  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Permissions<br>(操作権限)                                                               | 「 <b>Select</b> 」(選択)をクリックしたら、このプロファイルへのアクセスを許可したいユーザー/グループをチェックボックスで選択してください。ユーザーがレシーバーにログインすると、プロファイルが「Profile」(プロファイル)画面の OSD メニューに一覧表示されるため、ここから接続することができるようになります (p.220 参照)。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| Access Mode<br>(アクセスモード)                                                            | <p>この項目では、複数のユーザーからアクセスがあった場合に、プロファイルにおけるトランスミッターが、レシーバーによって、どのようにアクセスされるかを定義することができます。</p> <p><b>View Only (参照のみ)</b>: レシーバーはトランスミッターのビデオ出力を参照することしかできません。</p> <p><b>Occupy (占有)</b>: アクセスモードを占有に設定されたレシーバーに対して時間のしきい値を設定してください。このポートを占有した状態でレシーバーから何も操作が行われないまま、ここで設定された時間が経過すると、レシーバーはタイムアウトとなり、このポートは開放されます。この場合、ポートが開放された直後にキーボードやマウスを操作したレシーバーが、このポートを占有することになります。時間のしきい値は 1～240 秒で設定してください。</p> <p><b>Exclusive (排他)</b>: 最初にトランスミッターにアクセスしたレシーバーが、このトランスミッターに対して排他的に操作できます。このとき、他のユーザーはトランスミッターを参照することができません。なお、この設定が適用されているトランスミッターにはタイムアウト機能が適用されません。</p> |
| Login Check<br>(ログインチェック)                                                           | このチェックボックスにチェックを入れると、プロファイルに対して接続が試みられた際に、ユーザーはレシーバーにログインするよう求められます。この項目が有効になっていると、ユーザーはレシーバーにログインしなければなりません。ログインしないと、プロファイルが開始した際にトランスミッターに接続できなくなります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Lock OSD<br>(OSD をロックする)                                                            | このチェックボックスにチェックを入れると、プロファイルがトランスミッターに接続されているときにレシーバーの OSD 画面をロックします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| Location<br>(場所)                                                                    | ドロップダウンメニューを使って場所を選択すると、画面に表示されているレシーバーの絞り込みを行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|  | このアイコンをクリックすると、個々のレシーバーを表示します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                                                                | 説明                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
|  | このアイコンをクリックすると、ビデオウォールのレシーバーのみを表示します。   |
|  | このアイコンをクリックすると、レシーバーグループのレシーバーのみを表示します。 |
| Save<br>(保存)                                                                      | クリックすると、変更内容を保存します。                     |
| Cancel<br>(キャンセル)                                                                 | クリックすると、変更内容を保存せずに終了します。                |

2. 各項目に値を入力したら、レシーバーをクリックし、「**Select TX**」(TX の選択)を選択して、ドロップダウンメニューからトランスミッターを選択するか、画面下部にある「Transmitter List」(トランスミッター一覧)を使ってトランスミッターをドラッグして、レシーバーにドロップすることで、接続を作成してください。
3. 接続の設定を行ったら、「**Save**」(保存)をクリックしてください。そうすると、新規プロファイルが「Profile」(プロファイル)画面に表示されます。
4. プロファイルを接続するには、接続したいプロファイルのチェックボックスにチェックを入れて、  
「」をクリックしてください。
5. プロファイルの接続を切断するには、「」をクリックしてください。

## スケジュールの追加

スケジュールを作成すると、プロファイルの接続を特定の日付や時刻、そして特定のインターバルで行うことができます。

スケジュールを追加する場合は、以下の手順で操作してください。

1. 「Profile」(プロファイル)画面で、「**Schedule**」をクリックしてください。
2. 「**+**」をクリックしたら、「**Create Schedule**」(スケジュールの作成)を選択してください。そうすると、「Create Schedule」(スケジュールの作成)画面が表示されます。



| 項目                  | 説明                                                                                                                                                                                 |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Profile<br>(プロファイル) | スケジュールリングするプロファイルをドロップダウンメニューから選択してください。                                                                                                                                           |
| Frequency<br>(頻度)   | プロファイルを実行する頻度をドロップダウンメニューから選択してください。選択できる値は「Once」(1 回)、「Daily」(毎日)、「Weekly」(毎週)、「Monthly」(毎月)です。<br>「Weekly」(毎週)や「Monthly」(毎月)を選択すると、プロファイルを実行する曜日や日にちを選択できるドロップダウンメニューが追加で表示されます。 |

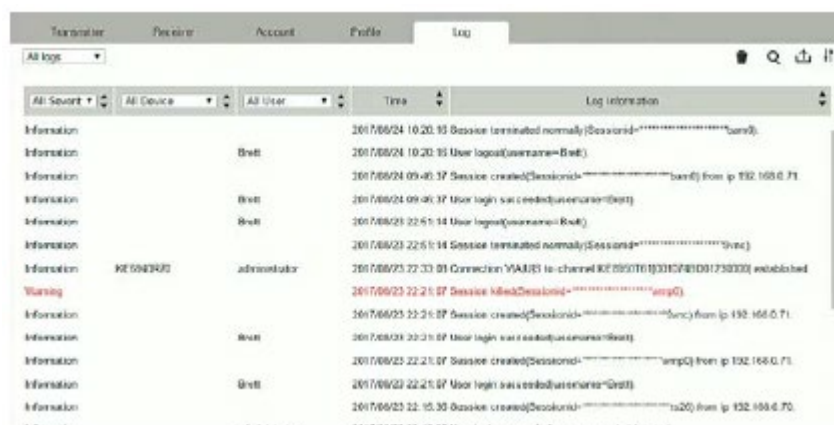
(表は次のページに続きます)

| 項目                   | 説明                                                                                                                                                                                                |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Start Date<br>(開始日)  | スケジュールの実行を開始する日付を入力してください。                                                                                                                                                                        |
| End Date<br>(終了日)    | スケジュールの実行を終了する日付を入力してください。                                                                                                                                                                        |
| Start Time<br>(開始時刻) | プロファイルが接続する時刻を入力してください。                                                                                                                                                                           |
| End Time<br>(終了時刻)   | プロファイルが接続を切断する時刻を入力してください。                                                                                                                                                                        |
| Every<br>(ごと)        | 「Daily」(毎日)、「Weekly」(毎週)、「Monthly」(毎月)、「Every」(ごと)のオプションを選択した場合、スケジュールを実行する頻度を入力してください。例えば、3 か月ごとにプロファイルを実行したい場合は3 か月と入力します。また、スケジュールを1 日に1 回、1 週間に1 回、または1 か月に1 回、実行したい場合は、デフォルト値である1 を使用してください。 |

3. スケジュールを設定したら、「**Save**」(保存)をクリックしてください。

## ログ

「System Status」(システムの状態)パネルにある「Log」(ログ)をクリックすると、設定画面を開きます。この画面には、発生したイベントが一覧表示され、各イベントの発生時刻、ユーザー、重要度、デバイス、ログに関する概要が提供されます。表の列名をクリックすると、その項目で並び順を変更して表示することができます。



| Transmitter  |            | Receiver      |                     | Account                                                           |  | Profile |  | Log |  |
|--------------|------------|---------------|---------------------|-------------------------------------------------------------------|--|---------|--|-----|--|
| All logs     |            |               |                     |                                                                   |  |         |  |     |  |
| All Severity | All Device | All User      | Time                | Log information                                                   |  |         |  |     |  |
| Information  |            |               | 2017/06/24 10:20:15 | Session terminated normally(SessionId=*****banc0).                |  |         |  |     |  |
| Information  |            | Brett         | 2017/06/24 10:20:15 | User login(username=Brett)                                        |  |         |  |     |  |
| Information  |            |               | 2017/06/24 09:40:17 | Session created(SessionId=*****banc0) from ip 192.168.0.71        |  |         |  |     |  |
| Information  |            | Brett         | 2017/06/24 09:40:17 | User login was created(username=Brett)                            |  |         |  |     |  |
| Information  |            | Brett         | 2017/06/24 22:51:14 | User login(username=Brett)                                        |  |         |  |     |  |
| Information  |            |               | 2017/06/23 22:51:14 | Session terminated normally(SessionId=*****banc0).                |  |         |  |     |  |
| Information  | RF5043402  | administrator | 2017/06/23 22:33:01 | Connection VAAUS to channel RF5050T0103015740D0730000 established |  |         |  |     |  |
| Warning      |            |               | 2017/06/23 22:21:07 | Session killed(SessionId=*****banc0).                             |  |         |  |     |  |
| Information  |            |               | 2017/06/23 22:21:07 | Session created(SessionId=*****banc0) from ip 192.168.0.71        |  |         |  |     |  |
| Information  |            | Brett         | 2017/06/23 22:21:07 | User login was created(username=Brett)                            |  |         |  |     |  |
| Information  |            |               | 2017/06/23 22:21:07 | Session created(SessionId=*****banc0) from ip 192.168.0.71        |  |         |  |     |  |
| Information  |            | Brett         | 2017/06/23 22:21:07 | User login was created(username=Brett)                            |  |         |  |     |  |
| Information  |            |               | 2017/06/23 22:15:35 | Session created(SessionId=*****banc0) from ip 192.168.0.70.       |  |         |  |     |  |

◆ 列名の横にあるドロップダウンメニューをクリックすると、イベントをサブカテゴリの条件で絞り込みます。サブカテゴリを選択すると、その選択項目に関連したログだけを参照します。画面上部にある項目名は、文字通りの意味です。

- 「All Severity」(すべての重要度)は、イベントの重要度を表します。選択できる値は「Information」(情報)、「Error」(エラー)、「Warning」(警告)です。
- 「All Device」(すべてのデバイス)は、そのイベントに関連したトランスミッターまたはレシーバーを表します。一覧に表示されているデバイスがない場合は、イベントはマトリクスマネージャーソフトウェアを表します。
- 「All User」(すべてのユーザー)は、そのイベントに関連したユーザー名を表します。ユーザー名が表示されていない場合、イベントはシステム情報全般となります。
- 「Time」(時刻)は、イベントの発生時刻を表します。
- 「Log Information」(ログ情報)には、各イベントに関する詳細が表示されます。

◆  をクリックすると、現在、一覧に表示されているログを削除します。

◆  をクリックすると、検索条件となる文字列を入力してイベントログの検索を行います。

◆  をクリックすると、ログの内容を、お使いのコンピューター上にファイルとして保存します。



- ◆  をクリックすると、ポップアップウィンドウが表示されて、何日経過したら、また、何件のログを記録したら古いログファイルを上書きするのを設定することができます。ラジオボタンで「By Period (Days)」(期間ごと(日数))または「By Records」(件数ごと)をラジオボタンで選択したら、一番古いログファイルを上書きするまでに経過する日数または保存するログの件数を数値で入力してください。

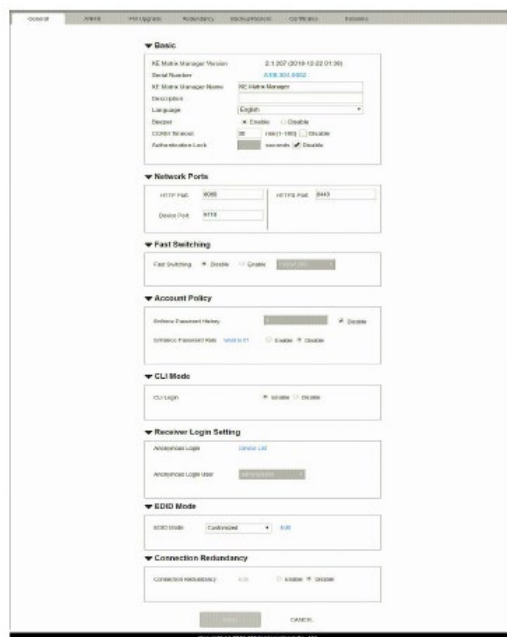
# 第7章 システム設定

## 概要

「System Status」(システムの状態)画面で「」アイコンをクリックすると、「System Settings」(システム設定)メニューにアクセスします(p.249「システムの状態」参照)。ここには、「General」(全般)、「ANMS」、「FW Upgrade」(ファームウェアアップグレード)、「Redundancy」(二重化)、「Backup/Restore」(バックアップ/リストア)、「Certificates」(証明書)、「Sessions」(セッション)といった、マトリクスマネジャーのシステム設定を行う7つのタブがあります。

## 全般

システムの状態画面で「」アイコンをクリックすると、下図のような「General」(全般)タブが開きます。



The screenshot shows the 'General' tab of the 'System Settings' menu. The interface is divided into several sections with expandable/collapsible headers:

- Basic:** Includes fields for 'XZ Matrix Manager Version' (2.1.007-2019-10-02 01:30), 'Serial Number' (A000-001-0002), 'XZ Matrix Manager Name' (XZ Matrix Manager), 'Language' (English), 'Display' (Enable/Disable), 'Connect Method' (20/1901/1903/1904), and 'Authentication Method' (password/enable).
- Network Ports:** Includes fields for 'HTTP Port' (8080), 'HTTPS Port' (8443), and 'Device Port' (8080).
- Fast Switching:** Includes a 'Fast Switching' checkbox (checked) and a 'Cache Size' field (1024).
- Account Policy:** Includes a 'System Password Policy' checkbox (checked) and a 'Minimum Password Length' field (10).
- CLI Mode:** Includes a 'CLI Mode' checkbox (checked) and a 'CLI User' field (admin).
- Receiver Login Setting:** Includes a 'Receiver Login' checkbox (checked) and a 'Receiver Login User' field (admin).
- EDID Mode:** Includes a 'EDID Mode' dropdown (Customized) and a 'EDID' field (00).
- Connection Redundancy:** Includes a 'Connection Redundancy' checkbox (checked) and a 'Connection Redundancy' field (10).

At the bottom, there is a 'Save' button and a 'Cancel' button. The footer text reads 'Copyright © 2019 XZ Matrix Manager Co., Ltd.'.

| 見出し           | 項目                                               | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Basic<br>(基本) | KE Manager Version<br>(KE マトリックスマネ<br>ジャーのバージョン) | マトリックスマネジャーソフトウェアのバージョン情報が<br>表示されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|               | Serial Number<br>(シリアルナンバー)                      | シリアルナンバーとソフトウェアをアップグレードするリン<br>クが表示されます。                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|               | KE Manager Name<br>(KE マトリックスマネ<br>ジャー名)         | マトリックスマネジャーに設定する名前を入力してくださ<br>い。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|               | Description<br>(説明)                              | マトリックスマネジャーの説明を入力してください。                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|               | Language<br>(言語)                                 | マトリックスマネジャーで使用する言語を入力してくださ<br>い。選択できる値は次のとおりです: 英語、中国語 (繁<br>体字)、中国語 (簡体字)、日本語、ドイツ語、韓国語、<br>ロシア語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語。                                                                                                                                                                                                                   |
|               | Beeper<br>(ビープ音)                                 | 「 <b>Enable</b> 」(有効)のラジオボタンを選択すると、設定が<br>変更された際にトランスミッター/レシーバーでビープ音<br>を出力します。                                                                                                                                                                                                                                                        |
|               | CCKM Timeout<br>(CCKM タイムアウト)                    | ユーザーからの入力がないまま、この項目で設定され<br>た時間が経過すると、CCKM にログインしているユーザ<br>ーは自動的にログアウトさせられます。この機能を無効<br>にするには「 <b>Disable</b> 」(無効)を選択してください。                                                                                                                                                                                                          |
|               | Authentication Lock<br>(認証ロック)                   | この機能がサポートされるのは、KE6910/KE6912 のみ<br>です。予期せぬ停電が発生した場合、この機能を使うと<br>ユーザーは停電前に表示されていた設定を継続するこ<br>とができますので、ユーザーの認証状態と表示画面は<br>変わりません。<br>◆ 「 <b>Disable</b> 」(無効)の項目からチェックを外すと、こ<br>の機能を ON にします。<br>◆ 認証と表示の状態を維持したい時間を秒で入力し<br>てください。<br>この機能が無効になっている場合、あるいは、有効にな<br>っているものの指定された時間が経過してしまった場合<br>は、マトリックスマネジャーにアクセスする際に認証操作<br>が必要となります。 |

(表は次のページに続きます)

| 見出し                          | 項目                        | 説明                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------|---------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Network Ports<br>(ネットワークポート) | HTTP Port<br>(HTTP ポート)   | マトリックスマネジャーへのアクセスに用いられる HTTP サービスポートを設定します。これはブラウザログインに使用されるポート番号です。デフォルトでは 8080 に設定されています。                                                                                                                       |
|                              | Device Port<br>(デバイスポート)  | マトリックスマネジャーへのアクセスに用いられるデバイスサービスポートを設定します。マトリックスマネジャーソフトウェアにアクセスできるように、トランスミッターとレシーバーの両方でこのポート番号を設定してください (p.195 および p.205「マネジャーアドレス」参照)。デフォルトでは 9110 に設定されています。                                                   |
|                              | HTTPS Port<br>(HTTPS ポート) | マトリックスマネジャーへのアクセスに用いられる HTTPS サービスポートを設定します。これはセキュアなブラウザログインに使用されるポート番号です。デフォルトでは 8443 に設定されています。<br>例: IP アドレスが「192.168.0.100」に設定されているマトリックスマネジャーに、セキュアなブラウザログインでアクセスするには、「https://192.169.0.100:8443」と入力してください。 |
| Fast Switching<br>(高速切替)     |                           | レシーバーからトランスミッターへの接続を変更する際に、より速く切り替えられるよう、デフォルトで使用する解像度を選択してください。お使いのモニターが高速切替に対応していない場合は、この設定を有効にしてもビデオが正しく出力されない場合があります。<br><b>注意:</b> 高速切替機能を有効にする場合は、マルチスクリーンコントロール機能を無効にしてください。                               |

(表は次のページに続きます)

| 見出し                           | 項目                                         | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Account Policy<br>(アカウントポリシー) | Enforce Password History<br>(パスワード履歴を実行する) | この項目では、古いパスワードを再度使用できるようにするまでに、固有のパスワードを設定しなければならない回数を設定することができます。パスワード履歴のポリシーを適用する場合は、「Disable」(無効)の項目からチェックを外して、その回数を入力してください。                                                                                                                                                         |
|                               | Enhance Password Rule<br>(パスワード規則を強化する)    | <p>「Enable」(有効)のラジオボタンを選択すると、パスワード作成時の規則を下記のとおりに強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ パスワードは 8 文字以上で設定しなければなりません。</li> <li>◆ パスワードに、半角英字の大文字と小文字を含めなければなりません。</li> <li>◆ パスワードに、半角数字 1 文字(0~9)を含めなければなりません。</li> <li>◆ パスワードの入力を 5 回連続で誤ると、アカウントが 10 分間ロックされます。</li> </ul> |
| CLI Mode<br>(CLI モード)         | CLI Mode Login<br>(CLI モードログイン)            | <p>マトリックスマネジャーに対するコマンドラインインターフェースからのログインを有効にするか、または無効にするかを、ラジオボタンで選択してください。</p> <p><b>注意:</b> CLI モードログインが無効になっていると、どのユーザーも認証なしで Telnet 経由にてログインし、アドミニストレータ権限であらゆる操作ができるようになってしまいます。高度なセキュリティが求められるシステムでは、CLI モードログインを有効にすることを推奨します。</p>                                                 |

(表は次のページに続きます)

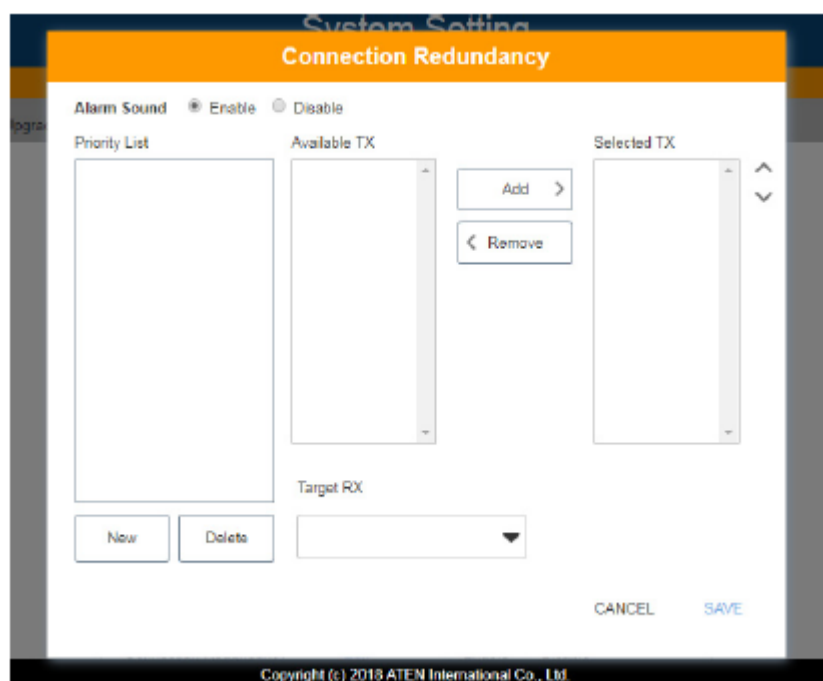
| 見出し                                                     | 項目                                      | 説明                                                                                                                                                                                                                |
|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Receiver Login<br>Settings<br>(レシーバーのログイン設定)            | Anonymous Login<br>(匿名ログイン)             | 選択されたレシーバーに対して匿名でログインする場合は、この項目を使ってください。このオプションを使うと、ログインすることなく、レシーバーにアクセスしてトランスミッターに接続することができます。<br><br>「 <b>Device List</b> 」(デバイスリスト)をクリックすると、一覧が表示されますので、この匿名ログイン機能を有効にするレシーバーの隣にチェックを入れてください。                 |
|                                                         | Anonymous Login<br>User<br>(匿名ログインユーザー) | レシーバーに対して上記の「Anonymous Login」(匿名ログイン)が有効になっている場合は、このレシーバーに対して匿名ログインを行うデフォルトアカウントとなるユーザーをドロップダウンメニューから選択してください。                                                                                                    |
| EDID Mode<br>(EDID モード)                                 | EDID Mode<br>(EDID モード)                 | このドロップダウンメニューを使うと、すべてのトランスミッターに対してデフォルト EDID モードを設定します。トランスミッターごとに異なる EDID モードを設定する場合は、「 <b>Customized</b> 」(カスタム)を選択して「 <b>Edit</b> 」(編集)をクリックしてください。そうすると、トランスミッターの一覧に、各デバイスの EDID モードが設定できるドロップダウンメニューが表示されます。 |
| Connection Redundancy<br>(接続の二重化)<br>(KE6910/KE6912 のみ) |                                         | このドロップダウンメニューでは、接続の二重化機能の設定を行います。この機能を使うと、優先的に使用する接続を定義することができます。<br>詳細については、次のセクションを参照してください。                                                                                                                    |
| Save<br>(保存)                                            |                                         | クリックすると、変更内容を保存します。                                                                                                                                                                                               |
| Cancel<br>(キャンセル)                                       |                                         | クリックすると、変更内容を保存せずに終了します。                                                                                                                                                                                          |

## 接続の二重化(KE6910/KE6912 のみ)

KE6910/KE6912 では、レシーバーに対して優先的に使用する接続を定義することができます。トランスミッターがエラーになった場合、この機能を使うと、レシーバーは利用可能なトランスミッターのうち、優先度が最も高いユニットに対して接続を行うことができます。

優先リストをセットアップするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 「**Enable**」(有効)をクリックして、この機能を有効にしてください。
2. 「**Edit**」(編集)をクリックしてください。そうすると、編集が行えるポップアップウィンドウが表示されます。



3. 「Alarm Sound」(アラーム音)の項目で「**Enable**」(有効)のラジオボタンを選択してください。



4. 新規リストを作成するには、「**New**」(新規)をクリックしてください。そうすると、「Priority List 1」(優先リスト 1)が表示されます。(**New**)(新規)を、もう一度クリックすると、もう一つ新規リストが作成されます。)

The screenshot shows the 'Connection Redundancy' dialog box. At the top, there's a title bar 'Connection Redundancy'. Below it, the 'Alarm Sound' section has two radio buttons: 'Enable' (selected) and 'Disable'. The 'Priority List' section has a list box with 'Priority List 1' selected. Below it are 'New' and 'Delete' buttons. The 'Available TX' section has a list box with 'KE6910T1' and 'KE6910T2'. To its right are 'Add' and 'Remove' buttons. The 'Selected TX' section has an empty list box with up and down arrow buttons. Below the 'Available TX' and 'Selected TX' sections is the 'Target RX' section with a dropdown menu. At the bottom right are 'CANCEL' and 'SAVE' buttons.

5. リストに追加したいトランスミッターを「Available TX」(利用可能な TX)リストから選択したら、「**Add**」(追加)をクリックしてください。追加されたトランスミッターは「Selected TX」(選択済み TX)リストに移動します。

This screenshot is similar to the previous one, but now 'KE6910T2' has been moved from the 'Available TX' list to the 'Selected TX' list. The 'Available TX' list now only contains 'KE6910T1'. All other elements remain the same.

トランスミッターの選択を解除するには、「Selected TX」(選択済み TX)リストから対象となるトランスミッターをクリックして選択し、「**Remove**」(除外)をクリックしてください。そうすると、そのトランスミッターは「Available TX」(利用可能な TX)リストへと戻ります。



6. 「Target RX」(対象となる RX)ドロップダウンメニューをクリックして、ここから対象となるレシーバーを選択してください。

Connection Redundancy

Alarm Sound ☒ Enable ☐ Disable

Priority List

Priority List 1

Available TX

KE6910T1

Add >

< Remove

Selected TX

KE6910T2

New Delete

Target RX

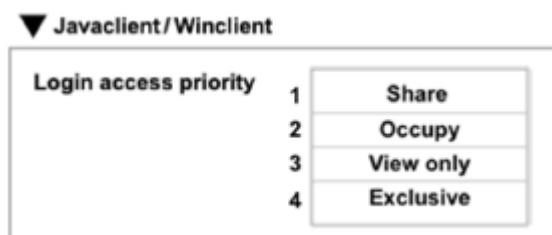
KE6912R

CANCEL SAVE

7. 優先リストに追加するトランスミッターが複数ある場合は、手順 4～6 の操作を繰り返してください。
8. 「Save」(保存)をクリックして、設定内容を保存してください。

## ログインアクセスの優先順位 (AiT モデル限定)

お使いのシステムに AiT モデルが含まれている場合、(リモートビューワーの)「General」(全般)タブの下に「Javaclient/Winclient」(Java クライアント/Win クライアント)というセクションが表示されます。ここでは、ユーザーに応じてログインアクセスの優先順位を選択することができます。



**Share (共有) :** ユーザーにはフルコントロール権限が与えられ、リモートビューワーの操作を同時に共有することができます。ユーザーからの入力はキューに格納されて、順番に実行されます。

**Occupy (占有) :** 最初にリモートビューワーにアクセスしたユーザーが、操作を行えます。このとき、他のユーザーもリモートビューワーを参照することができます。このリモートビューワーを操作しているユーザーが非アクティブな状態のまま、トランスミッターの「Timeout」(タイムアウト)欄で設定された時間が経過すると、このタイムアウト後に初めてマウスかキーボードを操作したユーザーに操作権限が移ります。

**View Only (参照のみ) :** ユーザーはリモートビューワーの画面を参照することはできますが、操作することはできません。

**Exclusive (排他) :** 最初にリモートビューワーにアクセスしたユーザーが、このビューワーに対して排他的に操作することができます。このとき、他のユーザーはリモートビューワーを参照したり、操作したりすることができません。なお、トランスミッターがこの設定でアクセスされている間は、タイムアウト機能が適用されません。

## ANMS

「ANMS」(Advanced Network Management Settings)タブでは、外部システムからのログイン認証および権限管理に関するセットアップを行います。このメニューは2つのカテゴリから構成されています。各カテゴリの内容については、後のセクションで説明します。

### イベント送り先

The screenshot displays the 'ANMS' configuration page with the 'Event Destination' tab selected. Under 'Authentication & Authorization', the 'SMTP Settings' section is expanded. It includes a checkbox for 'Enable report from the following SMTP Server', a 'Log Level' dropdown set to 'Information', and input fields for 'SMTP Server', 'SMTP Port' (set to 25), 'Account Name', 'Password', 'From', and 'To'. The 'Server requires authentication' checkbox is also present. Below this, the 'Syslog Settings' section is expanded, showing an 'Enable' checkbox, a 'Log Level' dropdown set to 'Information', and input fields for 'Server IP' and 'Service Port' (set to 514). 'SAVE' and 'CANCEL' buttons are at the bottom.

#### ◆ SMTP Settings (SMTP 設定)

マトリクスマネージャーが SMTP サーバーからのレポートをユーザーにメール通知する場合は、以下の手順で操作してください。

1. 「Enable report from the following SMTP server」(以下の SMTP サーバーからの通知を有効にする)の項目にチェックを入れて、ログのレベル(情報、警告、エラー)を選択し、お使いの SMTP サーバーの IP アドレスと SMTP ポートの値を入力してください。

2. サーバーで認証が必要な場合は、「Server requires authentication」(サーバー認証が必要)の項目にチェックを入れて、「Account Name」(アカウント名)と「Password」(パスワード)の各欄に、お使いの環境で適した値を設定してください。

3. レポートの差出人となるメールアドレスを「From」欄に入力してください。

---

**注意:**

1. 「From」欄に設定できるメールアドレスは一つだけです。64 バイト以内で設定してください。
2. 1 バイトは半角英数字 1 文字に相当します。

---

4. レポートの宛先となるメールアドレス(複数入力可)を「To」欄に入力してください。

---

**注意:** 複数の宛先にレポートを配信する場合は、アドレスをセミコロンで区切ってください。また、宛先のアドレス全体で 256 バイト以内になるように設定してください。

---

5. 「**Save**」(保存)をクリックしてください。

#### ◆ Syslog Settings (Syslog 設定)

マトリクスマネジャーで発生した全イベントを記録し、Syslog サーバーに書き込む場合は、下記の手順に従って設定してください。

1. 「**Enable**」(有効にする)の項目にチェックを入れてください。
2. 「Log Level」(ログレベル)ドロップダウンメニューから、ログ情報のレベル(情報、警告、エラー)を選択してください。
3. Syslog サーバーの IP アドレスを「Server IP」(サーバーIP)欄に入力してください。
4. 「Service Port」(サービスポート)欄にポート番号を入力してください。ポート番号の有効な値の範囲は 1～65535 です。
5. 「**Save**」(保存)をクリックしてください。

## 認証

| Authentication & Authorization             |      |
|--------------------------------------------|------|
| <input checked="" type="checkbox"/> Enable |      |
| Preferred RADIUS Server                    |      |
| Preferred RADIUS Server Port               | 1812 |
| Alternate RADIUS Server                    |      |
| Alternate RADIUS Server Port               | 1645 |
| Timeout                                    | 3    |
| Retries                                    | 3    |
| Shared Secret (at least 6 characters)      |      |

### ◆ RADIUS Settings (RADIUS 設定)

RADIUS サーバー経由で製品への認証を行う場合は、以下の手順で操作してください。

1. 「**Enable**」(有効にする)の項目にチェックを入れてください。
2. 優先 RADIUS サーバーと代替 RADIUS サーバーに関して、各々の IP アドレスとサービスポートの値を該当欄に入力してください。
3. 「Timeout」(タイムアウト)の項目に、マトリックスマネジャーが RADIUS サーバーの応答を待機する最大時間(秒)を入力してください。
4. 「Retries」(再試行)の項目に、RADIUS サーバーを使ったログインの再試行可能回数を設定してください。
5. 「Shared Secret」(共有シークレット)の項目に、RADIUS サーバーとの認証で使用する共有シークレットの文字列を 6 文字以上で入力してください。
6. RADIUS サーバーでは、以下のいずれかの方法でユーザー認証を行うことができます。
  - RADIUS サーバー側とマトリックスマネジャー側で同じユーザーネームを使用する。
  - RADIUS サーバー側とマトリックスマネジャー側で同じグループネームを使用する。
  - RADIUS サーバー側とマトリックスマネジャー側で同じユーザーネーム、グループネームを使用する。

いずれの方法においても、ユーザーのアクセス権限は、グループユーザーがマトリックスマネージャーで作成された際に割り当てられた権限になります。

# ◆ LDAP/AD 認証設定

マトリックスマネージャーにログインするユーザーの認証および権限設定を LDAP/AD で行う場合は、以下の表をご参照ください。

| 項目                                  | 説明                                                                                                                                     |
|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Enable<br>(有効にする)                   | LDAP/AD による認証および権限設定を行う場合は、この項目にチェックを入れてください。                                                                                          |
| Enable SSL<br>(SSL を有効にする)          | SSL 接続を有効にする場合は、この項目にチェックを入れてください。                                                                                                     |
| LDAP Server IP/Port<br>(サーバーIP/ポート) | LDAP/AD サーバーの IP アドレスやポート番号を入力してください。<br>◆ LDAP サーバーの IP アドレスは、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、ドメイン名を使って設定できます。<br>◆ LDAP サーバーのデフォルトポート番号は 389 です。 |
| Timeout<br>(タイムアウト)                 | マトリックスマネージャーが LDAP/AD サーバーの応答を待機する時間(秒)を設定してください。                                                                                      |

(表は次のページに続きます)

| 項目                          | 説明                                                                               |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| Admin DN<br>(アドミニストレーターDN)  | この項目に入力する値はLDAP/LDAPS サーバーの管理者にご確認ください。以下、設定例です。<br><br>ou=kn4132,dc=aten,dc=com |
| Admin Name<br>(アドミニストレーター名) | LDAP アドミニストレーターのユーザーネームを入力してください。                                                |
| Password<br>(パスワード)         | LDAP アドミニストレーターのパスワードを入力してください。                                                  |
| Search DN<br>(サーチ DN)       | 検索ベースの識別名を設定してください。これはユーザーネームの検索を開始する DNS 名です。                                   |

LDAP/LDAPS サーバーでは、下記のいずれかの方法でユーザー認証を行うことができます。

➤ Active Directory スキーマを使用

**注意:** この方法でユーザー認証を行う場合、MS Active Directory 用の LDAP スキーマを拡張する必要があります。スキーマを使用しない場合は、マトリックスマネジャー側で使用されているユーザーネームと LDAP/AD サーバー上での名前を一致させます。ユーザー権限は、マトリックスマネジャー側で設定された内容と同じです。

- スキーマを使用せず、製品上で使用されているユーザーネームだけを LDAP/LDAPS サーバー上の名前に一致させる。ユーザー権限はマトリックスマネジャー側で設定されている権限と同じ。
- スキーマを使用せず、Active Directory で使用されているグループだけを一致させる。ユーザー権限は、マトリックスマネジャーにおいて、そのユーザーが属しているグループに設定されている権限と同じ。
- スキーマを使用せず、Active Directory のユーザーネームとグループを一致させる。ユーザー権限は、マトリックスマネジャーにおいて、そのユーザーが属しているグループとユーザーに設定されている権限と同じ。

◆ TACACS+ 設定

▼ TACACS+ Settings

☐ Enable

|                                       |                                 |
|---------------------------------------|---------------------------------|
| Preferred TACACS+ Server              | <input type="text"/>            |
| Preferred TACACS+ Server Port         | <input type="text" value="49"/> |
| Shared Secret (at least 6 characters) | <input type="text"/>            |
| <hr/>                                 |                                 |
| Alternate TACACS+ Server              | <input type="text"/>            |
| Alternate TACACS+ Server Port         | <input type="text" value="49"/> |
| Shared Secret (at least 6 characters) | <input type="text"/>            |

➤ TACACS+ を有効にし、次の情報を入力してください。

- ✧ 優先 TACACS+ サーバー
- ✧ 優先 TACACS+ サービスポート
- ✧ 共有シークレット 1
- ✧ 代替 TACACS+ サーバー
- ✧ 代替 TACACS+ サービスポート
- ✧ 共有シークレット 2



## ファームウェアアップグレード

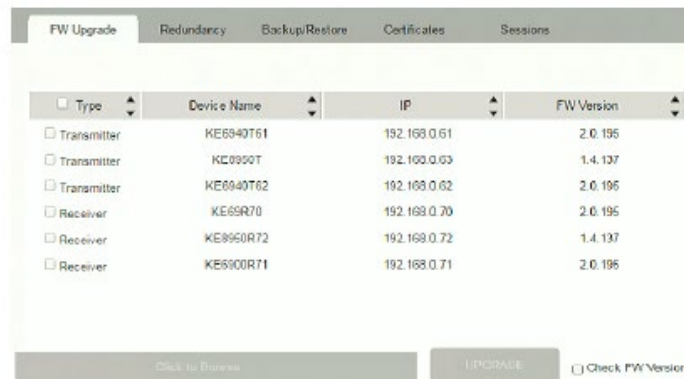
---

「FW Upgrade」(ファームウェアアップグレード)メニューでは、オンライン状態の KE デバイスがすべて一覧表示されますので、アップグレードしたいデバイスを、ここから選択することができます。製品のファームウェアは新しいバージョンがリリースされると、弊社 Web サイトに公開され、ダウンロードできるようになります。定期的にこのダウンロードサイトにアクセスしていただき、ファームウェアのアップグレードを行うことで、最新の機能をご利用いただけます。<https://www.aten.com/jp/ja/>

ファームウェアは実行形式のファイルもあります。詳細の手順は p.374「第 12 章ファームウェアのアップグレード」を参照してください。

ファームウェアのアップグレードを行う場合は、以下の手順に従って操作を行ってください。

1. 弊社ダウンロードサイトにアクセスし、KE デバイスのファームウェアアップグレードパッケージをダウンロードしてください。  
ダウンロードは、1) 製品ページ内の「サポートとダウンロード」メニューからアクセス、または、2) ホームページのトップページの右上に表示される(表示画面のサイズによっては画面左上に三本線のアイコンが表示されるので、それをクリックすると表示される)「サポートとダウンロード」→「ダウンロード」→「他の製品の資料をダウンロードする」に型番を入力して検索する方法で行えます。
2. Web ブラウザからアドミニストレーターのアカウントでマトリックスマネージャーにログインしてください。
3. 「Settings」(設定)アイコンをクリックしたら、「FW Upgrade」(ファームウェアアップグレード)タブを選択してください。そうすると、「FW Upgrade」(ファームウェアアップグレード)画面が表示されます。



アップグレード可能なデバイスがすべて一覧に表示されます。

**注意:** このとき、一覧に表示されるのはオンライン状態のデバイスだけです。オフライン状態のデバイスはアップグレードの対象外となります。

4. アップグレードの対象となる機器にチェックを入れてください。また、アップグレードしない機器のチェックボックスからはチェックを外してください。
5. 「**Browse**」(参照)をクリックし、ファームウェアアップグレードファイルが保存されているフォルダーに移動し、該当ファイルを選択してください。
6. 「Check FW Version」(ファームウェアバージョンをチェックする)の項目を有効または無効にしてください。
  - ◆ 「Check FW Version」(ファームウェアバージョンをチェックする)の項目を有効にした場合、現在のファームウェアとアップグレードファイルとでバージョンの比較を行います。現在のバージョンがアップグレードファイルのバージョンと同じか、これより新しい場合は、この状況を説明するメッセージがポップアップダイアログに表示され、アップグレード処理が中断されます。
  - ◆ 「Check FW Version」(ファームウェアバージョンをチェックする)の項目を有効にしなかった場合、バージョンの比較は行われず、アップグレードファイルがインストールされます。
  - ◆ ファームウェアのアップグレードを中止した場合は、12 秒程度待機してから、「Check Firmware Version」(ファームウェアバージョンをチェックする)の項目からチェックを外し、アップグレードを再度行うようにしてください。
7. 「**Upgrade**」(アップグレード)をクリックしてアップグレード処理を開始してください。アップグレード処理の進行状況は画面に表示されます。アップグレードが正常に終了すると、機器はリセットされます。

8. ログインして、ファームウェアバージョンが更新されていることを確認してください。

## ファームウェアアップグレードリカバリー

アップグレード成功画面が表示されない、または、(コンピューターの故障や停電などの理由で)アップグレード処理が正常終了しなかった場合、機器が操作できなくなる可能性があります。アップグレードに失敗したり中断したりして、機器が操作できなくなった場合には、以下の手順に従ってリカバリーを行ってください。

1. KE デバイスの電源を切ってください。
2. 「**Reset**」(リセット)ボタンを押したままにして、KE デバイスに電源を入れてください。
3. KE デバイスに電源が入った後、「**Reset**」(リセット)ボタンを7秒間押したままにしてください。
4. この操作で、KE デバイスは前のファームウェアバージョンに戻り、エラーからの回復処理を行います。
5. ファームウェアを最新のバージョンにアップグレードしてください。

## 二重化

---

「Redundancy」(二重化)タブでは、マトリクスマネジャーを稼働させているコンピューターがオフライン状態になった場合に備えて、バックアップ用のコンピューターの設定を行います。ここで設定を行っておくと、マトリクスマネジャーがオフライン状態になった場合、セカンダリーのコンピューターが自動的に処理を引き継ぎますので、すべての接続は切断されることなく続きます。ただし、オフライン発生後の約 30 秒間は、新しい接続を開始することができません。プライマリーのコンピューターがオンライン状態に戻ると、セカンダリーのコンピューターで発生した変更内容をデータベースから取得し、マトリクスマネジャーのすべての処理を回復させます。

二重化の設定を行うには、下記の手順で操作してください。

1. CCKM サーバーを二重化(冗長化)させるために、まずはセカンダリーサーバーからセットアップを行います。USB ライセンスキーを使って、セカンダリーのコンピューターにマトリクスマネジャーをインストールしてください。手順の詳細は p.226 を参照してください。

---

**注意:** セットアップで KE シリーズのデバイスを 9 台以上使用する場合は、セカンダリーコンピューターに KE マトリクスマネジャーをインストールする際に、USB ライセンスキーがもう 1 つ必要になります。

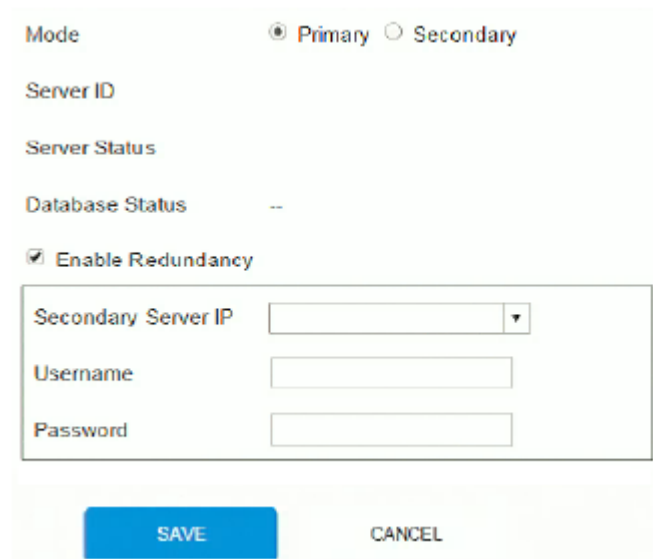
---

2. インストール後、別売りの USB ライセンスキーを接続し、「一般」のシリアルナンバー(p227)をクリックして CCKM の制限解除を行ってください。解除に成功すると、「クリックしてアップグレードする」から USB ライセンスキーのシリアルナンバーの表示に変わります。
3. セカンダリーのコンピューター側からマトリクスマネジャーにログインし、「」アイコンをクリックしたら、「Redundancy」(二重化)タブを開いてください。

The screenshot shows a configuration window with the following elements:

- Tabbed interface: General, ANMS, FW Upgrade, **Redundancy**, Backup/Restore, Certificates, Sessions.
- Mode: ☐ Primary ☒ Secondary
- Server ID: [Empty text field]
- Server Status: [Empty text field]
- Database Status: [Empty text field]
- ☒ Enable Redundancy
- Primary Server IP: [Dropdown menu]
- Buttons: SAVE, CANCEL

4. 「**Enable Redundancy**」(二重化を有効にする)の項目にチェックを入れ、「**Secondary**」(セカンダリー)ラジオボタンを選択してください。
5. 「**Primary Server IP**」(プライマリーサーバーIP)ドロップダウンメニューから、プライマリーコンピューターの IP アドレスを選択してください。
6. 「**Save**」(保存)をクリックしてください。
7. これで、セカンダリーコンピューターで二重化が有効になります。
8. プライマリーサーバーも同様に手順1のようにインストールを行ってください。  
二重化の機能を使用するにはプライマリー、セカンダリーの各サーバーにそれぞれ USB ライセンスキーが必要となります。
9. プライマリーコンピューター側からマトリクスマネージャーにログインし、「」アイコンをクリックしたら、「Redundancy」(二重化)タブを開いてください。



Mode ☒ Primary ☐ Secondary

Server ID

Server Status

Database Status --

☒ Enable Redundancy

Secondary Server IP

Username

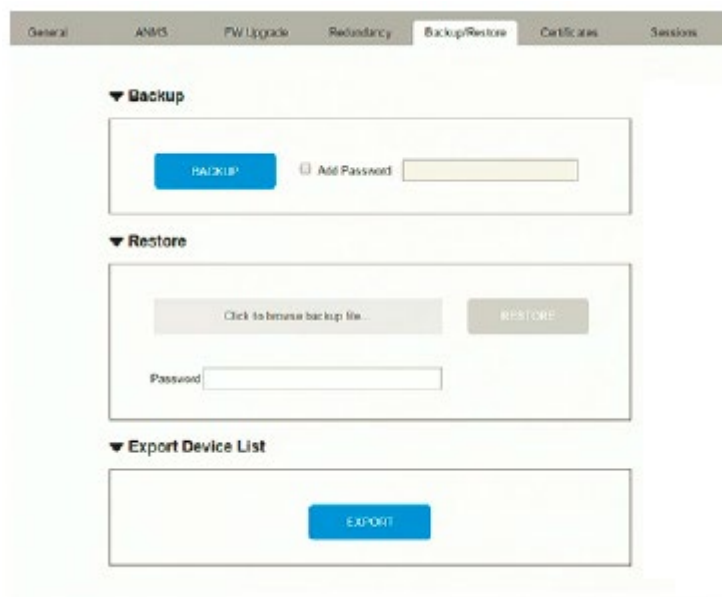
Password

SAVE CANCEL

10. 「**Enable Redundancy**」(二重化を有効にする)の項目にチェックを入れ、「**Primary**」(プライマリー)ラジオボタンを選択してください。
11. 「**Secondary Server IP**」(セカンダリーサーバーIP)ドロップダウンメニューから、セカンダリーコンピュータの IP アドレスを選択してください。
12. セカンダリーコンピュータのローカルアドミニストレーターのアカウントの**ユーザーネーム**と**パスワード**を入力してください。
13. 「**Save**」(保存)をクリックしてください。
14. 二重化の状態に関する情報は、イベントログで確認することができます (p.310「ログ」参照)。

## バックアップ/リストア

「Backup/Restore」(バックアップ/リストア)タブは、「**Backup**」(バックアップ)、「**Restore**」(リストア)、「**Export Device List**」(デバイス一覧のエクスポート)の3つのパネルに分かれています。



バックアップ/リストアの実行方法は、下表のとおりです。

| 項目                                    | 説明                                                                                                                                                                                                                            |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Backup<br>(バックアップ)                    | マトリックスマネジャーの設定内容(レシーバー/トランスミッター/プロフィール/スケジュールの設定、ユーザーおよびグループアカウント、ユーザープロフィール、ログ、システム設定)をバックアップとして保存します。                                                                                                                       |
| Restore<br>(リストア)                     | 現在の設定内容(レシーバー/トランスミッター/プロフィール/スケジュールの設定、ユーザーおよびグループアカウント、ユーザープロフィール、ログ、システム設定)を削除し、バックアップした内容に変更します。                                                                                                                          |
| Export Device List<br>(デバイス一覧のエクスポート) | 「 <b>Export</b> 」(エクスポート)をクリックすると、マトリックスマネジャーに追加された全デバイスの一覧をファイルに保存します。ファイルには、各トランスミッターおよびレシーバーの ID、名前、説明、IP アドレスといった情報が含まれます。また、「Existing」(既存)列にはデバイスの状態が表示されます。デバイスが存在し、利用可能な場合は「Yes」が、オフライン状態または削除されている場合は「No」がそれぞれ表示されます。 |

## バックアップ

システム設定をバックアップする場合は、以下の手順で操作してください。

1. (オプション)「Backup」(バックアップ)パネルで、「Add Password」(パスワードの追加)の項目にチェックを入れたら、バックアップファイルのパスワードを設定してください。

---

**注意:** パスワードの設定はセキュリティ機能の一つです。パスワードを設定している場合は、同じファイルで設定をリストアする際にも同一のパスワードを入力する必要があります。

---

2. 「Backup」(バックアップ)をクリックしてください。
3. 表示されたダイアログで、「Save」(保存)をクリックし、お使いのコンピューターのハードディスクの適当な場所に、設定ファイル(System.conf)を保存してください。
4. ファイルを保存したいディレクトリに移動し、ファイルを保存したら、「Save」(保存)をクリックしてください。

## リストア

システム設定をリストアする場合は、以下の手順で操作してください。

1. 「Restore」(リストア)パネルで、「Browse」(参照)をクリックしてください。
2. バックアップファイルのあるディレクトリに移動し、ファイルを選択してください。
3. 「Backup/Restore」(バックアップ/リストア)画面に戻ったら、このバックアップファイルを作成した際に設定したパスワードを入力してください。

---

**注意:** ファイルにパスワードを設定していない場合は、入力する必要はありません。

---

4. 「Restore」(リストア)をクリックしてください。
5. 「OK」をクリックし、設定内容がリストアされたことを確認してください。  
リストアの実行中には、マトリックスマネジャーが再起動する旨を伝えるメッセージが表示されます。しばらくすると、マトリックスマネジャーは終了し、ログイン画面が再度表示されます。再起動が完了すると、先ほどバックアップファイルからリストアされた設定内容が有効になっています。



## 証明書

このタブでは、プライベート証明書に関する情報を提供します。

The screenshot shows the 'Certificates' tab in a web interface. It displays details for a private certificate issued to ATEN INTERNATIONAL CO., LTD. The interface includes tabs for General, ANNS, FW Upgrade, Redundancy, Backup/Restore, Certificates, and Sessions. The 'Issued To' section lists fields: Common Name (CN), Organization (O), Organization Unit (OU), Country (C), State or Province (ST), Locality (L), Email Address (E), and Serial Number. The 'Issued By' section lists: Common Name (CN), Organization (O), and Organization Unit (OU). The 'Validity' section shows 'Issued On' and 'Expires On' dates. The 'Fingerprints' section shows the SHA1 Fingerprint. At the bottom, there are four buttons: NEW, GET CSR, IMPORT, and RESTORE DEFAULT.

| Issued To              |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| Common Name (CN)       | ATEN INTERNATIONAL CO., LTD |
| Organization (O)       | ATEN INTERNATIONAL CO., LTD |
| Organization Unit (OU) | R&D                         |
| Country (C)            | TW                          |
| State or Province (ST) | New Taipei City             |
| Locality (L)           | Sylin District              |
| Email Address (E)      | eservice@aten.com.tw        |
| Serial Number          | 00 5D 5D A9 CA 7F 4D B5 38  |

| Issued By              |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| Common Name (CN)       | ATEN INTERNATIONAL CO., LTD |
| Organization (O)       | ATEN INTERNATIONAL CO., LTD |
| Organization Unit (OU) | R&D                         |

| Validity   |                     |
|------------|---------------------|
| Issued On  | 2016/03/17 05:46:43 |
| Expires On | 2026/03/16 05:46:43 |

| Fingerprints     |                                                             |
|------------------|-------------------------------------------------------------|
| SHA1 Fingerprint | EE 55 7F 72 13 B7 A9 4D 00 32 E8 A0 A3 8C 9F 4B C8 65 B5 A5 |

NEW GET CSR IMPORT RESTORE DEFAULT

## プライベート証明書

SSL 接続でログインすると、ユーザーが意図するサイトにログインしようとしているかどうかを検証するために署名済み証明書が使われます。デフォルトの ATEN 証明書を使うのではなく、このセクションで自分のプライベート暗号キーと署名済み証明書を使うように設定することで、セキュリティを強化することができます。

プライベート証明書の作成方法には、自己署名された証明書を作成する方法と、サードパーティーの証明局(CA)によって署名された証明書をインポートする方法の 2 つの方法があります。

### ◆ 自己署名済み証明書の作成

自己署名済み証明書を作成する場合は、「openssl.exe」というフリーツールをインターネットでダウンロードして使うことができます。OpenSSL を使って自身のプライベートキーと SSL 証明書を作成する方法の詳細については p.461「自己署名(プライベート)証明書」をご参照ください。

#### ◆ CA 署名済み SSL サーバー証明書の取得

セキュリティを強化するために、サードパーティーの認証局(CA)によって署名された証明書を使うことを推奨します。サードパーティーによって署名された証明書を取得する場合は、認証局の Web サイトにアクセスし、SSL 証明書を申請してください。CA から証明書が送られてきたら、お使いのコンピューターのハードディスクドライブの適当なフォルダーに保存してください。

#### ◆ プライベート証明書のインポート

プライベート証明書をインポートする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. 下図のように「Private Certificate」(プライベート証明書)画面の下部にある「**Import**」(インポート)をクリックしてください。



2. 「Certificate Filename」(証明書ファイル名)の右にある「**参照**」ボタンをクリックして、ダイアログからプライベート暗号キーのファイルがあるフォルダーに移動し、このファイルを選択してください。
3. 「**Import**」(インポート)をクリックして操作を完了してください。

---

**注意:** 「**Restore Default**」(デフォルトをリストアする)をクリックすると、KE デバイスはデフォルトの ATEN 証明書を使用ようになります。

---

## 証明書署名要求

証明書署名要求のセクションでは、CA 署名済み SSL サーバー証明書の取得とインストールを自動的に行います。

この操作を行う場合は、以下の手順に従ってください。

1. 「**New**」(新規)をクリックしてください。下図のようなダイアログボックスが表示されます。

2. 下表の例を参考にしながら、お使いのサイトで有効な値をフォームに入力してください。

| 情報                                      | 例                                                                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Country (2 letter code)<br>(国(2文字のコード)) | TW                                                                                                                                                                                              |
| State or Province<br>(都道府県)             | Taiwan                                                                                                                                                                                          |
| Locality<br>(市区町村)                      | Taipei                                                                                                                                                                                          |
| Organization<br>(会社)                    | Your Company, Ltd.                                                                                                                                                                              |
| Organization Unit<br>(部署)               | Tech Department                                                                                                                                                                                 |
| Common Name<br>(コモンネーム)                 | mycompany.com<br><b>注意:</b> ここには証明書を有効にしたいサイトのドメイン名を正確に入力してください。もし、サイトのドメイン名が「 <a href="http://www.mycompany.com">www.mycompany.com</a> 」で、この欄に「mycompany.com」とだけしか入力しなかったとしたら、この証明書は有効にはなりません。 |
| Email Address<br>(メールアドレス)              | administrator@yourcompany.com                                                                                                                                                                   |

3. フォームへの入力(全項目への入力が必要)が完了したら、「**Create**」(作成)をクリックしてください。

先ほど入力した情報に基づいて作成された自己署名済み証明書が、マトリクスマネージャーに保存されます。

4. 「Get CSR」(CSR を取得する)をクリックし、お使いのコンピューターの適当なフォルダーに、証明書ファイル(csr.cer)を保存してください。  
これは、署名済み SSL 証明書の申請にサードパーティーの認証局に提出が必要となるファイルです。
5. 認証局から証明書が送られて来たら、お使いのコンピューターの適当なフォルダーに、この証明書を保存してください。「Import」(インポート)をクリックしてファイルを置いてください。それから、また「Import」(インポート)をクリックして、これをマトリックスマネージャーに保存してください。

---

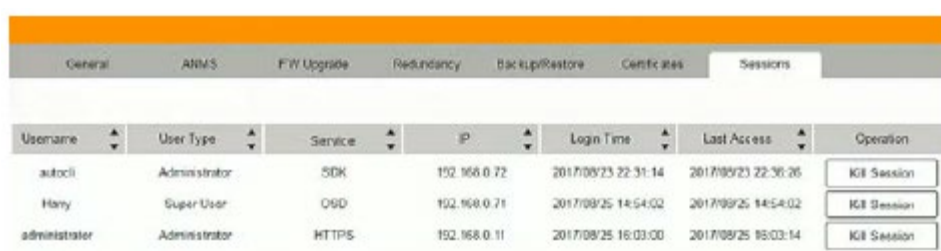
**注意:** ファイルをアップロードすると、マトリックスマネージャーではファイルのチェックを行い、特定の情報が一致しているかどうかを確認します。もし、一致しているのであれば、このファイルを受け入れ、一致しなければこのファイルを拒否します。

---

(例えば、ドメイン名の変更で新しい証明書に置き換えたいなどの理由で)証明書を削除する場合は、「Restore Defaults」(デフォルトをリストアする)をクリックしてください。

## セッション

「Sessions」(セッション)タブでは、マトリックスマネジャーや OSD セッションにログイン中の全ユーザーが表示され、各セッションについて、「誰が」、「どこから」、「いつ」ログインしているかという情報が提供されます。この画面では、ユーザーを選択して、そのユーザーの隣にある「Kill Session」(セッションを切断)ボタンをクリックすることで、アドミニストレーターがユーザーを強制ログアウトさせることもできます。



| Username      | User Type     | Service | IP           | Login Time          | Last Access         | Operation    |
|---------------|---------------|---------|--------------|---------------------|---------------------|--------------|
| autcli        | Administrator | SDK     | 192.168.0.72 | 2017/09/25 22:31:14 | 2017/09/25 22:36:26 | Kill Session |
| Hany          | Super User    | OSD     | 192.168.0.71 | 2017/09/25 14:54:02 | 2017/09/25 14:54:02 | Kill Session |
| administrator | Administrator | HTTPS   | 192.168.0.11 | 2017/09/25 16:03:00 | 2017/09/25 16:03:14 | Kill Session |

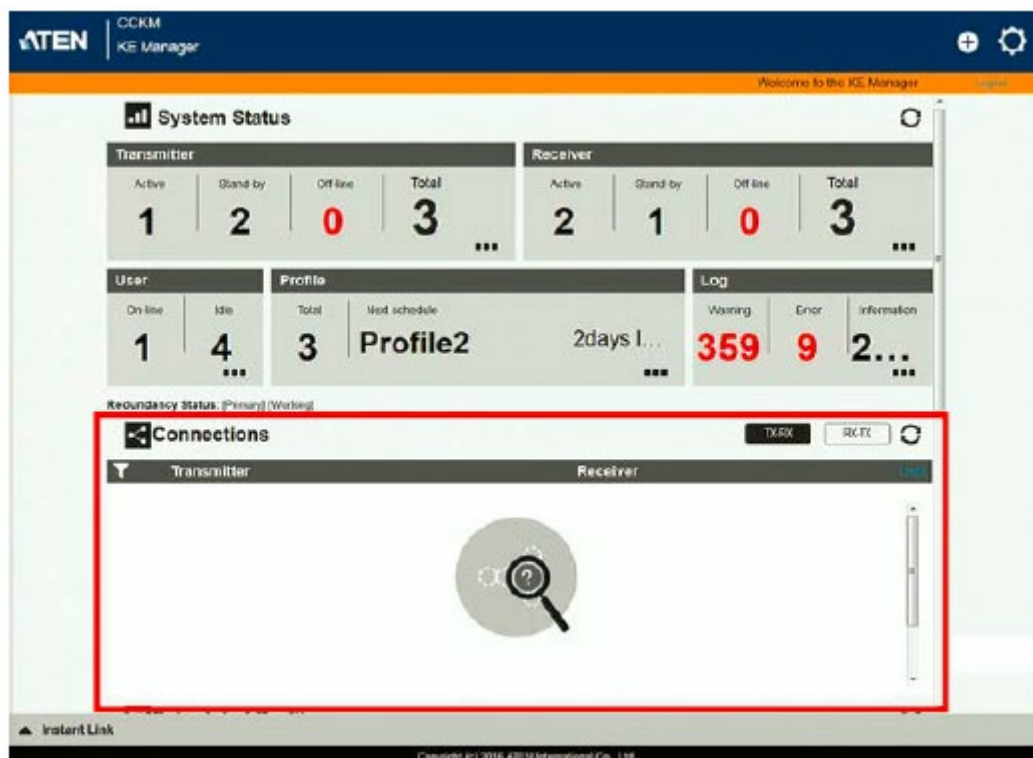
- ◆ 「Username」(ユーザーネーム)列には、レシーバーにログインし、接続を確立したユーザーを表します。
- ◆ 「User Type」(ユーザータイプ)列には、ログインユーザーのアカウントの種類を表します。
- ◆ 「Service」(サービス)列には、ユーザーが、マトリックスマネジャー、コマンドライン、OSD のどれでセッションにログインしているかを表します。
- ◆ 「IP」列には、ユーザーがログインに使用しているデバイスの IP アドレスを表します。
- ◆ 「Login Time」(ログイン時間)列には、ユーザーがマトリックスマネジャーまたは OSD のセッションにログインした日時を表します。
- ◆ 「Last Access」(最終アクセス)列には、このユーザーのセッションが最後にアクティブになり使用された時間を表します。
- ◆ 「Operation」(操作)列には、ユーザーを強制ログアウトさせる「Kill Session」(セッション終了)ボタンが提供されています。

## 第8章 接続

### 概要

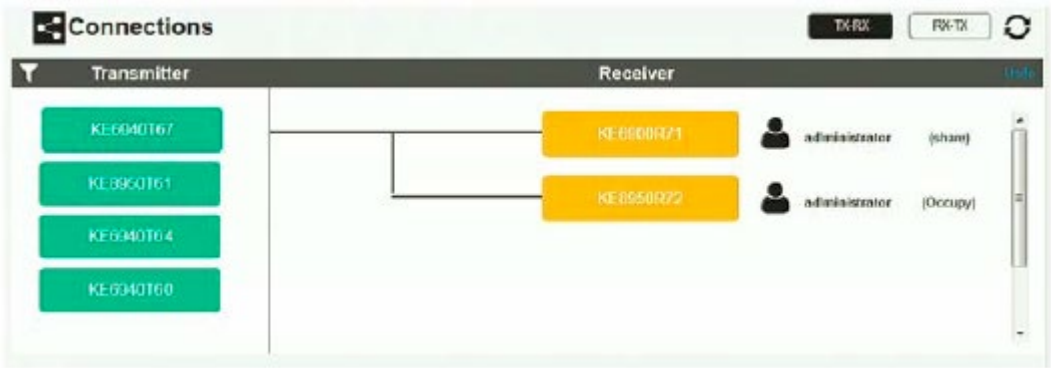
「Connection」(接続)パネルは、マトリクスマネジャーのメイン画面で「System Status」(システムの状態)の真下に表示されます。ここには、現在のトランスミッターからレシーバーへの接続が図で表されています。接続が確立されていないと、下図のようにパネルがブランクで表示されます。レシーバーからトランスミッターに接続するには、「Instant Link」(簡易リンク)を使うか(p.241 参照)、接続プロファイルを作成してください(p.303 参照)。

接続後に左側の列にあるデバイスをクリックすると、接続を参照することができます。右側の列にある接続図の上にマウスカーソルを重ねて動かすと、接続のセクションで説明するようにデバイスとの接続を切断することができます。



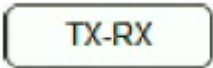
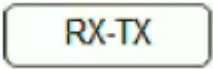
# 接続

レシーバーがトランスミッターに接続すると、その接続が「Connections」(接続)パネルに表示されます。ここには 2 列あり、それぞれにトランスミッターまたはレシーバーが一覧表示されます。列は、「TX-RX」または「RX-TX」ボタンをクリックすることで入れ替えることができます。左側の列にあるデバイスをクリックすると、デバイスに対する接続が右側の列に表示されます。右側に表示されている接続は、接続図の上にある「X」をクリックすることで切断することができます。



| 項目                                                                                  | 説明                                                                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 「Connections」(接続)の下にある見出しのバーで、このアイコンをクリックすると、左側に一覧表示されているトランスミッターまたはレシーバーの表示順を変更します。                                                |
| 左の列                                                                                 | 左の列にあるデバイスをクリックすると、そのデバイスの接続を右の列で参照することができます。右の列には、その接続デバイスの図が表示されます。                                                               |
| 右の列                                                                                 | 左の列にあるデバイスが選択されると、右の列には接続図が表示されます。マウスを図の上に重ねて動かし「X」をクリックすると、デバイスとの接続を切断します。この列には、ユーザーおよび接続の確立に用いられているアクセスタイプ(排他、占有、共有、参照のみ)が表示されます。 |
| Transmitter<br>(トランスミッター)                                                           | オンライン状態で、なおかつレシーバーに接続しているトランスミッターが一覧表示されます。                                                                                         |

(表は次のページに続きます)

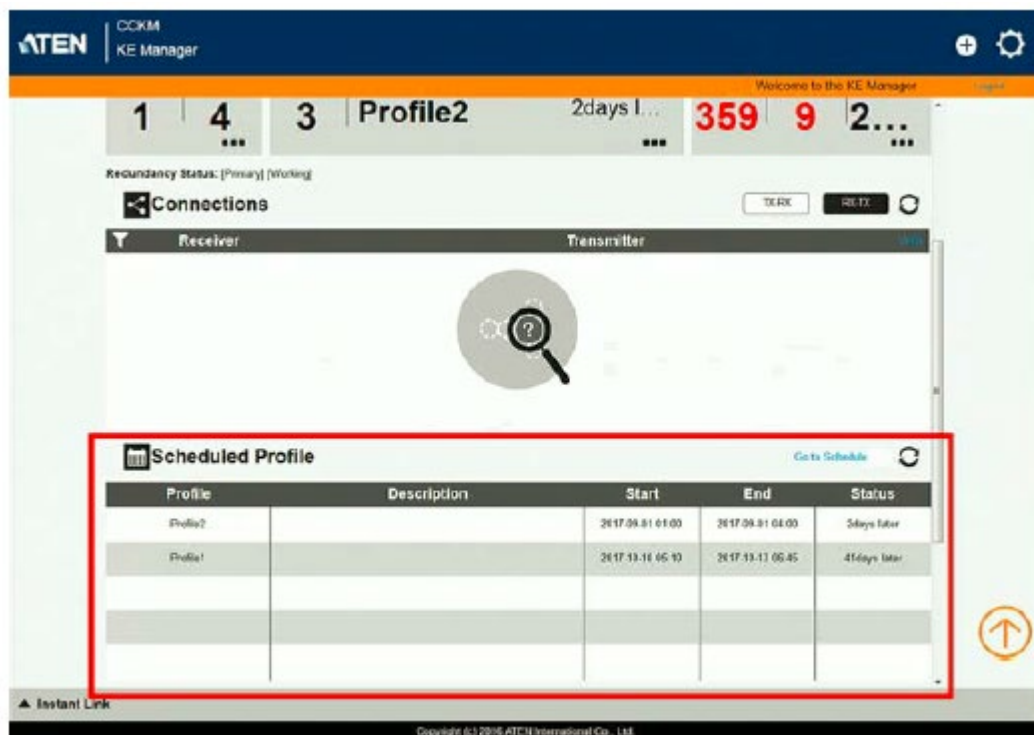
| 項目                                                                                | 説明                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Receiver<br>(レシーバー)                                                               | オンライン状態で、なおかつトランスミッターに接続しているレシーバーが一覧表示されます。                                                                      |
|  | クリックすると、トランスミッターからレシーバーへの接続を参照することができます。このボタンをクリックすると、左の列にトランスミッターが一覧表示され、ここから選択されたトランスミッターに関連した接続図を参照することができます。 |
|  | クリックすると、レシーバーからトランスミッターへの接続を参照することができます。このボタンをクリックすると、左の列にレシーバーが一覧表示され、ここから選択されたレシーバーに関連した接続図を参照することができます。       |
|  | このアイコンをクリックすると、接続パネルにおけるトランスミッターとレシーバーの一覧を更新します。                                                                 |
| Undo<br>(取り消し)                                                                    | このアイコンをクリックすると、直近に行われた接続の切断操作を取り消します。                                                                            |



## 第9章 スケジューリングされたプロファイル

### 概要

「Scheduled Profile」(スケジューリングされたプロファイル)パネルは、マトリックスマネジャーのメイン画面で「Connections」(接続)の真下に表示されます。スケジューリングされたプロファイルには、実行が予定されている接続プロファイルが表示されます。「Go to Schedule」(スケジュールに進む)をクリックすると、プロファイルのスケジュールを編集したり作成したりすることができます(p.308 参照)。プロファイルの作成方法については、p.303 を参照してください。



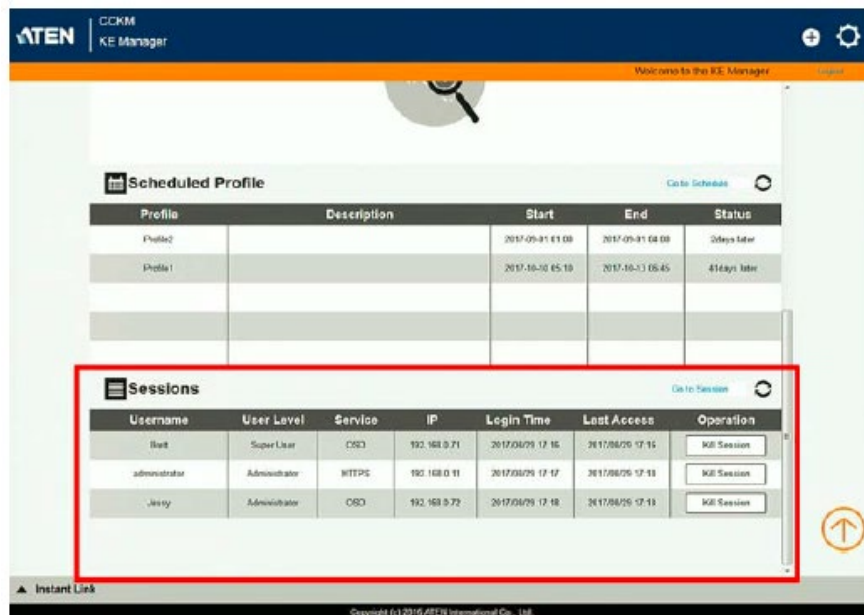
| 項目                                                                                | 説明                                                                                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 列名                                                                                | ここにはスケジュールの名前、説明、開始日時、終了日時、および状態が表示されます。「 <b>Start</b> 」(開始)にはスケジュールの開始日時が、「 <b>End</b> 」(終了)にはスケジュールの終了日時が、それぞれ表示されます。また、「 <b>Status</b> 」(状態)には、次のスケジュールが実行されるまでの日数が表示されます。 |
| Go to Schedule<br>(スケジュールに進む)                                                     | ここをクリックすると、「Profile」(プロフィール)の設定画面を表示し、ここで接続プロフィールの作成や編集を行うことができます。詳細については、p.303「プロフィール」を参照してください。                                                                             |
|  | このアイコンをクリックすると、右の列における接続一覧を更新します。                                                                                                                                             |
| Undo<br>(取り消し)                                                                    | このアイコンをクリックすると、直近に行われた接続の切断操作を取り消します。                                                                                                                                         |

# 第 10 章

## セッション

### 概要

「Sessions」(セッション) パネルは、マトリクスマネジャーのメイン画面で「Scheduled Profile」(スケジューリングされたプロファイル)の真下に表示されます。ここには、デバイスやマトリクスマネジャーの Web GUI にログインしているユーザーに関する情報が表示されます。「Go to Sessions」(セッションに進む)をクリックすると、設定画面を参照することができます (p.339 参照)。



| 項目                                                                                  | 説明                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 列名                                                                                  | ここには各ユーザーセッションに関する情報(ユーザーネーム、ユーザーレベル、サービス、IP、ログイン時間、最終アクセス)が表示されます。各列名に関する詳細は、p.339「セッション」を参照してください。 |
| Go to Sessions<br>(セッションに進む)                                                        | ここをクリックすると、このパネルに表示されているものと同じ情報が提供されている「Sessions」(セッション)の設定画面を表示します。                                 |
|  | このアイコンをクリックすると、セッション一覧を更新します。                                                                        |

# 第 11 章

## リモートビューワー (AiT モデル限定)

### はじめに

---

AiT モデルにビデオソースが接続されている場合、リモートビューワーを使用することで、これらのビデオソースに対してローカルシステムと同様の操作感でアクセスすることができます。

このビューワーを起動すると、ウィンドウが立ち上がり、リモートサーバーのコンソールの内容が表示されます。

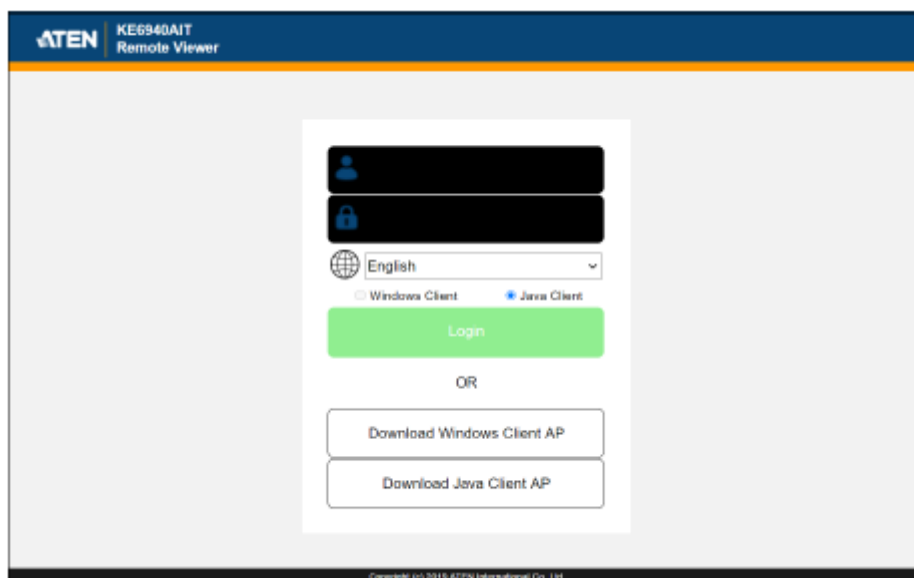
- ◆ ウィンドウは、最大化したり、枠をドラッグすることでサイズを変更したり、スクロールバーを使って画面内での位置を移動したりすることができます。
- ◆ ネットワークの遅延によって、キー入力の表示に若干時間がかかる場合があります。また、マウスのクリックは、リモートマウスがローカルマウスの動きに追いついてから操作するようにしてください。
- ◆ ネットワークの遅延、またはローカルマシンの電力不足によって、一部のイメージ(特に動画)の表示品質が劣化する場合があります。

リモートサーバーにアクセスするには、次に示すとおり、いくつかの方法があります。

1. Web ブラウザ GUI から直接アクセスする **Windows ビューワー**
2. Web ブラウザ GUI から直接アクセスする **Java ビューワー**
3. **Windows クライアントビューワーAP** (ブラウザ不使用)。ブラウザのログイン画面では、「Download Windows Client AP」(Windows クライアント AP のダウンロード)というボタンを利用することができます。詳細は p.349「Windows/Java クライアント AP」を参照してください。
4. **Java クライアントビューワーAP** (ブラウザ不使用)。このコントロールは Windows クライアントビューワーと同じであるため、p.353「コントロールパネル」を参照してください。

## Windows/Java クライアントビューワー (Web アクセス)

Windows/Java クライアントビューワーは、Web ブラウザ経由でアクセスすることができます。



リモートビューワーのログイン画面で、ユーザーネームとパスワードを入力したら、「**Login**」(ログイン)をクリックしてください。ログイン言語は、ドロップダウンメニューから変更することができます。

数秒経つと、お使いのデスクトップにビデオソースの画面がウィンドウ形式で表示されます。



コントロール/アクセスは、コントロールパネルに配置されています。詳細については p.353「コントロールパネル」を参照してください。

デフォルトでは、Internet Explorer を既定のブラウザにしている場合は、Windows クライアントビューワーが使用されます。その他のブラウザを既定のブラウザにしている場合は、Java クライアントビューワーが使用されます。

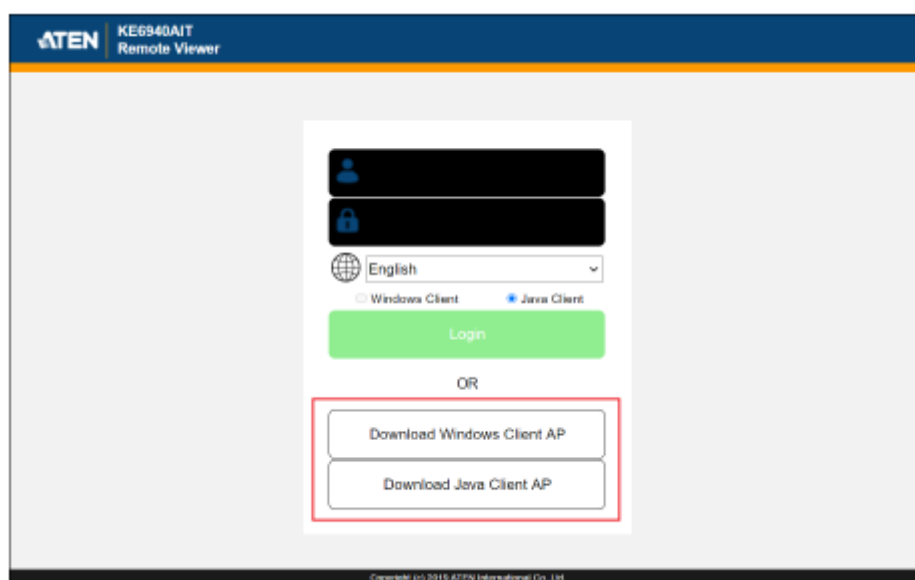
既定のブラウザが Internet Explorer で、なおかつユーザー設定を手動で Java クライアントにした場合も、Java クライアントビューワーが使用されます。

## Windows/Java クライアント AP

---

### ダウンロード

スタンドアロン版の Windows または Java クライアントプログラムをダウンロードするには、ブラウザのログイン画面にアクセスし、使用するクライアントプログラムに応じて、「**Download Windows Client AP**」(Windows クライアント AP のダウンロード) ボタン、または「**Download Java Client AP**」(Java クライアント AP のダウンロード) ボタンをクリックしてください。



---

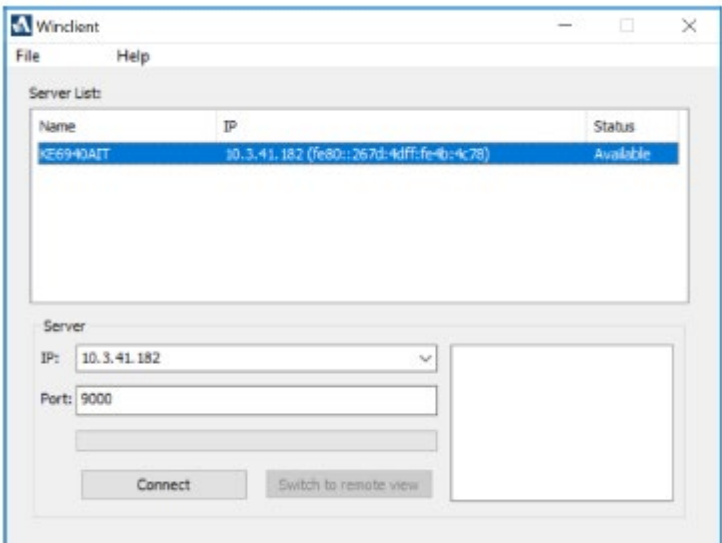
**注意:** お使いのコンピューターに JRE 6 Update 3 以降のバージョンがインストールされていることをご確認ください。なお、Java は、Java Web サイト(<https://www.java.com/ja/>)から無償でダウンロードできます。

---

起動

AP を初めて起動する場合は、Windows/Java クライアント AP を右クリックしてから、「管理者として実行」をクリックしてください。

そうすると、下図のようなクライアントの接続画面が表示され、各ユニットが一覧形式で表示されます。ここでは、Windows クライアントを例に説明します。



| 項目                       | 説明                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Server List<br>(サーバーリスト) | クライアントプログラムを起動すると、ユーザーのローカル LAN セグメントにある AiT ユニットの自動検出し、リストに表示します。ユニットにアクセスする場合は、対象となるデバイスをダブルクリックして接続してください。                                                                                       |
| Server<br>(サーバー)         | 接続したい AiT ユニットが離れた場所にある場合、LAN 上で検出することはできません。このような場合には、ご自身で IP アドレスとポートを入力してください。<br>ポート番号がご不明な場合は、IP-KVM エクステンダーの管理者にご確認ください。<br>接続対象となるユニットの IP アドレスとポート番号を指定したら、「Connect」(接続)をクリックして接続を開始してください。 |

(表は次のページに続きます)



| 項目                                   | 説明                                                      |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| Connect<br>(接続)                      | AiT ユニットへの接続を開始します。                                     |
| Disconnect<br>(切断)                   | これらのボタンは、AiT ユニットにログインするとアクティブになります。                    |
| Switch to remote view<br>(リモート表示に切替) |                                                         |
| メッセージパネル                             | 「Server」(サーバー)セクションの右側にある空白のボックスには、サーバー接続の現在の状態が表示されます。 |

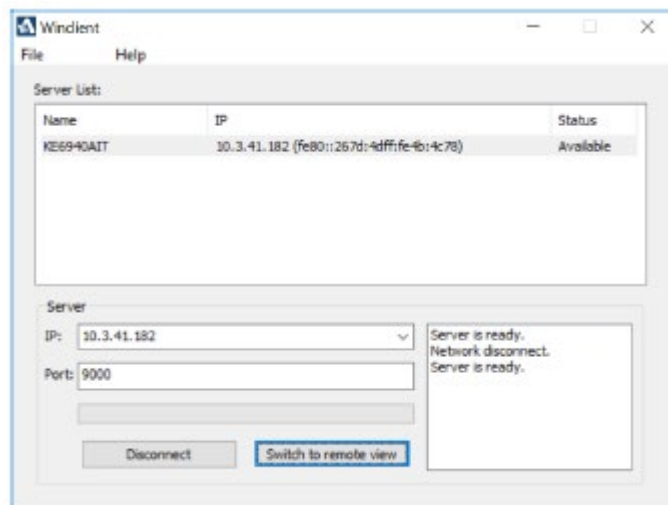
1. ユニットをダブルクリックしてください。ユニットに接続すると、ログイン画面が表示されます。



2. 有効なユーザーネームとパスワードを入力し、「OK」をクリックして操作を続行してください。

**注意:** デフォルトのユーザーネームは「administrator」、パスワードは「password」です。

ログインに成功すると、接続画面に戻ります。



このとき、2 つのボタンがアクティブになります。説明は下表のとおりです。

| ボタン                                  | アクション                                                                                 |
|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| Disconnect<br>(切断)                   | ユニットへの接続を切断します。                                                                       |
| Switch to remote view<br>(リモート表示に切替) | このボタンをクリックすると、ユーザーのデスクトップ上にウィンドウが開いて、ブラウザベースの Windows クライアントと同じようにリモートサーバーの画面が表示されます。 |

3. 「**Switch to remote view**」(リモート表示に切替)をクリックして、リモートサーバーにアクセスしてください。

リモートアクセスのインターフェースの詳細については、p.353「コントロールパネル」を参照してください。

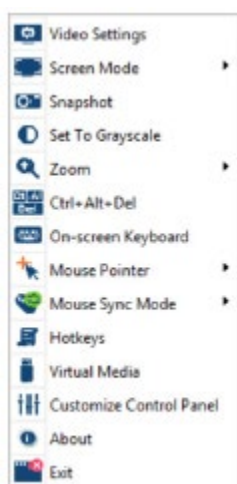
## コントロールパネル

コントロールパネルは、画面の上部または下部中央で非表示になっています(デフォルトは上部中央)。これはマウスポインターを重ねると表示されます。



- 注意:**
1. 上図はコントロールパネル全体を示しています。表示されるアイコンはカスタマイズできます。詳細については、p.371「コントロールパネルの設定」を参照してください。
  2. コントロールパネルを画面上の別の場所に移動するには、コントロールパネルをクリックしてドラッグしてください。

- ◆ パネルは2つの行から構成されています。
- ◆ 2行目には、リモート画面のビデオ解像度、ユーザーが使用しているバス、およびコントロールパネルツールバーのメニュー形式版用にクリックできる情報ボタンが表示されます(以下を参照)。
- ◆ メニュー形式のコントロールパネルは、2行目の領域を右クリックすることでも表示できます。このメニューでは、スクリーンモード、ズーム、マウスポインターの種類、およびマウス同期モードのオプションを選択できます。これらの機能については、後続のセクションで説明します。



## コントロールパネルの機能

コントロールパネルの機能を以下の表に示します。

| アイコン                                                                                | 機能                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | これはトグルボタンです。クリックすると、コントロールパネルを常に他の画面の上に表示します。もう一度クリックすると、通常の状態に戻します。                                                                                                           |
|    | クリックすると、「Video Options」(ビデオオプション)ダイアログボックスを表示します(詳細は p.359「ビデオ設定」参照)。                                                                                                          |
|    | フルスクリーンモードとウィンドウモードを交互に切り替えます。                                                                                                                                                 |
|    | クリックすると、リモート画面のスナップショット(画面キャプチャ)を取得します。スナップショットに関するパラメーターの設定方法については p.372「スナップショット」を参照してください。                                                                                  |
|   | クリックすると、リモート画面の表示をカラーとグレースケールで交互に切り替えます。                                                                                                                                       |
|  | クリックすると、リモート画面のウィンドウをズーム表示します。<br><b>注意:</b> この機能はウィンドウモード(フルスクリーンモードが OFF)でのみ使用できます。詳細については p.367「ズーム」を参照してください。                                                              |
|  | クリックすると、[Ctrl] + [Alt] + [Delete]の信号がリモートシステムに送信されます。                                                                                                                          |
|  | クリックすると、オンスクリーンキーボード(p.368 参照)を起動します。                                                                                                                                          |
|  | クリックすると、マウスポインターの種類を選択します。<br><b>注意:</b> このアイコンは、選択されたマウスポインターの種類に応じて変わります(p.369「マウスポインターの種類」参照)。                                                                              |
|  | クリックすると、マウスの自動同期と手動同期を交互に切り替えます。<br>◆ 「Automatic」(自動)を選択すると、アイコンに緑色のマークが表示されます。<br>◆ 「Manual」(手動)を選択すると、アイコンに赤色のマークが表示されます。<br><br>この機能に関する詳細については、p.370「マウスダイナシクモード」をご参照ください。 |

(表は次のページに続きます)

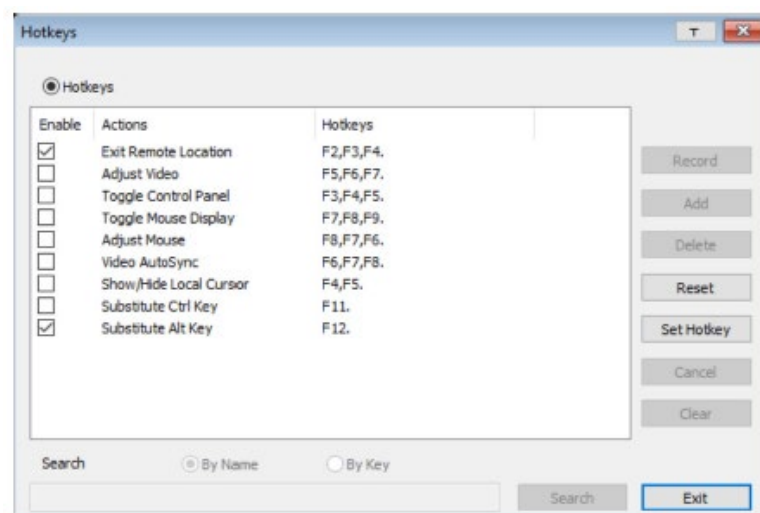
| アイコン                                                                                | 機能                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p>これらのアイコンは、リモートコンピューターにおける[Num Lock]、[Caps Lock]、[Scroll Lock]各キーの状態を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ロック状態が ON の場合、LED は明るいオレンジ色に点灯します。</li> <li>◆ ロック状態が OFF の場合、LED は鈍い青色になります。</li> </ul> <p>アイコンをクリックすると、状態を切り替えます。</p> <p><b>注意:</b>これらのアイコンとローカルキーボードのアイコンは同期しています。アイコンをクリックすると、それに応じてキーボードの対応する LED が変化します。同様に、キーボードのロックキーを押すと、アイコンの色がそれに応じて変化します。</p> |
|    | <p>クリックすると、マクロダイアログボックスを表示します(詳細は p.356「マクロ」を参照)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|  | <p>クリックすると、「Virtual Media」(バーチャルメディア)ダイアログボックスを起動します。バーチャルメディアのデバイスがポートにマウントされると、アイコンが変わります。詳細については p.363「バーチャルメディア」を参照してください。</p> <p><b>注意:</b>この機能が無効、または利用不可の状態になると、このアイコンはグレーで表示されます。</p>                                                                                                                                                                                      |
|  | <p>クリックすると、コントロールパネルの設定ダイアログを表示します。コントロールパネルの設定の詳細については、p.371 を参照してください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

## マクロ

マクロアイコンは、マクロダイアログボックスの3つの機能(ホットキー、ユーザーマクロ、システムマクロ)にアクセスすることができます。これらの機能については、以下のセクションで説明します。

### ホットキー

コントロールパネルのアイコンをクリックして実行されるアクションは、キーボードから入力されたホットキーで直接実行することができます。「Hotkeys」(ホットキー)のラジオボタンを選択すると、アクションを実行するホットキーを設定することができます。アクションは左側に、また、そのアクションを行うホットキーはその右側に、それぞれ表示されます。アクション名の左側のチェックボックスを使用してホットキーの有効/無効を設定してください。



デフォルトのホットキーの組み合わせでは不都合が生じる場合は、下記の手順でホットキーを変更することができます。

1. 対象となるアクションをリストから選択し、「**Set Hotkey**」(ホットキーの設定)をクリックしてください。
2. 選択したファンクションキーを 1 つずつ押してください。そうすると、押されたキーの名前が「**Hotkey**」(ホットキー)欄に表示されます。
  - ◆ キー入力の順番が同じでなければ、同一ファンクションキーを複数のアクションに使用することができます。
  - ◆ ホットキーの設定を取り消す場合は「**Cancel**」(キャンセル)ボタンをクリックしてください。また、アクションの「Hotkey」(ホットキー)欄を消去するには「**Clear**」(クリア)ボタンをクリック

してください。

3. マクロキーの順番を入力し終えたら、「**Save**」(保存)ボタンをクリックしてください。

ホットキーの設定をすべてデフォルト値にリセットするには、「**Reset**」(リセット) ボタンをクリックしてください。

ホットキーアクションの内容は下表のとおりです。

| アクション           | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| リモート操作の終了       | リモートビューを終了します。これは、コントロールパネルの「Exit」(終了)アイコンをクリックするのと同じです。デフォルトでは、[F2][F3][F4]に設定されています。                                                                                                                                                                                                     |
| ビデオの調整          | 「Video Settings」(ビデオ設定)ダイアログボックスを表示します。これは、コントロールパネルの「Video Settings」(ビデオ設定)アイコンをクリックするのと同じです。デフォルトでは[F5][F6][F7]に設定されています。                                                                                                                                                                |
| コントロールパネルの切替    | コントロールパネルの <b>ON</b> と <b>OFF</b> を切り替えます。デフォルトでは[F3][F4][F5]に設定されています。                                                                                                                                                                                                                    |
| マウス表示の切替        | ローカルとリモートの2つのマウスポインターが表示されて操作しづらい場合は、この機能を使用して、機能しない方のマウスポインターを最小化することで見やすくすることができます。この機能はトグル式であるため、同じホットキーを再度入力するとマウス表示を元の設定に戻します。これは、コントロールパネルの「Mouse Pointer」(マウスポインター)アイコンをクリックし、「Dot」(ドット)ポインターの種類を選択するのと同じです。デフォルトでは[F7][F8][F9]に設定されています。<br><b>注意:</b> Java コントロールパネルにはこの機能はありません。 |
| マウスの調整          | これにより、ローカルとリモートのマウスの動きが同期されます。デフォルトでは[F8][F7][F6]に設定されています。                                                                                                                                                                                                                                |
| ビデオの自動同期        | この組み合わせは、自動同期操作を実行します。これは、コントロールパネルの「Video Autosync」(ビデオの自動同期)アイコンをクリックするのと同じです。デフォルトでは[F6][F7][F8]に設定されています。                                                                                                                                                                              |
| ローカルカーソルの表示/非表示 | ローカルマウスのポインターの表示の <b>ON</b> と <b>OFF</b> を切り替えます。これは、コントロールパネルにある「Mouse Pointer」(マウスポインター)アイコンから「Null」(無)ポインタータイプを選択するのと同じです。デフォルトでは[F4][F5]に設定されています。                                                                                                                                     |

(表は次のページに続きます)

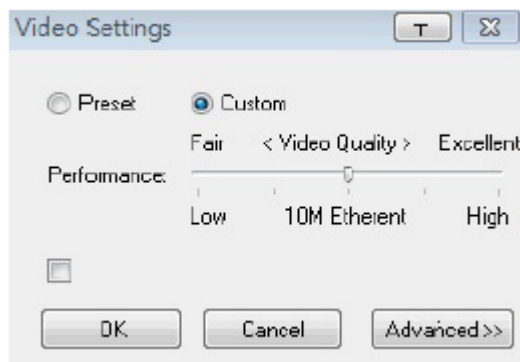
| アクション      | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代替 Ctrl キー | ローカルコンピュータが[Ctrl]キーの組み合わせをキャプチャし、ホットキーがリモートシステムに送信されない場合は、[Ctrl]キーの代わりとして使用するファンクションキーを指定することでリモートシステムに送信することができます。例えば、[F11]キーを[Ctrl]キーの代わりに使用する場合、[F11] + [5]と入力すると、リモートシステムでは[Ctrl] + [5]キーが押されたことになります。デフォルトでは[F11]キーに設定されています。                                                    |
| 代替 Alt キー  | 基本的にキーボードの入力はキャプチャされ、リモートシステムへ送られますが、[Alt] + [Tab]と[Ctrl] + [Alt] + [Del]はローカルコンピュータでのみ動作します。リモートシステムに対して[Alt] + [Tab]と[Ctrl] + [Alt] + [Del]の機能を実行したい場合には、任意のファンクションキーを[Alt]キーの代わりに設定することができます。例えば、[F12]を代替キーにした場合、[F12] + [Tab]と[Ctrl] + [F12] + [Del]と入力します。デフォルトでは[F12]に設定されています。 |





## ビデオ設定

「Video Settings」(ビデオ設定)ダイアログボックスでは、モニター上におけるリモート画面の表示位置および画質の調整を行います。



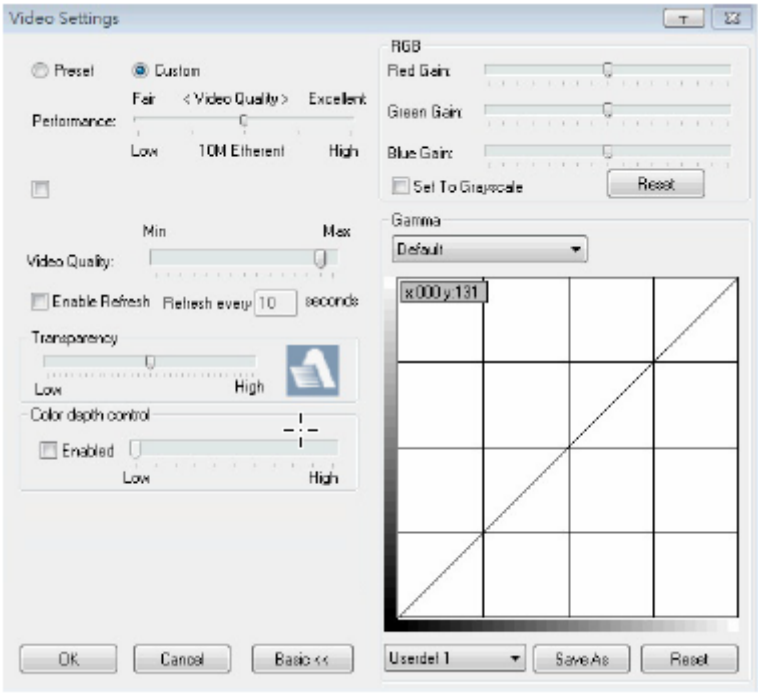
調整オプションは次のとおりです。

| オプション                                                                               | 使用方法                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | クリックすると、ビデオ設定ダイアログボックスの透明度を調節します。                                                                                                                                                                                                                       |
| Performance<br>(パフォーマンス)                                                            | ローカルクライアントコンピューターとユニットの間で使用されているインターネット接続のタイプを選択します。ユニットはここで選択した項目によって、ビデオ画質と検出許容値の各項目を自動的に調整し、ビデオの表示画質を最適化します。<br>ネットワークの状態が異なるため、プリセットのオプションでは不都合が生じるかもしれません。そのような場合には、「Customize」(カスタマイズ)を選択し、「Video Quality」(ビデオ画質)のスライダーを使って、お使いの環境に適した値に調節してください。 |
| Advanced (詳細設定)                                                                     | 詳細は、p.360 を参照してください。                                                                                                                                                                                                                                    |

ガンマ調整

操作を強化したり、リモート表示画面のガンマレベルを調整したりする必要がある場合は、「Advanced」(詳細) ボタンをクリックして、詳細ビデオ設定のガンマ機能を使用してください。

ガンマレベルには、10 種類のプリセットと4種類のユーザー定義レベルがあり、そこから選択することができます。ドロップダウンメニューをクリックして、最適なものを選択してください。



詳細設定画面の追加オプションは次のとおりです。

| オプション | 使用方法                                                                                                                                        |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| RGB   | スライダーバーをドラッグして RGB(赤、緑、青)の値を調整します。<br>RGB の値の増加に伴って、画像の RGB 要素も増加します。<br>「Set to Grayscale」(グレースケールに設定)の項目を有効にすると、<br>リモート画面をグレースケールで表示します。 |

(表は次のページに続きます)

| オプション                              | 機能                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Gamma<br>(ガンマ)                     | <p>このセクションでは、ビデオ表示のガンマレベルを調節できます。</p> <p>満足いく表示出力が得られるよう、希望する数のポイントで対角線をクリックしてドラッグしてください。</p> <p>上記の方法で変更した値をユーザー定義の設定として保存する場合は「Save As」(名前をつけて保存)をクリックしてください。ユーザー定義の値は最大 4 種類まで保存することができます。保存された値は、後でリストボックスから呼び出すことができます。</p> <p>変更内容を破棄し、ガンマ線を元の状態に戻す場合は、「Reset」(リセット)ボタンをクリックしてください。</p>                                                                                                                                                                                                          |
| Video Quality<br>(ビデオ品質)           | <p>スライダーバーをドラッグしてビデオ全体の画質を調整します。値が大きくなるにつれて、画像はより鮮明に、また、ネットワークに転送されるビデオデータの量はより大きくなります。ネットワークのバンド幅によっては、高い値を設定すると逆にレスポンス時間に影響を与える可能性があります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| Enable Refresh<br>(再読込を有効にする)      | <p>ユニットは、1～99 秒毎に画面を再描画し、ブロックノイズなどの歪みを除去します。「<b>Enable Refresh</b>」(再読込を有効にする)の項目にチェックを入れて、再描画の時間間隔を 1～99 の整数で入力してください。ユニットはここで設定された時間間隔で、画面を再描画します。この機能はデフォルトでは無効です。この機能を有効にするには、「Enable Refresh」(再読込を有効にする)の項目にチェックを入れてください。</p> <p><b>注意:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユニットは、マウスの動作が止まったタイミングでインターバル時間の計測を開始します。</li> <li>2. この機能を有効にするとネットワーク上に送信されるビデオデータの量が増加します。また、設定するインターバル時間の値が小さくなるに従って、ビデオデータの転送頻度が高くなります。この値を小さくしすぎると処理全体のレスポンスに影響を与える可能性がありますので、ご注意ください。</li> </ol> |
| Transparency<br>(透明度)              | <p>スライダーバーをドラッグして、リモート画面の透明度を調節します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| Color Depth Control<br>(色深度コントロール) | <p>この設定は、色情報の量を調整することによって、ビデオ表示の豊かさを決定します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

変更内容を保存し、ダイアログボックスを終了する場合は「**OK**」をクリックしてください。

変更内容を破棄し、ダイアログボックスを終了する場合は「**Cancel**」(キャンセル)をクリックしてください。

---

**注意:** 最適な結果を得るには、リモートコンピューターの画面を見ながら設定値の変更を行ってください。

---



## バーチャルメディア

バーチャルメディア機能を使用すると、ローカルクライアントコンピューター上のドライブ、フォルダー、イメージファイル、またはリムーバブルディスクを表示して、リモートサーバーにセットアップされているかのように動作させることができます。

また、この機能を使うことで、ローカルクライアントコンピューターに接続されたスマートカードリーダーを、リモートサーバーにセットアップされている機器のように扱うこともできます。

### バーチャルメディアのアイコン

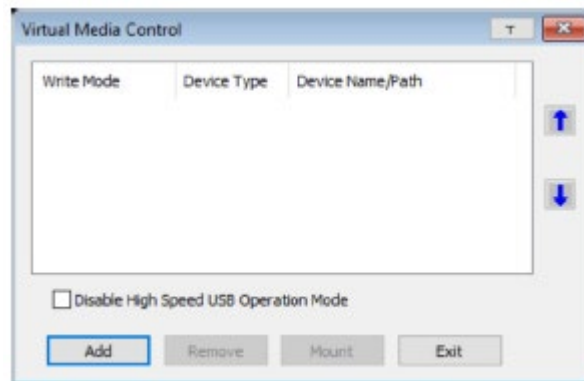
コントロールパネルのバーチャルメディアアイコンは、バーチャルメディア機能が利用可能かどうか、あるいは、バーチャルメディアデバイスがリモートサーバーにマウントされたかどうかを表します。各アイコンが示す機能の詳細は下表のとおりです。

| アイコン                                                                                | 機能                                                                                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | バーチャルメディア機能が無効または利用できない場合、このアイコンが表示されます。                                                        |
|  | バーチャルメディア機能が利用可能である場合、このアイコンが表示されます。このアイコンをクリックするとバーチャルメディアのダイアログボックスを表示します。                    |
|  | バーチャルメディアデバイスがリモートサーバー側にマウントされていると、このアイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると、リダイレクトされているデバイスはすべてマウントが解除されます。 |

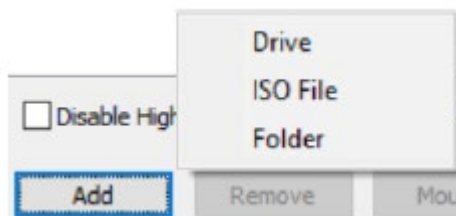
### バーチャルメディアのリダイレクト

バーチャルメディアのリダイレクト機能を実行する場合は、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. バーチャルメディアのアイコンをクリックして、「Virtual Media Control」(バーチャルメディア操作)ダイアログボックスを表示してください。



2. 「Add」(追加)ボタンをクリックし、ソースメディアを選択してください。

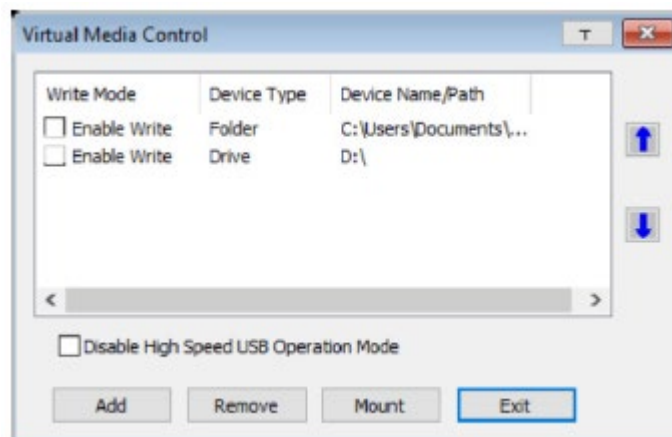


選択した項目によっては、ドライブ、ファイル、フォルダー、リムーバブルディスクを選択するダイアログボックスが追加で表示されます。各メディアのマウント方法の詳細については、p.482「対応バーチャルメディア」を参照してください。

3. ソースメディアを追加する場合は、「Add」(追加)ボタンをクリックして必要となるメディアをすべて選択してください。

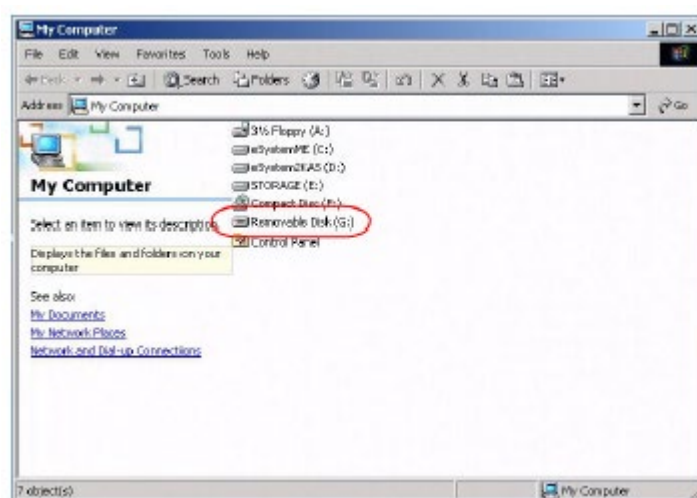
バーチャルメディアは最大3つまでマウントすることができます。また、リストの上位3つの項目は、選択済みのものです。選択された項目の順番を入れ替える場合は、移動対象となるデバイスを選択し、上下の矢印ボタンをクリックしてリスト内で位置を移動させてください。

4. 「Read」(読込)はリモートサーバーにデータを送信することのできるリダイレクトされたデバイスを、また「Write」(書込)はリモートサーバーからのデータが書き込み可能な状態になっているリダイレクトされたデバイスをそれぞれ指しています。デフォルトの設定では、**書き込み**は無効になっています(読み取り専用)。リダイレクトされたデバイスの読み取りと書き込みを同時に許可する場合は、「Enable Write」(書込を有効にする)の項目にチェックを入れてください。



- 
- 注意:**
1. リダイレクトされたデバイスに書き込みができない場合、またはユーザーに書き込みの操作権限がない場合、リスト中ではグレーで表示され、選択不可になります。
  2. 本製品が対応しているバーチャルメディアの種類については、p.482「対応バーチャルメディア」を参照してください。
- 

5. リストから項目を削除する場合は、対象となる項目を選択してから、「**Remove**」(削除) ボタンをクリックしてください。
6. ソースメディアの選択後に「**Mount**」(マウント) ボタンをクリックすると、ダイアログボックスは終了します。選択されたバーチャルメディアのデバイスはリモートシステムにリダイレクトされ、リモートシステムのドライブ、ファイル、およびフォルダーとして表示されます。



マウントされると、そのメディアがあたかもリモートサーバー上に存在するように扱うことができるため、ファイルをリモートサーバーにドラッグ & ドロップしたり、リモートシステムのファイル

を開いて、編集した後にリダイレクトされたメディアに保存したりすることができます。

リダイレクトされたメディアに保存したファイルは、実際にはローカル側のファイルシステムに保存されます。また、リダイレクトされたメディアからドラッグしたファイルは、実際にローカルシステム側から取得することになります。

7. リダイレクトを終了するには、コントロールパネルを表示してバーチャルメディアのアイコンをクリックしてください。そうすると、マウントされたデバイスはすべて自動的にマウントが解除されます。

## スマートカードリーダー

**注意:** この機能は Win クライアントビューワーまたは Windows クライアント AP の使用時にのみ利用可能です。

スマートカードリーダー機能を使うと、ローカルクライアントコンピューターの USB ポートに接続されたリーダーをリダイレクトし、リモートサーバーに接続されているように見せることができます。スマートカード(コモンアクセスカードなど)の目的の 1 つは、ローカルクライアントからリモートサーバーへの認証を許可するためです。

スマートカードリーダーがローカルクライアントコンピューターに接続されていると、「**Virtual Media Control**」(バーチャルメディア操作)ダイアログボックスを起動したときに、このエントリーが表示されるため、「**Add**」(追加)ボタンをクリックしてください。



メニューから適切なものを選択したら、「**Mount**」(マウント)をクリックしてリダイレクトを完了させてください。





## ズーム

ズームアイコンは、リモートビューウィンドウのズーム倍率を制御します。リモートビューのウィンドウをズーム表示します。設定内容は以下のとおりです。

| 設定   | 説明                                                                                                                                                      |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 100% | リモートビューのウィンドウを 100%の倍率で表示します。                                                                                                                           |
| 75%  | リモートビューのウィンドウを 75%の倍率で表示します。                                                                                                                            |
| 50%  | リモートビューのウィンドウを 50%の倍率で表示します。                                                                                                                            |
| 25%  | リモートビューのウィンドウを 25%の倍率で表示します。                                                                                                                            |
| 1:1  | リモートビューのウィンドウを 100%の倍率で表示します。この設定と100%設定の違いは、リモートビューウィンドウのサイズが変更されても、その内容はサイズ変更されず、元のサイズのままになることです。表示されていない部分を操作したい場合は、マウスをウィンドウの端に移動させ、画面をスクロールしてください。 |



## オンスクリーンキーボード

ユニットは、サポートされている各言語のすべての標準キーとともに、複数の言語で使用可能なオンスクリーンキーボードをサポートしています。このアイコンをクリックすると、オンスクリーンキーボードがポップアップ表示されます。



オンスクリーンキーボードの主な利点の 1 つは、リモートシステムとローカルシステムのキーボード言語が異なっていたとしても、どちらのシステムの構成設定も変更する必要がないことです。ユーザーは画面上のキーボードを呼び出すだけで、アクセスしているポートでコンピューターが使用している言語を選択し、画面上のキーボードを使用して通信することができます。

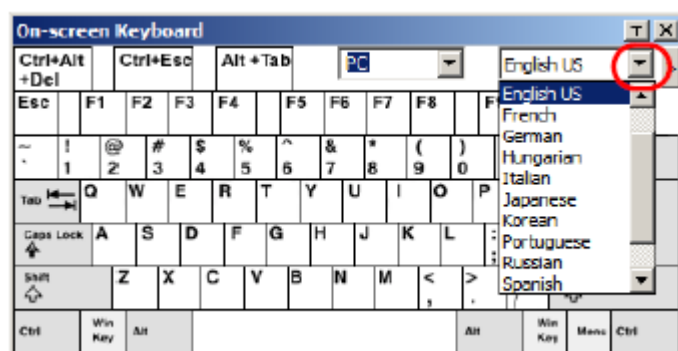
---

**注意:** オンスクリーンキーボードの操作はマウスで行ってください。実際のキーボードで操作することはできません。

---

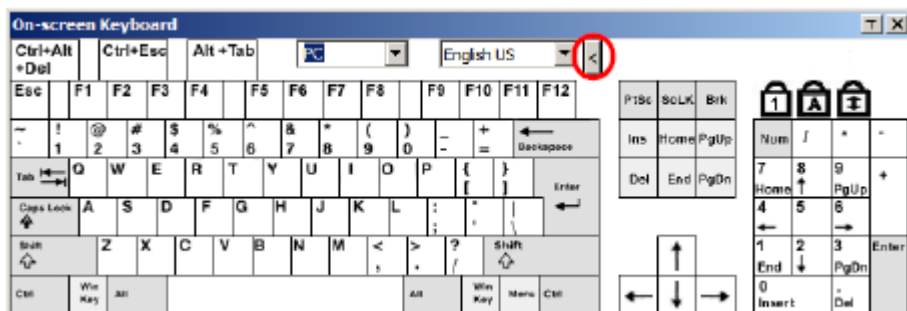
言語を変更するには、以下の手順で操作を行ってください。

1. 現在選択されている言語の隣にある三角ボタンをクリックし、リストを展開してください。



2. リストから新しい言語を選択してください。

展開したオンスクリーンキーボードのキーの表示/非表示を切り替えるには、言語選択リストの右隣にある矢印ボタンをクリックしてください。



## マウスポインターの種類

本製品は、リモート画面で使用するマウスカーソルのポインターを数種類提供しています。ポインターを変更する場合は、アイコンをクリックして、リストからポインターを選択してください。



- 
- 注意:**
- ドットポインターは、Java クライアントビューワーや Java クライアント AP では使用できません。
  - シングルポインターを選択すると、マウスポインターは「マウス表示の切替」のホットキーを実行した時と同じ状態になります(p.357 参照)。
  - コントロールパネルのアイコンは、現在使用しているポインターの種類に応じて変わります。
-



## マウスダイナシンクモード

このアイコンをクリックすると、ローカルとリモートのマウスポインターの同期を自動と手動のどちらで行うかを選択することができます。

ツールバーのアイコンは、同期モードの状態を次のように示します。

| アイコン | 機能                                                                                        |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | このアイコンの緑色のマークは、マウスダイナシンク機能が使用可能で、かつ <b>有効</b> であることを示します。これは、マウスダイナシンクが使用可能な場合のデフォルト設定です。 |
|      | このアイコンの赤いマークは、マウスダイナシンク機能は使用可能ではあるものの、 <b>無効</b> であることを示します。                              |

マウスダイナシンクが使用可能な場合、アイコンをクリックすると有効または無効が切り替わります。マウスのダイナシンクモードを無効にする場合は、次のセクションで説明する手動同期の手順を実行する必要があります。

### マウスの自動同期(ダイナシンク)

マウスのダイナシンク機能は、リモート/ローカルマウスのポインターを自動的に同期します。これにより、両者の動きを定期的に再同期する手間が軽減されます。

### 手動設定によるマウス同期

自動同期のマウスダイナシンクではなく、手動のマウス同期を行い、かつローカルとリモートのマウスポインターが同期を失った場合、いくつかの方法で再同期することができます。

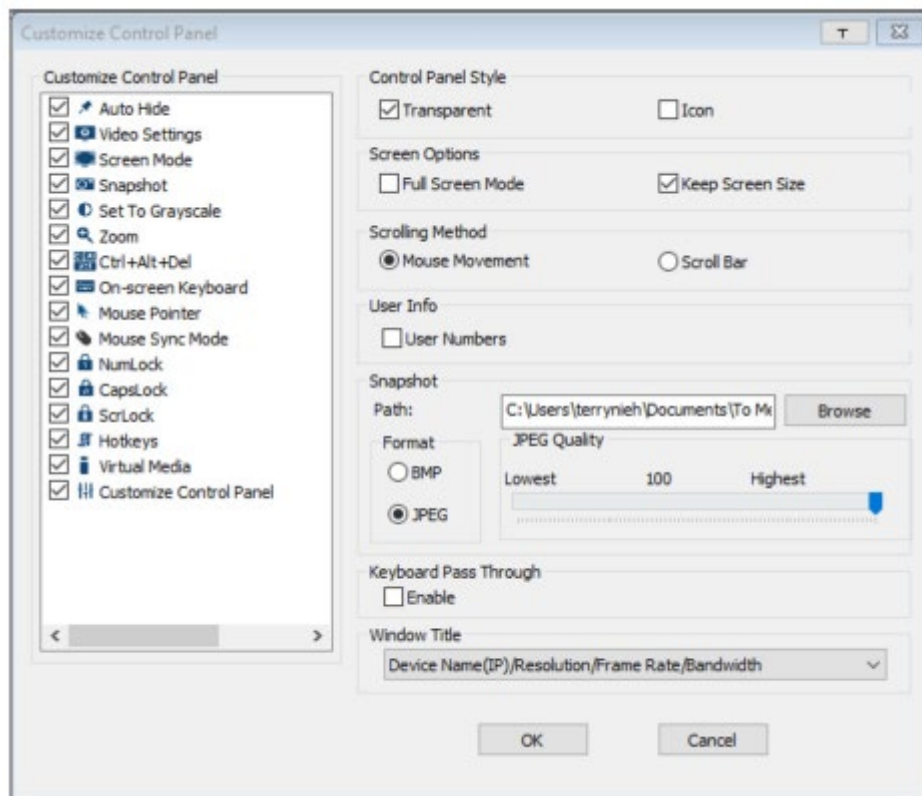
1. 「**Adjust Mouse**」(マウス調整)ホットキーを使用して、マウス調整機能を起動してください(詳細は p.357「マウスの調整」参照)。
2. 画面の四隅にマウスポインターを動かしてください(動かす順序は問いません)。
3. 画面上のコントロールパネルをドラッグして別の位置に移動させてください。
4. 製品に接続されているコンピューターのうち、マウスの同期に問題あるものを対象に、マウスポインターのオプション(速度、精度)の設定を行ってください。手順の詳細は p.479「その他のマウス同期方法」を参照してください。

|            |                                                                                                                                                                   |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>注意:</b> | <ol style="list-style-type: none"><li>1. マウスダイナシンクが使用できない時は、一度セッションを終了してから再度ビューワーを立ち上げて使用できるか、お試しください。</li><li>2. まれにビューワー起動時に USB デバイスの認識が失敗することがあります。</li></ol> |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



## コントロールパネルの設定

コントロールパネルの設定アイコンをクリックすると、コントロールパネルに表示するアイコンやコントロールパネルの外観の設定を行うダイアログボックスが表示されます。



ダイアログボックスは主に 5 つのセクションから構成されています。各部分の詳細は下表のとおりです。

| 項目                                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Customize Control Panel<br>(コントロールパネルのカスタマイズ) | コントロールパネルに表示するアイコンを選択することができます。                                                                                                                                                                                                        |
| Control Panel Style<br>(コントロールパネルのスタイル)       | <ul style="list-style-type: none"><li>◆ 「Transparent」(透明)の項目にチェックを入れると、コントロールパネルが半透明になり、下にあるオブジェクトを確認することができます。</li><li>◆ 「Icon」(アイコン)の項目にチェックを入れると、コントロールパネルの上にマウスを置くまでコントロールパネルがアイコンとして表示されます。マウスをアイコンの上に置くと、パネル全体が表示されます。</li></ul> |

(表は次のページに続きます)

| 項目                            | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Screen Options<br>(画面オプション)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「Full Screen Mode」(フルスクリーンモード)の項目にチェックが入っている場合、リモート画面はお使いのモニターにフルサイズで表示されます。</li> <li>◆ 「Full Screen Mode」(フルスクリーンモード)の項目にチェックが入っていない場合、リモート側の画面はローカルデスクトップのプログラムのようにウィンドウ形式で表示されます。リモート画面がウィンドウに収まりきらない大きさの場合は、スクロールバーが表示されます。</li> <li>◆ 「Keep Screen Size」(画面サイズを保持する)の項目にチェックが入っている場合、リモート画面のサイズは変更されません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ リモート側の画面の解像度がローカルモニターの画面の解像度より小さい場合、リモート側のデスクトップ画面はウィンドウ形式で画面の中央に表示されます。</li> <li>➤ リモート側の画面の解像度がローカルモニターの画面の解像度よりも大きい場合、リモート側のデスクトップ画面はローカルモニターの大きさに合わせてサイズ調整されます。</li> </ul> </li> <li>◆ 「Keep Screen Size」(画面サイズを保持する)の項目にチェックが入っていない場合、リモート側のデスクトップ画面はローカルモニターの解像度に合わせてサイズ変更されます。</li> </ul> |
| Scrolling Method<br>(スクロール方法) | <p>リモート画面の表示がモニターよりも大きい場合、画面外の領域にスクロールする方法を選択することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「Mouse Movement」(マウスの動き)を選択すると、マウスポインターを画面の境界に移動したときに画面がスクロールします。</li> <li>◆ 「Scroll Bar」(スクロールバー)を選択すると、画面の境界線の周りに表示されたスクロールバーを使用して画面外の領域にスクロールすることができます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| User Info<br>(ユーザー情報)         | <p>「User Numbers」(ユーザー数)の項目にチェックが入っている場合、現在ユニットにログインしているユーザーの合計がコントロールパネルの2行目にある解像度の隣に表示されます(表示例は p.353 のコントロールパネルの図を参照)。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

(表は次のページに続きます)

| 項目                                    | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Snapshot<br>(スナップショット)                | <p>この部分は、ユニットの画面キャプチャに関連する設定項目を定義します (詳細は p.353「Windows クライアントのコントロールパネル」のスナップショットを参照)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「Path」(パス)は、キャプチャした画面が自動的に保存されるディレクトリを選択できます。パスを指定する場合は、「<b>Browse</b>」(参照)ボタンをクリックし、対象となるフォルダーをダイアログから選択して「<b>OK</b>」ボタンをクリックしてください。ここでディレクトリを指定しない場合、スナップショットはデスクトップに保存されます。</li> <li>◆ キャプチャした画面のイメージの保存形式 (BMP、JPEG)をラジオボタンで選択してください。</li> <li>◆ JPEG を選択した場合は、キャプチャした画像の画質をスライダバーで調整することができます。画質を上げるとより鮮明な画像になりますが、ファイルサイズが大きくなります。</li> </ul> |
| Keyboard Pass Through<br>(キーボードパススルー) | <p>この項目が有効になっていると、[Alt] + [Tab]のキー入力のリモートデバイスに送られて実行されます。この項目が有効になっていない場合は、[Alt] + [Tab]のキー操作がローカルクライアントコンピューター上で実行されます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| Window Title<br>(ウィンドウタイトル)           | <p>ウィンドウタイトルに表示させるリモートサーバー情報を、ドロップダウンメニューから選択してください。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |

## 第 12 章

# ファームウェアのアップグレード

Window ベースのファームウェアアップグレードユーティリティを使用して、KE デバイスのファームウェアを自動的にアップグレードさせることができます。このユーティリティは、各製品に特有なファームウェアアップグレードパッケージの一部として提供されます。ファームウェアは新しいバージョンが利用可能になると、弊社の Web サイトに公開されます。このサイトにて、最新のファームウェアや関連情報を定期的にご確認ください。

<https://www.aten.com/jp/ja/>

ブラウザを使ったファームウェアのアップグレード方法については、p.327「ファームウェアアップグレード」を参照してください。

### 作業を始める前に

---

1. 製品に接続されていないコンピューターから弊社 Web サイト(<https://www.aten.com/jp/ja/>)にアクセスし、KE デバイスの最新ファームウェアアップグレードパッケージをダウンロードしてください。ダウンロードは、1) 製品ページ内の「サポートとダウンロード」メニューからアクセス、または、2) ホームページ右上に表示される(表示画面のサイズによっては画面左上に三本線のアイコンが表示されるので、それをクリックすると表示される)「サポートとダウンロード」→「ダウンロード」→「他の製品の資料をダウンロードする」に型番を入力して検索する方法で行えます。
2. インストールしたいファームウェアアップグレードパッケージ(通常は最新版)を選択し、このパッケージをお使いのコンピューターにダウンロードしてください。
3. このコンピューターが、KE デバイスと同一の LAN セグメントに接続していることを確認してください。



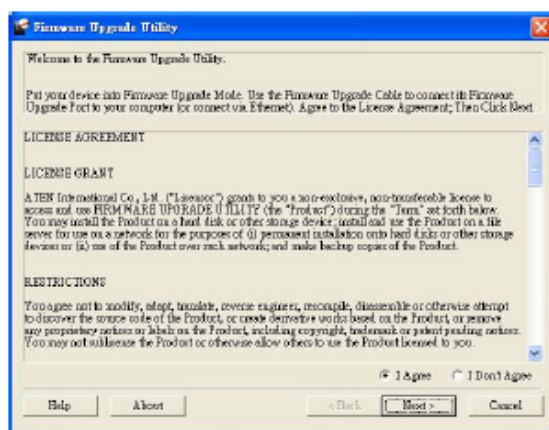
## アップグレードの開始

---

ファームウェアをアップグレードする場合は、以下の手順に従って操作してください。

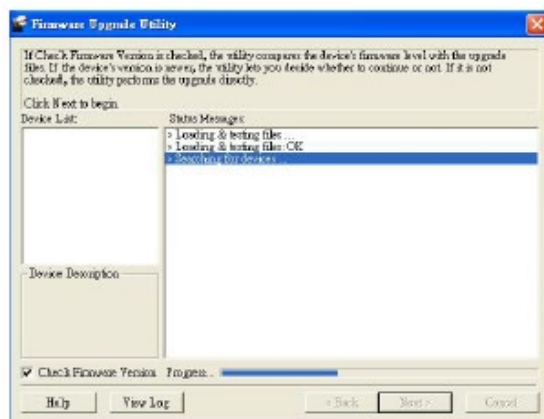
1. 実行形式のファイルをダブルクリックするか、フルパスをコマンドラインに指定するかして、ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージを実行してください。

「Firmware Upgrade Utility」の初期画面が表示されます。

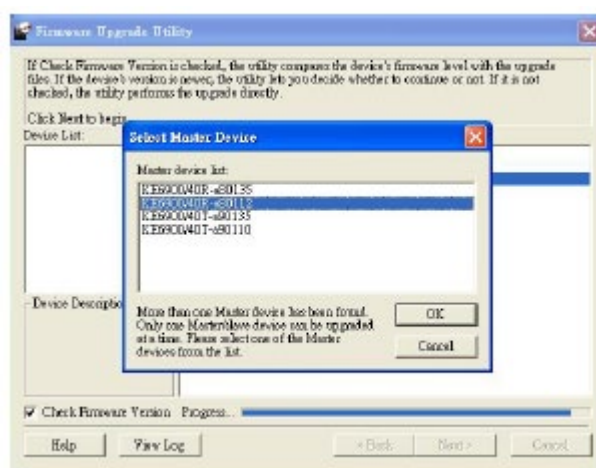


- 注意:**
1. この図は参照用です。ファームウェアアップグレードユーティリティで表示される実際の画面の言葉やレイアウトはこの例と多少異なることがあります。
  2. 実行形式の他にマトリクスマネジャー上でアップグレードができるファームウェアファイルが同梱されています。マトリクスマネジャーでは遠隔地のリモート PC からアップグレードができるという利点があります。手順の詳細は p.327 「ファームウェアアップグレード」をご確認ください。

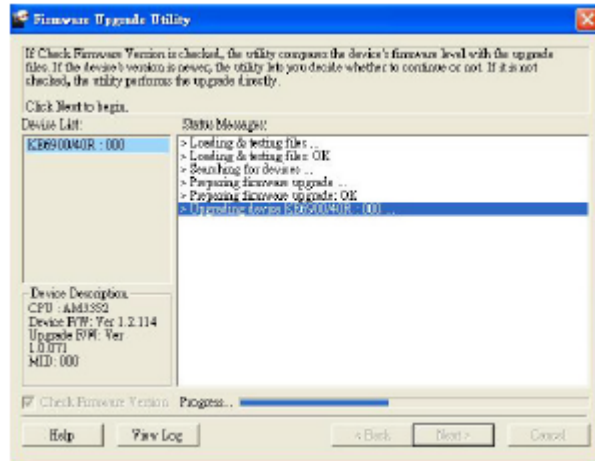
2. ライセンス使用許諾契約を確認してください(同意する場合は「I Agree」ラジオボタンを有効にしてください)。
3. 「Next」ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。



4. ユーティリティは、お使いの機器構成を確認します。そして、このパッケージでアップグレード可能なすべてのデバイスが、「Select Master Device」(マスターデバイスの選択)リストに表示されます。



5. デバイスを選択したら、「OK」をクリックしてください。そして、「Next」(次へ)をクリックしてアップグレードを開始してください。



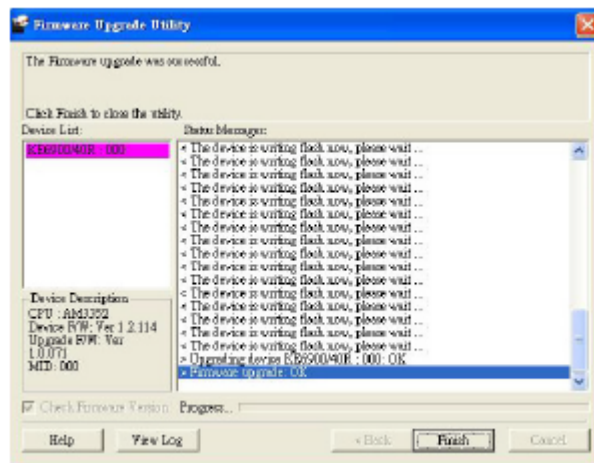
「Check Firmware Version」(ファームウェアバージョンを比較する)を有効にすると、ユーティリティはデバイスのファームウェアのバージョンとファームウェアアップグレードファイルのバージョンを比較します。デバイスのファームウェアのバージョンがアップグレードファイルのバージョンよりも新しければ、ダイアログボックスにその旨が表示されるので、このままアップグレードを続けるか、キャンセルするかを選択してください。

「Check Firmware Version」(ファームウェアバージョンを比較する)を有効にしなかった場合、ユーティリティはデバイスのファームウェアとアップグレードファイルのバージョンを比較せずにそのままインストールされます。

アップグレードの進行具合は「Status Messages」(ステータスメッセージ)パネルに表示され、またプログレスバーに進捗状況が表示されます。

## アップグレードの成功

アップグレードが完了すると、下図のような画面が表示され、アップグレードが成功したことを表します。



## ファームウェアアップグレードリカバリー

---

アップグレード成功画面が表示されない、または、(コンピューターの故障や停電などの理由で)アップグレード処理が正常終了なかった場合、機器が操作できなくなる可能性があります。アップグレードに失敗したり中断したりして、システムが正しく挙動しない、または、機器が操作できなくなった場合には、以下の手順に従ってリカバリーを行ってください。

1. KE デバイスの電源を切ってください。
2. 「**Reset**」(リセット)ボタンを押したままにして、KE デバイスに電源を入れてください。
3. KE デバイスに電源が入った後、「**Reset**」(リセット)ボタンを7秒間押したままにしてください。
4. この操作で、KE デバイスは前のファームウェアバージョンに戻り、エラーからの回復処理を行います。
5. ファームウェアを最新のバージョンにアップグレードしてください。

# 第 13 章

## CLI コマンド

### シリアル操作プロトコルコマンド

KE デバイスに搭載された双方向通信の RS-232 シリアルインターフェースと LAN ポート接続を使用すると、レシーバー経由でシリアルリモートコントローラーや PC を使ってシステムを制御することができます。この制御機能には、Telnet を使用して TCP/IP 経由でアクセスすることもできます。Telnet コマンド用のポートは 9130 を使用してください。

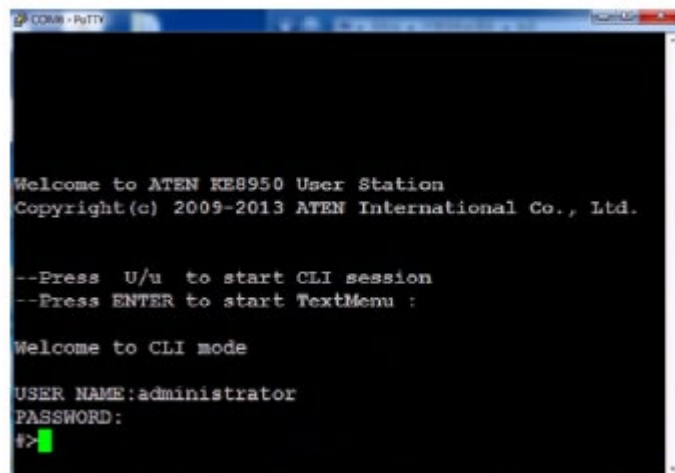
### シリアルポートの設定

コントローラーのシリアルポートは、下表を参考にしながら、レシーバーのデフォルト設定と同じになるように設定してください。

|           |       |
|-----------|-------|
| ボーレート     | 9600  |
| データビット    | 8 ビット |
| パリティ      | None  |
| ストップビット   | 1 ビット |
| フローコントロール | None  |

レシーバーの**ファンクションスイッチ**を、「RS-232 Config」(RS-232 設定)にする必要があります (p.39 参照)。ネットワーク上で RS-232 コマンドを実行する前に、コンピューターにマトリックスマネジャーをインストールして、オンライン状態になっていることを確認してください。また、スリムタイプの KE シリーズ (KE8900ST/KE8900SR/KE9900ST) をお使いの場合は、コマンドを実行する前に RS-232 シリアルポートが接続されていないことを確認してください。

お使いのコンピューターで、ターミナル(コマンドライン)セッションを開いてください。そうしたら、「U/u」と入力し、**CLI セッション**を開始してください。



## デバイス/プロファイル コマンド

コマンドの文字列の中にデバイスやプロファイルを入力する際に、コマンドラインインターフェースにおいて、デバイスプロファイルに対する名前を、IP アドレス(デバイスのみ)、ID、またはリスト番号付の@の各形式で入力することができます。

---

**注意:** デバイスやプロファイルのリスト番号を確認するには、list コマンドを使用してください(p.402 参照)。

---

## Telnet

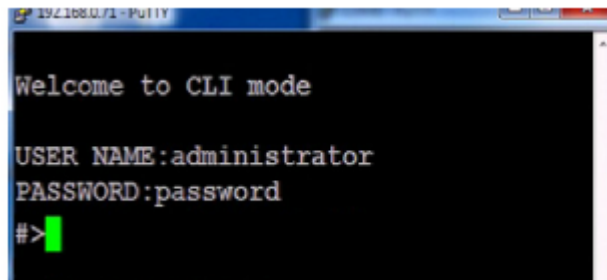
KE シリーズは、Telnet を使ってリモートターミナルセッション経由で操作や設定を行うことができます。これは、初めてネットワークに接続してデバイスを設定するのに便利な方法です。

Telnet セッションを使って KE シリーズのデバイスにログインするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. お使いのコンピュータで、ターミナル(コマンドライン)セッションを開いてください。
2. プロンプトで、KE デバイスの IP アドレスを入力してください。このとき、ポートの部分には 9130 を指定してください(パラメーター前後のカッコ([ ])は入力不要です)。

**telnet [IP アドレス] [ポート番号]**

3. [Enter]キーを押してください。そうすると、ログイン画面が表示されます。ログインプロンプトが表示されたら、パスワードを入力してください。



## 入力確認

コマンドが送信されると、下記のような確認メッセージがコマンドラインの最後に表示されます。コマンドを番号で識別する場合は、echo コマンドを使用してください。

- ◆ **Command OK** - コマンドは正確で、その機能が実行されます。
- ◆ **Command incorrect** - コマンドのフォーマットまたはパラメーターが正しくありません。
- ◆ **Echo Command** - コマンド文字列の最後に、「type: **e1234**」と入力してください。「1234」の部分には任意の数字を使用できます。確認メッセージが echo 番号と共に返ってきます。



## ポート切替コマンド

ポート切替コマンドの構文は、下記の通りです。

切替コマンド + 出力 + 番号 1 + 入力 + 番号 2 + モード + ストリーム + 接続 + [Enter]

1. 例えば、レシーバーの接続をトランスミッター (192.168.0.20) に切り替えるには、下記を入力します。

**sw i192.168.0.20 [Enter]**

2. 例えば、レシーバーをトランスミッターの接続から切断するには、下記を入力します。

**sw off [Enter]**

3. 例えば、レシーバー (192.168.0.99) からトランスミッター (192.168.0.79) に対して排他アクセスで接続し、ビデオやオーディオを送信するには、下記を入力します。

**sw o192.168.0.99 i192.168.0.79 exclusive video audio on [Enter]**

4. 例えば、レシーバー (192.168.0.11) をビデオストリームから切断し、OSD メニューに戻るには、下記を入力します。

**sw o192.168.0.11 off [Enter]**

5. 例えば、レシーバー (192.168.0.9) をビデオストリームから切断し、OSD メニューからログアウトするには、下記を入力します。

**sw o192.168.0.9 logout [Enter]**

6. 例えば、レシーバーの USB ストリームを切断するには、下記を入力します。

**sw usb off [Enter]**

7. 例えば、レシーバーを、コマンドラインのインターフェースの 5 番目に列挙されたトランスミッターに切り替えるには、下記を入力します。

**sw i@5 exclusive all on [Enter]**

8. 例えば、echo コマンド 4312 を使って、レシーバーを、コマンドラインのインターフェースの 7 番目に列挙されたトランスミッターに切り替えるには、下記を入力します。

**sw i@7 exclusive all on e4312**

9. 例えば、レシーバー(192.168.0.12)から、コマンドラインのインターフェースの 14 番目に列挙されたトランスミッターに対して占有アクセスで接続し、ビデオとオーディオと USB の信号を送信するには、下記を入力します。

**sw o192.168.0.12 i@14 occupy video audio usb on [Enter]**

本製品のポート切替コマンドで利用できる値は下表の通りです。

| コマンド | 説明     |
|------|--------|
| sw   | 切替コマンド |

| 出力 | 説明            |
|----|---------------|
| o  | 出力ポートコマンド(RX) |

| 番号 1 | 説明                                                                             |
|------|--------------------------------------------------------------------------------|
| xx   | 入力ポート<br>xx:レシーバーの ID または IP アドレス                                              |
| @zz  | zz 番を一覧表示<br>zz:1~99<br>コマンドラインインターフェースの 4 番目に列挙されたレシーバーを使う場合は、「o@4」と入力してください。 |

| 入力 | 説明            |
|----|---------------|
| i  | 入力ポートコマンド(TX) |

| 番号 2 | 説明                                                                                |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| yy   | 入力ポート<br>yy:トランスミッターの ID または IP アドレス                                              |
| @zz  | zz 番を一覧表示<br>zz:1~99<br>コマンドラインインターフェースの 8 番目に列挙されたトランスミッターを使う場合は、「i@8」と入力してください。 |

| モード       | 説明                                                       |
|-----------|----------------------------------------------------------|
| exclusive | アクセスモードを排他に設定します。                                        |
| share     | アクセスモードを共有に設定します。                                        |
| occupy    | アクセスモードを占有に設定します。                                        |
| viewonly  | アクセスモードを参照のみに設定します。モードのパラメーターを省略した場合、このモードがデフォルトで適用されます。 |

| ストリーム  | 説明                   |
|--------|----------------------|
| video  | ビデオソースストリームを設定します。   |
| audio  | オーディオソースストリームを設定します。 |
| serial | シリアルソースストリームを設定します。  |
| usb    | USB ソースストリームを設定します。  |
| all    | すべてのソースストリームを設定します。  |

| 接続     | 説明              |
|--------|-----------------|
| on     | 接続します。          |
| off    | 切断します。          |
| logout | OSD からログアウトします。 |

利用可能なポート切替コマンドは下表の通りです。

| コマンド | 出力 | 番号 1 | 入力 | 番号 2 | モード       | ストリーム                                  | 接続 | 説明                                                                                                                |
|------|----|------|----|------|-----------|----------------------------------------|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| sw   | o  | xx   | i  | yy   | exclusive | video<br>audio<br>serial<br>usb<br>all | on | ソースに対して排他アクセスモードでアクセスし、出力ポート <b>xx</b> を入力ポート <b>yy</b> に切替<br>( <b>xx</b> : レシーバーID / <b>yy</b> : トランスミッターID)    |
| sw   | o  | xx   | i  | yy   | share     | video<br>audio<br>serial<br>usb<br>all | on | ソースに対して共有アクセスモードでアクセスし、出力ポート <b>xx</b> を入力ポート <b>yy</b> に切替<br>( <b>xx</b> : レシーバーID / <b>yy</b> : トランスミッターID)    |
| sw   | o  | xx   | i  | yy   | occupy    | video<br>audio<br>serial<br>usb<br>all | on | ソースに対して占有アクセスモードでアクセスし、出力ポート <b>xx</b> を入力ポート <b>yy</b> に切替<br>( <b>xx</b> : レシーバーID / <b>yy</b> : トランスミッターID)    |
| sw   | o  | xx   | i  | yy   | viewonly  | video<br>audio<br>serial<br>usb<br>all | on | ソースに対して参照のみのアクセスモードでアクセスし、出力ポート <b>xx</b> を入力ポート <b>yy</b> に切替<br>( <b>xx</b> : レシーバーID / <b>yy</b> : トランスミッターID) |

(表は次のページに続きます)

| コマンド | 出力 | 番号 1 | 入力 | 番号 2 | モード                                      | ストリーム                                  | 接続     | 説明                                                                                                      |
|------|----|------|----|------|------------------------------------------|----------------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| SW   | O  | XX   |    |      |                                          |                                        | off    | 出力ポート <b>XX</b> を切り替えて、ストリームを切断し、OSD メニューに戻る<br>( <b>XX</b> : レシーバーID)                                  |
| SW   | O  | XX   |    |      |                                          |                                        | logout | 出力ポート <b>XX</b> を切り替えて、ストリームを切断し、OSD メニューからログアウト<br>( <b>XX</b> : レシーバーID)                              |
| SW   |    |      |    |      |                                          | video<br>audio<br>serial<br>usb<br>all | off    | 切断するレシーバーのストリームを切替                                                                                      |
| SW   |    |      |    |      |                                          |                                        | off    | レシーバーを切り替えて、ストリームを切断し、OSD メニューに戻る                                                                       |
| SW   |    |      | i  | @ZZ  | exclusive<br>share<br>occupy<br>viewonly | video<br>audio<br>serial<br>usb<br>all | on     | 選択したモードで、レシーバーを入力ポート <b>ZZ</b> に切り替えて、ソースをストリーミングする<br>( <b>ZZ</b> : コマンドラインインターフェースで# 番に列挙されたトランスミッター) |

(表は次のページに続きます)

| コマンド | 出力 | 番号 1 | 入力 | 番号 2 | モード                                      | ストリーム                                  | 接続 | 説明                                                                                                                                       |
|------|----|------|----|------|------------------------------------------|----------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| sw   | o  | xx   | i  | @zz  | exclusive<br>share<br>occupy<br>viewonly | video<br>audio<br>serial<br>usb<br>all | on | 選択したモードで、出力ポート <b>xx</b> を入力ポート <b>zz</b> に切り替えて、ソースをストリーム<br><br>( <b>xx</b> : レシーバーID / <b>zz</b> : コマンドラインインターフェースで# 番に列挙されたトランスミッター) |

- 注意:
1. **モード**のコマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトの値である「**view only**」(参照のみ)が使用されます。
  2. ローカルのレシーバーを設定する場合は、**出力**および**番号 1** のコマンド文字列を省略してください。

## ミュートコマンド

ミュートコマンドを使うと、オーディオを有効または無効にすることができます

ミュートコマンドの構文は、下記の通りです。

ミュートコマンド + 出力コマンド + 番号 1 + 操作 + [Enter]

1. 例えば、レシーバーのミュートを OFF にする(オーディオを ON にする)には、下記を入力してください。

**mute off [Enter]**

2. 例えば、レシーバー(192.168.0.11)のミュートを ON にするには、下記を入力してください。

**mute o192.168.0.11 on [Enter]**

3. 例えば、レシーバー(192.168.0.18)のミュートを OFF にするには、下記を入力してください。

**mute o192.168.0.18 off [Enter]**

ミュートコマンドで利用できる値は下表の通りです。

| コマンド | 説明       |
|------|----------|
| mute | ミュートコマンド |

| 出力 | 説明        |
|----|-----------|
| o  | 出力ポートコマンド |

| 番号 1 | 説明                               |
|------|----------------------------------|
| xx   | 出力番号<br>xx:レシーバーの ID または IP アドレス |

| 操作  | 説明                             |
|-----|--------------------------------|
| on  | ミュート ON: オーディオを無効にします。         |
| off | ミュート OFF: オーディオを有効にします(デフォルト)。 |

利用可能なミュートコマンドは下表の通りです。

| コマンド | 出力 | 番号 1 | 操作  | 説明                                                            |
|------|----|------|-----|---------------------------------------------------------------|
| mute | o  | xx   | on  | 出力ポート <b>xx</b> のオーディオをミュート(無効)にします。<br><b>xx</b> : レシーバーの ID |
| mute | o  | xx   | off | 出力ポート <b>xx</b> のオーディオを有効にします。<br><b>xx</b> : レシーバーの ID       |
| mute |    |      | on  | レシーバーのオーディオをミュート(無効)にします。                                     |
| mute |    |      | off | レシーバーのオーディオを有効にします。                                           |

- 注意:
1. **操作**のコマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトの値である「**view only**」(参照のみ)が使用されます。
  2. ローカルのレシーバーを設定する場合は、**出力**および**番号 1**のコマンド文字列を省略してください。



## プロフィールコマンド

プロフィールコマンドを使うと、プロフィールやビデオウォールに接続することができます

プロフィールコマンドの構文は、下記の通りです。

プロフィールコマンド + プロファイル + 番号 1 + 操作 + [Enter]

1. 例えば、8 番のプロファイルに接続し OSD メニューをロックするには、下記を入力してください。

**profile f8 [Enter]**

2. 例えば、OSD メニューにアクセスできる状態を維持したまま、4 番のプロファイルに接続するには、下記を入力してください。

**profile f4 release [Enter]**

3. 例えば、12 番のプロファイルから接続を切断し、レシーバーの OSD に戻るには、下記を入力してください。

**profile f12 back [Enter]**

プロフィールコマンドで利用できる値は下表の通りです。

| コマンド    | 説明         |
|---------|------------|
| profile | プロフィールコマンド |

| プロフィール | 説明             |
|--------|----------------|
| f      | プロフィール ID コマンド |

| 番号 1 | 説明                               |
|------|----------------------------------|
| xx   | プロフィールまたはビデオウォールの ID<br>xx: 1～99 |

| 操作      | 説明                                       |
|---------|------------------------------------------|
| lock    | プロファイルに接続し、OSD メニューへのアクセスをロックします(デフォルト)。 |
| release | OSD メニューへのアクセスを維持したまま、プロファイルに接続します。      |
| back    | プロファイルへの接続を切断し、レシーバーの OSD メニューに戻ります。     |

利用可能なプロファイルコマンドは下表の通りです。

| コマンド    | プロファイル | 番号 1 | 操作      | 説明                                                    |
|---------|--------|------|---------|-------------------------------------------------------|
| profile | f      | xx   | lock    | xx 番のプロファイルに接続し、OSD へのアクセスをロックします。<br>xx: 1～99        |
| profile | f      | xx   | release | OSD へのアクセスを維持したまま、xx 番のプロファイルに接続します。<br>xx: 1～99      |
| profile | f      | xx   | back    | xx 番のプロファイルへの接続を切断し、レシーバーの OSD メニューに戻ります。<br>xx: 1～99 |

- 注意:
1. 操作のコマンド文字列は省略することができます。この場合、デフォルトの値である「lock」(ロック)が使用されます。
  2. OSD のロック/ロック解除をコマンドで実行する場合は、プロファイルの作成時に「Lock OSD when connecting」(接続時に OSD をロックする)オプションが有効になっていることを確認してください。詳細は、p.306「Lock OSD (OSD をロックする)」を参照してください。

## EDID モードコマンド

EDID(Extended Display Identification Data)は、ディスプレイの基本情報を含むデータフォーマットで、ビデオソース/システムとの通信に使用されます。EDID コマンドを使用すると、トランスミッターのEDID 設定を変更することができます。EDID 設定に関する詳細は、p.194「プロパティ」を参照してください。

EDID コマンドの構文は、下記の通りです。

EDID コマンド + アドレス + 番号 + 操作 + [Enter]

- 例えば、IP アドレスが「192.168.0.3」に設定されたデバイスで、リミックス EDID を使用するには、下記を入力してください。

**edid a192.168.0.3 remix [Enter]**

EDID コマンドで利用できる値は下表の通りです。

| コマンド | 説明           |
|------|--------------|
| edid | EDID モードコマンド |

| アドレス | 説明       |
|------|----------|
| a    | アドレスコマンド |

| 番号 | 説明                                 |
|----|------------------------------------|
| xx | アドレス番号<br>xx:レシーバーの ID または IP アドレス |

| 操作      | 説明                                                                                                |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| auto    | 接続されているすべてのディスプレイの EDID および ATEN デフォルト EDID を精査し、全ディスプレイに最適な共通解像度を使用します。                          |
| remix   | 接続されているすべてのディスプレイの EDID および ATEN デフォルト EDID を手動で精査し、全ディスプレイに最適である共通解像度を使用します (p.217「EDID モード」参照)。 |
| default | ATEN のプリセット EDID を実行します (デフォルト)。                                                                  |
| manual  | レシーバーの OSD から EDID を手動で設定します (p.217「EDID モード」参照)。                                                 |

利用可能な EDID コマンドは下表の通りです。

| コマンド | アドレス | 番号 | 操作      | Enter   | 説明                                                                                |
|------|------|----|---------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| edid | a    | xx | auto    | [Enter] | アドレス <b>xx</b> の EDID を auto(自動)に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス       |
| edid | a    | xx | remix   | [Enter] | アドレス <b>xx</b> の EDID を remix(リミックス)に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス   |
| edid | a    | xx | default | [Enter] | アドレス <b>xx</b> の EDID を default(デフォルト)に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス |
| edid | a    | xx | manual  | [Enter] | アドレス <b>xx</b> の EDID を manual(手動)に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス     |

## リセットコマンド

リセットコマンドを使用すると、デバイスを工場出荷時のデフォルト設定にリセットすることができます。この操作を行うと、デバイスの IP アドレスもリセットされます。

---

**注意:** リセットコマンドを実行すると、ログイン情報を除くすべての設定がデフォルトの設定値に戻ります。ログイン情報をリセットするには、p.463「全情報のリセット」を参照してください。

---

リセットコマンドの構文は下記の通りです。

リセットコマンド + アドレス + 番号 + [Enter]

- 例えば、IP アドレスが「192.168.0.95」に設定されたデバイスの設定をリセットするには、下記を入力してください。

**reset a192.168.0.95 [Enter]**

- 例えば、レシーバーの設定をリセットするには、下記を入力してください。

**reset [Enter]**

リセットコマンドで使用できる値は下表の通りです。

| コマンド  | 説明       |
|-------|----------|
| reset | リセットコマンド |

| アドレス | 説明       |
|------|----------|
| a    | アドレスコマンド |

| 番号 | 説明                                 |
|----|------------------------------------|
| xx | アドレス番号<br>xx:レシーバーの ID または IP アドレス |

利用可能なリセットコマンドは下表の通りです。

| コマンド  | アドレス | 番号 | Enter   | 説明                                                                                 |
|-------|------|----|---------|------------------------------------------------------------------------------------|
| reset | a    | xx | [Enter] | アドレス <b>xx</b> のデバイスを工場出荷時におけるデフォルト設定にリセットします。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス |
| reset |      |    | [Enter] | レシーバーの設定をリセットします。                                                                  |

---

**注意:** ローカルのレシーバーをリセットする場合は、**アドレス**および**番号**のコマンド文字列を省略してください。

---

## RS-232 コマンド

RS-232 コマンドを使用すると、デバイスの RS-232 設定を行うことができます。

RS-232 コマンドの構文は下記の通りです。

ボーレートコマンド + アドレス + 番号 + ボーレート + パリティ + データビット +  
ストップビット + フロー制御 + [Enter]

- 例えば、IP アドレスが「192.168.0.33」に設定されたデバイスに対して、ボーレートを「38400」、パリティを「なし」、データビットを「8」、ストップビットを「1」にそれぞれ設定するには、下記を入力します。

**baud a192.168.0.33 38400 none 8 1 [Enter]**

- 例えば、ローカルデバイスに対して、ボーレートを「19200」に設定するには、下記を入力します。

**baud 19200 [Enter]**

RS-232 コマンドで使用できる値は下表の通りです。

| コマンド | 説明          |
|------|-------------|
| baud | RS-232 コマンド |

| アドレス | 説明       |
|------|----------|
| a    | アドレスコマンド |

| 番号 | 説明                                 |
|----|------------------------------------|
| xx | アドレス番号<br>xx: デバイスの ID または IP アドレス |

| ボーレート  | 説明                   |
|--------|----------------------|
| 9600   | ボーレート 9600 を使用します。   |
| 19200  | ボーレート 19200 を使用します。  |
| 38400  | ボーレート 38400 を使用します。  |
| 115200 | ボーレート 115200 を使用します。 |

| パリティ | 説明               |
|------|------------------|
| None | パリティを「なし」に設定します。 |
| Even | パリティを「偶数」に設定します。 |
| Odd  | パリティを「奇数」に設定します。 |

| データビット | 説明                |
|--------|-------------------|
| 5      | データビットを「5」に設定します。 |
| 6      | データビットを「6」に設定します。 |
| 7      | データビットを「7」に設定します。 |
| 8      | データビットを「8」に設定します。 |

| ストップビット | 説明                 |
|---------|--------------------|
| 1       | ストップビットを「1」に設定します。 |
| 2       | ストップビットを「2」に設定します。 |

| フロー制御    | 説明                    |
|----------|-----------------------|
| None     | フロー制御を「なし」に設定します。     |
| Hardware | フロー制御を「ハードウェア」に設定します。 |
| Xon      | フロー制御を「XON」に設定します。    |
| Xoff     | フロー制御を「XOFF」に設定します。   |



利用可能な RS-232 コマンドは下表の通りです。

| コマンド | アドレス | 番号 1 | ボーレート | パリティ                | データビット           | ストップビット | フロー制御                        | 説明                                                                 |
|------|------|------|-------|---------------------|------------------|---------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| baud | a    | xx   | 9600  | None<br>Even<br>Odd | 5<br>6<br>7<br>8 | 1<br>2  | None<br>Hardware<br>Xon/Xoff | アドレス xx のデバイスを、指定したパリティ/データビット/ストップビット/フロー制御で、ボーレートを 9600 に設定します。  |
| baud | a    | xx   | 19200 | None<br>Even<br>Odd | 5<br>6<br>7<br>8 | 1<br>2  | None<br>Hardware<br>Xon/Xoff | アドレス xx のデバイスを、指定したパリティ/データビット/ストップビット/フロー制御で、ボーレートを 19200 に設定します。 |
| baud | a    | xx   | 38400 | None<br>Even<br>Odd | 5<br>6<br>7<br>8 | 1<br>2  | None<br>Hardware<br>Xon/Xoff | アドレス xx のデバイスを、指定したパリティ/データビット/ストップビット/フロー制御で、ボーレートを 38400 に設定します。 |

(表は次のページに続きます)

| コマンド | アドレス | 番号 1 | ボーレート  | パリティ                | データビット           | ストップビット | フロー制御                        | 説明                                                                  |
|------|------|------|--------|---------------------|------------------|---------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| baud | a    | xx   | 115200 | None<br>Even<br>Odd | 5<br>6<br>7<br>8 | 1<br>2  | None<br>Hardware<br>Xon/Xoff | アドレス xx のデバイスを、指定したパリティ/データビット/ストップビット/フロー制御で、ボーレートを 115200 に設定します。 |
| baud |      |      | 9600   |                     |                  |         |                              | ローカルデバイスのボーレートを 9600 に設定します。                                        |
| baud |      |      | 19200  |                     |                  |         |                              | ローカルデバイスのボーレートを 19200 に設定します。                                       |
| baud |      |      | 38400  |                     |                  |         |                              | ローカルデバイスのボーレートを 38400 に設定します。                                       |
| baud |      |      | 115200 |                     |                  |         |                              | ローカルデバイスのボーレートを 115200 に設定します。                                      |

- 注意:
1. ボーレートの値は必須ですが、パリティ、データビット、ストップビットの各値は省略可能です。省略した場合、これらの値は変更されません。
  2. ローカルデバイスを設定する場合は、アドレスおよび番号のコマンド文字列を省略してください。

## OSD コマンド

下記のコマンドを使用して、レシーバーの OSD (オンスクリーンディスプレイ) を有効または無効にすることができます。

OSD コマンド + 出力 + 番号 + 操作 + [Enter]

- 例えば、IP アドレスが「192.168.0.51」に設定されたレシーバーの OSD を有効にするには、下記を入力してください。

**osd o192.168.0.51 on [Enter]**

- 例えば、ローカルのレシーバーの OSD を無効にするには、下記を入力してください。

**osd off [Enter]**

OSD コマンドで使用できる値は下表の通りです。

| コマンド | 説明       |
|------|----------|
| osd  | OSD コマンド |

| 出力 | 説明     |
|----|--------|
| o  | 出力コマンド |

| 番号 | 説明                                 |
|----|------------------------------------|
| xx | アドレス番号<br>xx:レシーバーの ID または IP アドレス |

| 操作  | 説明                   |
|-----|----------------------|
| on  | OSD を有効にします。         |
| off | OSD を無効にします (デフォルト)。 |

利用可能な OSD コマンドは下表の通りです。

| コマンド | 出力 | 番号 | 操作  | Enter   | 説明                                                      |
|------|----|----|-----|---------|---------------------------------------------------------|
| osd  | o  | xx | on  | [Enter] | 出力の OSD を有効にします。<br>xx:レシーバーの ID または IP アドレス            |
| osd  | o  | xx | off | [Enter] | 出力 xx の OSD を無効にします(デフォルト)。<br>xx:レシーバーの ID または IP アドレス |

**注意:** ローカルのレシーバーを設定する場合は、**出力**および**番号**のコマンド文字列を省略してください。

## リストコマンド

リストコマンドを使用すると、ユーザー、設定および接続に関する情報を取得することができます。

リストコマンドの構文は下記の通りです。

リストコマンド + 出力 + 入力 + 番号 + 操作 + [Enter]

1. 例えば、利用可能なチャンネルをすべて一覧表示するには、下記を入力してください。

**list channel [Enter]**

2. 例えば、利用可能なプロファイルをすべて一覧表示するには、下記を入力してください。

**list profile [Enter]**

3. 例えば、全 OSD メニューにログインしているユーザーをすべて一覧表示するには、下記を入力してください。

**list login [Enter]**

4. 例えば、IP アドレスが「192.168.0.44」に設定されたレシーバーの OSD にログインしているユーザーを一覧表示するには、下記を入力してください。

**list o192.168.0.44 login [Enter]**

5. 例えば、利用可能な接続をすべて一覧表示するには、下記を入力してください。

**list connection [Enter]**

6. 例えば、IPアドレスが「192.168.0.88」に設定されたトランスミッターに対する現在の接続を一覧表示するには、下記を入力してください。

**list i192.168.0.88 connection [Enter]**

リストコマンドで利用できる値は下表の通りです。

| コマンド | 説明      |
|------|---------|
| list | リストコマンド |

| 出力 | 説明     |
|----|--------|
| o  | 出力コマンド |

| 入力 | 説明     |
|----|--------|
| i  | 入力コマンド |

| 番号 | 説明                                    |
|----|---------------------------------------|
| xx | 出力または入力番号<br>xx: デバイスの ID または IP アドレス |

| 操作         | 説明                                   |
|------------|--------------------------------------|
| channel    | 利用可能なチャンネルに関する情報を一覧表示します。            |
| profile    | 利用可能なプロファイルおよびビデオウォールに関する情報を一覧表示します。 |
| rx         | レシーバーに関する情報を一覧表示します。                 |
| login      | OSD メニューにログイン中のユーザーに関する情報を一覧表示します。   |
| connection | トランスミッターに対する現在の接続に関する情報を一覧表示します。     |

利用可能なリストコマンドは下表の通りです。

| コマンド | 出力 | 入力 | 番号 | 操作         | 説明                                    |
|------|----|----|----|------------|---------------------------------------|
| list | o  |    | xx | login      | 出力 xx の OSD にログイン中のユーザーを一覧表示します。      |
| list | o  |    | xx | rx         | 出力 xx のレシーバーに関する情報を一覧表示します。           |
| list |    | i  | xx | connection | 入力 xx のトランスミッターに関する情報を一覧表示します。        |
| list |    |    |    | channel    | 利用可能な全チャンネルに関する情報を一覧表示します。            |
| list |    |    |    | profile    | 利用可能な全プロファイルおよびビデオウォールに関する情報を一覧表示します。 |
| list |    |    |    | rx         | 全レシーバーに関する情報を一覧表示します。                 |
| list |    |    |    | login      | OSD メニューにログイン中の全ユーザーに関する情報を一覧表示します。   |
| list |    |    |    | connection | すべての接続に関する情報を一覧表示します。                 |

**注意：** ローカルのレシーバーに関する情報を参照する場合は、出力、入力および番号のコマンド文字列を省略してください。

## 読込コマンド

読込コマンドは、デバイスの現在の設定内容に関する情報を参照することができます。

読込コマンドの構文は下記の通りです。

**読込コマンド + 出力 + 入力 + 番号 + 操作 + [Enter]**

1. 例えば、ローカルのレシーバーのプロパティ情報をすべて読み込んで表示するには、下記を入力してください。

**read all [Enter]**

2. 例えば、IP アドレスが「192.168.0.19」に設定されたレシーバーのプロパティ情報をすべて読み込んで表示するには、下記を入力してください。

**read o192.168.0.19 all [Enter]**

3. 例えば、IP アドレスが「192.168.0.28」に設定されたトランスミッターのプロパティ情報をすべて読み込んで表示するには、下記を入力してください。

**read i192.168.0.28 all [Enter]**

4. 例えば、IP アドレスが「192.168.0.61」に設定されたレシーバーの基本的なプロパティ情報を読み込んで表示するには、下記を入力してください。

**read o192.168.0.61 basic [Enter]**

5. 例えば、IP アドレスが「192.168.0.71」に設定されたトランスミッターのネットワークに関するプロパティ情報を読み込んで表示するには、下記を入力してください。

**read i192.168.0.71 network [Enter]**

読込コマンドで利用できる値は下表の通りです。

| コマンド | 説明     |
|------|--------|
| read | 読込コマンド |

| 出力 | 説明     |
|----|--------|
| o  | 出力コマンド |

| 入力 | 説明     |
|----|--------|
| i  | 入力コマンド |

| 番号 | 説明                                    |
|----|---------------------------------------|
| xx | 出力または入力番号<br>xx: デバイスの ID または IP アドレス |

| 操作               | 説明                                      |
|------------------|-----------------------------------------|
| all              | プロパティ情報をすべて読み込みます。                      |
| basic            | 基本的なプロパティ情報を読み込みます。                     |
| network          | ネットワークのプロパティ情報を読み込みます。                  |
| ipsettings       | IP 設定を読み込みます。                           |
| rs232            | RS-232 のプロパティ情報を読み込みます。                 |
| properties       | 接続プロパティ情報を読み込みます。                       |
| manager          | マトリクスマネジャーのプロパティ情報を読み込みます。              |
| streams          | 有効にするメディアに関するプロパティ情報を読み込みます。            |
| tx               | ソースストリームの IP プロパティ情報を読み込みます。<br>(レシーバー) |
| usbmode          | USB モードのプロパティ情報を読み込みます。(レシーバー)          |
| multicast        | マルチキャストのプロパティ情報を読み込みます。(トランスミッター)       |
| videoqtyadvanced | ビデオプロパティの詳細情報を読み込みます。(トランスミッター)         |
| ossettings       | OS のプロパティ情報を読み込みます。(トランスミッター)           |



利用可能な読込コマンドは下表の通りです。

| コマンド | 出力 | 入力 | 番号 | 操作         | 説明                                                                                               |
|------|----|----|----|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| read | o  | i  | xx | all        | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスに関するプロパティ情報をすべて読み込みます。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス                |
| read | o  | i  | xx | basic      | 出力または入力 <b>xx</b> の基本的なプロパティ情報を読み込みます。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス                       |
| read | o  | i  | xx | network    | 出力または入力 <b>xx</b> のネットワークに関するプロパティ情報を読み込みます。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス                 |
| read | o  | i  | xx | ipsettings | 出力または入力 <b>xx</b> の IP アドレスに関するプロパティ情報を読み込みます。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス               |
| read | o  | i  | xx | rs232      | 出力または入力 <b>xx</b> の RS-232 に関するプロパティ情報を読み込みます。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス               |
| read | o  | i  | xx | properties | 出力または入力 <b>xx</b> の接続に関するプロパティ情報を読み込みます。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス                     |
| read | o  | i  | xx | manager    | 出力または入力 <b>xx</b> のマトリックスマネジャーの IP およびポートに関するプロパティ情報を読み込みます。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス |
| read | o  | i  | xx | streams    | 出力または入力 <b>xx</b> の有効なメディアに関するプロパティ情報を読み込みます。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス                |
| read | o  |    | xx | tx         | 出力 <b>xx</b> のソースストリームの IP アドレスに関するプロパティ情報を読み込みます。<br><b>xx</b> : レシーバーの ID または IP アドレス          |

(表は次のページに続きます)

| コマンド | 出力 | 入力 | 番号 | 操作                                                                                           | 説明                                                                    |
|------|----|----|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| read | o  |    | xx | usbmode                                                                                      | 出力 xx の USB モードに関するプロパティ<br>情報を読み込みます。<br>xx: レシーバーの ID または IP アドレス   |
| read | i  |    | xx | multicast                                                                                    | 入力 xx のマルチキャストに関するプロパティ<br>情報を読み込みます。<br>xx: トランスミッターの ID または IP アドレス |
| read | i  |    | xx | videoqtyad<br>vanced                                                                         | 入力 xx のビデオに関する詳細プロパティ<br>情報を読み込みます。<br>xx: トランスミッターの ID または IP アドレス   |
| read | i  |    | xx | ossettings                                                                                   | 入力 xx の OS プロパティ情報を読み込みま<br>す。<br>xx: トランスミッターの ID または IP アドレス        |
| read |    |    |    | all                                                                                          | ローカルレシーバーの全プロパティ情報を<br>読み込みます。                                        |
| read |    |    |    | basic<br>network<br>ipsettings<br>rs232<br>properties<br>manager<br>streams<br>tx<br>usbmode | ローカルレシーバーの指定したプロパティ<br>情報を読み込みます。                                     |

**注意:** ローカルのレシーバーに関するプロパティ情報を読み込む場合は、出力、入力および番号のコマンド文字列を省略してください。

## 設定コマンド

設定コマンドを使用すると、デバイスのプロパティを設定することができます。一部の設定は、デバイスとマトリックスマネジャーの両方をオンライン状態にしてから行わないと、コマンドの実行が失敗してしまいます。このコマンドで利用できる値については、マトリックスマネジャーの関連設定に関するセクションをご参照ください。

設定コマンドの構文は下記の通りです。

**設定コマンド + 出力 + 入力 + 番号 + 操作 + 値 + [Enter]**

1. 例えば、ローカルのレシーバーの名前を「KE6940TX1」に設定するには、下記を入力してください。

**set Name=KE6940TX1 [Enter]**

2. 例えば、IP アドレスが「192.168.0.33」に設定されたトランスミッターの説明を「KE Room B」に設定するには、下記を入力してください。

**set o192.168.0.33 Description=KE RoomB [Enter]**

3. 例えば、IP アドレスが「192.168.0.28」に設定されたトランスミッターの DHCP 設定を固定にするには、下記を入力してください。

**set i192.168.0.28 dhcpFlag=STATIC [Enter]**

4. 例えば、ローカルレシーバーの IP アドレスを「192.168.0.2」に設定するには、下記を入力してください。

**set ipAddr=192.168.0.2 [Enter]**

5. 例えば、IP アドレスが「192.168.0.56」に設定されたレシーバーに対して、トランスミッターのビデオ IP 設定を「192.168.0.44」に設定するには、下記を入力してください。

**set o192.168.0.56 TxVideoIP=192.168.0.44 [Enter]**

設定コマンドで利用できる値は下表の通りです。

| コマンド | 説明     |
|------|--------|
| set  | 設定コマンド |

| 出力 | 説明     |
|----|--------|
| o  | 出力コマンド |

| 入力 | 説明     |
|----|--------|
| i  | 入力コマンド |

| 番号 | 説明                                    |
|----|---------------------------------------|
| xx | 出力または入力番号<br>xx: デバイスの ID または IP アドレス |

| 操作              | 説明                      |
|-----------------|-------------------------|
| Name            | デバイスの名前を設定します。          |
| Description     | デバイスの説明を設定します。          |
| ipInstallerFlag | IP インストーラーのオプションを設定します。 |
| dhcpFlag        | DHCP 設定を行います。           |
| ipAddr          | IP アドレスを設定します。          |
| netmask         | サブネットマスクを設定します。         |
| gw              | デフォルトゲートウェイを設定します。      |
| modeFlag        | デバイスモードを設定します。          |
| BaudRate        | ボーレートを設定します。            |
| Parity          | パリティを設定します。             |
| DataBit         | データビットを設定します。           |
| StopBit         | ストップビットを設定します。          |
| FlowCtrl        | フロー制御を設定します。            |

(表は次のページに続きます)

| 操作             | 説明                               |
|----------------|----------------------------------|
| TxVideoIP      | トランスミッターのビデオ IP を設定します。          |
| TxAudioIP      | トランスミッターのオーディオ IP を設定します。        |
| TxUSBIP        | トランスミッターの USB IP を設定します。         |
| TxRSIP         | トランスミッターの RS-232 IP 設定を行います。     |
| VideoEnFlag    | (有効なメディアの)ビデオソースストリームを設定します。     |
| AudioEnFlag    | (有効なメディアの)オーディオソースストリームを設定します。   |
| USBEnFlag      | (有効なメディアの)USB ソースストリームを設定します。    |
| RSEnFlag       | (有効なメディアの)RS-232 ソースストリームを設定します。 |
| ManagerIP      | マトリックスマネジャーの IP アドレスを設定します。      |
| ManagerPort    | マトリックスマネジャーのポート番号を設定します。         |
| Beeper         | ビープ音を設定します。                      |
| RxVM           | USB モードを設定します。                   |
| USBSecure      | USB 暗号化を設定します。                   |
| PortOS         | ポート OS を設定します。                   |
| OSLanguage     | OS 言語を設定します。                     |
| videoMCastEn   | マルチキャストのビデオ設定を有効にするかどうかを設定します。   |
| audioMCastEn   | マルチキャストのオーディオ設定を有効にするかどうかを設定します。 |
| Edid           | EDID モードの選択を設定します。               |
| VideoType      | ビデオの種類を設定します。                    |
| ColorDepth     | 色深度を設定します。                       |
| BandwidthLimit | バンド幅の上限を設定します。                   |
| VideoQty       | ビデオ品質を設定します。                     |
| BGRefresh      | バックグラウンドの更新を設定します。               |
| OccupyTimeout  | 占有タイムアウトを設定します。                  |
| Resolution     | 解像度を設定します。                       |

| 値   | 説明                                             |
|-----|------------------------------------------------|
| =yy | 値を yy に設定します。<br>yy: 使用する操作に応じて、適当な値を入力してください。 |

設定コマンドで利用可能なコマンドは下表の通りです。

| コマンド | 出力 | 入力 | 番号 | 操作              | 値  | 説明                                                                                                                                                             |
|------|----|----|----|-----------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| set  | o  | i  | xx | Name            | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスの名前を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : 名前となる値                                                        |
| set  | o  | i  | xx | Description     | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスの説明を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : 説明となる値                                                        |
| set  | o  | i  | xx | ipinstallerFlag | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスの IP インストーラーフラグを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : enable (有効)、viewonly (参照のみ)、disable (無効) のいずれかを指定 |
| set  | o  | i  | xx | dhcpFlag        | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスの DHCP フラグを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : dhcp (DHCP)、static (固定) のいずれかを指定                       |
| set  | o  | i  | xx | ipAddr          | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスの IP アドレスを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : IP アドレスの値                                               |

(表は次のページに続きます)

| コマンド | 出力 | 入力 | 番号 | 操作       | 値  | 説明                                                                                                                                               |
|------|----|----|----|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| set  | o  | i  | xx | netmask  | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスのネットマスクを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : サブネットマスクの値                                  |
| set  | o  | i  | xx | gw       | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスのデフォルトゲートウェイを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : デフォルトゲートウェイの値                          |
| set  | o  | i  | xx | modeFlag | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスのモードフラグを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : extender (エクステンダー)、matrix (マトリックス) のいずれかを指定 |
| set  | o  | i  | xx | BaudRate | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスのボーレートを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : 9600、19200、38400、115200 のいずれかを指定             |
| set  | o  | i  | xx | Parity   | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスのパリティを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : none (なし)、even (偶数)、odd (奇数) のいずれかを指定         |

(表は次のページに続きます)

| コマンド | 出力 | 入力 | 番号 | 操作        | 値  | 説明                                                                                                                                                |
|------|----|----|----|-----------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| set  | o  | i  | xx | DataBit   | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスのデータビットを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : 5、6、7、8 のいずれかを指定                             |
| set  | o  | i  | xx | StopBit   | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスのストップビットを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : 1、1.5、2 のいずれかを指定                            |
| set  | o  | i  | xx | FlowCtrl  | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスのフロー制御を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : none (なし)、hardware (ハードウェア)、Xon、Xoff のいずれかを指定 |
| set  | o  |    | xx | TxVideoIP | yy | 出力 <b>xx</b> のデバイスのトランスミッターのビデオ IP を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : IP アドレスの値                               |
| set  | o  |    | xx | TxAudioIP | yy | 出力 <b>xx</b> のデバイスのトランスミッターのオーディオ IP を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : IP アドレスの値                             |

(表は次のページに続きます)



| コマンド | 出力 | 入力 | 番号 | 操作          | 値  | 説明                                                                                                                                                   |
|------|----|----|----|-------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| set  | o  |    | xx | TxUSBIP     | yy | 出力 <b>xx</b> のデバイスのトランスミッターの USB IP を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : IP アドレスの値                                 |
| set  | o  |    | xx | TxRSIP      | yy | 出力 <b>xx</b> のデバイスのトランスミッターの RS-232 IP を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : IP アドレスの値                              |
| set  | o  | i  | xx | VideoEnFlag | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスの(有効なメディアの)ビデオソースストリームを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : enable(有効)、disable(無効)のいずれかを指定   |
| set  | o  | i  | xx | AudioEnFlag | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスの(有効なメディアの)オーディオソースストリームを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : enable(有効)、disable(無効)のいずれかを指定 |

(表は次のページに続きます)

| コマンド | 出力 | 入力 | 番号 | 操作          | 値  | 説明                                                                                                                                                                       |
|------|----|----|----|-------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| set  | o  | i  | xx | USBEnFlag   | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスの<br>(有効なメディアの)USB ソースス<br>トリームを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレ<br>ス<br><b>yy</b> : enable (有効)、disable (無効)<br>のいずれかを指定    |
| set  | o  | i  | xx | RSEnFlag    | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスの<br>(有効なメディアの)RS-232 ソース<br>ストリームを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレ<br>ス<br><b>yy</b> : enable (有効)、disable (無効)<br>のいずれかを指定 |
| set  | o  | i  | xx | ManagerIP   | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスの<br>マトリックスマネジャーの IP アドレ<br>スを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレ<br>ス<br><b>yy</b> : マトリックスマネジャーの IP ア<br>ドレス                  |
| set  | o  | i  | xx | ManagerPort | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスの<br>マトリックスマネジャーのポート番<br>号を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレ<br>ス<br><b>yy</b> : マトリックスマネジャーのポー<br>ト                          |
| set  | o  | i  | xx | Beeper      | yy | 出力または入力 <b>xx</b> のデバイスの<br>ビーブ音を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレ<br>ス<br><b>yy</b> : enable (有効)、disable (無効)<br>のいずれかを指定                          |

(表は次のページに続きます)

| コマンド | 出力 | 入力 | 番号 | 操作         | 値  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------|----|----|----|------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| set  | o  |    | xx | RxVM       | yy | 出力 xx のデバイスの USB モードを yy に設定します。<br>xx: デバイスの ID または IP アドレス<br>yy: vm、vusb のいずれかを指定                                                                                                                                                                                                                                                               |
| set  | o  |    | xx | USBSecure  | yy | 出力 xx のデバイスの USB 暗号化を yy に設定します。<br>xx: デバイスの ID または IP アドレス<br>yy: on、off のいずれかを指定                                                                                                                                                                                                                                                                |
| set  |    | i  | xx | PortOS     | yy | 入力 xx のデバイスのポート OS を yy に設定します。<br>xx: デバイスの ID または IP アドレス<br>yy: win、mac、sun、other (その他) のいずれかを指定                                                                                                                                                                                                                                                |
| set  |    | i  | xx | OSLanguage | yy | 入力 xx のデバイスの OS 言語を yy に設定します。<br>xx: デバイスの ID または IP アドレス<br>yy: 次のいずれかを指定<br>english (英語)、japanese (日本語)、french (フランス語)、german (ドイツ語)、spanish (スペイン語)、korean (韓国語)、chinese(traditional) (繁体字中国語)、english(uk) (イギリス英語)、swedish (スウェーデン語)、arabic (アラビア語)、belgian (ベルギー語)、canadian-bilingual (カナダバイリンガル)、french(canada) (カナダフランス語)、<br>(次のページに続きます) |

(表は次のページに続きます)

| コマンド        | 出力 | 入力 | 番号 | 操作           | 値  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------|----|----|----|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| set<br>(続き) |    | i  | xx | OSLanguage   | yy | czech(チェコ語)、danish(デンマーク語)、finnish(フィンランド語)、greek(ギリシア語)、hebrew(ヘブライ語)、hungarian(ハンガリー語)、international(iso)(国際標準 ISO)、italian(イタリア語)、latin american(ラテンアメリカ)、dutch(オランダ語)、norwegian(ノルウェー語)、persian(farsi)(ペルシア語)、polish(ポーランド語)、portuguese(ポルトガル語)、russian(ロシア語)、slovak(スロバキア語)、french(switzerland)(フランス語(スイス))、german(switzerland)ドイツ語(スイス)、switzerland(スイス)、reserved(予約済み)、turkish-q(トルコ語)、reserved(予約済み)、serbo-croatian(セルビア・クロアチア語) |
| set         |    | i  | xx | videoMCastEn | yy | 入力 <b>xx</b> のデバイスのマルチキャストのビデオを <b>yy</b> に設定します。<br><br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><br><b>yy</b> : enable(有効)、disable(無効)のいずれかを指定                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

(表は次のページに続きます)

| コマンド | 出力 | 入力 | 番号 | 操作           | 値  | 説明                                                                                                                                                                 |
|------|----|----|----|--------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| set  |    | i  | xx | audioMCastEn | yy | 入力 <b>xx</b> のデバイスのマルチキャストのオーディオを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : enable (有効)、disable (無効) のいずれかを指定                           |
| set  |    | i  | xx | Edid         | yy | 入力 <b>xx</b> のデバイスの EDID モードを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : default (デフォルト)、auto (自動)、manual (マニュアル)、remix (リミックス) のいずれかを指定 |
| set  |    | i  | xx | VideoType    | yy | 入力 <b>xx</b> のデバイスのビデオの種類を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : dvi-d (DVI-D)、dvi-a (DVI-A) のいずれかを指定                               |
| set  |    | i  | xx | ColorDepth   | yy | 入力 <b>xx</b> のデバイスの色深度を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : 8、16、24、36 (KE89 シリーズのみ) のいずれかを指定                                     |

(表は次のページに続きます)

| コマンド | 出力 | 入力 | 番号 | 操作             | 値  | 説明                                                                                                                                    |
|------|----|----|----|----------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| set  |    | i  | xx | BandwidthLimit | yy | 入力 <b>xx</b> のデバイスのバンド幅の上限を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : unlimited (無制限)、100、200、500 のいずれかを指定 |
| set  |    | i  | xx | VideoQty       | yy | 入力 <b>xx</b> のデバイスのビデオ品質を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : 1、2、3、4、5 のいずれかを指定                     |
| set  |    | i  | xx | BGRefresh      | yy | 入力 <b>xx</b> のデバイスのバックグラウンドの更新を <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : off、16、32、64、128、256 のいずれかを指定    |
| set  |    | i  | xx | OccupyTimeout  | yy | 入力 <b>xx</b> のデバイスの占有タイムアウトを <b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アドレス<br><b>yy</b> : 1～240 のいずれかを指定                      |

(表は次のページに続きます)

| コマンド | 出力 | 入力 | 番号 | 操作         | 値  | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------|----|----|----|------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| set  |    | i  | xx | Resolution | yy | 入力 <b>xx</b> のデバイスの解像度を<br><b>yy</b> に設定します。<br><b>xx</b> : デバイスの ID または IP アド<br>レス<br><b>yy</b> : 1920x1200、1920x1080、<br>1680x1050、1600x1200、<br>1600x900、1440x900、<br>1400x1050、1366x768、<br>1280x1024、1280x960、<br>1280x720、1152x864、<br>1024x768、800x600、720x400、<br>640x480、2560x1080*、<br>3840x2160*、1920x1440*、<br>2560x1600*、2560x1440*、<br>2048x1536*<br>* KE89 シリーズのみ |

# 付録

## 製品仕様

### KE6900

| 機能                     | KE6900R                                                                                                                       | KE6900T                                                                                                                       |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コンピューター接続数             |                                                                                                                               |                                                                                                                               |
| ダイレクト                  | －                                                                                                                             | 1                                                                                                                             |
| コンソール接続数               |                                                                                                                               |                                                                                                                               |
| ローカル                   | －                                                                                                                             | 1                                                                                                                             |
| リモート                   | 1                                                                                                                             | －                                                                                                                             |
| コンピューター側<br>対応インターフェース | －                                                                                                                             | キーボード/マウス:USB                                                                                                                 |
| コンソール側<br>対応インターフェース   | キーボード/マウス:USB                                                                                                                 | キーボード/マウス:USB                                                                                                                 |
| コネクタ                   |                                                                                                                               |                                                                                                                               |
| KVM ポート                | －                                                                                                                             | キーボード/マウス:USB タイプ B メス×1<br>モニター:DVI-I メス×1<br>スピーカー:ステレオミニジャック×1<br>マイク:ステレオミニジャック×1<br>RS-232:DB-9 ピン メス×1                  |
| コンソールポート               | キーボード:USB タイプ A メス×1<br>マウス:USB タイプ A メス×1<br>モニター:DVI-I メス×1<br>スピーカー:ステレオミニジャック×1<br>マイク:ステレオミニジャック×1<br>RS-232:DB9 ピン オス×1 | キーボード:USB タイプ A メス×1<br>マウス:USB タイプ A メス×1<br>モニター:DVI-I メス×1<br>スピーカー:ステレオミニジャック×1<br>マイク:ステレオミニジャック×1<br>RS-232:DB9 ピン オス×1 |
| バーチャルメディア              | USB タイプ A メス×2                                                                                                                | －                                                                                                                             |

(表は次のページに続きます)



| 機能              | KE6900R                                                                         | KE6900T                                                                         |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 電源              | DC 電源ジャック×1                                                                     | DC 電源ジャック×1                                                                     |
| LAN ポート         | RJ-45×1                                                                         | RJ-45×1                                                                         |
| <b>スイッチ</b>     |                                                                                 |                                                                                 |
| OSD             | プッシュボタン×1                                                                       | －                                                                               |
| ビデオ             | (動画)プッシュボタン×1                                                                   | －                                                                               |
| グラフィック(静止画像)    | プッシュボタン×1                                                                       | －                                                                               |
| リセット            | ピンホール型スイッチ×1                                                                    | ピンホール型スイッチ×1                                                                    |
| <b>LED</b>      |                                                                                 |                                                                                 |
| リンク             | グリーン/オレンジ×1                                                                     | グリーン/オレンジ×1                                                                     |
| 電源              | ブルー×1                                                                           | ブルー×1                                                                           |
| ローカル            | グリーン×1                                                                          | グリーン×1                                                                          |
| リモート            | グリーン×1                                                                          | グリーン×1                                                                          |
| <b>エミュレーション</b> |                                                                                 |                                                                                 |
| キーボード/マウス       | USB                                                                             | USB                                                                             |
| <b>電源入力</b>     |                                                                                 |                                                                                 |
| 電源アダプター         | 型番:0AD8-8005-40EG または<br>0AD8-8005-40MG<br>入力:AC100V～240V 50/60Hz<br>出力:DC5V 4A | 型番:0AD8-8005-40EG または<br>0AD8-8005-40MG<br>入力:AC100V～240V 50/60Hz<br>出力:DC5V 4A |
| 消費電力            | 16W                                                                             | 12W                                                                             |
| 解像度             | 最大 1,920×1,200@60Hz                                                             | 最大 1,920×1,200@60Hz                                                             |
| <b>動作環境</b>     |                                                                                 |                                                                                 |
| 動作温度            | 0～50℃                                                                           | 0～50℃                                                                           |
| 保管温度            | -20～60℃                                                                         | -20～60℃                                                                         |
| 湿度              | 0～95% RH、結露なきこと                                                                 | 0～95% RH、結露なきこと                                                                 |
| <b>ケース</b>      |                                                                                 |                                                                                 |
| ケース材料           | メタル                                                                             | メタル                                                                             |
| 重量              | 1.25 kg ( 2.75 lb )                                                             | 1.14 kg ( 2.51 lb )                                                             |
| サイズ(W×D×H)      | 228×172×55 mm                                                                   | 215×163×42 mm                                                                   |

(表は次のページに続きます)

| 機能  | KE6900R                                                                                           | KE6900T                                                                                           |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 同梱品 | (KE6900 の同梱品)<br>USB DVI-D KVM ケーブル×1<br>電源アダプター×2<br>KE6900T 用ウォールマウントキッ<br>ト×1<br>クイックスタートガイド×1 | (KE6900 の同梱品)<br>USB DVI-D KVM ケーブル×1<br>電源アダプター×2<br>KE6900T 用ウォールマウントキット×<br>1<br>クイックスタートガイド×1 |

## KE6940

| 機能                     | KE6940R                                                                                                                       | KE6940T                                                                                                                       |
|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コンピューター接続数             |                                                                                                                               |                                                                                                                               |
| ダイレクト                  | －                                                                                                                             | 1                                                                                                                             |
| コンソール接続数               |                                                                                                                               |                                                                                                                               |
| ローカル                   | －                                                                                                                             | 1                                                                                                                             |
| リモート                   | 1                                                                                                                             | －                                                                                                                             |
| コンピューター側<br>対応インターフェース | －                                                                                                                             | キーボード/マウス:USB                                                                                                                 |
| コンソール側<br>対応インターフェース   | キーボード/マウス:USB                                                                                                                 | キーボード/マウス:USB                                                                                                                 |
| コネクター                  |                                                                                                                               |                                                                                                                               |
| KVM ポート                | －                                                                                                                             | キーボード/マウス:USB タイプ B メス×1<br>モニター:DVI-I メス×2<br>スピーカー:ステレオミニジャック×1<br>マイク:ステレオミニジャック×1<br>RS-232:DB-9 ピン メス×1                  |
| コンソールポート               | キーボード:USB タイプ A メス×1<br>マウス:USB タイプ A メス×1<br>モニター:DVI-I メス×2<br>スピーカー:ステレオミニジャック×1<br>マイク:ステレオミニジャック×1<br>RS-232:DB9 ピン オス×1 | キーボード:USB タイプ A メス×1<br>マウス:USB タイプ A メス×1<br>モニター:DVI-I メス×2<br>スピーカー:ステレオミニジャック×1<br>マイク:ステレオミニジャック×1<br>RS-232:DB9 ピン オス×1 |
| バーチャルメディア              | USB タイプ A メス×2                                                                                                                | －                                                                                                                             |
| 電源                     | DC 電源ジャック×1                                                                                                                   | DC 電源ジャック×1                                                                                                                   |
| LAN ポート                | RJ-45×1                                                                                                                       | RJ-45×1                                                                                                                       |
| スイッチ                   |                                                                                                                               |                                                                                                                               |
| OSD                    | プッシュボタン×1                                                                                                                     | －                                                                                                                             |
| ビデオ                    | (動画)プッシュボタン×1                                                                                                                 | －                                                                                                                             |

(表は次のページに続きます)

| 機能              | KE6940R                                                                                                               | KE6940T                                                                                                               |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| グラフィック(静止画像)    | プッシュボタン×1                                                                                                             | －                                                                                                                     |
| リセット            | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                          | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                          |
| <b>LED</b>      |                                                                                                                       |                                                                                                                       |
| リンク             | グリーン/オレンジ×1                                                                                                           | グリーン/オレンジ×1                                                                                                           |
| 電源              | ブルー×1                                                                                                                 | ブルー×1                                                                                                                 |
| ローカル            | グリーン×1                                                                                                                | グリーン×1                                                                                                                |
| リモート            | グリーン×1                                                                                                                | グリーン×1                                                                                                                |
| <b>エミュレーション</b> |                                                                                                                       |                                                                                                                       |
| キーボード/マウス       | USB                                                                                                                   | USB                                                                                                                   |
| <b>電源入力</b>     |                                                                                                                       |                                                                                                                       |
| 電源アダプター         | 型番:0AD8-8005-40EG または<br>0AD8-8005-40MG<br>入力:AC100V～240V 50/60Hz<br>出力:DC5V 4A                                       | 型番:0AD8-8005-40EG または<br>0AD8-8005-40MG<br>入力:AC100V～240V 50/60Hz<br>出力:DC5V 4A                                       |
| 消費電力            | 16W                                                                                                                   | 12W                                                                                                                   |
| 解像度             | 最大 1,920×1,200@60Hz                                                                                                   | 最大 1,920×1,200@60Hz                                                                                                   |
| <b>動作環境</b>     |                                                                                                                       |                                                                                                                       |
| 動作温度            | 0～50℃                                                                                                                 | 0～50℃                                                                                                                 |
| 保管温度            | -20～60℃                                                                                                               | -20～60℃                                                                                                               |
| 湿度              | 0～95% RH、結露なきこと                                                                                                       | 0～95% RH、結露なきこと                                                                                                       |
| <b>ケース</b>      |                                                                                                                       |                                                                                                                       |
| ケース材料           | メタル                                                                                                                   | メタル                                                                                                                   |
| 重量              | 1.25 kg ( 2.75 lb )                                                                                                   | 1.15 kg ( 2.53 lb )                                                                                                   |
| サイズ(W×D×H)      | 228×172×55 mm                                                                                                         | 215×163×42 mm                                                                                                         |
| 同梱品             | (KE6940 の同梱品)<br>DVI-D ケーブル(2m)×1<br>USB DVI-D KVM ケーブル×1<br>電源アダプター×2<br>KE6940T 用ウォールマウントキ<br>ット×1<br>クイックスタートガイド×1 | (KE6940 の同梱品)<br>DVI-D ケーブル(2m)×1<br>USB DVI-D KVM ケーブル×1<br>電源アダプター×2<br>KE6940T 用ウォールマウントキ<br>ット×1<br>クイックスタートガイド×1 |

## KE6900A

| 機能                       | KE6900AR                                                                                                             | KE6900AT                                                                                                             |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>コネクタ</b>              |                                                                                                                      |                                                                                                                      |
| コンソールポート                 | USB Type-A メス×2 (White)<br>DVI-I メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 ピン オス×1 (Black) | USB Type-A メス×2 (White)<br>DVI-I メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 ピン オス×1 (Black) |
| KVM ポート                  | –                                                                                                                    | USB Type-B メス×1 (White)<br>DVI-I メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 ピン メス×1 (Black) |
| 電源                       | DC 電源ジャック×2 (Black)                                                                                                  |                                                                                                                      |
| LAN ポート                  | RJ-45×1 (Black)<br>SFP スロット×1                                                                                        |                                                                                                                      |
| USB ポート                  | USB Type-A メス×2 (White)                                                                                              | –                                                                                                                    |
| <b>スイッチ</b>              |                                                                                                                      |                                                                                                                      |
| OSD                      | プッシュボタン×1                                                                                                            | –                                                                                                                    |
| ビデオ                      | プッシュボタン×1                                                                                                            | –                                                                                                                    |
| グラフィック<br>(静止画像)         | プッシュボタン×1                                                                                                            | –                                                                                                                    |
| リセット                     | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                         |                                                                                                                      |
| モード選択                    | スライドスイッチ×1 (拡張、RS-232 設定)                                                                                            | スライドスイッチ×1 (自動、RS-232 設定/アクセス制御、ローカル)                                                                                |
| <b>LED</b>               |                                                                                                                      |                                                                                                                      |
| リンク 10 / 100 / 1000 Mbps | 1 (10:Orange / 100:Orange & Green / 1000:Green)                                                                      |                                                                                                                      |
| 電源                       | 1 (Blue)                                                                                                             |                                                                                                                      |
| ローカル                     | 1 (Green)                                                                                                            |                                                                                                                      |
| リモート                     | 1 (Green)                                                                                                            |                                                                                                                      |

(表は次のページに続きます)

| 機能             | KE6900AR                         |  | KE6900AT                                                                                               |  |
|----------------|----------------------------------|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| エミュレーション       |                                  |  |                                                                                                        |  |
| キーボード /<br>マウス | USB                              |  |                                                                                                        |  |
| 消費電力           | DC5V: 6.35W                      |  | DC5V: 7.95W                                                                                            |  |
| 解像度            | 最大 1920×1200@60Hz                |  |                                                                                                        |  |
| 動作環境           |                                  |  |                                                                                                        |  |
| 動作温度           | 0～50℃                            |  |                                                                                                        |  |
| 保管温度           | -20～60℃                          |  |                                                                                                        |  |
| 湿度             | 0～95% RH、結露なきこと                  |  |                                                                                                        |  |
| ケース            |                                  |  |                                                                                                        |  |
| ケース材料          | メタル                              |  |                                                                                                        |  |
| 重量             | 1.30 kg                          |  | 1.15 kg                                                                                                |  |
| サイズ(W×D×H)     | 227.5×171.6×54.8 mm              |  | 215.0×163.3×41.8 mm                                                                                    |  |
| 同梱品            | 電源アダプター、電源コード×1<br>クイックスタートガイド×1 |  | 電源アダプター、電源コード×1<br>KVM ケーブル(DVI-D、USB、オーディオ:1.8m)×1<br>フットパッドセット(4pcs)×1<br>マウントキット×1<br>クイックスタートガイド×1 |  |

## KE6940A

| 機能                       | KE6940AR                                                                                                             | KE6940AT                                                                                                             |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>コネクタ</b>              |                                                                                                                      |                                                                                                                      |
| コンソールポート                 | USB Type-A メス×2 (White)<br>DVI-I メス×2 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 ピン オス×1 (Black) | USB Type-A メス×2 (White)<br>DVI-I メス×2 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 ピン オス×1 (Black) |
| KVM ポート                  | –                                                                                                                    | USB Type-B メス×1 (White)<br>DVI-I メス×2 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 ピン メス×1 (Black) |
| 電源                       | DC 電源ジャック×2 (Black)                                                                                                  |                                                                                                                      |
| LAN ポート                  | RJ-45×1 (Black)<br>SFP スロット×1                                                                                        |                                                                                                                      |
| USB ポート                  | USB Type-A メス×2 (White)                                                                                              | –                                                                                                                    |
| <b>スイッチ</b>              |                                                                                                                      |                                                                                                                      |
| OSD                      | プッシュボタン×1                                                                                                            | –                                                                                                                    |
| ビデオ                      | プッシュボタン×1                                                                                                            | –                                                                                                                    |
| グラフィック<br>(静止画像)         | プッシュボタン×1                                                                                                            | –                                                                                                                    |
| リセット                     | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                         |                                                                                                                      |
| モード選択                    | スライドスイッチ×1 (拡張、RS-232 設定)                                                                                            | スライドスイッチ×1 (自動、RS-232 設定/アクセス制御、ローカル)                                                                                |
| <b>LED</b>               |                                                                                                                      |                                                                                                                      |
| リンク 10 / 100 / 1000 Mbps | 1 (10:Orange / 100:Orange & Green / 1000:Green)                                                                      |                                                                                                                      |
| 電源                       | 1 (Blue)                                                                                                             |                                                                                                                      |
| ローカル                     | 1 (Green)                                                                                                            |                                                                                                                      |
| リモート                     | 1 (Green)                                                                                                            |                                                                                                                      |

(表は次のページに続きます)

| 機能             | KE6940AR                              | KE6940AT                                                                                                                     |
|----------------|---------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| エミュレーション       |                                       |                                                                                                                              |
| キーボード /<br>マウス | USB                                   |                                                                                                                              |
| 消費電力           | DC5V: 8.51W                           | DC5V: 12.2W                                                                                                                  |
| 解像度            | 最大 1920×1200@60Hz                     |                                                                                                                              |
| 動作環境           |                                       |                                                                                                                              |
| 動作温度           | 0～50℃                                 |                                                                                                                              |
| 保管温度           | -20～60℃                               |                                                                                                                              |
| 湿度             | 0～95% RH、結露なきこと                       |                                                                                                                              |
| ケース            |                                       |                                                                                                                              |
| ケース材料          | メタル                                   |                                                                                                                              |
| 重量             | 1.31 kg                               | 1.17 kg                                                                                                                      |
| サイズ(W×D×H)     | 227.5×171.6×54.8 mm                   | 215.0×163.3×41.8 mm                                                                                                          |
| 同梱品            | 電源アダプター、電源コード×1<br>1<br>クイックスタートガイド×1 | 電源アダプター、電源コード×1<br>KVM ケーブル(DVI-D、USB、オーディオ:1.8m)×1<br>DVI-D ケーブル(1.8m)×1<br>フットパッドセット(4pcs)×1<br>マウントキット×1<br>クイックスタートガイド×1 |



## KE6900AiT

| 機能                       | KE6900AiT                                                                                                            |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>コネクタ</b>              |                                                                                                                      |
| コンソールポート                 | USB Type-A メス×2 (White)<br>DVI-I メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 ピン オス×1 (Black) |
| KVM ポート                  | USB Type-B メス×1 (White)<br>DVI-I メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 ピン メス×1 (Black) |
| 電源                       | DC 電源ジャック×2 (Black)                                                                                                  |
| LAN ポート                  | RJ-45×1 (Black)<br>SFP スロット×1                                                                                        |
| インターネットポート               | RJ-45×1 (Black)                                                                                                      |
| USB ポート                  | –                                                                                                                    |
| <b>スイッチ</b>              |                                                                                                                      |
| OSD                      | –                                                                                                                    |
| ビデオ                      | –                                                                                                                    |
| グラフィック (静止画像)            | –                                                                                                                    |
| リセット                     | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                         |
| モード選択                    | スライドスイッチ×1 (自動、RS-232 設定/アクセス制御、ローカル)                                                                                |
| <b>LED</b>               |                                                                                                                      |
| リンク 10 / 100 / 1000 Mbps | 1 (10:Orange / 100:Orange & Green / 1000:Green)                                                                      |
| 電源                       | 1 (Blue)                                                                                                             |
| ローカル                     | 1 (Green)                                                                                                            |
| リモート                     | 1 (Green)                                                                                                            |

(表は次のページに続きます)

| 機能          | KE6900AiT                                                                                                           |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| エミュレーション    |                                                                                                                     |
| キーボード / マウス | USB                                                                                                                 |
| 消費電力        | DC12V:12W                                                                                                           |
| 解像度         | 最大 1920×1200@60Hz                                                                                                   |
| 動作環境        |                                                                                                                     |
| 動作温度        | 0～50℃                                                                                                               |
| 保管温度        | -20～60℃                                                                                                             |
| 湿度          | 0～95% RH、結露なきこと                                                                                                     |
| ケース         |                                                                                                                     |
| ケース材料       | メタル                                                                                                                 |
| 重量          | 1.16 kg                                                                                                             |
| サイズ(W×D×H)  | 215.0×163.3×41.8 mm                                                                                                 |
| 同梱品         | 電源アダプター、電源コード×1<br>KVM ケーブル(デュアルリンク DVI-D、USB、オーディオ:1.8m)<br>×1<br>フットパッドセット(4pcs) ×1<br>マウントキット×1<br>クイックスタートガイド×1 |

## KE6940AiT

| 機能                       | KE6940AiT                                                                                                            |
|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>コネクタ</b>              |                                                                                                                      |
| コンソールポート                 | USB Type-A メス×2 (White)<br>DVI-I メス×2 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 ピン オス×1 (Black) |
| KVM ポート                  | USB Type-B メス×1 (White)<br>DVI-I メス×2 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 ピン メス×1 (Black) |
| 電源                       | DC 電源ジャック×2 (Black)                                                                                                  |
| LAN ポート                  | RJ-45×1 (Black)<br>SFP スロット×1                                                                                        |
| インターネットポート               | RJ-45×1 (Black)                                                                                                      |
| USB ポート                  | –                                                                                                                    |
| <b>スイッチ</b>              |                                                                                                                      |
| OSD                      | –                                                                                                                    |
| ビデオ                      | –                                                                                                                    |
| グラフィック (静止画像)            | –                                                                                                                    |
| リセット                     | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                         |
| モード選択                    | スライドスイッチ×1 (自動、RS-232 設定/アクセス制御、ローカル)                                                                                |
| <b>LED</b>               |                                                                                                                      |
| リンク 10 / 100 / 1000 Mbps | 1 (10:Orange / 100:Orange & Green / 1000:Green)                                                                      |
| 電源                       | 1 (Blue)                                                                                                             |
| ローカル                     | 1 (Green)                                                                                                            |
| リモート                     | 1 (Green)                                                                                                            |

(表は次のページに続きます)

| 機能          | KE6940AiT                                                                                                                                  |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| エミュレーション    |                                                                                                                                            |
| キーボード / マウス | USB                                                                                                                                        |
| 消費電力        | DC12V:18.36W                                                                                                                               |
| 解像度         | 最大 1920×1200@60Hz                                                                                                                          |
| 動作環境        |                                                                                                                                            |
| 動作温度        | 0～50℃                                                                                                                                      |
| 保管温度        | -20～60℃                                                                                                                                    |
| 湿度          | 0～95% RH、結露なきこと                                                                                                                            |
| ケース         |                                                                                                                                            |
| ケース材料       | メタル                                                                                                                                        |
| 重量          | 1.18 kg                                                                                                                                    |
| サイズ(W×D×H)  | 215.0×163.3×41.8 mm                                                                                                                        |
| 同梱品         | 電源アダプター、電源コード×1<br>KVM ケーブル(デュアルリンク DVI-D、USB、オーディオ:1.8m)<br>×1<br>DVI-D ケーブル(1.8m) ×1<br>フットパッドセット(4pcs) ×1<br>マウントキット×1<br>クイックスタートガイド×1 |

## KE6900ST

|                        |                                                                    |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| <b>コンピューター接続数</b>      |                                                                    |
| ダイレクト                  | 1                                                                  |
| コンピューター側<br>対応インターフェース | キーボード/マウス:USB                                                      |
| コンソール側<br>対応インターフェース   | キーボード/マウス:USB                                                      |
| <b>コネクタ</b>            |                                                                    |
| KVM ポート                | キーボード/マウス:USB タイプ B メス×1<br>モニター:DVI-D メス×1<br>RS-232:DB-9 ピン メス×1 |
| 電源                     | DC 電源ジャック×1                                                        |
| LAN ポート                | RJ-45×1                                                            |
| <b>スイッチ</b>            |                                                                    |
| リセット                   | ピンホール型スイッチ×1                                                       |
| <b>LED</b>             |                                                                    |
| リンク                    | グリーン/オレンジ×1                                                        |
| 電源                     | ブルー×1                                                              |
| <b>エミュレーション</b>        |                                                                    |
| キーボード/マウス              | USB                                                                |
| <b>電源入力</b>            |                                                                    |
| 電源アダプター                | 型番:0AD8-0005-26MI<br>入力:AC100V～240V 50/60Hz<br>出力:DC5V 2.6A        |
| 消費電力                   | DC5V:3.35W                                                         |
| 解像度                    | 最大 1,920×1,200@60Hz                                                |
| <b>動作環境</b>            |                                                                    |
| 動作温度                   | 0～50℃                                                              |
| 保管温度                   | -20～60℃                                                            |
| 湿度                     | 0～95% RH、結露なきこと                                                    |

(表は次のページに続きます)

| ケース        |                                                                                                           |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ケース材料      | メタル                                                                                                       |
| 重量         | 0.43 kg ( 0.95 lb )                                                                                       |
| サイズ(W×D×H) | 144×103×30 mm                                                                                             |
| 同梱品        | USB DVI-D KVM ケーブル(1.8m、型番:2L-7D02U) ×1<br>電源アダプター×1<br>フットパット(4 個入) ×1<br>ウォールマウントキット×1<br>クイックスタートガイド×1 |

## KE6910

| 機能                       | KE6910R                                                                                                            | KE6910T                                                                                                           |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コネクタ                     |                                                                                                                    |                                                                                                                   |
| バーチャルメディア                | USB Type-A メス×2 (White)                                                                                            | －                                                                                                                 |
| コンソールポート                 | USB Type-A メス× 2 (White)<br>DVI-D メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 オス×1 (Black) |                                                                                                                   |
| KVM ポート                  | －                                                                                                                  | USB Type-B メス×1 (White)<br>DVI-D メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 メス×1 (Black) |
| 電源                       | DC 電源ジャック×2 (Black)                                                                                                |                                                                                                                   |
| LAN ポート                  | RJ-45×1 (Black)<br>SFP スロット×1                                                                                      |                                                                                                                   |
| スイッチ                     |                                                                                                                    |                                                                                                                   |
| OSD                      | プッシュボタン×1                                                                                                          | －                                                                                                                 |
| ビデオ                      | プッシュボタン×1                                                                                                          | －                                                                                                                 |
| グラフィック                   | プッシュボタン×1                                                                                                          | －                                                                                                                 |
| リセット                     | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                       |                                                                                                                   |
| モード選択                    | スライドスイッチ×1<br>(延長、RS-232 設定)                                                                                       | スライドスイッチ×1<br>(自動、RS-232 設定/アクセス制御、ローカル)                                                                          |
| LED                      |                                                                                                                    |                                                                                                                   |
| リンク 10 / 100 / 1000 Mbps | 1 (10Mbps : Orange / 100Mbps : Orange & Green / 1000Mbps : Green)                                                  |                                                                                                                   |
| 電源                       | 1 (Blue)                                                                                                           |                                                                                                                   |
| ローカル                     | 1 (Green)                                                                                                          |                                                                                                                   |
| リモート                     | 1 (Green)                                                                                                          |                                                                                                                   |

(表は次のページに続きます)

| 機能          | KE6910R                                                                                                            |                   | KE6910T |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------|
| エミュレーション    |                                                                                                                    |                   |         |
| キーボード / マウス | USB                                                                                                                |                   |         |
| 解像度         | 最大 2560×2048@50Hz / 2560×1600@60Hz                                                                                 |                   |         |
| 消費電力        | DC5V:9.02W                                                                                                         | DC5V:10.02W       |         |
| 動作環境        |                                                                                                                    |                   |         |
| 動作温度        | 0～50℃                                                                                                              |                   |         |
| 保管温度        | -20～60℃                                                                                                            |                   |         |
| 湿度          | 0～95% RH、結露なきこと                                                                                                    |                   |         |
| ケース         |                                                                                                                    |                   |         |
| ケース材料       | メタル                                                                                                                |                   |         |
| 重量          | 1.26 kg                                                                                                            | 1.13 kg           |         |
| サイズ(W×D×H)  | 227.5×171.6×54.8 mm                                                                                                | 215×163.3×41.8 mm |         |
| 同梱品         | 電源アダプター×2<br>電源ケーブル×2<br>KVM ケーブル(デュアルリンク DVI-D、USB、オーディオ)×1 (1.8m)<br>フットパッド×1(4pcs)<br>ラックマウントキット×1<br>ユーザーガイド×1 |                   |         |



## KE6912

| 機能                       | KE6912R                                                                                                            | KE6912T                                                                                                           |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コネクタ                     |                                                                                                                    |                                                                                                                   |
| バーチャルメディア                | USB Type-A メス×2 (White)                                                                                            | -                                                                                                                 |
| コンソールポート                 | USB Type-A メス× 2 (White)<br>DVI-D メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 オス×1 (Black) |                                                                                                                   |
| KVM ポート                  | -                                                                                                                  | USB Type-B メス×1 (White)<br>DVI-D メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 メス×1 (Black) |
| 電源                       | DC 電源ジャック×1 (Black)                                                                                                |                                                                                                                   |
| LAN ポート                  | RJ-45×1 (Black、PoE)<br>SFP スロット×1                                                                                  |                                                                                                                   |
| スイッチ                     |                                                                                                                    |                                                                                                                   |
| OSD                      | プッシュボタン×1                                                                                                          | -                                                                                                                 |
| ビデオ                      | プッシュボタン×1                                                                                                          | -                                                                                                                 |
| グラフィック                   | プッシュボタン×1                                                                                                          | -                                                                                                                 |
| リセット                     | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                       |                                                                                                                   |
| モード選択                    | スライドスイッチ×1<br>(延長、RS-232 設定)                                                                                       | スライドスイッチ×1<br>(自動、RS-232 設定/アクセス制御、ローカル)                                                                          |
| LED                      |                                                                                                                    |                                                                                                                   |
| リンク 10 / 100 / 1000 Mbps | 1 (10Mbps : Orange / 100Mbps : Orange & Green / 1000Mbps : Green)                                                  |                                                                                                                   |
| 電源                       | 1 (Blue)                                                                                                           |                                                                                                                   |
| ローカル                     | 1 (Green)                                                                                                          |                                                                                                                   |
| リモート                     | 1 (Green)                                                                                                          |                                                                                                                   |

(表は次のページに続きます)

| 機能          | KE6912R                                                                                |  | KE6912T           |  |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--|-------------------|--|
| エミュレーション    |                                                                                        |  |                   |  |
| キーボード / マウス | USB                                                                                    |  |                   |  |
| 消費電力        | DC48V:11.27W                                                                           |  | DC48V:12.53W      |  |
| 解像度         | 最大 2560×2048@50Hz / 2560×1600@60Hz                                                     |  |                   |  |
| 動作環境        |                                                                                        |  |                   |  |
| 動作温度        | 0～50℃                                                                                  |  |                   |  |
| 保管温度        | -20～60℃                                                                                |  |                   |  |
| 湿度          | 0～95% RH、結露なきこと                                                                        |  |                   |  |
| ケース         |                                                                                        |  |                   |  |
| ケース材料       | メタル                                                                                    |  |                   |  |
| 重量          | 1.28 kg                                                                                |  | 1.17 kg           |  |
| サイズ(W×D×H)  | 227.5×171.6×54.8 mm                                                                    |  | 215×163.3×41.8 mm |  |
| 同梱品         | KVM ケーブル(デュアルリンク DVI-D、USB、オーディオ)×1 (1.8m)<br>フットパッド(4pcs)×1<br>マウントキット×1<br>ユーザーガイド×1 |  |                   |  |

## KE6920

| 機能                       | KE6920R                                                                                                            | KE6920T                                                                                                           |
|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コネクタ                     |                                                                                                                    |                                                                                                                   |
| USB ポート                  | USB Type-A メス×2 (White)                                                                                            | －                                                                                                                 |
| コンソールポート                 | USB Type-A メス× 2 (White)<br>DVI-D メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 オス×1 (Black) |                                                                                                                   |
| KVM ポート                  | －                                                                                                                  | USB Type-B メス×1 (White)<br>DVI-D メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 メス×1 (Black) |
| 電源                       | DC 電源ジャック×2 (Black)                                                                                                |                                                                                                                   |
| LAN ポート                  | RJ-45×1 (Black)<br>SFP スロット×2                                                                                      |                                                                                                                   |
| スイッチ                     |                                                                                                                    |                                                                                                                   |
| OSD                      | プッシュボタン×1                                                                                                          | －                                                                                                                 |
| ビデオ                      | プッシュボタン×1                                                                                                          | －                                                                                                                 |
| グラフィック                   | プッシュボタン×1                                                                                                          | －                                                                                                                 |
| リセット                     | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                       |                                                                                                                   |
| モード選択                    | スライドスイッチ×1<br>(延長、RS-232 設定)                                                                                       | スライドスイッチ×1<br>(自動、RS-232 設定/アクセス制御、ローカル)                                                                          |
| LED                      |                                                                                                                    |                                                                                                                   |
| リンク 10 / 100 / 1000 Mbps | 1 (10Mbps:Orange / 100Mbps:Orange & Green / 1000Mbps:Green)                                                        |                                                                                                                   |
| 電源                       | 1 (Blue)                                                                                                           |                                                                                                                   |
| ローカル                     | 1 (Green)                                                                                                          |                                                                                                                   |
| リモート                     | 1 (Green)                                                                                                          |                                                                                                                   |

(表は次のページに続きます)

| 機能             | KE6920R                            |  | KE6920T                                                                                                         |  |
|----------------|------------------------------------|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| エミュレーション       |                                    |  |                                                                                                                 |  |
| キーボード /<br>マウス | USB                                |  |                                                                                                                 |  |
| 消費電力           | DC5V:8.86W                         |  | DC5V:10.87W                                                                                                     |  |
| 解像度            | 最大 2560×2048@50Hz / 2560×1600@60Hz |  |                                                                                                                 |  |
| 動作環境           |                                    |  |                                                                                                                 |  |
| 動作温度           | 0～50℃                              |  |                                                                                                                 |  |
| 保管温度           | -20～60℃                            |  |                                                                                                                 |  |
| 湿度             | 0～95% RH、結露なきこと                    |  |                                                                                                                 |  |
| ケース            |                                    |  |                                                                                                                 |  |
| ケース材料          | メタル                                |  |                                                                                                                 |  |
| 重量             | 1.27 kg                            |  | 1.15kg                                                                                                          |  |
| サイズ(W×D×H)     | 227.5×171.6×54.8 mm                |  | 215×163.3×41.8 mm                                                                                               |  |
| 同梱品            | 電源アダプター&電源ケーブル×1<br>ユーザーガイド×1      |  | 電源アダプター&電源ケーブル×1<br>KVM ケーブル(デュアルリンク<br>DVI-D、USB、オーディオ、1.8m)×<br>1<br>フットパッド(4pcs)×1<br>マウントキット×1<br>ユーザーガイド×1 |  |

## KE6922

| 機能                       | KE6922R                                                                                                          | KE6922T                                                                                                      |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コネクタ                     |                                                                                                                  |                                                                                                              |
| USB ポート                  | USB Type-A メス × 2 (White)                                                                                        | －                                                                                                            |
| コンソールポート                 | USB Type-A メス× 2(White)<br>DVI-D メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 オス×1(Black) |                                                                                                              |
| KVM ポート                  | －                                                                                                                | USB Type-B メス×1(White)<br>DVI-D メス×1(White)<br>ステレオミニジャック×1(Green)<br>ステレオミニジャック×1(Pink)<br>DB-9 メス×1(Black) |
| 電源                       | DC 電源ジャック×2(Black)                                                                                               |                                                                                                              |
| LAN ポート                  | RJ-45×1(Black、PoE)<br>SFP スロット×2                                                                                 |                                                                                                              |
| スイッチ                     |                                                                                                                  |                                                                                                              |
| OSD                      | プッシュボタン×1                                                                                                        | －                                                                                                            |
| ビデオ                      | プッシュボタン×1                                                                                                        | －                                                                                                            |
| グラフィック                   | プッシュボタン×1                                                                                                        | －                                                                                                            |
| リセット                     | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                     |                                                                                                              |
| モード選択                    | スライドスイッチ×1<br>(延長、RS-232 設定)                                                                                     | スライドスイッチ×1<br>(自動、RS-232 設定/アクセス制御、ローカル)                                                                     |
| LED                      |                                                                                                                  |                                                                                                              |
| リンク 10 / 100 / 1000 Mbps | 1 (10Mbps:Orange / 100Mbps:Orange & Green / 1000Mbps:Green)                                                      |                                                                                                              |
| 電源                       | 1 (Blue)                                                                                                         |                                                                                                              |
| ローカル                     | 1 (Green)                                                                                                        |                                                                                                              |
| リモート                     | 1 (Green)                                                                                                        |                                                                                                              |

(表は次のページに続きます)

| 機能          | KE6922R                            | KE6922T                                                                              |
|-------------|------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| エミュレーション    |                                    |                                                                                      |
| キーボード / マウス | USB                                |                                                                                      |
| 消費電力        | DC5V:8.86W                         | DC5V:10.87W                                                                          |
| 解像度         | 最大 2560×2048@50Hz / 2560×1600@60Hz |                                                                                      |
| 動作環境        |                                    |                                                                                      |
| 動作温度        | 0～50℃                              |                                                                                      |
| 保管温度        | -20～60℃                            |                                                                                      |
| 湿度          | 0～95% RH、結露なきこと                    |                                                                                      |
| ケース         |                                    |                                                                                      |
| ケース材料       | メタル                                |                                                                                      |
| 重量          | 1.30 kg                            | 1.18kg                                                                               |
| サイズ(W×D×H)  | 227.5×171.6×54.8 mm                | 215×163.3×41.8 mm                                                                    |
| 同梱品         | ユーザーガイド×1                          | KVM ケーブル(デュアルリンク DVI-D、USB、オーディオ、1.8m)×1<br>フットパッド(4pcs)×1<br>マウントキット×1<br>ユーザーガイド×1 |

## KE8900S

| 機能                   | KE8900SR                                                          | KE8900ST                                                          |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| コネクタ                 |                                                                   |                                                                   |
| バーチャルメディア            | USB Type-A メス×2 (Black)                                           | －                                                                 |
| コンソールポート             | USB Type-A メス×2 (Black)<br>HDMI メス×1 (Black)<br>DB-9 オス×1 (Black) | －                                                                 |
| KVM ポート              | －                                                                 | USB Type-B メス×1 (White)<br>HDMI メス×1 (Black)<br>DB-9 メス×1 (Black) |
| 電源                   | DC 電源ジャック×1                                                       | DC 電源ジャック×1<br>3 極式ターミナルブロック×1                                    |
| LAN ポート              | RJ-45×1 (Black)                                                   |                                                                   |
| スイッチ                 |                                                                   |                                                                   |
| リセット                 | ピンホール型スイッチ×1                                                      |                                                                   |
| LED                  |                                                                   |                                                                   |
| 10 / 100 / 1000 Mbps | 1 (10:Orange / 100:Orange&Green / 1000:Green)                     |                                                                   |
| 電源                   | 1 (Blue)                                                          |                                                                   |
| エミュレーション             |                                                                   |                                                                   |
| キーボード / マウス          | USB                                                               |                                                                   |
| 消費電力                 | DC5V:4.35W                                                        | DC5V:4.3W<br>DC48V:6.61W                                          |
| 解像度                  | 1920×1200@60Hz                                                    |                                                                   |
| 動作環境                 |                                                                   |                                                                   |
| 動作温度                 | 0～50℃                                                             |                                                                   |
| 保管温度                 | -20～60℃                                                           |                                                                   |
| 湿度                   | 0～95% RH、結露なきこと                                                   |                                                                   |

(表は次のページに続きます)

| 機能          | KE8900SR                                                                                                                        | KE8900ST |
|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| ケース         |                                                                                                                                 |          |
| ケース材料       | メタル                                                                                                                             |          |
| 重量          | 0.64 kg                                                                                                                         | 0.65 kg  |
| サイズ (W×D×H) | 182×118×29 mm                                                                                                                   |          |
| 同梱品         | USB HDMI KVM ケーブル (HDMI、USB、オーディオ) ×1 (1.8m)<br>電源アダプター ×1<br>マウントキット ×1<br>HDMI ケーブル抜け防止ホルダー (型番:2X-EA12) ×1<br>クイックスタートガイド ×1 |          |



## KE8950

| 機能                     | KE8950R                                                                                                                          | KE8950T                                                                                                                          |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コンピューター接続数             |                                                                                                                                  |                                                                                                                                  |
| ダイレクト                  | –                                                                                                                                | 1                                                                                                                                |
| コンソール接続数               |                                                                                                                                  |                                                                                                                                  |
| ローカル                   | –                                                                                                                                | 1                                                                                                                                |
| リモート                   | 1                                                                                                                                | –                                                                                                                                |
| コンピューター側<br>対応インターフェース | –                                                                                                                                | キーボード/マウス:USB                                                                                                                    |
| コンソール側<br>対応インターフェース   | キーボード/マウス:USB                                                                                                                    | キーボード/マウス:USB                                                                                                                    |
| コネクター                  |                                                                                                                                  |                                                                                                                                  |
| KVM ポート                | –                                                                                                                                | キーボード/マウス:USB タイプ B<br>メス×1<br>モニター:HDMI メス×1<br>スピーカー:ステレオミニジャック<br>×1<br>マイク:ステレオミニジャック×1<br>RS-232:DB-9 ピン メス×1               |
| コンソールポート               | キーボード:USB タイプ A メス×1<br>マウス:USB タイプ A メス×1<br>モニター:HDMI メス×1<br>スピーカー:ステレオミニジャック<br>×1<br>マイク:ステレオミニジャック×1<br>RS-232:DB9 ピン オス×1 | キーボード:USB タイプ A メス×1<br>マウス:USB タイプ A メス×1<br>モニター:HDMI メス×1<br>スピーカー:ステレオミニジャック<br>×1<br>マイク:ステレオミニジャック×1<br>RS-232:DB9 ピン オス×1 |
| バーチャルメディア              | USB タイプ A メス×2                                                                                                                   | –                                                                                                                                |
| 電源                     | DC 電源ジャック×1                                                                                                                      | DC 電源ジャック×1                                                                                                                      |
| LAN ポート                | RJ-45×1<br>SFP スロット×1                                                                                                            | RJ-45×1<br>SFP スロット×1                                                                                                            |

(表は次のページに続きます)

| 機能               | KE8950R                                                   | KE8950T                                                   |
|------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| <b>スイッチ</b>      |                                                           |                                                           |
| OSD              | プッシュボタン×1                                                 | －                                                         |
| ビデオ              | (動画)プッシュボタン×1                                             | －                                                         |
| グラフィック(静止画像)     | プッシュボタン×1                                                 | －                                                         |
| リセット             | ピンホール型スイッチ×1                                              | ピンホール型スイッチ×1                                              |
| <b>LED</b>       |                                                           |                                                           |
| 10/100/1000 Mbps | 1 (10 Mbps: オレンジ / 100 Mbps: オレンジ&グリーン / 1000 Mbps: グリーン) | 1 (10 Mbps: オレンジ / 100 Mbps: オレンジ&グリーン / 1000 Mbps: グリーン) |
| 電源               | ブルー×1                                                     | ブルー×1                                                     |
| ローカル             | グリーン×1                                                    | グリーン×1                                                    |
| リモート             | グリーン×1                                                    | グリーン×1                                                    |
| <b>エミュレーション</b>  |                                                           |                                                           |
| キーボード/マウス        | USB                                                       | USB                                                       |
| <b>電源入力</b>      |                                                           |                                                           |
| 電源アダプター          | 型番:0AD8-8005-40MG<br>入力:AC100V～240V 50/60Hz<br>出力:DC5V 4A | 型番:0AD8-8005-40MG<br>入力:AC100V～240V 50/60Hz<br>出力:DC5V 4A |
| 消費電力             | 5.65W                                                     | 7.22W                                                     |
| 解像度              | 最大 3,840×2,160@30Hz                                       | 最大 3,840×2,160@30Hz                                       |
| <b>動作環境</b>      |                                                           |                                                           |
| 動作温度             | 0～50℃                                                     | 0～50℃                                                     |
| 保管温度             | -20～60℃                                                   | -20～60℃                                                   |
| 湿度               | 0～95% RH、結露なきこと                                           | 0～95% RH、結露なきこと                                           |
| <b>ケース</b>       |                                                           |                                                           |
| ケース材料            | メタル                                                       | メタル                                                       |
| 重量               | 1.23 kg ( 2.71 lb )                                       | 1.10 kg ( 2.42 lb )                                       |
| サイズ(W×D×H)       | 228×172×55 mm                                             | 215×163×42 mm                                             |

(表は次のページに続きます)

| 機能  | KE8950R                                                                                                                                                    | KE8950T                                                                                                                                                    |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 同梱品 | (KE8950 の同梱品)<br>KVM(HDMI、USB、オーディオ)<br>ケーブル×1(1.8m)<br>電源アダプター×2<br>HDMI ケーブル抜け防止ホルダー(型番:2X-EA12)×2<br>フットパッドセット×1<br>KE8950T 用マウントキット×1<br>クイックスタートガイド×1 | (KE8950 の同梱品)<br>KVM(HDMI、USB、オーディオ)<br>ケーブル×1(1.8m)<br>電源アダプター×2<br>HDMI ケーブル抜け防止ホルダー(型番:2X-EA12)×2<br>フットパッドセット×1<br>KE8950T 用マウントキット×1<br>クイックスタートガイド×1 |

## KE8952

| 機能                     | KE8952R                                                                                                                          | KE8952T                                                                                                                          |
|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| コンピューター接続数             |                                                                                                                                  |                                                                                                                                  |
| ダイレクト                  | –                                                                                                                                | 1                                                                                                                                |
| コンソール接続数               |                                                                                                                                  |                                                                                                                                  |
| ローカル                   | –                                                                                                                                | 1                                                                                                                                |
| リモート                   | 1                                                                                                                                | –                                                                                                                                |
| コンピューター側<br>対応インターフェース | –                                                                                                                                | キーボード/マウス:USB                                                                                                                    |
| コンソール側<br>対応インターフェース   | キーボード/マウス:USB                                                                                                                    | キーボード/マウス:USB                                                                                                                    |
| コネクター                  |                                                                                                                                  |                                                                                                                                  |
| KVM ポート                | –                                                                                                                                | キーボード/マウス:USB タイプ B<br>メス×1<br>モニター:HDMI メス×1<br>スピーカー:ステレオミニジャック<br>×1<br>マイク:ステレオミニジャック×1<br>RS-232:DB-9 ピン メス×1               |
| コンソールポート               | キーボード:USB タイプ A メス×1<br>マウス:USB タイプ A メス×1<br>モニター:HDMI メス×1<br>スピーカー:ステレオミニジャック<br>×1<br>マイク:ステレオミニジャック×1<br>RS-232:DB9 ピン オス×1 | キーボード:USB タイプ A メス×1<br>マウス:USB タイプ A メス×1<br>モニター:HDMI メス×1<br>スピーカー:ステレオミニジャック<br>×1<br>マイク:ステレオミニジャック×1<br>RS-232:DB9 ピン オス×1 |
| バーチャルメディア              | USB タイプ A メス×2                                                                                                                   | –                                                                                                                                |
| 電源                     | DC 電源ジャック×1                                                                                                                      | DC 電源ジャック×1                                                                                                                      |
| LAN ポート                | RJ-45×1<br>SFP スロット×1                                                                                                            | RJ-45×1<br>SFP スロット×1                                                                                                            |

(表は次のページに続きます)

| 機能               | KE8952R                                                              | KE8952T                                                              |
|------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| <b>スイッチ</b>      |                                                                      |                                                                      |
| OSD              | プッシュボタン×1                                                            | －                                                                    |
| ビデオ              | プッシュボタン×1                                                            | －                                                                    |
| グラフィック(静止画像)     | プッシュボタン×1                                                            | －                                                                    |
| リセット             | ピンホール型スイッチ×1                                                         | ピンホール型スイッチ×1                                                         |
| <b>LED</b>       |                                                                      |                                                                      |
| 10/100/1000 Mbps | 1 (10 Mbps: オレンジ / 100 Mbps: オレンジ&グリーン / 1000 Mbps: グリーン)            | 1 (10 Mbps: オレンジ / 100 Mbps: オレンジ&グリーン / 1000 Mbps: グリーン)            |
| 電源               | ブルー×1                                                                | ブルー×1                                                                |
| ローカル             | グリーン×1                                                               | グリーン×1                                                               |
| リモート             | グリーン×1                                                               | グリーン×1                                                               |
| <b>エミュレーション</b>  |                                                                      |                                                                      |
| キーボード/マウス        | USB                                                                  | USB                                                                  |
| <b>電源入力</b>      |                                                                      |                                                                      |
| 電源アダプター          | (オプション)<br>型番:0AD8-8005-40MG<br>入力:AC100V～240V 50/60Hz<br>出力:DC5V 4A | (オプション)<br>型番:0AD8-8005-40MG<br>入力:AC100V～240V 50/60Hz<br>出力:DC5V 4A |
| 消費電力             | DC48V:7.06W                                                          | DC48V:9.02W                                                          |
| 解像度              | 最大 3,840×2,160@30Hz                                                  | 最大 3,840×2,160@30Hz                                                  |
| <b>動作環境</b>      |                                                                      |                                                                      |
| 動作温度             | 0～50℃                                                                | 0～50℃                                                                |
| 保管温度             | -20～60℃                                                              | -20～60℃                                                              |
| 湿度               | 0～95% RH、結露なきこと                                                      | 0～95% RH、結露なきこと                                                      |
| <b>ケース</b>       |                                                                      |                                                                      |
| ケース材料            | メタル                                                                  | メタル                                                                  |
| 重量               | 1.26kg (2.78lb)                                                      | 1.13 kg ( 2.49 lb )                                                  |
| サイズ(W×D×H)       | 228×172×55 mm                                                        | 215×163×42 mm                                                        |

(表は次のページに続きます)

| 機能  | KE8952R                                                                                                                                       | KE8952T                                                                                                                                       |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 同梱品 | (KE8952 の同梱品)<br>KVM(HDMI、USB、オーディオ)<br>ケーブル×1(1.8m)<br>HDMI ケーブル抜け防止ホルダー(型番:2X-EA12)×2<br>フットパッドセット×1<br>KE8952T 用マウントキット×1<br>クイックスタートガイド×1 | (KE8952 の同梱品)<br>KVM(HDMI、USB、オーディオ)<br>ケーブル×1(1.8m)<br>HDMI ケーブル抜け防止ホルダー(型番:2X-EA12)×2<br>フットパッドセット×1<br>KE8952T 用マウントキット×1<br>クイックスタートガイド×1 |

## KE9900ST

| 機能                   | KE9900ST                                                                                                 |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>コネクタ</b>          |                                                                                                          |
| KVM ポート              | USB Type-B メス×1 (White)<br>DisplayPort メス×1 (Black)<br>DB-9 メス×1 (Black)                                 |
| 電源                   | DC 電源ジャック×1<br>3 極式ターミナルブロック×1                                                                           |
| LAN ポート              | RJ-45×1                                                                                                  |
| <b>スイッチ</b>          |                                                                                                          |
| リセット                 | ピンホール型スイッチ×1                                                                                             |
| <b>LED</b>           |                                                                                                          |
| 10 / 100 / 1000 Mbps | 1 (10:Orange / 100:Orange&Green / 1000:Green)                                                            |
| 電源                   | 1 (Blue)                                                                                                 |
| <b>エミュレーション</b>      |                                                                                                          |
| キーボード / マウス          | USB                                                                                                      |
| 消費電力                 | DC5V:4.75W<br>DC48V:6.97W                                                                                |
| 解像度                  | 1920×1200@60Hz                                                                                           |
| <b>動作環境</b>          |                                                                                                          |
| 動作温度                 | 0～50℃                                                                                                    |
| 保管温度                 | -20～60℃                                                                                                  |
| 湿度                   | 0～95% RH、結露なきこと                                                                                          |
| <b>ケース</b>           |                                                                                                          |
| ケース材料                | メタル                                                                                                      |
| 重量                   | 0.65 kg                                                                                                  |
| サイズ(W×D×H)           | 182×118×29 mm                                                                                            |
| 同梱品                  | DisplayPort ケーブル×1 (2m)<br>USB2.0 Type-A→Type-B ケーブル×1 (1.8m)<br>電源アダプター×1<br>マウントキット×1<br>クイックスタートガイド×1 |

## KE9950

| 機能                          | KE9950T                                                                                                                 | KE9950R                  |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| コネクタ                        |                                                                                                                         |                          |
| バーチャルメディア                   | －                                                                                                                       | USB Type-A メス× 2 (White) |
| コンソールポート                    | USB Type-A メス×2 (White)<br>DisplayPort メス×1 (Black)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 オス×1 (Black) |                          |
| KVM ポート                     | USB Type-B メス×1 (White)<br>DisplayPort メス×1 (Black)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 メス×1 (Black) | －                        |
| 電源                          | DC 電源ジャック×2                                                                                                             |                          |
| LAN ポート                     | RJ-45×1 (Black)                                                                                                         |                          |
|                             | SFP スロット×1                                                                                                              |                          |
| スイッチ                        |                                                                                                                         |                          |
| OSD                         | －                                                                                                                       | プッシュボタン×1                |
| ビデオ                         | －                                                                                                                       | プッシュボタン×1                |
| グラフィック<br>(静止画像)            | －                                                                                                                       | プッシュボタン×1                |
| リセット                        | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                            |                          |
| LED                         |                                                                                                                         |                          |
| リンク 10 / 100 /<br>1000 Mbps | 1 (10:Orange / 100:Orange & Green / 1000:Green)                                                                         |                          |
| 電源                          | 1 (Blue)                                                                                                                |                          |
| ローカル                        | 1 (Green)                                                                                                               |                          |
| リモート                        | 1 (Green)                                                                                                               |                          |
| 解像度                         | 3840×2160@30Hz (4:4:4)                                                                                                  |                          |

(表は次のページに続きます)



| 機能          | KE9950T                                                                                                                                                                                |  | KE9950R              |  |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|----------------------|--|
| エミュレーション    |                                                                                                                                                                                        |  |                      |  |
| キーボード / マウス | USB                                                                                                                                                                                    |  |                      |  |
| 消費電力        | DC5V: 9.51W                                                                                                                                                                            |  | DC5V: 8.03W          |  |
| 動作環境        |                                                                                                                                                                                        |  |                      |  |
| 動作温度        | 0～50℃                                                                                                                                                                                  |  |                      |  |
| 保管温度        | -20～60℃                                                                                                                                                                                |  |                      |  |
| 湿度          | 0～95% RH、結露なきこと                                                                                                                                                                        |  |                      |  |
| ケース         |                                                                                                                                                                                        |  |                      |  |
| ケース材料       | メタル                                                                                                                                                                                    |  |                      |  |
| 重量          | 1.12 kg                                                                                                                                                                                |  | 1.24 kg              |  |
| サイズ(W×D×H)  | 215×163×42 mm                                                                                                                                                                          |  | 228×172×55 mm        |  |
| 同梱品         | DisplayPort ケーブル×1 (KE9950T のみ)<br>USB 2.0 Type-A→Type-B ケーブル×1 (KE9950T のみ)<br>電源アダプター×1<br>電源コード×1<br>フットパッドセット ( 4pcs ) × 1 (KE9950T のみ)<br>マウントキット×1 (KE9950T のみ)<br>クイックスタートガイド×1 |  | 電源アダプター×1<br>電源コード×1 |  |

## KE9952

| 機能                          | KE9952T                                                                                                                 | KE9952R                  |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| コネクタ                        |                                                                                                                         |                          |
| バーチャルメディア                   | －                                                                                                                       | USB Type-A メス× 2 (White) |
| コンソールポート                    | USB Type-A メス×2 (White)<br>DisplayPort メス×1 (Black)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 オス×1 (Black) |                          |
| KVM ポート                     | USB Type-B メス×1 (White)<br>DisplayPort メス×1 (White)<br>ステレオミニジャック×1 (Green)<br>ステレオミニジャック×1 (Pink)<br>DB-9 メス×1 (Black) | －                        |
| 電源                          | DC 電源ジャック×1                                                                                                             |                          |
| LAN ポート                     | RJ-45×1 (Black、PoE)                                                                                                     |                          |
|                             | SFP スロット×1                                                                                                              |                          |
| スイッチ                        |                                                                                                                         |                          |
| OSD                         | －                                                                                                                       | プッシュボタン×1                |
| ビデオ                         | －                                                                                                                       | プッシュボタン×1                |
| グラフィック<br>(静止画像)            | －                                                                                                                       | プッシュボタン×1                |
| リセット                        | ピンホール型スイッチ×1                                                                                                            |                          |
| LED                         |                                                                                                                         |                          |
| リンク 10 / 100 /<br>1000 Mbps | 1 (10:Orange / 100:Orange & Green / 1000:Green)                                                                         |                          |
| 電源                          | 1 (Blue)                                                                                                                |                          |
| ローカル                        | 1 (Green)                                                                                                               |                          |
| リモート                        | 1 (Green)                                                                                                               |                          |
| エミュレーション                    |                                                                                                                         |                          |
| キーボード / マウス                 | USB                                                                                                                     |                          |

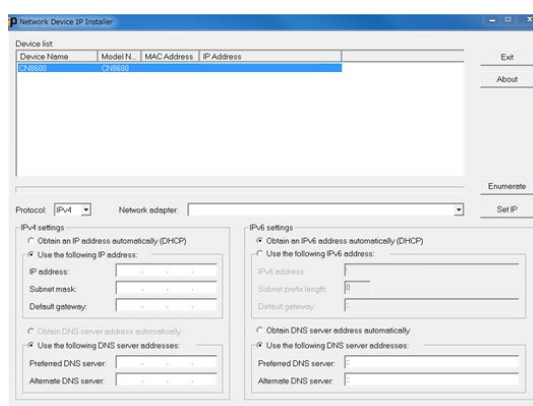
(表は次のページに続きます)

| 機能         | KE9952T                                                                                                                                                      | KE9952R       |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 消費電力       | DC48V: 11.88W                                                                                                                                                | DC48V: 10.04W |
| 解像度        | 3840×2160@30Hz (4:4:4)                                                                                                                                       |               |
| 動作環境       |                                                                                                                                                              |               |
| 動作温度       | 0～50℃                                                                                                                                                        |               |
| 保管温度       | -20～60℃                                                                                                                                                      |               |
| 湿度         | 0～95% RH、結露なきこと                                                                                                                                              |               |
| ケース        |                                                                                                                                                              |               |
| ケース材料      | メタル                                                                                                                                                          |               |
| 重量         | 1.15 kg                                                                                                                                                      | 1.27 kg       |
| サイズ(W×D×H) | 215×163×42 mm                                                                                                                                                | 228×172×55 mm |
| 同梱品        | DisplayPort ケーブル × 1<br>(KE9952T のみ)<br>USB 2.0 Type-A→Type-B ケーブル×1 (KE9952T のみ)<br>KE9952T 用フットパッドセット (4pcs) ×1<br>マウントキット×1 (KE9952T のみ)<br>クイックスタートガイド×1 | クイックスタートガイド×1 |

## IP インストーラー

Windows が稼働しているクライアントコンピューターから、IP インストーラーというユーティリティを使って、トランスミッターやレシーバーの IP アドレスを割り当てることができます。このユーティリティは、弊社 Web サイトのダウンロードメニューより取得することが可能です。ダウンロードは、1) 製品ページ内の「サポートとダウンロード」メニューからアクセス、または、2) ホームページ右上に表示される(表示画面のサイズによっては画面左上に三本線のアイコンが表示されるので、それをクリックすると表示される)「サポートとダウンロード」→「ダウンロード」→「他の製品の資料をダウンロードする」に型番を入力して検索する方法で行えます。お使いのクライアントコンピューターにユーティリティをダウンロードしたら、以下の手順にしたがって操作を行ってください。

1. ファイル「IPInstaller.zip」を、お使いのコンピューターのハードディスク上の適当なフォルダーに解凍してください。
2. 手順 1 でファイルを解凍したフォルダーに移動し、ファイル「IPInstaller.exe」を起動してください。プログラムを起動すると、下図のような画面が表示されます。



3. トランスミッターまたはレシーバーを「Device List」から選択してください。

**注意:**

1. リストが空欄になっている、またはデバイスが表示されない場合は、「Enumerate」ボタンをクリックして、このリストを再度読み込み直してください。
2. リストに複数台の KE デバイスが表示された場合は、MAC アドレスでデバイスを判別してください。MAC アドレスは製品底面に記載されています。

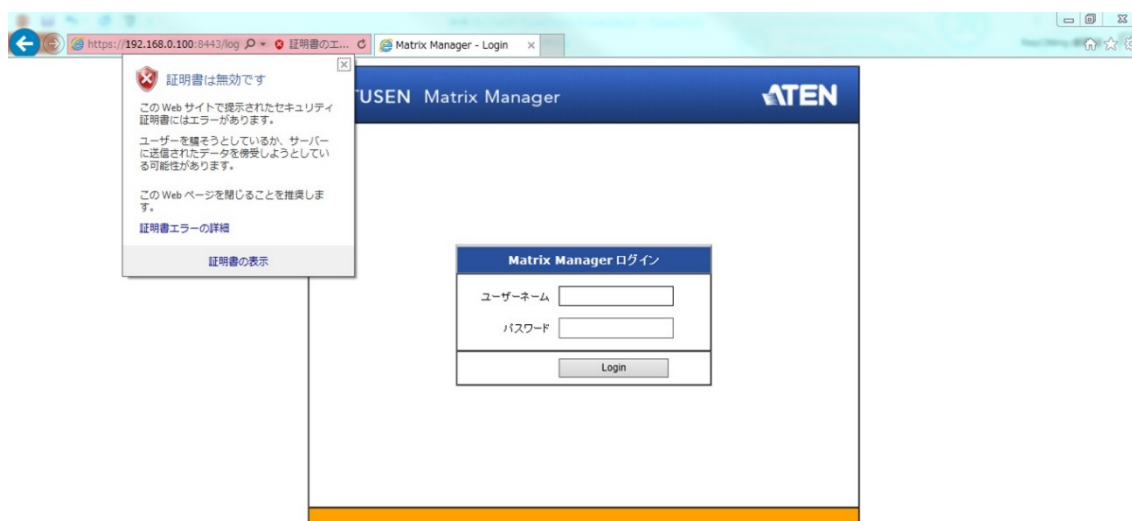
4. 「Obtain an IP address automatically (DHCP)」(IP アドレスを自動的に取得[DHCP])または、「Specify an IP address」(固定 IP アドレスを設定)を選択してください。後者を選択した場合は、お使いのネットワーク環境で有効な IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを該当欄に入力してください。

5. 「**Set IP**」ボタンをクリックしてください。
6. IP アドレスが「Device List」に表示されたことを確認してから、「**Exit**」ボタンをクリックしてプログラムを終了してください。

# 信頼された証明書

## 概要

ブラウザ経由で KE デバイスにログインすると、以下のようなセキュリティ警告ダイアログが表示され、デバイスの証明書が信頼できるものではないため、操作を続行するかどうかを問うメッセージが表示されます。



この証明書は信頼できるものですが、証明書の名前が Microsoft の信頼された認証局のリストに存在しないため、このようなダイアログが表示されます。この警告メッセージは無視しても構いませんので、「Yes」ボタンを押して、処理を続行してください。表示をさせたくない場合は、プライベート証明書の登録を行う必要があります。手順の詳細は p.335「証明書」を参照してください。

## 自己署名(プライベート)証明書

オリジナルの自己署名暗号鍵や証明書を作成したい場合は、フリーツール「openssl.exe」を Web サイト([www.openssl.org](http://www.openssl.org))からダウンロードすることができます。オリジナルのプライベートキーや証明書を作成する場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ダウンロードした openssl.exe を解凍したディレクトリに移動してください。
2. 以下のパラメーターを指定して openssl.exe を実行してください。

```
openssl req -new -newkey rsa:1024 -days 3653 -nodes -x509  
-keyout CA.key -out CA.cer -config openssl.cnf
```

- 
- 注意:**
1. 上記のコマンドは 1 行で入力してください。パラメーターの入力途中で [Enter] キーを押さないでください。
  2. 入力値にスペースが含まれている場合は、その値をダブルクォートで囲んでください。(例: "ATEN International")
- 

以下のパラメーターを使用して、作成時に入力するキーを少なくすることも可能です。

```
/C /ST /L /O /OU /CN /emailAddress.
```

### 例

```
openssl req -new -newkey rsa:1024 -days 3653 -nodes -x509 -keyout CA.key -out CA.cer  
-config openssl.cnf -subj "/C=yourcountry/ST=yourstateorprovince/L=yourlocationor  
city/O=yourorganization/OU=yourorganizationalunit/CN=yourcommonname/emailAddress=name@  
yourcompany.com"
```

### 入力例

```
openssl req -new -newkey rsa:1024 -days 3653 -nodes -x509 -keyout CA.key -out CA.cer  
-config openssl.cnf -subj "/C=CA/ST=BC/L=Richmond/O=ATEN  
International/OU=ATEN/CN=ATEN/emailAddress=eservice@aten.com.tw"
```

## ファイルのインポート

openssl.exe のプログラムが終了すると、このプログラムを実行したディレクトリに「CA.key」(プライベートキー) と「CA.cer」(自己署名済 SSL 証明書)という 2 つのファイルが作成されます。

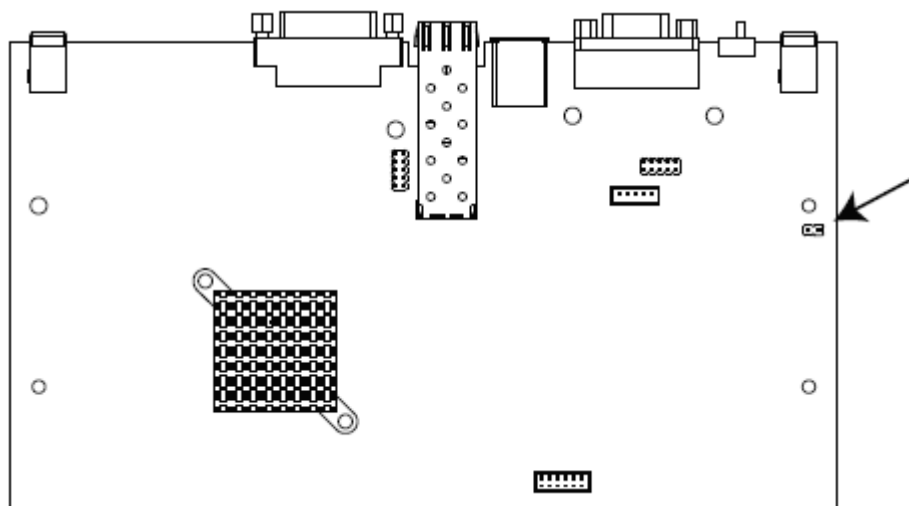


## 全情報のリセット

---

すべての情報(パスワードを含む)をリセットしてデフォルト設定に戻すには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. 製品本体の電源を OFF にし、ケースを取り外してください。
2. メインボード上で「DEFAULT PASSWORD」と記載されているピンを、ジャンパーキャップでショートさせてください。下図はその例です。

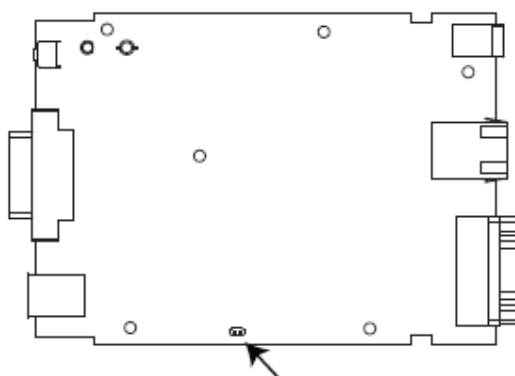


3. 製品本体に電源を入れてください。
4. 製品本体に電源が入ったことを確認したら、電源を切ってください。
5. ジャンパーキャップを「Reset」(リセット)ピンから取り外したら、ケースを取り付けてください。
6. もう一度、製品本体に電源を入れてください。  
製品本体に電源が入ると、デフォルトのアドミニストレーターのアカウントとパスワードを使用してログインできるようになります(p.234「ログイン」参照)。

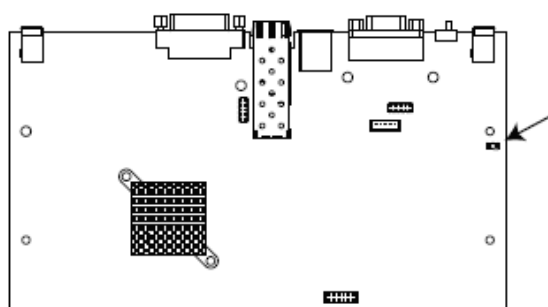
## DEFAULT PASSWORD ピン

「DEFAULT PASSWORD」ピンの位置は機種によって異なります。下図を参考にして作業を行ってください。

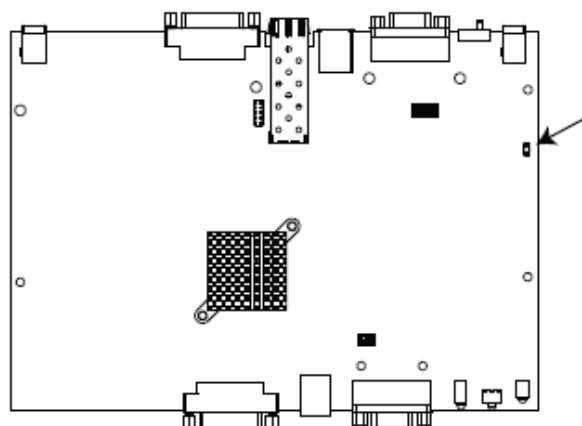
### ■KE6900ST



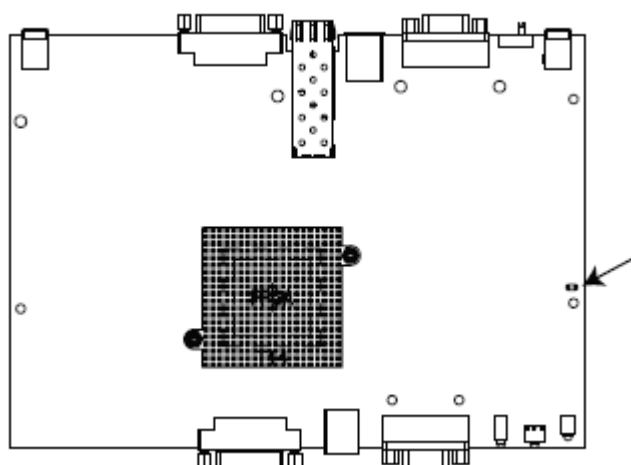
### ■KE6900AR



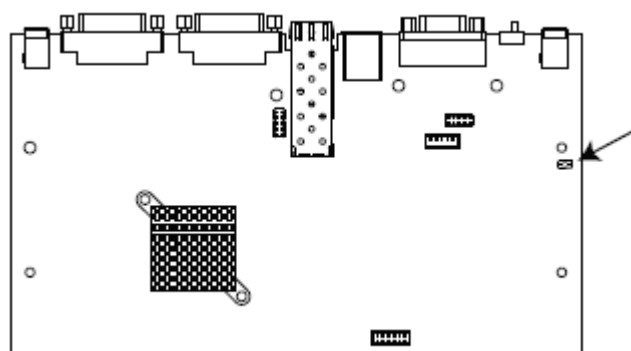
### ■KE6900AT



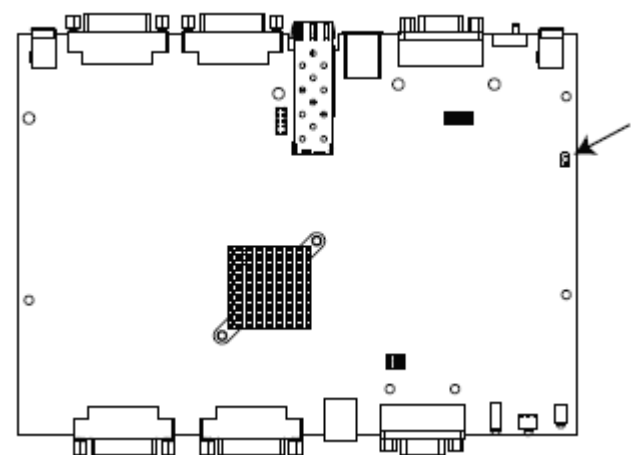
■ KE6900AiT



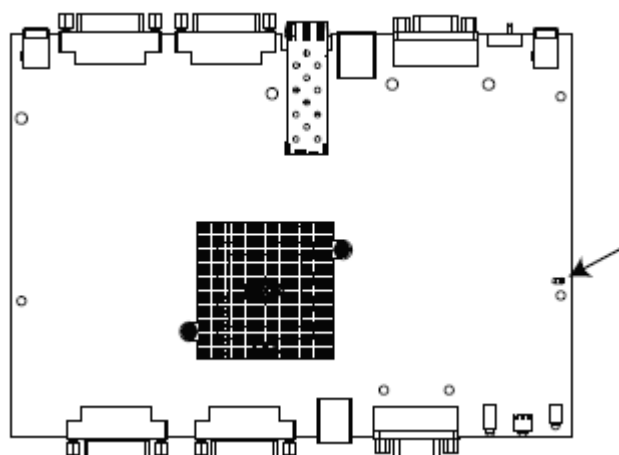
■ KE6940AR



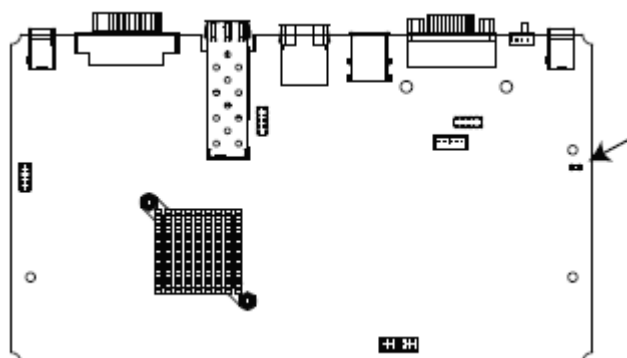
■ KE6940AT



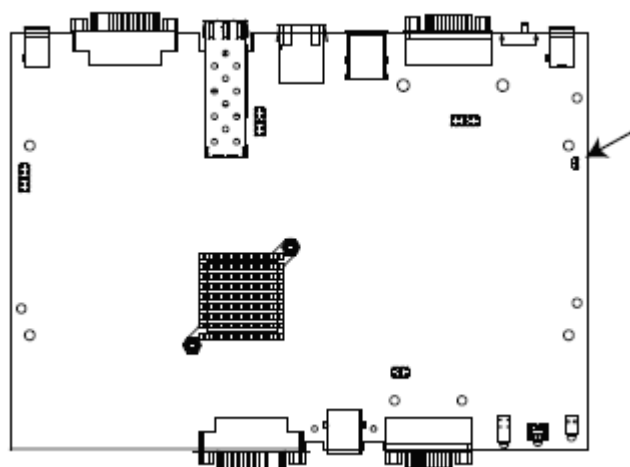
■ KE6940AiT



■ KE6910R/KE6912R

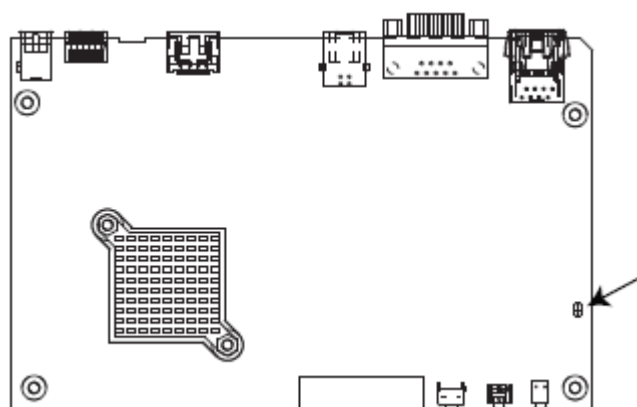


■ KE6910T/KE6912T

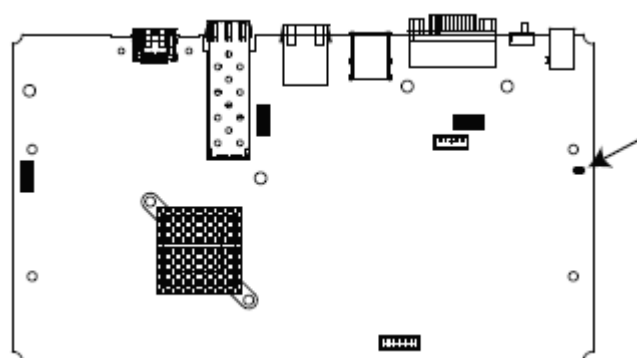




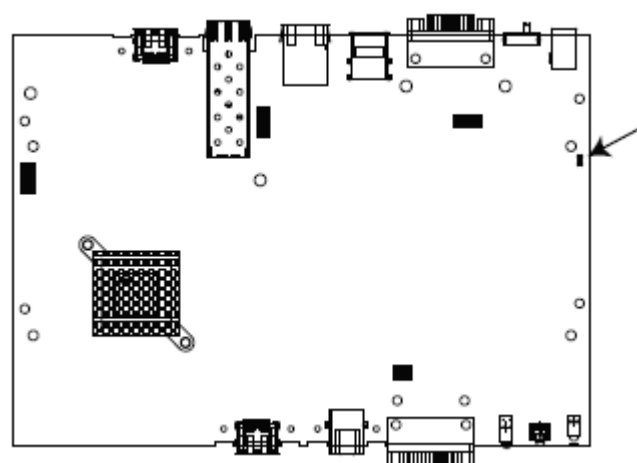
■ KE8900ST



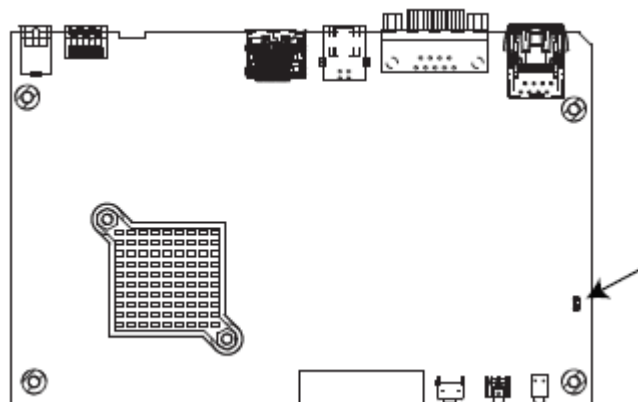
■ KE8950R/KE8952R



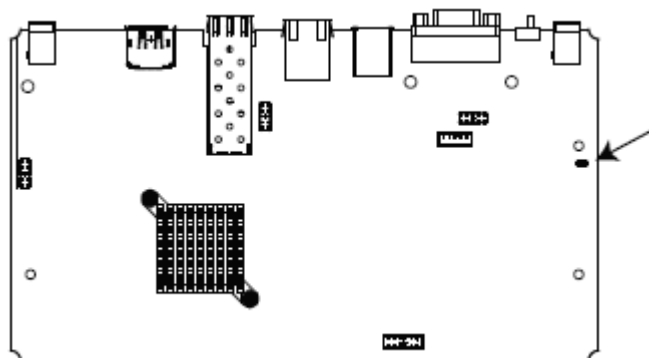
■ KE8950T/KE8952T



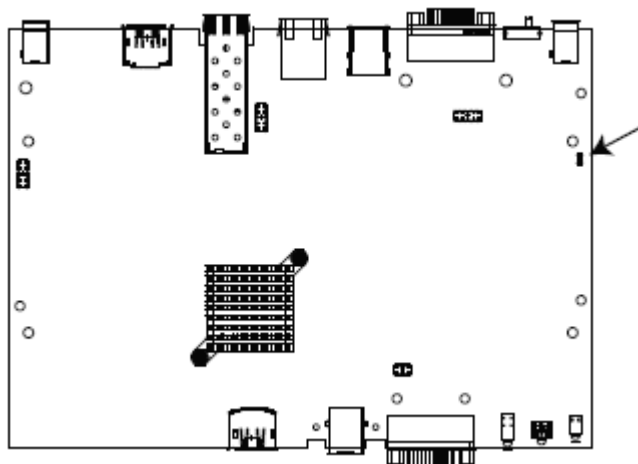
■ KE9900ST



■ KE9950R/KE9952R



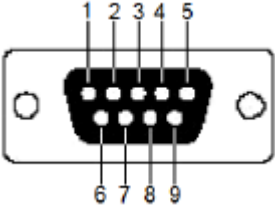
■ KE9950T/KE9952T



# RS-232 ピンアサイン

トランスミッターとレシーバーのリア側にある RS-232 ポートはシリアルターミナル用に使用されます。これらの RS-232 ポートのピンアサインは下表のとおりです。

| ピン | アサイン |           |
|----|------|-----------|
| 1  | N/A  | なし        |
| 2  | RXD  | 受信データ     |
| 3  | TXD  | 送信データ     |
| 4  | DTR  | データ端末レディ  |
| 5  | GND  | 信号用接地     |
| 6  | DSR  | データセットレディ |
| 7  | RTS  | 送信要求      |
| 8  | CTS  | 送信許可      |
| 9  | N/A  | なし        |

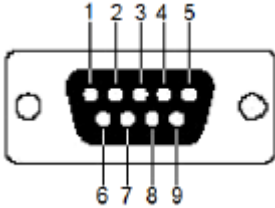


DB-9 ピン オス

## トランスミッターのフロント RS-232 ポート

トランスミッターのフロント側にある RS-232 ポートは、シリアル制御の際にコンピューターとの接続に使用されます。この RS-232 ポートのピンアサインは下表のとおりです。

| ピン | アサイン |           |
|----|------|-----------|
| 1  | N/A  | なし        |
| 2  | TXD  | 送信データ     |
| 3  | RXD  | 受信データ     |
| 4  | DSR  | データセットレディ |
| 5  | GND  | 信号用接地     |
| 6  | DTR  | データ端末レディ  |
| 7  | CTS  | 送信許可      |
| 8  | RTS  | 送信要求      |
| 9  | N/A  | なし        |



DB-9 ピン メス



## マルチキャスト IP アドレス

---

オーディオおよびビデオデータは、マルチキャストによって、トランスミッターから複数のレシーバーへとネットワーク経由でブロードキャストされます。ネットワークスイッチにおいてマルチキャストの設定を行うには、KE トランスミッターが検出できるオーディオおよびビデオのマルチキャスト IP アドレスを把握しておく必要があります。KE デバイスによって設定されるデフォルトの IP アドレスを確定するには、下記の方法をご参照ください。マルチキャスト IP アドレスは Telnet を使って手入力で設定することができます。

### KE マルチキャストのルール

すべてのオーディオおよびビデオのマルチキャスト IP アドレスは、「230.X.Y.Z」のフォーマットを使います。

「X.Y.Z」の部分は、トランスミッターの IP アドレスに関係します。また、「**230**」は、必ずマルチキャスト IP アドレスにおける最初のオクテットとなります。**X**を割り出し、これを使ってオーディオおよびビデオのマルチキャスト IP アドレスを算出するには、トランスミッターの IP アドレスを使用します。

### マルチキャスト IP の公式

オーディオおよびビデオのマルチキャスト IP アドレスを算出するには、トランスミッターの IP アドレスを使って **X** を確定してから、次の正しい表を使って、各データストリーム(オーディオ/ビデオ)に対してマルチキャスト IP アドレスを算出してください。

例:

トランスミッターの IP アドレス: 172.**16**.27.146 (172.X.Y.Z)

X = 16

X が 0～127 の場合

| トランスミッターIP           | X  | ビデオ<br>X+128                 | オーディオ<br>X+192               | マルチキャストの<br>ビデオ IP アドレス | マルチキャストの<br>オーディオ IP アドレス |
|----------------------|----|------------------------------|------------------------------|-------------------------|---------------------------|
| 172.16.27.146<br>(例) | 16 | $\underline{16}+128=$<br>144 | $\underline{16}+192=$<br>208 | 230.144.27.146          | 230.208.27.146            |
|                      |    | $\underline{\quad}+128=$     | $\underline{\quad}+192=$     | 230.____.____.____      | 230.____.____.____        |
|                      |    | $\underline{\quad}+128=$     | $\underline{\quad}+192=$     | 230.____.____.____      | 230.____.____.____        |
|                      |    | $\underline{\quad}+128=$     | $\underline{\quad}+192=$     | 230.____.____.____      | 230.____.____.____        |

X が 128～192 の場合

| トランスミッターIP           | X-128 =<br>A                    | ビデオ<br>A+128                 | オーディオ<br>A+192               | マルチキャストの<br>ビデオ<br>IP アドレス | マルチキャストの<br>オーディオ<br>IP アドレス |
|----------------------|---------------------------------|------------------------------|------------------------------|----------------------------|------------------------------|
| 172.168.27.14<br>(例) | $168-128$<br>= $\underline{40}$ | $\underline{40}+128=$<br>168 | $\underline{40}+192=$<br>232 | 230.168.27.14              | 230.232.27.14                |
|                      | $\underline{\quad}-128=$        | $\underline{\quad}+128=$     | $\underline{\quad}+192=$     | 230.____.____.____         | 230.____.____.____           |
|                      | $\underline{\quad}-128=$        | $\underline{\quad}+128=$     | $\underline{\quad}+192=$     | 230.____.____.____         | 230.____.____.____           |
|                      | $\underline{\quad}-128=$        | $\underline{\quad}+128=$     | $\underline{\quad}+192=$     | 230.____.____.____         | 230.____.____.____           |

X が 193 以上の場合

| トランスミッターIP           | X-192 =<br>A                   | ビデオ<br>A+128                | オーディオ<br>A+192              | マルチキャストの<br>ビデオ<br>IP アドレス | マルチキャストの<br>オーディオ<br>IP アドレス |
|----------------------|--------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|------------------------------|
| 172.200.27.14<br>(例) | $200-192$<br>= $\underline{8}$ | $\underline{8}+128=$<br>136 | $\underline{8}+192=$<br>200 | 230.136.27.14              | 230.200.27.14                |
|                      | $\underline{\quad}-192=$       | $\underline{\quad}+128=$    | $\underline{\quad}+192=$    | 230.____.____.____         | 230.____.____.____           |
|                      | $\underline{\quad}-192=$       | $\underline{\quad}+128=$    | $\underline{\quad}+192=$    | 230.____.____.____         | 230.____.____.____           |
|                      | $\underline{\quad}-192=$       | $\underline{\quad}+128=$    | $\underline{\quad}+192=$    | 230.____.____.____         | 230.____.____.____           |

## ネットワークパフォーマンス改善の秘訣

---

パフォーマンスを最適化するために、KE デバイスはネットワーク上で大量のデータ通信を必要とします。このため、これらの KE デバイスをセットアップするにあたり、次の対策を施すことを推奨します。弊社からの推奨事項を適用すれば、パフォーマンスが向上し、最大のビデオ解像度を利用することが可能になります。次のポイントを押さえて、データ通信と最大スループットを最適化してください。

### ネットワーク接続図の作成

効果的な KE システムを構築するために、まず、レイアウトを図に起こしてみましょう。KE デバイス、コンピューター、およびルーターが、ネットワーク上でどのようにつながっているかがわかるように接続図を作成してください。また、この図では、各デバイスが互いにどのように作用するかも書き起こします。システム構築にあたり、どのようなデバイスを購入すべきか、また、最良のデータスループットを行うためには、どのようなネットワークを構築すれば効果的かを検討するには、この接続図をフレームワークとして用いるとよいでしょう。

検討事項:

- ◆ 可能であれば、KE デバイス用にプライベートネットワークを構築してください。
- ◆ システム内において、すべて同じ型番の製品を使用するようにしてください。
- ◆ フラットなカスケード接続のレイアウトを作成してください。
- ◆ ツリー構造やピラミッド構造は使用しないでください。
- ◆ カスケード接続は最大 2 段階としてください。
- ◆ ネットワークスイッチは、互いに近づけてセットアップしてください。
- ◆ 接続の距離が最短になるようにセットアップしてください。
- ◆ マトリックスマネージャー (CCKM) コンピューターと KE デバイスは同一サブネットにセットアップしてください。
- ◆ 以下に記した 3 つの「その他の要因」を、セットアップの前に確認しておいてください。

### その他の要因

#### ■ 適切なケーブルの選択

2 台のデバイスを接続する際には、必ず、業務用の Cat 5/6e 以上の LAN ケーブルを使用するようにしてください。信号の品質が確保できるよう、弊社が販売するイーサネットケーブルの使用を推

奨めます。システムのどの部分においても最新のイーサネットケーブルを使用し、通信データの信頼性を確保することは、KE デバイスのセットアップにおいて最善の方法となります。これが、ネットワーク上で割り込みされずに最良の解像度を得られるコツとなります。

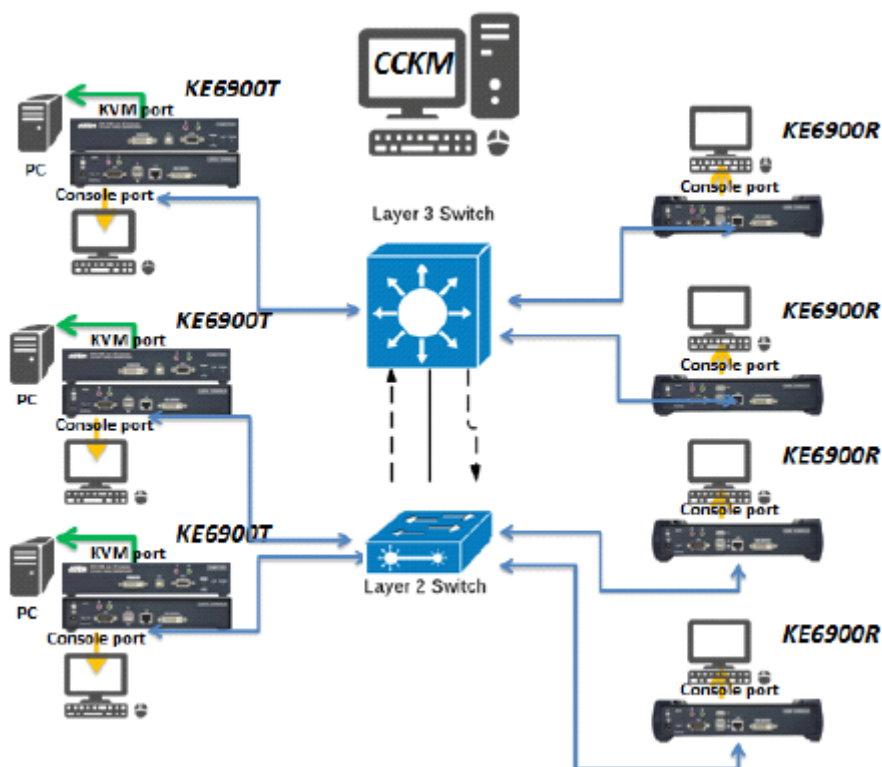
## ■ 距離の確定

ネットワークのセットアップにおいて、距離は重要な要因となります。距離をより短く、かつ、ルーターを経由するホップ数をより少なくすることで、データ通信はさらに効率化されます。したがって、サブネット間で相互に通信する環境では、可能な限り距離を短くし、ネットワークトラフィックを効果的かつダイレクトに行うことで、データスループットを向上させてください。

## ■ バンド幅の確保

バンド幅を前もって確保しておく、KE デバイスをネットワークに組み込む前に、パフォーマンスを確保することができます。これによって、ビデオ品質やデータ伝送に関わる根本的な原因を回避することができます。お使いのネットワークで、どのポイントでも通信スピードが適切であるにもかかわらず問題が解決されない場合、他の原因として、ルーター、スイッチ、またはデバイス設定によって引き起こされるデバイスエラーや制限に関するものが考えられます。

## ネットワーク接続図の例



## 高性能スイッチの選択

高性能なネットワークスイッチの導入は、KE セットアップを成功させるための一つの方法です。ネットワークスイッチを選択する際には、まず、種類を選択してください。

### **レイヤー2 またはレイヤー3 スイッチ**

お使いの KE ネットワークでレイヤー2 スイッチとレイヤー3 スイッチのどちらにするかを選択する必要があります。レイヤー3 スイッチの方が複雑で、より多くのネットワークトラフィックを処理できるため、レイヤー2 スイッチに比べると高価です。どちらのタイプのスイッチが必要かを知る最も良い方法は、KE デバイス専用のネットワークを使うかどうか、または、KE デバイスを、コンピューターやサーバー、プリンターといった、他のネットワーク機器とスループットを共有するネットワークにセットアップするかどうかを、まず決めることです。ネットワークを他の機器と共有する場合は、レイヤー3 スイッチを導入したほうが良いでしょう。KE デバイスの接続だけに使用するにはレイヤー2 スイッチの導入でも構いません。主な相違点は次のとおりです。

**レイヤー3 スイッチ:** パケットにおける IP アドレスがチェックされ、転送はインテリジェントフォワーディングによって行われます。広い範囲で、いくつものサブネットに分かれている大規模なネットワークでは、レイヤー3 スイッチはネットワーク効率を改善し、より良いトラフィックフローを提供できるため、こちらのタイプを選択するのがベストです。レイヤー3 スイッチは、大規模で複雑化したネットワークの様々な場所で、より多くのトラフィックを転送するのに、配下にあるレイヤー2 スイッチと連携するので、より高い効果を発揮します。

**レイヤー2 スイッチ:** パケットはチェックされて、MAC アドレスだけを使って転送されます。狭い範囲の中核ネットワークでは、レイヤー2 スイッチが、その処理を行うべきでしょう。ネットワークが排他的で、KE デバイスのバンド幅だけを伝送する場合は、レイヤー2 スイッチに適切な設定を行うことで、効果的に処理を行うことができます。

## 検討事項

### **ポート数**

セットアップしようとしている KE デバイスの台数に合わせて、十分なポート数を備えたスイッチを選択してください。スイッチは一般的に、5、8、10、16、24、28、48、52 ポートの設定ができるものが提供されています。例えば、KE トランスミッターと KE レシーバーをそれぞれ 13 台セットアップしようとしている場合は、最低でも 28 ポートあるスイッチを購入する必要があります。

## スタックブルとスタンドアロンのどちらを選択するのか

スタックブルスイッチを使うと、KE デバイスが接続されている複数のスイッチに及ぶポートを簡単に管理したり設定したりすることができます。これは、ネットワーク上にある KE デバイスの初回セットアップにおいて設定やトラブルシューティングを 1 箇所から行うことができますので、バンド幅、データスループット、そしてビデオ品質の調整が簡単になります。スタックブルスイッチは、数あるユニットの中から目的の KE デバイスの通信に対して、ピンポイントかつ効率的にアクセスするように設定することが可能です。スタンドアロンのスイッチもスタックブルスイッチと同様に設定することができますが、こちらを使用した場合は個々に設定する必要があります。

スタックブルスイッチは、複数のスイッチを 1 台のユニットのように簡単に管理することができます。例えば、28 ポートのスイッチを 6 台使っている環境では、スタックブルスイッチを使うことで、これら 6 台を個別に設定・管理・トラブルシューティングするのではなく、1 台のユニットのように扱うことができます。6 台のスイッチ (168 ポート) は 1 台のスイッチのように機能し、1 箇所の Web または GUI インターフェースから管理することができます。

### スタックブルスイッチができること:

1. 任意のスタックブルスイッチにおける任意のポートを、別のスタックブルスイッチのポートと結び付けて、リンクアグリゲーションデバイスを作成することが可能。
2. 任意のスタックブルスイッチにおける任意のポートを選択し、別のスタックブルスイッチにおけるポートにミラーリングすることが可能。このため、設定をコピーして、KE デバイス間のアクセスをより効果的にすることが可能。
3. 任意のスタックブルスイッチにおける任意のポートに対して、カスタム ACL セキュリティ設定を適用することが可能。
4. スタックブルスイッチはリング構成で設定可能。このため、ポートまたはケーブルでエラーがあった場合でも、スタックブルスイッチがミリ秒の速さで自動的にエラーを回避。また、スタックブルスイッチの中で、自動的に更新されたり、そのように認識されたユニットを、メンバーに追加したり、またメンバーから削除したりすることが可能。

## スイッチの仕様

レイヤー 2 またはレイヤー 3 のスイッチを選択した場合、以下の仕様を推奨します。

- ◆ 1000Mbps ギガビットイーサネットスイッチ (1000Mbps 以上のイーサネットポート)
- ◆ スwitch間での高バンド幅に対応。可能であればファイバーチャネルを使用
- ◆ IGMP クエリを効率的に処理できるレイヤー 3 スwitch
- ◆ IGMP スヌーピング v2 または v3
- ◆ フロー制御機能

- ◆ ポートごとに全二重通信、ポートあたり上り下りともに1Gbps のスループット
- ◆ 最も負荷の高いタスク(例:IGMP スヌーピング)を複数の専用プロセッサ(ASICS)で処理できる性能
- ◆ 各サブネットで同一スイッチのモデルを使用
- ◆ スwitchが同時にスヌーピングできるグループの最大数が、チャンネルグループの作成に使用される KE トランスミッターの数を満たす、またはそれ以上であること。

## スイッチと KE デバイスの設定

データをより効率的に受け渡しするには、スイッチを正しく設定することが重要です。これによって、ネットワーク上において各 KE デバイスに対するストリーミングを改善することができます。下記の設定を行うことで、スイッチ経由でのネットワークトラフィック改善につながります。

- ◆ レイヤー2 スwitchで IGMP スヌーピングを有効にする。
- ◆ レイヤー3 スwitchで IGMP クエリアを有効にする。
- ◆ KE ユニットがダイレクトに接続されている環境では、すべてのスイッチで IGMP 高速脱退(Fast Leave)機能を有効にする。
- ◆ すべてのスイッチでスパンニングツリープロトコル(STP)を有効にし、KE ユニットが接続されているスイッチのポートでは PortFast の設定だけを有効にする。
- ◆ すべてのスイッチで適切なフォワーディングモードを選択する。可能であれば、カットスルー、またはストアアンドフォワードを使用する(下記の「推奨ネットワークスイッチ」参照)。

## KE トランスミッターの設定

- ◆ KE トランスミッターの設定は、設定結果が良いか悪いかを調整して、最高の画質と最大限に可能なバンド幅が得られるように、短い時間間隔で、一度に付き 1 項目ずつ設定するようにしてください。
- ◆ 色の品質が重要な場合は、色深度を 24ビット(KE69シリーズ)または 36ビット(KE89シリーズ)に設定し、出力結果に満足がいくまで、他の設定を手動で設定するようにしてください。
- ◆ 動きのあるビデオイメージが頻繁に表示される場合は、ビデオ品質の設定値を最大にし、バンド幅の制限値と色深度の設定値を減らしてください。
- ◆ 画面でのイメージにあまり動きがない場合は、バックグラウンドのリフレッシュやビデオ品質設定の値を増やしてください。
- ◆ すべての KE ユニットが最新バージョンのファームウェアにアップグレードされていることを確認してください。

## 推奨ネットワークスイッチ

下記は、KE シリーズのエクステンダーに対して実施された ATEN の負荷テストに合格したネットワークスイッチです。このテストは、解像度 1920×1200@60Hz (KE69 シリーズ、KE8900S、KE9900ST) で 24 ビット色深度、および解像度 3840×2160@30Hz (KE8950 および KE8952) で 36 ビット色深度のコンテンツをネットワーク上にストリーミングして検証したものです。

- ◆ Cisco - Catalyst 2960X、Catalyst 2960XR、Catalyst 3750
- ◆ HP - Procurve 2920
- ◆ H3C - S5120
- ◆ DLink DGS-1510

ネットワークスイッチの選択方法および ATEN カスタマーサービス部が収集したネットワークスイッチに関する情報については、下記の FAQ リンクにアクセスして参照してください。このページには、お客様が製品を実環境でセットアップして使用した経験からフィードバックされたものを含む情報が提供されています。

<https://eservice.aten.com/eServiceCx/Common/FAQ/view.do?id=6276>



## その他のマウス同期方法

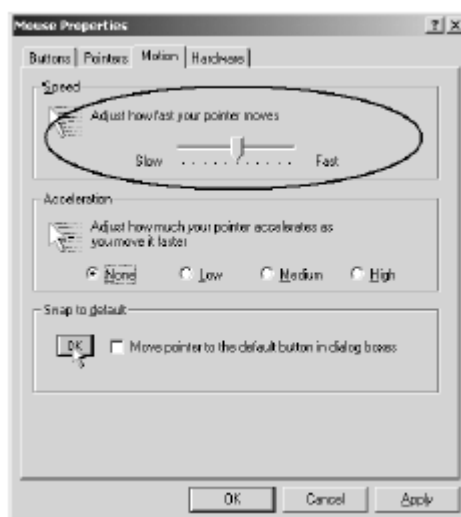
本マニュアルに記載されているマウスの同期の設定を適用したにもかかわらず、お使いのコンピュータでマウスポインターの問題が解決しない場合は、下記の手順を試してみてください。

### Windows

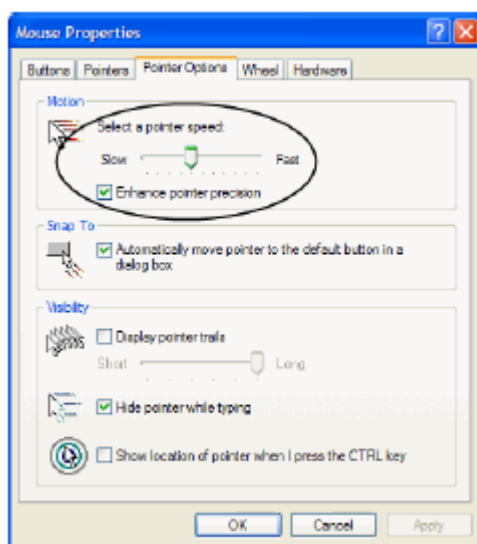
**注意:** ローカルとリモートのマウスを同期させる場合は、Microsoft の OS 付属の汎用マウスドライバーを使用する必要があります。サードパーティー製のドライバー（例：マウスの製造元から提供されたドライバーなど）を使用している場合は、そのドライバーを削除してください。

#### 1. Windows 2000 の場合

- a) 「マウスのプロパティ」ダイアログボックスを表示してください（[コントロールパネル]→[マウス]→[マウスのプロパティ]）。
- b) 「動作」タブをクリックしてください。
- c) マウスの速度のスライダーバーを中央の位置（左から 6 目盛り目）に移動させてください。
- d) 「ポインターの加速」で、「いいえ」のラジオボタンを選択してください。



2. Windows XP/Windows Server 2003/Windows 7/Windows 8/Windows 10 の場合：
- a) 「マウスのプロパティ」ダイアログボックスを表示してください([コントロールパネル]→[マウス]→[マウスのプロパティ])。  
(Windows 10 の場合は、[スタート]→[デバイス]→[マウス]→[マウスの追加オプション]の順にクリックしてください。)
  - b) 「マウスのプロパティ」ダイアログボックスから、「ポインター オプション」タブをクリックしてください。
  - c) マウスの速度のスライダーバーを中央の位置(左から 6 目盛り目)に移動させてください。
  - d) 「ポインターの精度を高める」の項目からチェックを外して、この機能を無効にしてください。



3. Windows ME の場合：  
マウスの速度を中間に設定し、マウスの加速機能を無効にしてください(この設定を行う場合は、ダイアログから「詳細...」ボタンをクリックしてください)。
4. Windows NT/Windows 98/Windows 95 の場合：  
マウスの速度を最も低い設定にしてください。

## Sun/Linux

ターミナルセッションを開き、以下のコマンドを実行してください。

Sun の場合: **xset m 1**

Linux の場合: **xset m 0**

または、**xset m 1**

(一方がうまくいかない場合は、もう一方を試してみてください。)

## 対応バーチャルメディア

---

### Windows クライアント Active X ビューワー/Win クライアント AP

- ◆ IDE CD-ROM/DVD-ROMドライブ - 読取専用
- ◆ IDE ハードディスクドライブ - 読取専用
- ◆ USB CD-ROM/DVD-ROMドライブ - 読取専用
- ◆ USB ハードディスクドライブ - 読取/書込対応\*
- ◆ USB フラッシュメモリー - 読取/書込対応\*
- ◆ USB フロッピードライブ - 読取/書込対応\*

---

\* これらのドライブは、ドライブとリムーバブルディスクのどちらの方法でもマウントすることができます (p.363「バーチャルメディア」参照)。リムーバブルディスクとしてマウントした場合、そのディスクにブート可能な OS が含まれていれば、そこからリモートサーバーを起動することができます。さらに、そのディスクが複数のパーティションに分かれている場合は、リモートサーバーはすべてのパーティションにアクセスすることができます。

---

- ◆ ISO ファイル - 読取専用
- ◆ フォルダー - 読取/書込対応
- ◆ スマートカードリーダー

### Java アプレットビューワー/Java クライアント AP

- ◆ ISO ファイル - 読取専用
- ◆ フォルダー - 読込/書込対応

---

**注意:**

1. Java クライアントは Windows クライアントと同じようにバーチャルメディアに対応していますが、アカウントは管理者レベルの操作権限を持っていないとできません。
2. フォルダーのマッピングには FAT16 ファイルシステムを使用しているため、2GB の制限があります。バーチャルメディアは 4GB 未満の ISO ファイルのみをサポートします。

---

## Windows における CCKM サーバーの IP アドレスの設定

---

1. [ネットワークと共有センター]を選択したら、[アダプターの設定の変更]をクリックしてください。
2. [ローカルエリア接続]を右クリックしたら、[プロパティ]を選択してください。
3. [ローカルエリア接続プロパティ]のウィンドウで、[インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択したら、[プロパティ]を選択してください。
4. [次の IP アドレスを使う]を選択したら、お使いのネットワーク設定に応じて CCKM サーバーの IP (192.168.0.2～192.168.0.253 の範囲における未使用のアドレス)\*、サブネットマスク (例: 255.255.255.0)、およびデフォルトゲートウェイを入力してください。
5. 「OK」をクリックして、CCKM サーバーの IP アドレスを変更してください。

---

**注意:** IP アドレスの競合を避けるために、CCKM サーバーの IP アドレスが他と重複していないことを確認してください。

---

Web ブラウザ経由で CCKM サーバーに接続するには、CCKM の IP アドレスとポート番号 (デフォルトは 8443) を入力してください。例えば、CCKM の IP アドレスが 192.168.0.10 である場合は、次のように入力します。

<https://192.168.0.10:8443>

NIC カードをもう一枚使用している場合は、次の手順に従って操作を行ってください。

6. [ネットワークと共有センター]を選択したら、[アダプターの設定の変更]をクリックしてください。
7. 2 枚目の NIC の[ローカルエリア接続]を右クリックしたら、[プロパティ]を選択してください。
8. [ローカルエリア接続プロパティ]のウィンドウで、[インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)]を選択したら、[プロパティ]を選択してください。
9. [次の IP アドレスを使う]を選択したら、お使いのネットワーク設定に応じて CCKM サーバーのセカンドサブネットの IP (192.168.0.2～192.168.0.253 の範囲における未使用のアドレス)\*、サブネットマスク (例: 255.255.255.0)、およびデフォルトゲートウェイを入力してください。
10. 「OK」をクリックして、セカンドサブネットの CCKM サーバーの IP アドレスを変更してください。